

平成 20 年度

事業実績及び主要施策成果説明書

小 布 施 町

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、平成 20 年度決算に係る主要施策
成果説明書を次のとおり提出する。

平成 21 年 9 月 7 日

小布施町長 市 村 良 三

目 次

1. はじめに	1
2. 平成20年度決算の概要	1
3. 平成20年度会計別歳入歳出決算の状況	2
4. 普通会計決算の状況	3
普通会計決算状況調書（決算カード）	9
5. 平成20年度重点施策の成果・概要	11
6. 会計別決算概要	
I 一般会計	15
歳入	18
歳出	
款1 議会費	33
款2 総務費	36
項1 議会費	57
項2 総務管理費	58
項3 徴税費	61
項4 戸籍住民基本台帳費	62
項5 選挙費	63
項6 統計調査費	64
項7 監査委員費	90
款3 民生費	98
項1 社会福祉費	99
項2 児童福祉費	114
項3 災害救助費	122
款4 衛生費	134
項1 保健衛生費	135
項2 環境保全費	145
款5 農林水産業費	146
項1 農業費	152
項2 林業費	155
款6 商工費	158
款7 土木費	164
項1 土木管理費	165
項2 道路橋梁費	168
項3 河川費	170
項4 都市計画費	172
項5 まちづくり費	173
項6 住宅費	174
款8 消防費	189
款9 教育費	193
項1 教育総務費	199
項2 小学校費	209
項3 中学校費	214
項4 幼稚園費	217
項5 社会教育費	234
項6 保健体育費	237
項7 給食センター費	239
款10 公債費	244
項1 公債費	248
II 国民健康保険特別会計	253
III 老人保健特別会計	255
IV 後期高齢者医療特別会計	255
V 介護保険特別会計	255
VI 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	255
VII 霊園事業特別会計	255
VIII 下水道事業特別会計	255
IX 農業集落排水事業特別会計	255
X 水道事業会計	255
7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度	253
8. 長野地区農業共済事務組合決算の概要	255

1. はじめに

本説明書（事業実績及び主要施策成果説明書）は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、町長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第 5 項の規定により施策の成果を説明するものです。

一般会計ほか 9 会計の各決算概要および総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計の各特別会計の合計額から会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要とそれらの平成 20 年度の主要な施策の成果について取りまとめたものです。

なお、予算科目区分と施策の目的、成果をよりわかりやすくするため、成果を示す事業の区分については、原則として「平成 20 年度小布施町予算事業説明書 ここに使います ことしの予算！」にあわせて作成しています。

2. 平成20年度決算の概要

平成20年度各会計歳入歳出決算の状況は、「3. 平成20年度 会計別歳入歳出決算の状況」のとおりとなっています。

普通会計では、基幹収入である町税と地方交付税は前年並みでしたが、国の経済対策に伴う交付金（地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金、地域活性化・生活対策臨時交付金）など国庫支出金の増（4,932万1千円 前年比+24.3%）、図書館建設等に伴う繰入金の増（3億2,844万4千円 前年比+830.9%）により、歳入全体で4億4,381万5千円（前年比+10.4%）の増額となりました。

歳出では、性質別に見ますと、図書館の建設や経済対策で公共事業を前倒しで行った結果、普通建設事業費は1億8,248万1千円（前年比+80.2%）の増となりました。その他、扶助費が2,728万円（前年比+9.1%）、物件費が3,304万5千円（前年比+4.8%）、補助費が2,217万7千円（前年比+4.8%）、繰出金が3,673万円（前年比+7.1%）の増となり、歳出全体では1億6,950万3千円（前年比+4.3%）となりました。

目的別歳出を見ますと、農林水産業が5,734万4千円（前年比+28.9%）、教育費が5,113万5千円（前年比+9.8%）、民生費が4,981万4千円（前年比+5.9%）、総務費が3,881万1千円（前年比+7.0%）の増額となり、公債費は5,116万円（前年比△6.7%）の減となりました。

地方債残高は、新規発行額を償還額以下に抑えることで、前年より4億346万1千円減り、47億9,549万4千円となり、毎年減少しています。

3. 平成20年度 会計別歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成20年度	4,690,734	4,126,900	563,834	230,434	333,400	97,568
	平成19年度	4,244,917	3,956,520	288,397	52,565	235,832	△ 46,929
	差引	445,817	170,380	275,437	177,869	97,568	144,497
国民健康保険特別会計	平成20年度	1,104,748	1,085,851	18,897	0	18,897	△ 47,920
	平成19年度	1,092,930	1,026,113	66,817	0	66,817	3,758
	差引	11,818	59,738	△ 47,920	0	△ 47,920	△ 51,678
老人保健特別会計	平成20年度	139,508	118,508	21,000	0	21,000	20,988
	平成19年度	1,064,392	1,064,380	12	0	12	△ 4
	差引	△ 924,884	△ 945,872	20,988	0	20,988	20,992
後期高齢者医療特別会計	平成20年度	88,355	87,285	1,070	907	163	163
	平成19年度	—	—	—	—	—	—
	差引	88,355	87,285	1,070	907	163	163
介護保険特別会計	平成20年度	791,605	765,420	26,185	0	26,185	△ 16,840
	平成19年度	718,336	675,311	43,025	0	43,025	△ 5,775
	差引	73,269	90,109	△ 16,840	0	△ 16,840	△ 11,065
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	平成20年度	2,266	2,266	0	0	0	0
	平成19年度	3,462	3,462	0	0	0	△ 10
	差引	△ 1,196	△ 1,196	0	0	0	10
霊園事業特別会計	平成20年度	5,243	253	4,990	0	4,990	1,048
	平成19年度	4,165	223	3,942	0	3,942	1,369
	差引	1,078	30	1,048	0	1,048	△ 321
下水道事業特別会計	平成20年度	769,049	768,482	567	0	567	△ 190
	平成19年度	714,372	713,615	757	0	757	△ 152
	差引	54,677	54,867	△ 190	0	△ 190	△ 38
農業集落排水事業特別会計	平成20年度	47,605	47,022	583	0	583	△ 208
	平成19年度	49,834	49,043	791	0	791	668
	差引	△ 2,229	△ 2,021	△ 208	0	△ 208	△ 876
計	平成20年度	7,639,113	7,001,987	637,126	231,341	405,785	54,609
	平成19年度	7,892,408	7,488,667	403,741	52,565	351,176	△ 47,075
	差引	△ 253,295	△ 486,680	233,385	178,776	54,609	101,684
水道事業会計 (収益的収支)	平成20年度	220,019	186,040	33,979	/		
	平成19年度	222,665	185,750	36,915			
	差引	△ 2,646	290	△ 2,936			
水道事業会計 (資本的収支)	平成20年度	3,659	59,886	△ 56,227			
	平成19年度	3,959	141,539	△ 137,580			
	差引	△ 300	△ 81,653	81,353			

4. 普通会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,146,843	24.4%	1,137,726	26.8%	9,117	0.8%
個人町民税	491,908	10.5%	489,565	11.5%	2,343	0.5%
法人町民税	37,989	0.8%	46,510	1.1%	△ 8,521	△ 18.3%
固定資産税	540,115	11.5%	524,327	12.3%	15,788	3.0%
軽自動車税	27,910	0.6%	27,353	0.6%	557	2.0%
町たばこ税	45,330	1.0%	48,259	1.1%	△ 2,929	△ 6.1%
入湯税	3,591	0.1%	1,712	0.0%	1,879	109.8%
地方譲与税	66,681	1.4%	68,616	1.6%	△ 1,935	△ 2.8%
利子割交付金	5,990	0.1%	5,945	0.1%	45	0.8%
配当割交付金	1,725	0.0%	4,562	0.1%	△ 2,837	△ 62.2%
株式等譲渡所得割交付金	635	0.0%	2,689	0.1%	△ 2,054	△ 76.4%
地方消費税交付金	91,800	2.0%	96,543	2.3%	△ 4,743	△ 4.9%
自動車取得税交付金	24,902	0.5%	27,594	0.6%	△ 2,692	△ 9.8%
地方特例交付金	12,905	0.3%	7,189	0.2%	5,716	79.5%
地方交付税	1,662,288	35.4%	1,672,555	39.4%	△ 10,267	△ 0.6%
普通交付税	1,546,050	33.0%	1,555,222	36.6%	△ 9,172	△ 0.6%
特別交付税	116,238	2.5%	117,333	2.8%	△ 1,095	△ 0.9%
交通安全対策特別交付金	1,738	0.0%	1,838	0.0%	△ 100	△ 5.4%
分担金及び負担金	8,441	0.2%	5,166	0.1%	3,275	63.4%
使用料	147,695	3.1%	148,005	3.5%	△ 310	△ 0.2%
手数料	6,691	0.1%	7,019	0.2%	△ 328	△ 4.7%
国庫支出金	252,124	5.4%	202,803	4.8%	49,321	24.3%
県支出金	171,511	3.7%	160,140	3.8%	11,371	7.1%
財産収入	12,372	0.3%	9,049	0.2%	3,323	36.7%
寄 付 金	4,167	0.1%	1,750	0.0%	2,417	138.1%
繰 入 金	367,971	7.8%	39,527	0.9%	328,444	830.9%
繰 越 金	290,293	6.2%	294,353	6.9%	△ 4,060	△ 1.4%
諸 収 入	204,826	4.4%	142,585	3.4%	62,241	43.7%
町 債	209,748	4.5%	211,877	5.0%	△ 2,129	△ 1.0%
うち臨時財政対策債	152,648	3.3%	162,977	3.8%	△ 10,329	△ 6.3%
合 計	4,691,346	100.0%	4,247,531	100.0%	443,815	10.4%

※ 普通会計：決算統計上の分類で、町の会計のうち、企業会計、収益事業会計等を除いた、一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計を合算したもの。

【歳 出】

目的別決算状況

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	66,141	1.6%	65,645	1.7%	496	0.8%
総 務 費	591,790	14.3%	552,979	14.0%	38,811	7.0%
民 生 費	899,812	21.8%	849,998	21.5%	49,814	5.9%
衛 生 費	208,478	5.1%	201,748	5.1%	6,730	3.3%
労 働 費	2,875	0.1%	2,736	0.1%	139	5.1%
農林水産業費	255,767	6.2%	198,423	5.0%	57,344	28.9%
商 工 費	51,210	1.2%	42,422	1.1%	8,788	20.7%
土 木 費	565,247	13.7%	568,194	14.4%	△ 2,947	△ 0.5%
消 防 費	193,688	4.7%	183,335	4.6%	10,353	5.6%
教 育 費	575,050	13.9%	523,915	13.2%	51,135	9.8%
公 債 費	716,683	17.4%	767,843	19.4%	△ 51,160	△ 6.7%
災害復旧費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	4,126,741	100.0%	3,957,238	100.0%	169,503	4.3%

性質別決算状況

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
人 件 費	682,312	16.5%	683,071	17.3%	△ 759	△ 0.1%
うち職員給	443,342	10.7%	435,759	11.0%	7,583	1.7%
扶 助 費	325,754	7.9%	298,474	7.5%	27,280	9.1%
公 債 費	716,683	17.4%	767,838	19.4%	△ 51,155	△ 6.7%
元利償還金	716,683	17.4%	767,838	19.4%	△ 51,155	△ 6.7%
一時借入金利子						
物 件 費	719,153	17.4%	686,108	17.3%	33,045	4.8%
維持修繕費	54,792	1.3%	56,334	1.4%	△ 1,542	△ 2.7%
補 助 費 等	488,416	11.8%	466,239	11.8%	22,177	4.8%
うち一組負担金	158,072	3.8%	150,216	3.8%	7,856	5.2%
操 出 金	551,087	13.4%	514,357	13.0%	36,730	7.1%
積 立 金	175,398	4.3%	255,252	6.5%	△ 79,854	△ 31.3%
投資及び出資金・貸付金	3,100	0.1%	2,000	0.1%	1,100	55.0%
前年度繰上充用金						
投資の経費	410,046	9.9%	227,565	5.8%	182,481	80.2%
うち人件費	0	0.0%	0	0.0%	0	100.0%
内 普通建設事業費	410,046	9.9%	227,565	5.8%	182,481	80.2%
うち単独事業費	227,335	5.5%	153,821	3.9%	73,514	47.8%
内 災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
内 失業対策事業費						
合 計	4,126,741	100.0%	3,957,238	100.0%	169,503	4.3%

【財政構造】

平成20年度普通会計決算における各財政指標は次のとおりです。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3ヵ年平均）は0.40（平成19年度0.39）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は10.9%（平成19年度8.2%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は88.1%（平成19年度88.4%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は97.1%（平成19年度102.6%）
- ・ 普通会計の実質的な公債費の負担を見る起債制限比率は12.2%（平成19年度12.5%）

【財政の健全化】

財政健全化法に基づき平成19年度決算より公表と審査が義務付けられた、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は次のとおりです。

- ・ 普通会計における実質収支の赤字比率を示す実質赤字比率、全会計の実質収支の赤字比率を示す連結赤字比率は実質収支が黒字であったため、数値はありません。
- ・ 公営企業会計や一部事務組合の公債費も考慮した、実質公債費比率は18.0%（平成19年度18.4%）
- ・ 第三セクター等の負債も含めた、町の将来にわたる負債の規模を示す将来負担比率は68.2%

各指数がそれぞれの基準を上回る場合は、早期健全化計画や財政再生計画の策定が必要となります。

財政健全化法における基準

	平成20年度 決算数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15%	20%
連結実質赤字比率	—	20%	40%
実質公債費比率	18.0%	25%	35%
将来負担比率	68.2%	350%	—

※市町村の財政規模によって異なります。

【地方債現在高】

平成20年度末における地方債の現在高は47億9,549万4千円となり、前年度に比べ4億346万1千円減少しました。これは、新規発行額を償還額以下に抑えるとともに（新規発行額2億974万8千円、元金償還額5億9,438万6千円）、平成19年度から平成21年度までの3年間にわたり実施される公的資金補償金免除繰上償還（平成19年度 1,552万7千円、平成20年度 1,882万3千円）も積極的に行ったため、地方債残高は平成11年度から毎年減少し続けています。

【基金残高】

基金の平成20年度末現在高（積立基金、定額運用基金）は、15億3,148万5千円で、前年度末に比べ1億8,026万5千円減少しました。これは、財政調整基金に7,482万5千円、教育文化施設資金積立基金に5,002万7千円等の積立を行ったのに対し、図書館建設基金2億6,606万7千円、減債基金1,882万3千円、土地開発基金2,000万円、芸術文化振興基金500万円等の取崩を行ったためです。

町債の概要（普通会計）

[町債発行額の推移]

(単位:千円)

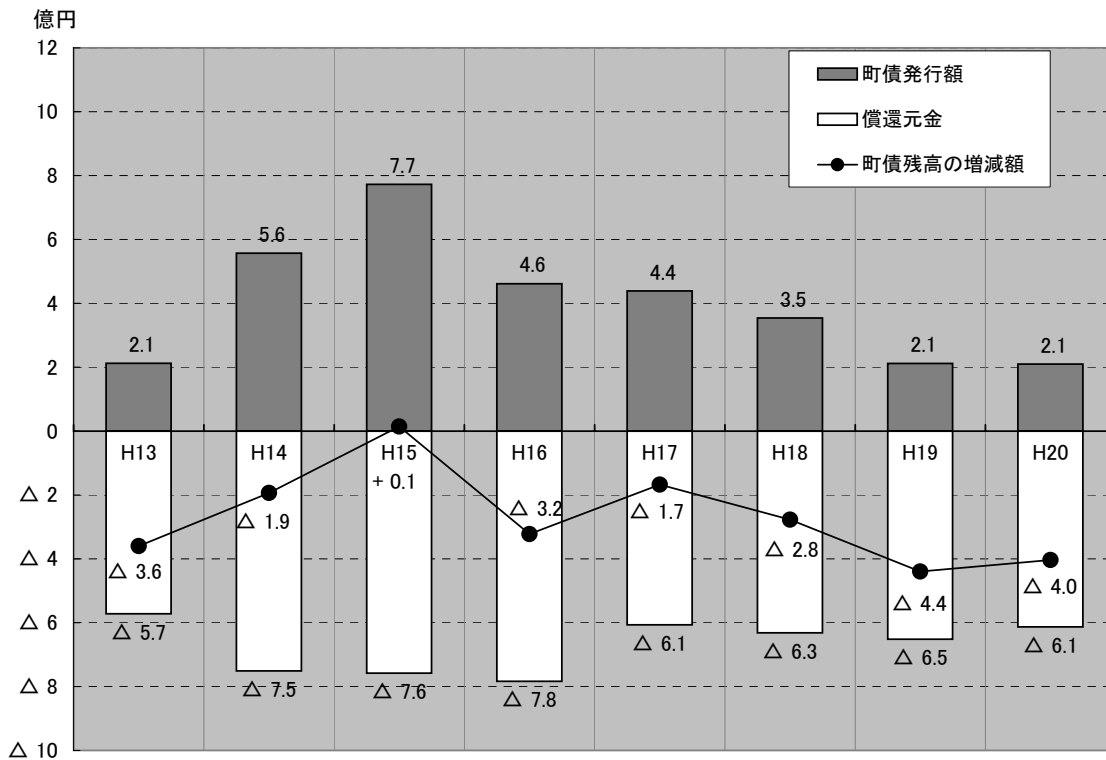
	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算
町債発行額	212,100	557,163	772,400	461,100	438,900	354,200	211,877	209,748
うち減税補てん債	15,800	15,100	14,100	13,500	13,300	9,100	-	-
うち臨時財政対策債	82,300	165,100	368,100	253,100	196,300	179,600	162,977	152,648

[公債費(町債元利償還金額)の推移]

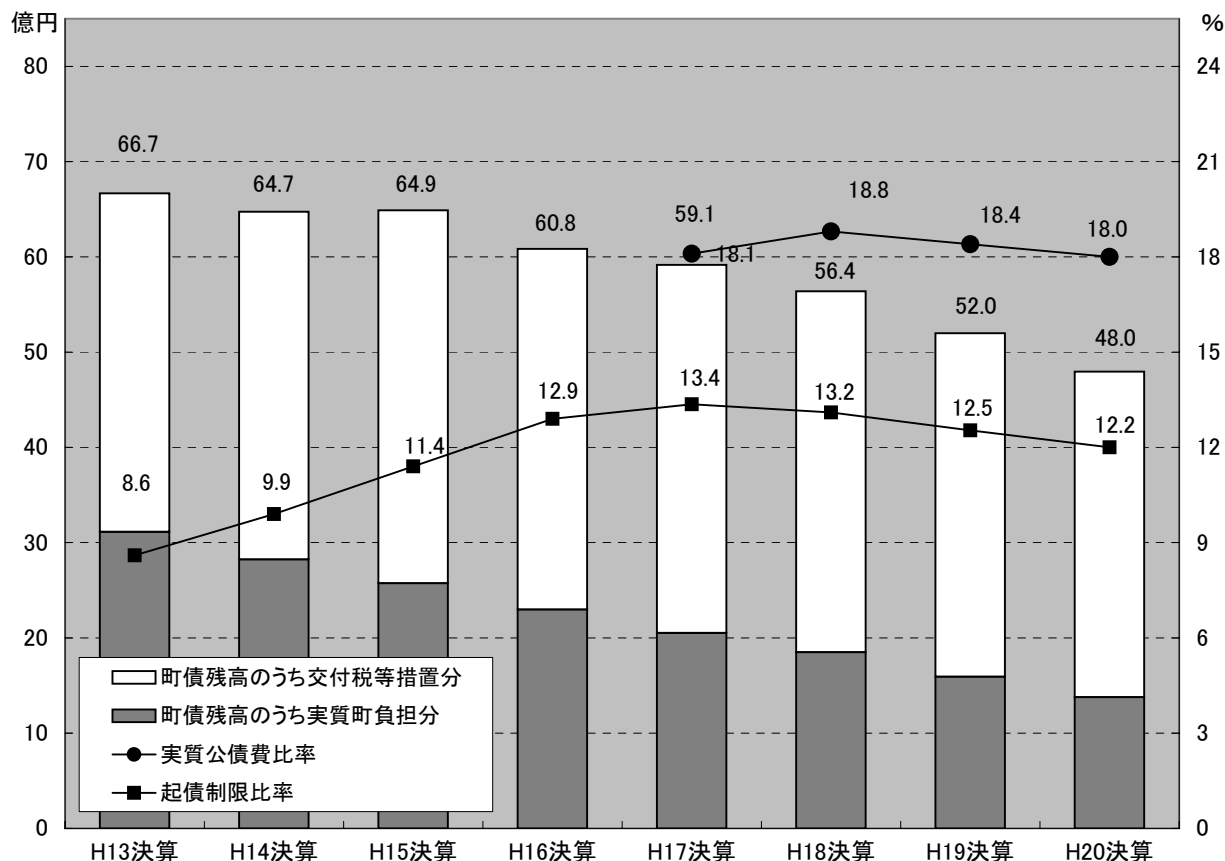
(単位:千円)

	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算
町債元利償還金額	777,057	939,159	923,850	935,748	740,365	758,184	767,838	716,683
償還元金	572,117	750,819	758,015	783,332	606,376	631,493	651,563	613,209
うち繰上償還分	-	114,562	90,932	114,430	-	9,459	24,130	18,823
支払利子	204,940	188,340	165,835	152,416	133,989	126,691	116,275	103,474

※ H16は、減税補てん債の借り換え(1億3,000万円)を除いた実質的な元利償還金額



[年度末町債残高と実質公債費比率・起債制限比率の推移]



○町債残高:

新たな起債を極力抑え、計画的に繰上償還を実施してきた結果、普通会計の町債残高は、平成11年度の75億1千万円をピークに年々減少傾向にある。

平成20年度末の残高48億円のうち、34億円(71.3%)程度は、後年度に地方交付税で措置されたり、貸付金の回収金や住宅家賃など特定の収入でまかなうなど、実質的には町の負担とならない。

○起債制限比率:

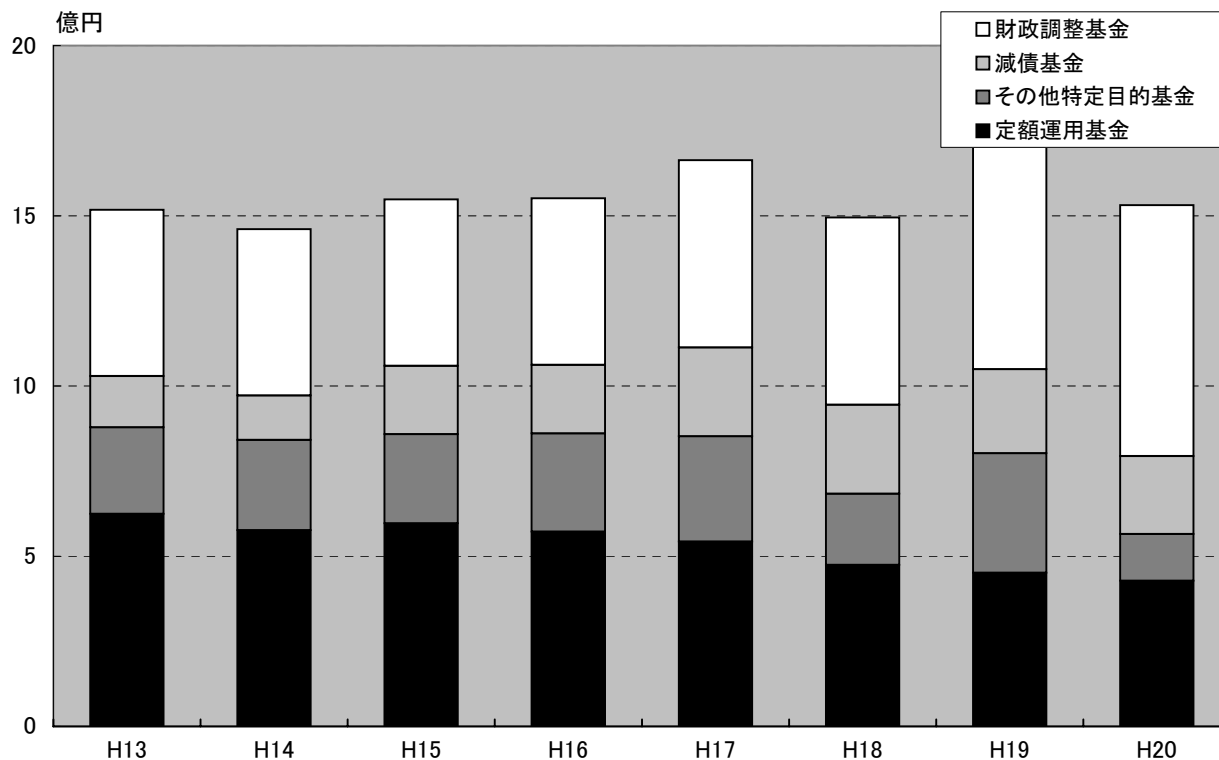
地方債の許可制限のための指標として、公債費比率(一般財源に占める地方債の償還の割合を示す指標)から地方交付税で措置される償還額を除くことなどにより、実質的な公債費の負担の程度を表した比率をいう。

○実質公債費比率:

地方債協議制度への移行に伴い新設された指標。起債制限比率の算定においては対象とされていなかった公営企業会計(上水道事業、下水道事業等)の公債費に充当した繰出金や、一部事務組合の公債費に係る負担金等を含め、実質的な公債費が標準財政規模に占める割合を示したもの。18%以上の場合は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

(H19県平均: 14.1%)

基金残高の推移（普通会計）



- 財政調整基金**： 年度間の財源の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金**： 町債償還の財源を確保し、計画的な償還と信用維持を図るための基金
- その他特定目的基金**： 教育文化基金、社会福祉積立基金、大規模建設事業積立基金 ほか
- 定額運用基金**： 土地開発基金、芸術文化振興基金、育英金貸付基金 ほか

[年度末基金残高の推移]

(単位:千円)

	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算	H20決算
財政調整基金	488,481	488,681	488,908	489,447	549,901	550,165	662,497	737,322
減債基金	150,769	130,829	200,882	200,993	261,164	261,255	246,884	228,891
その他特定目的基金	254,372	265,178	261,653	288,840	309,279	209,459	351,223	137,483
定額運用基金	624,149	576,175	596,828	572,157	543,014	474,170	451,146	427,789
計	1,517,771	1,460,863	1,548,271	1,551,437	1,663,358	1,495,049	1,711,750	1,531,485

平成20年度 普通会計決算状況調書 (決算カード)		国調人口		世帯数			
		H17年国調		11,477人	H17年国調		3,406世帯
		H12年国調		11,460人	H12年国調		3,264世帯
		増減率		0.1%	人口集中地区人口		
		住民基本台帳人口		H21. 3.31 11,478人	H17年国調		0人
		H20. 3.31 11,616人	H12年国調		0人		
増減率		△ 1.2%					
歳入の状況 (単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	増減率	経常一財等	構成比		
地方税	1,146,843	24.4	0.8	1,146,843	38.6		
地方譲与税	66,681	1.4	△ 2.8	66,681	2.2		
利子割交付金	5,990	0.1	0.8	5,990	0.2		
配当割交付金	1,725	0.0	△ 62.2	1,725	0.1		
株式等譲渡所得割交付金	635	0.0	△ 76.4	635	0.1		
地方消費税交付金	91,800	2.0	△ 4.9	91,800	3.1		
自動車取得税交付金	24,902	0.5	△ 9.8	24,902	0.8		
地方特例交付金	12,905	0.3	79.5	12,905	0.4		
地方交付税	1,662,288	35.4	△ 0.6	1,546,050	52.0		
普通交付税	1,546,050	32.9	△ 0.6	1,546,050	52.0		
特別交付税	116,238	2.5	△ 0.9				
(一般財源計)	3,013,769	64.1	△ 0.3	2,897,531	97.5		
交通安全対策特別交付金	1,738	0.0	△ 5.4	1,738	0.1		
分担金及び負担金	8,441	0.2	63.4				
使用料	147,695	3.2	△ 0.2	3,813	0.1		
手数料	6,691	0.1	△ 4.7				
国庫支出金	252,124	5.4	24.3				
県支出金	171,511	3.7	7.1				
財産収入	12,372	0.3	36.7	3,428	0.1		
寄附金	4,167	0.1	138.1				
繰入金	367,971	7.8	830.9				
繰越金	290,293	6.2	△ 1.4				
諸収入	204,826	4.4	43.7	66,541	2.2		
地方債	209,748	4.5	△ 1.0				
うち都道府県貸付金	28,000	0.6	75.0				
うち減税補てん債							
うち臨時財政対策債	152,648	3.3	△ 6.3				
歳入合計	4,691,346	100.0	10.4	2,973,051	100.0		
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)							
区分	決算額	構成比	増減率	充当一財等	経常経費充当一財等	経常収支比率	
人件費	682,312	16.5	△ 0.1	593,877	590,424	18.9	
うち職員給	443,342	10.7	1.7	356,250	-	-	
扶助費	325,754	7.9	9.1	129,062	126,404	4.0	
公債費	716,683	17.4	△ 6.7	661,756	634,846	20.3	
元利償還金	716,683	17.4	△ 6.7	661,756	634,846	20.3	
一時借入金利息							
(義務の経費計)	1,724,749	41.8	△ 1.4	1,384,695	1,351,674	43.2	
物件費	719,153	17.4	4.8	559,175	479,713	15.3	
維持補修費	54,792	1.3	△ 2.7	53,360	53,360	1.7	
補助費等	488,416	11.8	4.8	469,726	428,521	13.7	
うち一組負担金	158,072	3.8	5.2	155,479	145,879	4.7	
繰出金	551,087	13.4	7.1	512,442	439,444	14.1	
積立金	175,398	4.3	△ 31.3	170,000			
投資及び出資金・貸付金	3,100	0.1	55.0	1,100			
前年度繰上充用金						2,752,712千円	
投資的経費	410,046	9.9	80.2	141,542			
うち人件費						経常収支比率	
普通建事業費	410,046	9.9	80.2	141,542		(臨時財政対策債含む)	
うち単独事業費	227,335	5.5	47.8	108,627		88.1%	
災害復旧事業費							
失業対策事業費						歳入一般財源等	
歳出合計	4,126,741	100.0	4.3	3,292,040		3,856,645千円	

面積	19.07km ²	人口密度 (H17年国調)	601.8人	指定団体等の指定状況		都道府県名	20	団体名	5419	市町村類型	Ⅲ-0	
産業構造		H17年国調 (構成比)		H12年国調 (構成比)		新産		×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地	
区分	H17年国調 (構成比)	H12年国調 (構成比)	新産	×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地					
第1次産業	1,592人 23.9%	1,587人 23.6%	工	特	×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地				
第2次産業	1,865人 28.0%	2,149人 31.9%	低	開	発	×	長野県	小布施町	Ⅱ-2			
第3次産業	3,203人 48.1%	2,997人 44.5%	産	炭	×	長野県	小布施町	Ⅱ-2				
市町村税の状況 (単位 千円・%)					山	振	×	区分	H20年度(千円)	H19年度(千円)		
区分	徴収済額	構成比	増減率	基準税額×100/75	離	島	×	歳入総額	4,691,346	4,247,531		
市町村民税	17,386	1.5	4.5	16,740	過	疎	×	歳出総額	4,126,741	3,957,238		
個人均等割	17,386	1.5	4.5	16,740	半	島	×	歳入歳出差引	564,605	290,293		
所得割	474,522	41.4	0.3	508,959	首	都	×	翌年度繰越財源	230,434	52,565		
法人均等割	18,973	1.6	3.1	18,661	近	畿	×	実質収支	334,171	237,728		
法人税割	19,016	1.7	△ 32.4	32,120	中	部	○	単年度収支	96,443	△ 47,073		
固定資産税	540,115	47.1	3.0	529,884	市	町	○	積立金	122,241	112,332		
うち純固定資産税	539,888	47.1	3.1	529,657	特	定	×	繰上償還額	18,823	24,127		
軽自動車税	27,910	2.4	2.0	27,447	財	政	×	積立金取崩し額	47,416			
市町村たばこ税	45,330	4.0	△ 6.1	47,861	指	数	×	実質単年度収支	190,091	89,386		
鉱産税					財	源	×					
特別土地保有税												
(法定普通税計)	1,143,252	99.7	0.6	1,181,672				ラスパイレス指数	90.9	91.2		
法定外普通税					一	組	×	一般職等数	給料月額(百円)	1人当給料月額(百円)		
旧法による税					議	員	×	一般職員	81	232,611	2,872	
目的税	3,591	0.3	109.8		非	常	×	うち技能労務職	1	2,592	2,592	
入湯税	3,591	0.3	109.8		退	職	×	教育公務員	5	13,130	2,626	
事業所税					事	務	×	退職手当				
都市計画税					事	務	×	事務機共同				
水利地益税					税	務	×	老人福祉				
					伝	染	×	伝染病				
					し	尿	×	し尿処理				
合計	1,146,843	100.0	0.8		ご	み	×	ごみ処理				
適用税率の状況	個人均等割 (H21.4.1) 3,000円	個人所得割 6.0%	固定資産税 1.4%		火	葬	×	火葬場				
	法人均等割				常	備	×	常備消防	1	H19.4.1	2,640	
	1号法人 50,000円	2号法人 120,000円	3号法人 130,000円	4号法人 150,000円	小	学	×	小学校	1	H19.4.1	1,930	
					中	学	×	中学校	12	H19.4.1	1,720	
	法人税割 12.3%	6号法人 400,000円	7号法人 410,000円	8号法人 1,750,000円	そ	の	×	その他				
								区分 (単位 千円)				
								H20年度	基準財政収入額	1,066,368		
									基準財政需要額	2,613,564		
									標準税収入額等	1,363,798		
									標準財政規模	3,062,496		
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					(A)のうち普通建設		(A)の充当一財等					
区分	決算額(A)	構成比	増減率	(A)のうち普通建設	(A)の充当一財等	財政力指数 (H17~19年度)	0.40					
議会費	66,141	1.6	0.8		66,141	実質収支比率 (%)	10.9					
総務費	591,790	14.3	7.0	14,226	538,170	経常一般財源等比率 (%)	97.1					
民生費	899,812	21.8	5.9	15,753	578,584	公債費比率 (%)	15.7					
衛生費	208,478	5.1	3.3	1,122	197,465	起債制限比率 (%)	12.2					
労働費	2,875	0.1	5.1		875	実質赤字比率 (%)	-					
農林水産業費	255,767	6.2	28.9	52,062	186,273	連結実質赤字比率 (%)	-					
商工費	51,210	1.2	20.7		39,249	実質公債費比率 (%)	18.0					
土木費	565,247	13.7	△ 0.5	200,216	450,666	将来負担比率 (%)	68.2					
消防費	193,688	4.7	5.7	4,218	186,890	積立金 現在高	財政調整基金	737,322				
教育費	575,050	13.9	9.8	122,449	385,971		減債基金	228,891				
災害復旧費							その他特定目的基金	137,483				
公債費	716,683	17.4	△ 6.7		661,756	地方債現在高	4,795,494					
諸支出金						債務負担 行為 (支出予定額)	うち政府資金	2,178,296				
歳出合計	4,126,741	100.0	4.3	410,046	3,292,040		物件等購入					
公営の事業等 (千円)	下水道事業	1,181				保証・補償 その他	保証・補償					
	下水道事業 (農集排含む)	275,000					その他	175,224				
	国民健康保険事業会計	57,273					収益事業収入					
	老人保健医療事業会計	8,558					土地開発基金現在高	337,817				
	介護保険事業会計	106,995				徴収率 (%)	市町村民税	98.1				
	後期高齢者医療事業会計	101,618					純固定資産税	95.3				
	基金、その他	1,643					町税全体	95.5				
合計	552,268											

※正式なものとは数値確定後に総務省にて公表

5. 平成 20 年度重点施策の成果・概要

未来を拓く小布施の子育て～待機児童ゼロへの取り組み～

休日保育・病後児保育・幼稚園での預かり保育の実施や延長保育の時間延長を行い“待機児童ゼロ”へ向けた取り組みを進めました。また、福祉医療費の給付範囲を小学校卒業まで拡大するなど、各部門にわたり安心して子育てができる環境づくりに取り組みました。

- ⇒ 3. 1. 1 福祉医療費給付事業 P65
3. 2. 1 子ども教室放課後児童クラブ事業費 P91
3. 2. 3 特別保育事業 P94
4. 1. 1 妊婦一般健康診査費 P102
9. 5. 13 子ども教室推進事業費 P189 ほか



顔が見える福祉の推進～少子高齢化を支える地域の底力～

小さな町ならではの「顔が見える福祉」を進めるため、ボランティアの皆さんと一緒に、それぞれの年代や段階に応じた介護予防事業や独自のメタボリックシンドローム解消策に取り組みました。

- ⇒ 4. 1. 2 健康リレー講座事業費 P105
4. 1. 2 基本健康診査事業費 P106 ほか

カントリーウォークの推進～新たな魅力の再発見～

神社、仏閣、田園風景、里道、オープンガーデン…。健康づくりを通じて“まち”を歩き中心部にはない小布施の魅力を感じていただくため、カントリーマップの作成やカントリーウォークなどのイベントを開催しました。

- ⇒ 6. 1. 3 観光案内事業費 P139
6. 1. 3 アートウォーク事業費 P141 ほか



みんなでつくる新しい図書館（交流センター）の建設へ

50人を超える町民の皆さんによる「図書館建設運営委員会」で意見を交わし、長年の夢であった新図書館（交流センター）の建設に着手しました。

⇒ 9.4.4 図書館整備事業費 P177



町民会議「小布施まちづくり委員会」の設立～パートナーシップ協定の締結～

協働のまちづくりを進めるための町民会議「小布施まちづくり委員会」が設立されました。
行政から独立・対等の立場でまちづくりを進めていくためパートナーシップ協定を締結し活動をスタートさせました。

⇒ 2.1.6 (仮称) 町民会議運営費 P51

小布施ブランド戦略～小布施らしさをブランドに～

リンゴやぶどうといった主力作物の差別化戦略、付加価値の高い加工品の開発・販売、市場ニーズを捉えた新規作物の産地化への取り組み、全国の都市との相互交流を通じて販路開拓など「小布施ブランド」の確立に向けた事業の展開を図りました。

⇒ 5.1.3 新「小布施ブランド」戦略事業費 P124

5.1.3 都市農村交流事業費 P125

5.1.3 緑のかけ橋まつり事業費 P128 ほか



景観と調和した工場の集団化～住工混在の解消～

住宅と工場の混在の解消、企業環境の利便性と快適性の確保と生産性の向上のため、工業の集団化に向けて調査研究を行いました。

⇒ 6.1.2 工場集団化推進事業費 P137

中心市街地の活性化～向けて～産学官民の研究～

さらなる賑わいと交流の創出のため、中心市街地の活性化策を地域住民の皆さん、商工会など各種団体の皆さんと研究を行いました。

⇒ 6.1.2 商店街等活性化事業費 P135

6.1.2 中心市街地活性化計画推進費 P137 ほか

森の駐車場オープン～憩いと交流の新たな空間～

平成 18 年度から整備を進めてきた「森の駐車場」がオープンしました。9 月には「信州おぶせ緑のかけ橋まつり」のメイン会場となるなど、新たな賑わいと交流の拠点として活用されています。

⇒ 6.1.3 森の駐車場管理費 P143

7.4.2 森の駐車場整備事業費 P156



まちに大学を、まちを大学に～産学官民協働のまちづくり、4年目の進化形～

従来の東京理科大・まちづくり研究所との協働研究に加え、「まちに大学を、まちを大学に」をキーワードに、小布施のまちづくりを町民の皆さんと一緒に考える「まちづくり大学」を開校し、新たな協働研究に取り組みました。

⇒ 7.5.1 まちづくり総務費 P159 ほか

心を育む「食育」の推進～食を通じた心豊かで健康な小布施人の暮らし～

平成 18 年度に策定した「小布施町食育推進計画」に基づき、多面的に食育事業を展開しました。

- ⇒ 3.2.3 保育園管理費 P92
4.1.2 食育推進事業費 P112
9.2.1 小学校管理費 P170
9.3.1 中学校管理費 P172
9.4.1 幼稚園管理費 P173 ほか



ともに支えあう地域の安全～防災機能の強化～

一般木造住宅の耐震診断や補強工事の補助や地域防災計画の見直しなどを行い、防災意識の高揚と地域防災力の強化を図りました。

- ⇒ 2.1.9 防災対策費 P55
2.1.9 住宅・建築物耐震改修等事業費 P56 ほか



6. 会計別決算概要

I 一般会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度の町財政は、町税、地方交付税の一般財源収入が前年と比べほぼ横ばいでありましたが、町民の皆さんの念願でありました新図書館（交流センター）の建設に伴い積立基金からの繰入を行ったことや、国の経済対策による交付金などがあり収入が増え、収入総額は 46 億 9,073 万 4 千円となり、前年より 4 億 4,581 万 7 千円（10.5%）の増となりました。

歳出総額は図書館建設や経済対策のため事業の前倒しを積極的に行った結果、41 億 2,690 万円、前年より 1 億 7,038 万円（4.3%）の増、歳入から歳出を差し引いた形式収支額は 5 億 6,383 万 4 千円で、翌年度に繰り越すべき財源 2 億 3,043 万 4 千円を控除した実質収支額は 3 億 3,340 万円となりました。前年度と比較すると、9,756 万 8 千円の増となりました。

2 収支状況

(1) 形式収支

歳入決算額と歳出決算額の差、すなわち形式収支は、5 億 6,383 万 4 千円の黒字（前年度 2 億 8,839 万 7 千円の黒字）となりました。

(2) 実質収支

形式収支から平成 21 年度への繰越事業に充当すべき財源 2 億 3,043 万 4 千円を差し引いた額、すなわち実質収支（剰余金）は、3 億 3,340 万円の黒字（前年度 2 億 3,583 万 2 千円の黒字）となりました。

(3) 単年度収支

実質収支には、平成 19 年度からの剰余金が含まれているので、これを差し引いた平成 20 年度だけの収支、すなわち単年度収支は 9,756 万 8 千円の黒字（前年度 4,692 万 9 千円の赤字）となりました。

(4) 実質単年度収支

一般会計の年度間調整の役割を持つ財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還金を黒字要因とみなし、財政調整基金の取崩額を赤字要因とみなして単年度収支に加えた額、すなわち実質単年度収支は、1 億 9,121 万 6 千円の黒字（前年度 8,953 万円の黒字）となりました。

3 歳入

(1) 町税

町税収入は、11億4,684万3千円で、対前年度比0.8%（911万7千円）の増になりました。法人町民税、町たばこ税が減となりましたが、個人町民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税が増となっています。

(2) 地方交付税

地方交付税収入は、16億6,228万8千円で対前年度比0.6%（1,026万7千円）の減となりました。これは、普通交付税に算入される頑張る地方応援プログラム分の減などによるものです。

(3) 国庫支出金

国庫支出金は2億5,212万4千円で、対前年度比24.5%（4,968万4千円）の増となりました。これは、国の経済対策による交付金と農山漁村活性化プロジェクト交付金の増によるものです。

(4) 県支出金

県支出金は1億7,151万1千円で、対前年度比7.1%（1,137万1千円）の増になりました。これは、後期高齢者医療保険基盤安定負担金の増などによるものです。

(5) 町債

町債の発行額は、2億974万8千円で、対前年度比1.0%（212万9千円）の減となりました。

(6) その他

各種基金からの繰入金は、対前年度比830.9%（3億2,844万4千円）増の3億6,797万1千円となり、前年度からの繰越金は、対前年度比1.3%（391万6千円）減の2億8,839万7千円となりました。

4 歳出

(1) 目的別経費

一般会計の増減の大きいものを目的別で見ると、農林水産業費が5,795万5千円の増、教育費が5,229万5千円の増となりました。一方、公債費は4,996万4千円の減となりました。

(2) 性質別経費

一般会計の歳出で増減の大きいものを性質別に見ると、図書館（交流センター）や国の経済対策に合わせた事業の前倒しにより、普通建設事業費が1億8,248万1千円の増となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

一般会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,146,843	24.4%	1,137,726	26.8%	9,117	0.8%
個人町民税	491,908	10.5%	489,565	11.5%	2,343	0.5%
法人町民税	37,989	0.8%	46,510	1.1%	△ 8,521	△ 18.3%
固定資産税	540,115	11.5%	524,327	12.4%	15,788	3.0%
軽自動車税	27,910	0.6%	27,353	0.6%	557	2.0%
町たばこ税	45,330	1.0%	48,259	1.1%	△ 2,929	△ 6.1%
入 湯 税	3,591	0.1%	1,712	0.0%	1,879	109.8%
地方譲与税	66,681	1.4%	68,616	1.6%	△ 1,935	△ 2.8%
利子割交付金	5,990	0.1%	5,945	0.1%	45	0.8%
配当割交付金	1,725	0.0%	4,562	0.1%	△ 2,837	△ 62.2%
株式等譲渡所得割交付金	635	0.0%	2,689	0.1%	△ 2,054	△ 76.4%
地方消費税交付金	91,800	2.0%	96,543	2.3%	△ 4,743	△ 4.9%
自動車取得税交付金	24,902	0.5%	27,594	0.7%	△ 2,692	△ 9.8%
地方特例交付金	12,905	0.3%	7,189	0.2%	5,716	79.5%
地方交付税	1,662,288	35.4%	1,672,555	39.4%	△ 10,267	△ 0.6%
交通安全対策特別交付金	1,738	0.0%	1,838	0.0%	△ 100	△ 5.4%
分担金及び負担金	80,096	1.7%	82,051	1.9%	△ 1,955	△ 2.4%
使用料及び手数料	81,174	1.7%	76,547	1.8%	4,627	6.0%
国庫支出金	252,124	5.4%	202,440	4.8%	49,684	24.5%
県支出金	171,511	3.7%	160,140	3.8%	11,371	7.1%
財産収入	12,599	0.3%	9,041	0.2%	3,558	39.4%
寄 付 金	4,167	0.1%	1,750	0.0%	2,417	138.1%
繰 入 金	367,971	7.8%	39,527	0.9%	328,444	830.9%
繰 越 金	288,397	6.1%	292,313	6.9%	△ 3,916	△ 1.3%
諸 収 入	207,440	4.4%	143,974	3.4%	63,466	44.1%
町 債	209,748	4.5%	211,877	5.0%	△ 2,129	△ 1.0%
うち臨時財政対策債	152,648	3.3%	162,977	3.8%	△ 10,329	△ 6.3%
合 計	4,690,734	100.0%	4,244,917	100.0%	445,817	10.5%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	67,573	1.6%	67,119	1.7%	454	0.7%
総 務 費	555,982	13.5%	517,097	13.1%	38,885	7.5%
民 生 費	902,868	21.9%	852,807	21.6%	50,061	5.9%
衛 生 費	221,694	5.4%	217,121	5.5%	4,573	2.1%
農林水産業費	260,511	6.3%	202,556	5.1%	57,955	28.6%
商 工 費	54,646	1.3%	45,712	1.2%	8,934	19.5%
土 木 費	570,855	13.8%	574,777	14.5%	△ 3,922	△ 0.7%
消 防 費	201,765	4.9%	190,656	4.8%	11,109	5.8%
教 育 費	576,567	14.0%	524,272	13.3%	52,295	10.0%
公 債 費	714,439	17.3%	764,403	19.3%	△ 49,964	△ 6.5%
災害復旧費	—	—	—	—	—	—
合 計	4,126,900	100.0%	3,956,520	100.0%	170,380	4.3%

歳入歳出差引額	563,834	288,397
(うち繰越明許費繰越額)	(230,434)	(52,565)

款項目	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績
1	町税	1,146,842,852	

当初予算額 1,151,922,000 円 最終予算額 1,151,922,000 円 決算額 1,146,842,852 円

(1) 主な収入の内訳

- ・ 個人町民税 4億9,191 万円
- ・ 固定資産税 5億4,011 万円

(2) 活動指標

- ・ 町税の状況

1) 町税決算額の推移

(単位：万円)

税目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
町個人税人	均等割	1,224	1,382	1,624	1,680	1,739
	所得割	31,695	32,185	35,106	47,277	47,452
	計	32,919	33,567	36,730	48,957	49,191
町法人税人	均等割	1,749	1,785	1,813	1,840	1,897
	法人税割	1,833	2,144	1,779	2,811	1,902
	計	3,582	3,929	3,592	4,651	3,799
固定資産税		51,904	53,202	51,742	52,433	54,011
軽自動車税		2,518	2,603	2,673	2,735	2,791
町たばこ税		4,943	4,700	4,876	4,826	4,533
入湯税		71	51	51	171	359
合計		95,937	98,052	99,664	113,773	114,684

2) 個人町民税課税状況(現年課税分)

(単位：万円)

区分	普通徴収		特別徴収		計		構成比(%)
	納税義務者数(人)	税額	納税義務者数(人)	税額	納税義務者数(人)	税額	
均等割	3,386	1,001	2,442	747	5,828	1,748	3.5
所得割	2,704	17,671	2,395	29,964	5,099	47,635	96.5
計(実人数)	3,417	18,672	2,472	30,711	5,889	49,383	100.0

※ 特別徴収義務者数 898事業所

所得状況(平成20年度課税状況調べより)

(単位：万円)

所得区分	所得額	人数(人)	1人当り所得額
給与	1,117,912	3,914	286
営業	67,874	203	334
農業	33,355	146	228
その他所得	124,314	705	176
譲渡等	9,062	41	221
計(実人数)	1,352,517	5,009	270

※ 1. 所得額は、町民税(所得割)が課せられた者の所得額です。

2. 人数は2以上の所得を有する場合いずれか多い所得に算入しました。

3) 法人町民税課税状況（現年課税分）

（単位：万円）

区 分	法人数(社)	税 額	構 成 比 (%)
均 等 割	247	1,910	50.1
法 人 税 割	70	1,902	49.9
計 (実法人数)	247	3,812	100.0

法人数の内訳

1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	計
192	2	35	2	7	1	8	-	-	247

○地方税法の改正により、法人号数の変更がありました。

4) 固定資産税の課税状況等（現年課税分）

① 土地、家屋別課税の内容

・土 地（非課税除く）

（単位：万円）

地 目	総評価地積 (㎡)	筆 数 (筆)	総評価額	課税標準額
田	2,013,095	1,459	24,296	24,296
畑	6,207,005	11,031	642,628	144,602
宅 地	2,011,369	12,371	3,541,593	1,167,403
鉱 泉 地	3	1	130	130
山 林	1,008,522	454	2,011	2,011
原 野	291,201	160	221	221
雑 種 地	232,244	544	200,469	137,205
計	11,763,439	26,020	4,411,348	1,475,868

・家 屋（非課税除く）

（単位：㎡）

区 分	在 来 分		新 増 築 分		計	
	棟 数	床面積	棟 数	床面積	棟 数	床面積
木 造	6,897	643,216	56	6,354	6,953	649,570
非 木 造	1,859	248,937	7	1,674	1,866	250,611
計	8,756	892,153	63	8,028	8,819	900,181

② 課税状況

（単位：万円）

区 分	納税義務者数 (人)	固定資産税額 (賦課決定)
土 地	3,391	20,723
家 屋	3,623	27,186
償 却 資 産	147	6,270
合 計 (実人数)	4,544	54,179

③ 新增築分家屋評価状況

（単位：万円）

区 分	棟 数	床 面 積 (㎡)	総評価額	㎡当り単価
木 造	56	6,354	36,346	5.7
非 木 造	7	1,674	8,249	4.9
計	63	8,028	44,595	5.6

5) 国有資産等所在市町村交付金及び納付金1件 22.7 万円

6) 軽自動車税の車種別台数推移 (単位：台)

車 種		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
原動機付自転車	50cc以下	827	797	752	721	
	90cc以下	81	78	71	67	
	125cc以下	23	25	22	22	
	ミニカー	11	12	11	10	
軽自動車	二輪小型 (250以下)	129	134	139	132	
	四輪貨物	営業用	10	10	11	16
		自家用	2,035	2,013	2,004	2,009
	四輪乗用	自家用	1,985	2,099	2,213	2,281
	ボートトレーラー				1	
小型特殊自動車	農 耕 用	1,003	1,008	999	990	
	そ の 他	33	33	36	36	
二輪小型 (250cc超)		142	135	135	129	
合 計		6,279	6,344	6,393	6,414	
調定額 (万円)		2,609	2,680	2,752	2,796	

7) たばこ税の推移

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
消費本数 (千本)	16,071	16,126	14,894	13,948
調 定 額 (万円)	4,700	4,876	4,826	4,533
前年調定比 (%)	—	103.7	99.0	93.9

8) 入湯税の課税状況 (単位：万円)

特別徴収義務者数	税 率	入湯客数 (人)	税 額
2	日帰り 50円、宿泊 100円	43,611	221

9) 収入未済額の推移

(単位：万円)

税 目		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率	未収額	徴収率
町個 民 税人	現年課税額	102	99.7	122	99.6	142	99.6	527	98.9	370	99.2
	滞納繰越額	96	60.0	148	25.4	195	26.5	263	17.6	607	22.6
	計	198	99.4	270	99.2	337	99.1	790	98.4	977	98.0
町法 民 税人	現年課税額	0	100	13	99.7	17	99.5	10	99.8	18	99.5
	滞納繰越額	0	100	0	100	0	100	7	58.0	12	31.0
	計	0	100	13	99.7	17	99.5	17	99.6	30	99.2
資 固 産 税 定	現年課税額	698	98.7	798	98.5	793	98.5	1,056	98.0	690	98.7
	滞納繰越額	679	39.1	960	30.3	895	49.1	1,394	17.4	1,951	20.4
	交付金等	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
	計	1,377	97.4	1,758	96.8	1,688	96.8	2,450	95.5	2,641	95.3
軽 自 動 車 税	現年課税額	13	99.5	11	99.6	11	99.6	22	99.2	19	99.3
	滞納繰越額	8	37.9	15	28.1	18	28.5	22	18.5	29	32.4
	計	21	99.2	26	99.0	29	98.9	44	98.3	48	98.3
町たばこ税		0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
入 湯 税	現年課税額	0	100	0	100	0	100	1,248	8.5	0	100
	滞納繰越額	623	0	623	0	623	0	569	8.8	1,679	7.6
	計	623	10.2	623	7.5	623	7.6	1,817	8.6	1,679	17.6
合 計		2,219		2,690		2,694		5,118		5,375	
合計徴収率		97.7%		97.3%		97.4%		95.7%		95.5%	

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
2	地方譲与税	66,681,000			
当初予算額 67,500,000円 最終予算額 67,500,000円 決算額 66,681,000円					
(1) 主な収入の内訳					
・自動車重量譲与税 5,046万円					
・地方道路譲与税 1,622万円					
(2) 活動指標					
・地方譲与税の状況 (単位：万円)					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
自動車重量譲与税	5,281	5,227	5,160	5,100	5,047
地方道路譲与税	1,887	1,825	1,776	1,762	1,622
所得譲与税	1,918	4,030	8,676	-	-
合計	9,086	11,082	15,612	6,862	6,669
※ 国に納めた税金のうちから、特別の理由により町が譲り受けるもの 自動車重量譲与税 … 国に納めた自動車重量税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理に要する経費などに充てます。 地方道路譲与税 … ガソリンなどの購入時に国に納めた地方道路税の一部を譲り受けるものです。 所得譲与税 … 児童手当に充てるための経費などの国からの補助金が、減額や廃止になったものの代わりとして、所得税の一部を譲り受けるものです。税制改正までの一時的なもので、平成18年度で終了しました。					
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
3	利子割交付金	5,990,000			
当初予算額 8,000,000円 最終予算額 8,000,000円 決算額 5,990,000円					
(1) 主な収入の内訳					
・利子割交付金 599万円					
(2) 活動指標					
・利子割交付金の状況 (単位：万円)					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利子割交付金	1,221	737	447	595	599
※ 預金利子などの収入があったときに納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。					
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
4	配当割交付金	1,725,000			
当初予算額 6,000,000円 最終予算額 6,000,000円 決算額 1,725,000円					
(1) 主な収入の内訳					
・配当割交付金 173万円					
(2) 活動指標					
・配当割交付金の状況 (単位：万円)					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
配当割交付金	143	231	416	456	173
※ 株式の配当があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。					

款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績			
5	株式等譲渡所得割交付金	635,000				
当初予算額 3,000,000 円 最終予算額 3,000,000 円 決算額 635,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 株式等譲渡所得割交付金 64 万円						
(2) 活動指標						
・ 株式等譲与取得割交付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
株式等譲渡所得割交付金		167	384	315	269	64
※ 株式などの譲渡所得があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。						
款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績			
6	地方消費税交付金	91,800,000				
当初予算額 92,000,000 円 最終予算額 92,000,000 円 決算額 91,800,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 地方消費税交付金 9,180 万円						
(2) 活動指標						
・ 地方消費税交付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
地方消費税交付金		10,697	9,738	9,711	9,653	9,180
※ 5%の消費税のうち、地方分の1%の一部を譲り受けるものです。						
款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績			
7	自動車取得税交付金	24,902,000				
当初予算額 27,000,000 円 最終予算額 27,000,000 円 決算額 24,902,000 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 自動車取得税交付金 2,490 万円						
(2) 活動指標						
・ 自動車取得税交付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
自動車取得税交付金		3,142	2,938	2,992	2,759	2,490
※ 自動車を取得したときに納めていただく県税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理などに要する経費に充てます。						

款	項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
8		地方特例交付金	12,905,000				
		当初予算額	10,000,000円	最終予算額	12,905,000円	決算額	12,905,000円
(1) 主な収入の内訳							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方特例交付金 547万円 ・ 特別交付金 178万円 ・ 減収補てん特例交付金 460万円 ・ 地方税等減収補てん臨時交付金 106万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方特例交付金の状況 (単位：万円) 							
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
地方特例交付金		3,921	3,485	2,611	541	547	
特別交付金		-	-	-	178	178	
減収補てん特例交付金		-	-	-	-	460	
地方税等減収補てん臨時交付金		-	-	-	-	106	
合 計		3,921	3,485	2,611	719	1,291	
<p>※ 国の政策により町に納めていただく町民税が減税されているので、町の収入が減った分を国が補てんするものと、児童手当の支給要件が変更になったため、その経費に充てるためのお金として交付されます。減収を補てんする部分については定率減税の廃止によりなくなりましたが、平成21年度までは特例として交付金が交付されます。また、道路特定財源の暫定税率の失効期間中（平成20年4月分）における減収を全額補てんするものです。</p>							

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
9	地方交付税	1,662,288,000					
当初予算額 1,520,000,000円 最終予算額 1,546,050,000円 決算額 1,662,288,000円							
(1) 主な収入の内訳							
<ul style="list-style-type: none"> 普通交付税 15億4,605万円 特別交付税 1億1,624万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税等の状況 (単位：千円) 							
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
A	基準財政需要額(算定額)	2,761,003	2,745,596	2,743,406	2,763,166	2,766,212	
B	臨時財政対策債発行可能額	253,165	196,350	179,637	162,977	152,648	
C	錯誤措置額(※1)	7	-	-	5	-	
D	基準財政需要額	A+B+C	2,507,845	2,549,246	2,563,769	2,600,194	2,613,564
E	基準財政収入額(算定額)	969,708	973,753	1,024,954	1,041,951	1,066,368	
F	錯誤措置額(※1)	△ 496	-	-	△ 1,426	-	
G	基準財政収入額	E+F	969,212	973,753	1,024,954	1,040,525	1,066,368
H	普通交付税交付基準額	D-G	1,538,633	1,575,493	1,538,815	1,559,669	1,547,196
I	調整額(※2)				4,447	1,146	
J	普通交付税決定額	H-I	1,538,633	1,575,493	1,538,815	1,555,222	1,546,050
K	(普通交付税+臨財債発行額)	J+B	1,791,798	1,771,843	1,718,452	1,718,199	1,698,698
L	特別交付税		81,512	76,564	92,966	117,333	116,238
M	地方交付税相当額	K+L	1,873,310	1,848,407	1,811,418	1,835,532	1,814,936
N	地方特例交付金		39,213	34,854	26,108	7,189	12,905
O	減税補てん債発行額		13,500	13,300	9,100	-	-
P	財政力指数(3カ年平均)		0.371	0.379	0.390	0.394	0.403
※1 地方交付税法第17条の3第2項等に基づき3年に一度行われる地方交付税等検査による修正額							
※2 普通交付税の算定上、各地方団体の財源不足額の合算額が普通交付税の総額を超える場合、財源不足額の合算額を普通交付税の総額にあわせるために減額した額							
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績				
10	交通安全対策特別交付金	1,738,000					
当初予算額 1,600,000円 最終予算額 1,600,000円 決算額 1,738,000円							
(1) 主な収入の内訳							
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策特別交付金 174万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策特別交付金の状況 (単位：万円) 							
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
交通安全対策特別交付金		166	170	179	184	174	
※ 交通反則金が町に交付されるもので、交通安全施設の設置費などに要する経費に充てます。							

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績																																													
11	分担金及び負担金	80,095,931																																														
			当初予算額	85,023,000円	最終予算額	86,242,000円																																										
					決算額	80,095,931円																																										
(1) 主な収入の内訳																																																
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料負担金 5,857万円 ・ 高齢者施設入所負担金 252万円 ・ 後期高齢者医療広域連合負担金 92万円 ・ 農業費負担金 421万円 ・ 教育費負担金 1,388万円 																																																
(2) 活動指標																																																
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分担金及び負担金の状況 (単位：万円) 																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生費負担金</td> <td>6,597</td> <td>7,428</td> <td>6,862</td> <td>6,706</td> <td>6,109</td> </tr> <tr> <td>衛生費負担金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>民生費負担金</td> <td>4,750</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td>観光費負担金</td> <td>191</td> <td>133</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>教育費負担金</td> <td>1,820</td> <td>1,819</td> <td>1,358</td> <td>1,500</td> <td>1,388</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13,358</td> <td>9,380</td> <td>8,220</td> <td>8,206</td> <td>8,010</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	民生費負担金	6,597	7,428	6,862	6,706	6,109	衛生費負担金	-	-	-	-	92	民生費負担金	4,750	-	-	-	421	観光費負担金	191	133	-	-	-	教育費負担金	1,820	1,819	1,358	1,500	1,388	合 計	13,358	9,380	8,220	8,206	8,010
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																																											
民生費負担金	6,597	7,428	6,862	6,706	6,109																																											
衛生費負担金	-	-	-	-	92																																											
民生費負担金	4,750	-	-	-	421																																											
観光費負担金	191	133	-	-	-																																											
教育費負担金	1,820	1,819	1,358	1,500	1,388																																											
合 計	13,358	9,380	8,220	8,206	8,010																																											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育料負担金の状況 (単位：万円・%) 																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調 定</td> <td>7,301</td> <td>6,752</td> <td>6,657</td> <td>6,657</td> <td>6,104</td> </tr> <tr> <td>収 入</td> <td>7,140</td> <td>6,578</td> <td>6,442</td> <td>6,442</td> <td>5,856</td> </tr> <tr> <td>徴 収 率</td> <td>97.8</td> <td>97.4</td> <td>96.8</td> <td>96.8</td> <td>95.9</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	調 定	7,301	6,752	6,657	6,657	6,104	収 入	7,140	6,578	6,442	6,442	5,856	徴 収 率	97.8	97.4	96.8	96.8	95.9																		
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																																											
調 定	7,301	6,752	6,657	6,657	6,104																																											
収 入	7,140	6,578	6,442	6,442	5,856																																											
徴 収 率	97.8	97.4	96.8	96.8	95.9																																											
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育費負担金（幼稚園入園料、授業料）の状況 (単位：万円・%) 																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調 定</td> <td>1,691</td> <td>1,368</td> <td>1,508</td> <td>1,508</td> <td>1,392</td> </tr> <tr> <td>収 入</td> <td>1,691</td> <td>1,358</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,388</td> </tr> <tr> <td>徴 収 率</td> <td>100.0</td> <td>99.3</td> <td>99.5</td> <td>99.5</td> <td>99.7</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	調 定	1,691	1,368	1,508	1,508	1,392	収 入	1,691	1,358	1,500	1,500	1,388	徴 収 率	100.0	99.3	99.5	99.5	99.7																		
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																																											
調 定	1,691	1,368	1,508	1,508	1,392																																											
収 入	1,691	1,358	1,500	1,500	1,388																																											
徴 収 率	100.0	99.3	99.5	99.5	99.7																																											

款	項	目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績					
12			使用料及び手数料	81,173,753						
					当初予算額	103,740,000 円	最終予算額	103,740,000 円	決算額	81,173,753 円
(1) 主な収入の内訳										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育使用料 3,663 万円 ・ 公営住宅使用料 1,868 万円 ・ 戸籍手数料 233 万円 										
(2) 活動指標										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料及び手数料の状況 (単位：万円) 										
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
民生使用料		349	348	233	160	119				
農業使用料		122	147	147	147	147				
観光使用料		777	764	794	516	627				
土木使用料		2,115	2,509	2,580	2,455	2,412				
教育使用料		4,868	4,868	4,629	3,676	4,143				
総務手数料		624	647	604	624	593				
衛生手数料		74	74	73	75	72				
農林水産業手数料		2	1	2	1	1				
土木使用料		3	3	4	2	3				
合 計		8,934	9,361	9,066	7,656	8,117				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 公営住宅使用料（町営住宅駐車場使用料含む）の状況 (単位：万円・%) 										
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
調 定		1,784	1,991	2,117	2,094	2,165				
収 入		1,717	1,882	1,957	1,843	1,868				
徴 収 率		96.2	94.5	92.4	88.0	86.3				

款	項	目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績					
13			国庫支出金	252,124,110						
当初予算額					290,719,000円	最終予算額		617,867,000円	決算額	252,124,110円
(1) 主な収入の内訳										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者自立支援給付費負担金 7,217万円 ・ 地方道路交付金 4,161万円 ・ まちづくり交付金 3,088万円 										
(2) 活動指標										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国庫支出金の状況 (単位：万円) 										
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
民生費国庫負担金		4,744	4,539	6,449	10,260	11,147				
衛生費国庫負担金		503	422	360	352	-				
保険基盤安定国庫負担金		1,744	392	368	375	299				
災害復旧国庫負担金		219	-	6,220	-	-				
総務費国庫補助金		-	-	-	-	3,649				
民生費国庫補助金		4,425	5,069	5,678	648	301				
農林水産業費国庫補助金		-	-	-	-	1,818				
土木費国庫補助金		3,053	2,592	8,955	7,697	7,639				
教育費国庫補助金		10,406	18	1,498	19	8				
災害復旧国庫補助金		1,085	2,210	501	-	-				
総務費委託金		523	539	17	538	14				
民生費委託金		379	359	344	355	337				
土木費委託金		598	-	1	-	-				
合 計		27,679	16,140	30,391	20,244	25,212				

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
14	県支出金	171,510,799			
当初予算額 184,930,000円 最終予算額 186,874,000円 決算額 171,510,799円					
(1) 主な収入の内訳					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者自立支援給付費負担金 3,471万円 ・ 保険基盤安定県負担金 3,401万円 ・ 徴税费委託金 2,856万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県支出金の状況 (単位：万円) 					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
民生費県負担金	1,621	1,589	3,753	5,468	5,844
衛生費県負担金	496	491	322	292	-
保険基盤安定県負担金	872	2,600	2,476	2,843	3,401
総務費県補助金	279	1,327	545	172	456
民生費県補助金	9,853	6,906	4,298	3,564	3,174
衛生費県補助金	252	194	200	-	76
農林水産業費県補助金	1,666	1,503	545	501	507
土木費県補助金	-	-	30	21	260
緊急地域雇用特別事業県補助金	776	-	-	-	-
教育費県補助金	52	38	30	158	177
総務費委託金	1,242	1,558	1,767	2,858	2,922
民生費委託金	121	86	85	96	110
農林水産業費委託金	44	40	46	41	36
土木費委託金	94	-	-	-	105
教育費委託金	-	-	-	-	83
合計	17,368	16,332	14,097	16,014	17,151

款	項	目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績	
15			財産収入	12,599,077		
当初予算額 56,795,000円 最終予算額 57,398,000円 決算額 12,599,077円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 利子及び配当金 506万円						
・ 土地建物貸付収入 362万円						
(2) 活動指標						
・ 財産収入の状況 (単位：万円)						
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
財産貸付収入		379	302	365	362	362
利子及び配当金		129	124	73	542	506
不動産売払収入		5,107	1,500	6	-	305
物品売払収入		-	-	-	-	87
合 計		5,615	1,926	444	904	1,260
款	項	目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績	
16			寄付金	4,166,775		
当初予算額 1,707,000円 最終予算額 3,951,000円 決算額 4,166,775円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 一般寄付金（ふるさと納税） 202万円						
・ 水路事業寄付金 197万円						
(2) 活動指標						
・ 寄付金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一般寄付金		17	-	305	-	202
民生費寄付金		25	4	11	82	-
土木費寄付金		505	202	67	84	197
消防費寄付金		15	19	11	7	17
教育費寄付金		10	110	7	2	1
合 計		572	335	401	175	417

款項目	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績			
17	繰入金	367,970,646				
当初予算額 340,389,000 円 最終予算額 368,477,000 円 決算額 367,970,646 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 繰入金			3億6,797 万円			
(2) 活動指標						
・ 繰入金の状況			(単位：万円)			
	区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	老人保健特別会計繰入金	1,130	-	3,236	-	1,066
	後期高齢者医療特別会計繰入金	-	-	-	-	-
	介護保険特別会計繰入金	-	-	-	-	-
	霊園事業特別会計繰入金	180	180	-	-	-
	財政調整基金繰入金	-	-	-	-	4,742
	減債基金繰入金	10,000	-	-	1,553	1,882
	図書館建設基金繰入金	-	-	-	-	26,607
	土地開発基金繰入金	2,500	3,442	3,000	1,900	2,000
	社会福祉積立基金繰入金	-	-	10,000	-	-
	公営住宅建設基金繰入金	1,344	-	-	-	-
	教育文化施設資金積立基金繰入金	-	-	-	-	-
	芸術文化振興基金繰入金	-	-	3,900	500	500
	合 計	15,154	3,622	20,136	3,953	36,797
款項目	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績			
18	繰越金	288,397,027				
当初予算額 35,000,000 円 最終予算額 288,397,000 円 決算額 288,397,027 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 繰越金			2億8,840 万円 (うち5,257万円は繰越明許費繰越財源分)			
(2) 活動指標						
・ 繰越金の状況			(単位：万円)			
	区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	繰越金	12,136	11,987	15,070	29,231	28,840

款項目	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績		
19	諸収入	207,440,714			
当初予算額 192,475,000円 最終予算額 188,672,000円 決算額 207,440,714円					
(1) 主な収入の内訳					
・ 貸付金元利収入 4,399万円					
・ 雑入 7,184万円					
(2) 活動指標					
・ 諸収入の状況 (単位：万円)					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
延滞金	57	8	26	34	60
町預金利子	7	12	49	232	208
貸付金元利収入	2,217	1,899	2,459	2,707	4,399
弁償金	-	-	-	1	-
過年度収入	-	-	-	-	-
雑入	15,515	12,217	12,043	11,424	16,077
合計	17,796	14,136	14,577	14,398	20,744
款項目	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績		
20	町債	209,748,000			
当初予算額 222,200,000円 最終予算額 276,148,000円 決算額 209,748,000円					
(1) 主な収入の内訳 (単位：万円)					
起債名	借入額	年利率	償還(据置)期間	交付税算入率	資金区分
臨時地方道整備事業債	2,470	1.12%	10(3)年	30%	長野信用金庫
まちづくり交付金事業債	440	1.10%	10(3)年	10%	須高農業協同組合
市町村振興資金	2,800	1.00%	10(2)年	-	長野県
臨時財政対策債	8,344	1.40%	20(3)年	100%	財政融資資金
	6,921	1.14%	20(3)年	100%	長野信用金庫
合計	20,975				
(2) 活動指標					
・ 町債の年度別借入の状況 (単位：万円)					
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総務債	14,350	1,330	910	-	-
民生債	-	-	-	-	-
衛生債	8,200	18,800	3,000	-	-
農林水産債	-	-	-	-	1,100
商工債	-	-	-	-	-
土木債	3,200	3,800	6,480	4,680	4,610
教育債	7,620	-	3,940	-	-
消防債	250	300	-	210	-
臨時財政対策債	25,310	19,630	17,960	16,298	15,265
災害復旧債	180	30	3,130	-	-
合計	59,110	43,890	35,420	21,188	20,975

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績					
1			議会費	67,572,953	決算事項別明細書 P37～					
	1		議会費	67,572,953						
		1	議会費	67,572,953						
議会の運営(議会事務局)					予算事業名：議会運営費					
当初予算額 1,948,000 円 最終予算額 1,948,000 円					決算額 1,085,939 円					
<p>定例会を年4回(6、9、12、3月)、臨時会を1回(2月)開催しました。定例会会期は約2週間で本会議や委員会等を開催しました。平成19年に設置した議会活性化特別委員会は、平成21年3月に調査を終え、議会に報告しました。</p>										
(1) 主な支出										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員報酬 3,040 万円 ・ 議員期末手当 1,170 万円 ・ 議会会議録筆耕料 34 万円 ・ 議会共済会負担金 494 万円 										
(2) 活動指標										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本会議 <ul style="list-style-type: none"> 定例会 4回 6月定例会 会期：6月9日～6月19日 9月定例会 会期：9月8日～9月25日 12月定例会 会期：12月1日～12月11日 3月定例会 会期：3月2日～3月18日 臨時会 1回 2月臨時会 会期：2月12日 										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会、その他の主な会議の実施 (単位：回) 										
			総務産業	社会文教	議会運営	決 算	予 算	議会全協	議会だより	議会活性化
4月								1	3	1
5月								1		
6月	1	1	1					2	1	1
7月								1	2	2
8月								1		2
9月	2	2	1	3				2	1	1
10月			2					1	3	2
11月			2					1	1	2
12月	1	1	1					2	3	1
1月			1					1	1	1
2月	1		2					2		2
3月	1	1	2	6				3	2	2
合計	6	5	12	3	6	18	17	17		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 議決件数 (単位：件) 										
区 分	提出件数	原案可決	否 決	認 定	承 認	同 意	適 任			
条 例	18	18								
予 算	28	28								
決 算	9			9						
専決処分	6				6					
意見書及び発議	2	2								
そ の 他	21	16				5				
合 計	84	64		9	6	5				

- ・ 請願、陳情等審議
 請 願 5件 (採択5件)
 陳 情 12件 (採択9件 不採択3件)

・ 一般質問 (単位：人)

	6月	9月	12月	3月	合計
質問者数	11	12	10	11	44

・ 議傍聴者数 (単位：人)

	6月	9月	12月	2月	3月	合計
議傍聴者数	33	17	12	6	122	190

(3) 成果指標

- ・ 議会のお知らせを町内数個所に掲示したことなどにより、議会について関心が高まり、小学生授業の一環の傍聴を含め、傍聴者が多くなりました。

議会傍聴者数の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
議傍聴者数	70	64	119	130	190

議会だよりの発行(議会事務局)

予算事業名：議会報発行事業費

当初予算額 943,000 円 最終予算額 943,000 円 決算額 717,690 円

「議会だより」を年4回(4月、7月、11月、1月)町内全戸に配布しました。定例会、臨時会での審議内容についてお知らせしました。

(1) 主な支出

- ・ 議会だより印刷 67 万円

(2) 活動指標

- ・ 年4回発行(議会開催月の翌月)
 - ・ 無償配布(団体) 4団体
 - ・ 無償配布(個人) 27件
 - ・ 町民全戸配布
- 3,550部印刷/回

(3) 成果指標

- ・ 議会での常任委員会の審議、一般質問の内容などについて広く町民の皆さんに知らせることができました。

議員視察研修の実施(議会事務局)

予算事業名：議員研修費

当初予算額 842,000 円 最終予算額 842,000 円 決算額 782,535 円

行財政の運営、教育行政、健康福祉、環境対策、地域活性化、活力あるまちづくり等をテーマに、各常任委員会で先進地の視察を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 視察の旅費 78 万円

(2) 活動指標

- ・ 研修期日 7月15日～17日 (2泊3日) 参加者 議員13名、事務局2名
- ・ 視察先と研修内容
 - 香川県善通寺市
 - 善通寺市PCOI構想の概要、目的及び課題について
 - 香川県宇多津町
 - 2つの地域の魅力を生かしたまちづくりについて

徳島県上勝町

彩事業について

高知県馬路村

「ごっくん馬路村」の開発と目的及び産業興しとしての効果

高知県南国町

食育のまちづくりについて

(3) 成果指標

- ・ 今後の小布施町のまちづくり、政策等に活かすため、先進市町村を視察しました。研修したことを十分踏まえ一般質問を行うことができました。また、これからの政策立案にも役立てていきます。

議員人件費

予算事業名：議員人件費

当初予算額 47,036,000 円 最終予算額 47,036,000 円

決算額 47,034,860 円

(1) 主な支出

- ・ 議員人件費 4,703 万円

職員人件費(議会事務局)

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 19,188,000 円 最終予算額 18,148,000 円

決算額 17,951,929 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1,795 万円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																			
2			総務費	555,981,504																																																				
1			総務管理費	453,940,214																																																				
	1		一般管理費	222,499,309	決算事項別明細書 P37～																																																			
役場の共通経費（総務グループ） 予算事業名：一般行政管理費																																																								
当初予算額 25,346,000円 最終予算額 27,147,000円 決算額 26,056,774円																																																								
役場庁舎内で使用する消耗品や図書の購入、例規集の印刷、コピー機の使用料、郵便や電話料などです。																																																								
(1) 主な支出																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 例規集追録、システム使用料、書籍購入 427万円 ・ 郵便、宅配、コピー、電話料 1,165万円 ・ 臨時職員の賃金 493万円 ・ その他の経費 520万円 																																																								
(2) 活動指標																																																								
● 例規集追録と法規等の追録回数																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 例規集追録回数 2回（298頁×117冊、242頁×117冊） 																																																								
● 郵便、宅配、コピー、電話料 参考：前年度使用枚数																																																								
		<table border="1"> <tr> <td>コピー枚数</td> <td>白黒</td> <td>1,256,932枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>カラー</td> <td>88,771枚</td> </tr> </table>		コピー枚数	白黒	1,256,932枚		カラー	88,771枚	<table border="1"> <tr> <td>白黒</td> <td>855,536枚</td> </tr> <tr> <td>カラー</td> <td>94,008枚</td> </tr> </table>		白黒	855,536枚	カラー	94,008枚																																									
コピー枚数	白黒	1,256,932枚																																																						
	カラー	88,771枚																																																						
白黒	855,536枚																																																							
カラー	94,008枚																																																							
※輪転機処分及び業務量増加により白黒コピー枚数が増加した。																																																								
● 職員採用試験の実施																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員採用試験の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受験者数 <ul style="list-style-type: none"> 一般事務職の募集 19人受験 ・ 合格・採用者数 <ul style="list-style-type: none"> 一般事務職 1人採用 																																																								
(3) 成果指標																																																								
● 郵便、宅配、コピー、電話料																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コピー</td> <td>白黒</td> <td>271万円</td> <td>132万円</td> <td>154万円</td> <td>236万円</td> </tr> <tr> <td>カラー</td> <td>102万円</td> <td>131万円</td> <td>166万円</td> <td>149万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">郵便</td> <td>料金</td> <td>447万円</td> <td>456万円</td> <td>400万円</td> <td>480万円</td> </tr> <tr> <td>通数</td> <td>57,848通</td> <td>59,794通</td> <td>52,805通</td> <td>63,427通</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">メール便</td> <td>料金</td> <td>21万円</td> <td>33万円</td> <td>41万円</td> <td>51万円</td> </tr> <tr> <td>通数</td> <td>2,092通</td> <td>3,654通</td> <td>5,003通</td> <td>6,375通</td> </tr> <tr> <td>宅配</td> <td>料金</td> <td>33万円</td> <td>12万円</td> <td>22万円</td> <td>23万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員配達件数</td> <td>22,150件</td> <td>14,965件</td> <td>9,622件</td> <td>9,254件</td> </tr> </tbody> </table>				区 分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	コピー	白黒	271万円	132万円	154万円	236万円	カラー	102万円	131万円	166万円	149万円	郵便	料金	447万円	456万円	400万円	480万円	通数	57,848通	59,794通	52,805通	63,427通	メール便	料金	21万円	33万円	41万円	51万円	通数	2,092通	3,654通	5,003通	6,375通	宅配	料金	33万円	12万円	22万円	23万円	職員配達件数		22,150件	14,965件	9,622件	9,254件
区 分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																																																			
コピー	白黒	271万円	132万円	154万円	236万円																																																			
	カラー	102万円	131万円	166万円	149万円																																																			
郵便	料金	447万円	456万円	400万円	480万円																																																			
	通数	57,848通	59,794通	52,805通	63,427通																																																			
メール便	料金	21万円	33万円	41万円	51万円																																																			
	通数	2,092通	3,654通	5,003通	6,375通																																																			
宅配	料金	33万円	12万円	22万円	23万円																																																			
職員配達件数		22,150件	14,965件	9,622件	9,254件																																																			
※平成18年度よりコピー単価変更 白黒：4円→1.7円/1枚 カラー：40円→16円/1枚																																																								
※郵便・宅配料金は、役場全体分として算出。																																																								
※平成17年度からメール便を利用。																																																								
● 職員給与計算の委託、採用試験の実施																																																								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員数の推移 																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>採用</th> <th>職員数 (4月1日現在)</th> <th>退職</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成16年度</td> <td>1人</td> <td>101人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職	平成16年度	1人	101人	3人																																											
年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職																																																					
平成16年度	1人	101人	3人																																																					

平成17年度	2人	100人	9人
平成18年度	4人	95人	5人
平成19年度	3人	92人	5人
平成20年度	7人	95人	2人

(※平成19年度採用数は、年度途中採用の1人を含む)

・類似団体職員数の状況（平成20年4月1日現在）

類似団体区分（Ⅲ－0類型）

人口10,000人以上15,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次80%未満の団体（全国54団体）

団体名	普通会計 職員数	人口1万人 当たり職員数	人口1万人当 たりの職員が少 ない団体の順位	*参考 住基人口 (H20.3.31)
長野県高森町	80人	59.48人	1位	13,451人
長野県松川町	89人	62.59人	2位	14,220人
長野県小布施町	87人	74.81人	4位	11,630人
⋮				
愛媛県久万高原町	284人	261.44人	54位	10,864人

※類似団体：全国の地方公共団体を人口規模、産業構造の類似している団体ごとに分類したもの

基金(貯金)利子の積立て(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 59,000円 最終予算額 72,000円 決算額 72,000円

職員の退職特別措置と財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・職員の退職特別措置積立基金利子積立金 7万円

文化の日の表彰(総務グループ)

予算事業名：文化の日表彰事業費

当初予算額 288,000円 最終予算額 288,000円 決算額 234,544円

産業や地方自治の振興、福祉の増進、消防水防の向上などに貢献された方を11月3日の文化の日
に表彰しました。

(1) 主な支出

- ・記念品の贈呈 10万円
- ・昼食会 10万円

(2) 活動指標

- ・期日及び会場 11月3日 公民館講堂
- ・平成20年度受章者
 - 小出俊雄氏（産業の発展）
 - 丸山薫弘氏（産業の発展）
 - 黒崎紀彦氏（消防水防功労）
 - 樋田富子氏（保健衛生の向上）

(3) 活動指標の推移

- ・表彰者の累計（昭和56年度～平成20年度）
 - 産業の発展 34人
 - 地方自治功労 30人
 - 教育振興 30人
 - 文化の向上 7人、4団体
 - 社会福祉増進 8人
 - 消防・水防功労 9人

保健衛生向上 8人
 多年勤続 1人
 優れた善行 23人

・感謝状の累計（昭和56年度～平成19年度） 46人、6団体

町長の交際費(総務グループ)

予算事業名：町長交際費

当初予算額 1,300,000円 最終予算額 1,300,000円 決算額 1,119,265円

町長に案内のあった各種会議やイベント等の会費や祝儀などを支出しました。

(1) 主な支出

・祝儀、香典、会費 72万円
 ・御礼、土産（菓子・りんご等） 40万円

(2) 活動指標

・祝儀、御礼、香典、会費 202件
 ・土産用菓子等 127個

庁内LANの運用(行政改革グループ)

予算事業名：庁内LAN管理費

当初予算額 31,179,000円 最終予算額 31,179,000円 決算額 25,143,429円

窓口を含む全ての住民サービスを適切、安定的に実施するため、庁内LAN機器の運用に必要な管理を行いました。また、庁内LANの活用や情報セキュリティ対策を検討・実施しました。

(1) 主な支出

・プリンター等の消耗品費 151万円
 ・コンピューター機器の修繕費 111万円
 ・ネットワーク等の通信費 217万円
 ・システム使用料・リース料 950万円
 ・機器等保守管理委託料 409万円
 ・パソコン・プリンターの購入費 676万円

(2) 活動指標

・基幹系LANのインターネット接続開始 H20.6～
 ・インターネット接続機器（ファイアーウォール等）の運用開始 H20.6～
 ・グループウェアの更新 H21.3（リース期間 H21.3.1～H26.2.28）
 ・住民記録システム機器のリース（リース期間 平成21年3月31日まで）
 ・パソコンの購入 37台
 ・カラープリンターの購入 4台

(3) 活動指標の推移

・機器保有状況（平成21年3月現在）
 端末機（パソコン） 庁内LAN用：114台（職員1人に1台配置）
 （出先機関含） インターネットLAN用：11台
 LGWAN用：3台
 プリンタ（出先機関含） レーザープリンタ：18台
 カラーレーザープリンタ：5台

LGWANの運用(行政改革グループ)

予算事業名：LGWAN管理費

当初予算額 3,747,000円 最終予算額 3,747,000円 決算額 3,004,922円

長野県電子自治体協議会で、市町村が行う事務の電子化を推進するため、電子自治体推進組織の設置を進めました。

(1) 主な支出

- ・情報ブロードウェイながの利用負担金 63 万円
- ・電子申請・届出サービス負担金 31 万円
- ・機器等保守管理委託料 104 万円
- ・機器のリース 51 万円
- ・データセンターの利用料 50 万円

(2) 活動指標

- ・協議会総会 4/24、9/4、2/13開催
ワーキンググループ（電子入札・GIS・セキュリティ、文書管理システム、県WAN）、協議会のあり方、電子申請サービス、公的個人認証サービス、LGWAN、eL-TAXなどを協議
- ・同幹事会 4/17、8/28、2/13開催
- ・LGWANサービス設備共同化検討代表幹事会への参加
- ・電子自治推進組織の設置と協議会の解散

防犯活動の推進(総務グループ)

予算事業名：防犯活動費

当初予算額	589,000 円	最終予算額	589,000 円	決算額	569,686 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

防犯指導員会の運営

各種イベント時のパトロールや年末年始に防犯診断などを行い、町民の防犯意識の高揚を図りました。

小布施町防犯協会が中心となり、関係団体による青色回転灯を装備した車でパトロール（通称：青パト）を実施しました。

(1) 主な支出

- ・防犯指導員会交付金 14 万円
- ・防犯指導員活動保険料 1 万円

(2) 活動指標

- ・ゴールデンウィーク巡回 5/3～5 指導員理事 12人
- ・登校児童の見守り（小学校） 5/30 指導員理事 4人
- ・春の町内防犯巡回 6/29 防犯指導員 70人
- ・くりんこ祭り警戒 7/26 指導員理事 9人
- ・お盆防犯巡回 8/14～16 指導員理事 12人
- ・登校生徒の見守り（中学校） 8/21 指導員理事 4人
- ・秋の町内防犯巡回 10/19 防犯指導員 70人
- ・登校児童の見守り（小学校） 11/7 指導員理事 4人
- ・年末防犯診断 12/28～30 28自治会実施 防犯指導員 70人
- ・安市警戒 1/14～15 指導員理事 12人

(3) 成果指標

- ・防犯指導員のパトロール、啓発活動により犯罪発生を抑止力となり、刑法犯の発生を年々減少させてきましたが、平成20年度は増となってしまいました。

【刑法犯の須高地区発生状況】

(単位：件)

年度	小布施町	須坂市	高山村	不明	須高地区計
平成17年度	99	496	39	0	634
平成18年度	66	513	26	0	605
平成19年度	54	424	27	0	505
平成20年度	71	471	43	1	586

須高防犯協会の運営

須高地区の犯罪のない安全な地域づくりを目的に、須高3市町村と須坂警察署が連携を取り防犯活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・須高防犯協会連合会分担金 40万円

(2) 活動指標

- ・平成20年度定期総会開催 5/26 (須坂市古城荘)
- ・須高防犯チラシの隣組回覧 4回実施
- ・須高防犯協会表彰 表彰者(町関係) 小布施町商工会青年部(防犯功労団体)
久保田智子氏(防犯功労者)
- ・長野県防犯協会表彰 表彰者(町関係) 藤沢かおる氏(防犯功労者)
- ・関東防犯協会表彰 表彰者(町関係) 福田正一氏(防犯功労者)

犯罪発生の周知

町内で犯罪が発生した場合、すみやかに同報無線等を通じ町民の皆さんに周知し、注意をうながしました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・振り込め詐欺、悪質な訪問販売等に対し、随時放送を実施
- ・臨時放送回数 3回 振り込め詐欺関連 3件、悪質な訪問販売関連 0件

職員の研修(行政改革グループ)

予算事業名：職員研修費

当初予算額 4,279,000円

最終予算額 4,279,000円

決算額 4,259,262円

職員一人ひとりの政策形成能力や専門的分野における能力を高めるため、市町村職員研修センター等の職員研修や先進地研修に積極的に職員を派遣、議会や衛生組合などの視察研修への参加、講師を招いての庁内研修を行いました。また、組織の活性化や町民との協働に不可欠な「聴く力」の向上のため、「わもん」による研修を実施。職員の資質向上とスキルアップを図りました。

(1) 主な支出

- ・研修旅費 153万円
- ・研修負担金 33万円
- ・講師への謝礼 1万円
- ・職員研修委託料 239万円

(2) 活動指標

● 役場内研修(町民参加研修含)

- ・情報セキュリティポリシー研修 H20.6.12 56人
- ・新型インフルエンザ対策講習会 第1回 H20.11.12 参加者100人
第2回 H20.11.19 参加者 55人
- ・アナウンス研修会 参加者 12人 H21.1.26, H21.2.2の2回実施
- ・「聴く力」向上研修(わもん) 通年 全職員

● 役場外研修

① 長野県市町村職員研修センター

- ・新規採用職員研修(前・後期) 7人
- ・税務職員初任者研修 2人
- ・中堅行政職員研修 2人
- ・コーチング研修 1人
- ・係長研修 1人
- ・政策法務研修 2人
- ・財政事務研修 1人
- ・法制執務(基礎)研修 4人
- ・法制執務(応用)研修 2人
- ・住民税事務研修 1人
- ・カウンセリングマインド研修 2人
- ・ディベート研修 2人

- ・ 人事・給与管理事務研修 1 人
- ・ 財務会計事務研修 2 人
- ・ 行政事務情報化研修 2 人
- ・ 政策形成研修 2 人
- ・ 償却資産事務研修 1 人
- ・ 公営企業経理事務研修 1 人
- ・ 議会書記研修 2 人

④ その他

- ・ メンタルヘルス研修(長野県市町村職員共済組合) 2 人
- ・ グループコーチングを活用した政策形成(全国市町村国際文化研修所) 3 人
- ・ 解決志向によるマネジメント(全国市町村国際文化研修所) 3 人
- ・ 議会行政視察同行(香川県宇多津町・徳島県上勝町など) 8 人
- ・ 市民開放講座「地域マネジメント論」(信州大学) 6 人
- ・ イエローハット掃除研修 3 人
- ・ 行政経営革新フォーラム 2 人

職員の健康管理と福利厚生(総務グループ)

予算事業名：職員福利厚生費

当初予算額 3,053,000 円 最終予算額 3,053,000 円 決算額 2,730,110 円

職員の健康管理のため、健康診断や人間ドックの実施や福利厚生のため職員互助会へ助成しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の健康診断の委託 135 万円
- ・ 人間ドック検診の委託 80 万円
- ・ 職員団体生命保険料 36 万円
- ・ 職員への福利厚生への交付金 21 万円

(2) 活動指標

- ・ 受診者数
 - 健康診断 125 人
 - ※平成20年度よりヘモグロビンエーワンシー（血糖値の検査）を追加
 - 人間ドック 53 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 受診者数の推移 (単位：人)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
健康診断	106	106	85	102	125	
人間ドック	1泊	12	10	8	7	6
	日帰り	39	39	55	52	47

特別職人件費

予算事業名：特別職人件費

当初予算額 30,098,000 円 最終予算額 30,098,000 円 決算額 30,060,857 円

(1) 主な支出

- ・ 特別職人件費 3,006 万円

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 138,224,000 円 最終予算額 131,571,000 円 決算額 129,248,460 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1億2,925 万円

2	広報広聴費	18,074,657	決算事項別明細書	P38～	
町政懇談会の開催(行政改革グループ)			予算事業名：広報広聴活動費		
当初予算額	0円	最終予算額	0円	決算額	0円

町民の皆さんとの情報共有を進め、町政への参画・提案をいただき協働のまちづくりをともに進めるため、町政に関する懇談会をコミュニティ単位で開催しました。

(1) 主な支出

- ・ なし

(2) 活動指標

- 【懇談会テーマ】
- ・ 平成20年度の重点施策について
 - ・ 住民税の年金天引きについて

開催日	自治会・コミュニティ名	会場	参加人数 (職員含む)
7月30日(水)	第3コミュニティ(福原・横町・栗ガ丘)	福原公会堂	40人
8月2日(土)	第2コミュニティ(中町・伊勢町・中央・中扇)	伊勢町公会堂	38人
8月5日(火)	東部コミュニティ(中条・松村・雁田)	東部コミュニティセンター	28人
8月17日(日)	第1コミュニティ(東町・上町)	東町公会堂	30人
8月21日(木)	都住コミュニティ(六川・中子塚・矢島・清水)	六川公会堂	45人
8月23日(土)	北部コミュニティ(北岡・押羽・羽場)	北部コミュニティセンター	22人
8月27日(水)	西部コミュニティ(大島・飯田)	飯田公会堂	39人
8月29日(金)	第5コミュニティ(林・山王島)	林公会堂	50人
8月30日(土)	上松川コミュニティ(水上・松の実・千両・松川・クリビア)	上松川コミュニティセンター	35人
合計	9会場		327人

(3) 活動指標の推移

- ・ 平成20年度町政懇談会での意見、要望、質問など のべ 69件
- ・ 町報2008年11月号にご意見、ご提言の一部を紹介、回答2ページ
- ・ 町政懇談会参加者の推移

年度	平成17年度前期	平成17年度後期	平成18年度	平成19年度	平成20年度
開催回数	26	9	13	10	9
参加人数	920	394	429	344	327
1会場平均参加数	35.4	43.8	33.0	34.4	36.3

私の意見箱（行政改革グループ）

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額	0 円	最終予算額	0 円	決算額	0 円
-------	-----	-------	-----	-----	-----

町内各所（31カ所）に「私の意見箱」を設置し、町民の皆さんから町政やまちづくりなどについて広くご意見やご提言をいただき、町報等でお答えしました。また、それらのご意見を事業の見直し等に反映しました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- ・ 「私の意見箱」設置箇所 町内31カ所（各公会堂、保健センター前、高井鴻山記念館）
- ・ 投書数 87 通（うち観光客75通）
- ・ 町報8月号、11月号に回答を掲載

(3) 活動指標の推移

- ・ 「私の意見箱」投書数（ただし平成16年度は、高井鴻山記念館内の意見は除く）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
投書数	12	62	46	55	87

「私の意見箱」は、町政に対して広く、また気軽に意見をいただけるよう設置しています。平成20年度も毎月コンスタントに投書がありました。

投書は、高井鴻山記念館に設置している意見箱への投書が多く、小布施町を訪れての感想が多くありましたが、いただいた感想・意見は、担当部門で検討するとともに、施策への反映を検討しました。

カメラ・ビデオの撮影、写真・映像のデータ保存（行政改革グループ）

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額	453,000 円	最終予算額	545,000 円	決算額	509,230 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

今の小布施町を後世に伝えるため、写真やビデオなどの撮影を行い、映像の記録等の保存に努めました。また、各種記念イベントをビデオリポーターの皆さんに撮影していただきました。

(1) 主な支出

- ・ 撮影用ビデオテープ等購入 2 万円
- ・ 日本広報協会会費 2 万円
- ・ カメラ・ビデオリポーターの報酬 29 万円

(2) 活動指標

【リポーターの人数】

- ・ カメラリポーター 4人
- ・ ビデオリポーター 4人

【撮影内容】

- ・ 町防災訓練(6/1)
- ・ くりんこ祭り (7/26)
- ・ 緑のかけ橋まつり(10/25・26)
- ・ 小布施見にマラソン、安市など町内の各種イベント など

後からでも見返せて、生き生きとした町民の活動の様子や町で起きた事象を視覚的に伝える写真やビデオの撮影を、カメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただきながら行い、また皆さんに広く視聴できるように図書館にビデオを収めました。

広報で撮影した写真や映像は、後世の貴重な資料として保存・活用していきます。

「町報おぶせ」の発行(行政改革グループ)

予算事業名：町報発行事業費

当初予算額 7,797,000 円 最終予算額 7,774,000 円 決算額 7,396,586 円

町民の皆さんに町政に関する話題や生活情報、行事などをお知らせするため、広報員やカメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただきながら、毎月1回町報の発行を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 町報の印刷 706 万円
- ・ 広報員、カメラ・ビデオリポーター謝礼 11 万円

(2) 活動指標

- ・ 毎月1回発行 4,050部/回
- ・ 町内全戸配布 3,447世帯(平成21年3月号)
- ・ 有償配布(個人・団体) 66部
- ・ 無償配布(団体) 83団体
- ・ 無償配布(個人・寄稿者) 13部
- ・ 無償配布(施設・職員等) 332部

(3) 活動指標の推移

- ・ 町報発行の推移

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
印刷費	622万円	599万円	720万円	718万円	706万円
総ページ数	224	212	274	272	272
月平均ページ数	18.7	17.7	22.8	22.7	22.7

※平成15年4月から、毎月1回(10日)発行に変更

※平成19年1月から、発行日を20日に変更

町民の皆さんが町政に関する情報を得る手段として、最も身近な媒体となっています。これからも町民の皆さんに親しんでいただける町報づくりに一層努めていきます。

同報無線(防災行政無線)の運用・整備(行政改革グループ)

予算事業名：同報無線事業費

当初予算額 6,070,000 円 最終予算額 6,070,000 円 決算額 5,876,331 円

町民の皆さんに町のさまざまな情報をお知らせしたり、災害時に情報を伝達する手段として、同報無線の放送を行いました。また、屋外放送施設等の保守点検や故障等による戸別受信機の交換を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 戸別受信機の購入 352 万円
- ・ 防災行政無線(デジタル同報系)電波伝播調査189万円
- ・ 保守点検の委託 41 万円

(2) 活動指標

- ・ 1日4回の定時放送(朝・昼・夜(2回))と2回のチャイムの実施
- ・ 小学校下校時の見守りの放送 平日(小布施まちづくり委員会安全を考える部会の提言を受け11月よりBGMを「家路のワルツ」から「いかのおすし」に変更)
- ・ 夕焼け小焼けの音楽放送 18時：6月1日～9月9日、17時30分：9月10日～10月31日
- ・ アナウンス研修会の実施 … 1月26日・2月2日(2日間延べ15人参加)
- ・ 戸別受信機の更新(転入世帯・故障世帯) 100台
- ・ 保守点検の実施(7・3月の2回)～同報無線親局装置一式、屋外子局一式(7カ所)
 ※子局設置箇所 … 役場屋上、羽場、都住、雁田、吉島、中松、大島の計7カ所
 7月点検(期間：平成20年7月30日)
 3月点検(期間：平成21年3月17日) ※「こうほうおぶせ」直流電源装置バッテリー液補充

- ・ 防災行政無線（デジタル同報系）電波伝播調査
防災行政用無線システムの構築推進にあたり、伝播損失などの諸条件を確認するため、現
地にてデジタル実験局などの機材を使用して同報系電波伝播調査を行い、新システム構築
のための基礎資料としました。

(3) 活動指標の推移

- ・ 戸別受信機の交換

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
交換自治会	松村	六川	上町・福原	中町・中央	転入・故障世帯
交換台数	200台	200台	200台	200台	100台
交換率	—	61.2%	66.1%	70.8%	76.8%

戸別受信機の交換率（平成20年度末） 76.8%

毎日の放送を確実に行うことができ、町の情報を町民の皆さんにお知らせできました。

ホームページの充実(行政改革グループ)

予算事業名：ホームページ管理費

当初予算額 5,244,000 円 最終予算額 5,244,000 円 決算額 703,500 円

より多くの人に、より多彩な情報を伝達する手段として町ホームページの充実に努めました。

(1) 主な支出

- ・ Webサーバ等管理委託料 68 万円

(2) 活動指標

- ・ ホームページの更新（随時）
- ・ ホームページ累計アクセス件数 1,207,618件
- ・ 生活、観光情報のメール配信者数 364人

「ここに使います ことしの予算！」の発行（総務グループ）

予算事業名：予算事業説明書作成事業費

当初予算額 1,596,000 円 最終予算額 1,596,000 円 決算額 1,197,000 円

その年の予算の使い道や事業などを、なるべく分かりやすくまとめた「ここに使います ことしの予算！」を発行し、全戸にお配りしました。

(1) 主な支出

- ・ 「ここに使います ことしの予算！」の印刷製本 120 万円

(2) 活動指標

- ・ 「ここに使います ことしの予算！」印刷部数 3,800 部（全戸配布）

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
印刷費	117万円	145万円	136万円	120万円
作成部数	4,000部	3,800部	3,800部	3,800部

※ 予算事業説明書の作成は、平成17年度から行っています。

小布施のまちづくりに興味を持っていただくための一つの方法として、より見やすく、分かりやすい冊子となるよう努めていきます。

「グラフおぶせ」の発行(行政改革グループ) 予算事業名：グラフおぶせ作成事業費
 当初予算額 2,368,000円 最終予算額 2,393,000円 決算額 2,392,010円

小布施町の過去を振り返り、未来を見つめ、現在の姿を活写するふるさと生活誌「グラフおぶせ」を発行しました。まちづくりの第2ステージとして取り組んでいるさまざまな事業など、いきいきとした小布施の協働のまちづくりの様子をお伝えしています。

- (1) 主な支出
- ・ 座談会の謝礼 4万円
 - ・ 作成業務委託料 233万円

- (2) 活動指標
- ・ A4判 5,000部
- 昭和56年から3年毎に発行しています。

3 財政管理費 5,237,399 決算事項別明細書 P38～

財務会計システムの運用など(総務グループ) 予算事業名：財政管理費
 当初予算額 5,493,000円 最終予算額 5,493,000円 決算額 5,237,399円

予算の作成、収入支出伝票の処理などを行う財務会計システムの運用を行いました。この財務会計システムは、収入や支出の情報を一元的に管理することにより各種財政資料の作成にも活用しています。

- (1) 主な支出
- ・ 財務会計システムの保守委託 158万円
 - ・ 財務会計システムの使用料 184万円
 - ・ 水道事業会計繰出金 41万円

- (2) 活動指標
- ・ 財務会計システム システム名
財務会計システム
起債システム
 - ・ 財務会計システム使用端末 全端末 (138台)
 - ・ 機能等 予算編成、予算管理、決算統計、執行管理、決算管理、各科管理、データ活用等
 - ・ 財務会計システム保守 バージョンアップ、制度改正等による機能の変更等に対応

4 会計管理費 2,164,226 決算事項別明細書 P38～

会計事務(税務グループ) 予算事業名：会計管理費
 当初予算額 2,650,000円 最終予算額 2,650,000円 決算額 2,164,226円

町に入金されたお金や物品の管理と、町からのお金の支払い手続きを行いました。また、決算書を作成しました。

- (1) 主な支出
- ・ 役場全体で使うコピー用紙など 94万円
 - ・ 口座振替などの手数料 81万円
 - ・ 決算書などの印刷代 38万円
 - ・ その他の経費 3万円

- (2) 活動指標
- 【会計事務の概要】**
- ・ 現金、有価証券、担保物件の出納及び保管
 - ・ 収入及び支出、証拠書類の整理及び保管
 - ・ 給与の支払事務及び給与簿の保管
 - ・ 物品の出納及び保管

・決算の調製

5 財産管理費 172,357,583 決算事項別明細書 P39～

町有財産の維持管理(総務グループ) 予算事業名：町有財産管理費

当初予算額 10,890,000 円 最終予算額 10,892,000 円 決算額 6,422,929 円

来庁者の駐車スペースの確保のため、役場西側駐車場等の土地の借り上げや、町有林の間伐など、町有財産の管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 土地借上料	420 万円
・ 町有林管理委託料	144 万円

(2) 活動指標

・ 役場西側駐車場の借り上げ	800 m ²
・ 旧丸林倉庫の敷地の借り上げ	5,330 m ²
・ 町有林の間伐	14,500 m ²

役場前駐車場、西側駐車場とあわせ95台の駐車可能台数を確保
旧丸林倉庫 役場倉庫として活用

基金(貯金)利子の積立て(総務グループ) 予算事業名：町有財産管理費

当初予算額 4,006,000 円 最終予算額 126,535,000 円 決算額 126,534,300 円

将来にわたり安定的な財政運営を行うため、昨年度の余剰金を活用し財政調整基金の積立てを行いました。また、財政調整基金、減債基金等への利子の積立て、土地開発基金への利子繰出しを行いました。

(1) 主な支出

・ 財政調整基金への積立て	1億2,224 万円
・ 減債基金への積立て	83 万円
・ 土地開発基金への繰出し	130 万円

役場庁舎の維持管理(総務グループ) 予算事業名：庁舎管理費

当初予算額 15,934,000 円 最終予算額 15,932,000 円 決算額 15,633,970 円

役場庁舎にかかる光熱水費や灯油代など省エネに努めながら適正な維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 庁舎の光熱水費	714 万円	・ 灯油代	225 万円
・ 庁舎の修繕料	173 万円	・ 清掃業務委託料	152 万円
・ エレベーター保守管理の委託	63 万円	・ 消防用設備保守点検委託料	47 万円
・ トイレ洗浄器の借り上げ	25 万円	・ 電気保安業務委託料	39 万円
・ ケヤキ等手入れ委託料	21 万円	・ 清掃用具の使用料	14 万円
・ 自動ドア保守管理委託料	20 万円	・ 庁舎用消耗品費	26 万円

(2) 活動指標

・ エレベーター保守管理	3施設	毎月実施
・ 消防用設備保守点検	31施設	年1回実施
・ 自動ドア保守点検	8施設	年4回実施 (うち庁舎分支出)

(3) 成果指標

・ エレベーター点検	故障箇所なし
・ 消防用設備点検	不良・不備等14施設ついて改善

- ・自動ドア保守点検 故障箇所なし

トレーニングセンターの耐震補強など公共施設の改修(総務グループ) 予算事業名：庁舎等整備事業費
 当初予算額 17,671,000 円 最終予算額 17,671,000 円 決算額 15,325,735 円

耐震診断の結果に基づき、耐震性が不足しているトレーニングセンターの耐震補強工事を行いました。

また、前回の診断から10年を経過した役場庁舎も、防災拠点施設として重要な役割を担っていることから経年劣化を考慮し、再度耐震診断を行いました。

(1) 主な支出

- ・役場庁舎の耐震診断の委託 735 万円
- ・工事の設計監理の委託 46 万円
- ・役場庁舎等の網戸・サッシ設置の工事 80 万円
- ・トレーニングセンターの耐震補強工事 578 万円

(2) 活動指標

- ・役場庁舎の耐震診断
 - 基準値：I S 値0.75以上
 - 庁舎の値：I S 値0.9
- ・トレーニングセンターの耐震補強
- ・役場庁舎・消防分署の網戸・サッシ設置

庁用車の維持管理(総務グループ) 予算事業名：庁用車管理費
 当初予算額 10,234,000 円 最終予算額 10,234,000 円 決算額 8,440,649 円

役場の仕事等で使用する庁用車の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ガソリン代 181 万円
- ・自動車損害保険料 127 万円
- ・車検、定期点検代 210 万円
- ・庁用車のリース料 121 万円
- ・高速道路利用料金 58 万円
- ・庁用車の購入 145 万円
- ・タイヤ等消耗品費 2 万円

(2) 活動指標

保有台数

- ・中型車両 1台 ・普通車両 14台 ・軽車両 14台
- ・小型ポンプ付積載車 9台
- ・車検 15台 ・12カ月点検12台
- ・6カ月点検10台 ・3カ月点検 3台

6	企画費	5,430,782	決算事項別明細書 P39～
---	-----	-----------	---------------

広域行政の推進(行政改革グループ) 予算事業名：広域行政推進費
 当初予算額 3,503,000 円 最終予算額 3,503,000 円 決算額 3,400,000 円

近隣市町村と協力し、広域的に取り組むべき情報化・少子高齢化・環境問題・地方分権・教育などの諸施策を行うため、長野広域連合での調査研究に取り組みました。ふるさと市町村圏だより「AREAながの」の発行やふれあい探訪ツアーなどの事業を実施しました。また、まちづくりや地域の課題について方向性を探るため、地域活性化センターやスロータウン連盟に加入して情報の収集、交換を行いました。

(1) 主な支出

- ・長野広域連合負担金 328 万円

- ・ 地域活性化センター会費 7 万円
- ・ スロータウン連盟会費 5 万円

(2) 活動指標

【長野広域連合】（総務管理費に係るもの）

- ・ 広域的課題の調査研究（広域的課題調査専門部会、長野地域高度情報化連絡協議会）
- ・ 長野地域ふるさと市町村圏だより「AREAながの」を4月と9月に発行（全戸配布）
- ・ ふるさとフォトコンテストの作品募集と入賞作品の展示
- ・ ふれあい探訪事業（圏内の名所を巡り、体験や交流を行うツアーの開催 7月26日、10月25日）

【地域活性化センター】

- ・ 地域活性化情報の提供（機関紙「地域づくり」「地域活性化情報ファイル」などの発行）
- ・ 地域活性化フォーラム、地域再生実践塾、地域づくりコーディネータ研修会の開催
- ・ 地域イベントへの助成・支援、地域イベントの表彰など

【スロータウン連盟】

- ・ 平成14年発足/北海道由仁町、埼玉県深谷市、栄村、小布施町など全国60市町村で構成
- ・ 地産地消 日本の秋大収穫祭の開催（町/緑のかけ橋まつりが参加）
- ・ ふるさとパックの提供（全国特産品のプレゼントへの協力 町/りんご酢、りんごジュース）

国際交流(行政改革グループ)

予算事業名：交流事業費

当初予算額	120,000 円	最終予算額	120,000 円	決算額	100,000 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

町民の皆さんがさまざまな国の人との交流を通して、国際感覚を身につけることを目的に行う「国際ボランティアワークキャンプ」事業へ支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施国際交流クラブ 国際ボランティアワークキャンプ交付金 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 小布施国際交流クラブ（平成10年発足）が実施している海外の若者を受け入れ、交流を行う「国際ボランティアワークキャンプ」の活動を支援

- ・ 町報6月号でホームステイ家庭の募集

- ・ キャンプ参加者6人（日本人リーダー1人含）

（内訳・・・男1人、女性5人／韓国2人、イタリア・イギリス・セルビア・日本各1人）

- ・ 8月24日～9月7日 小布施町内に滞在（14日間）

8月24日 小布施到着

8月26日 栗ガ丘幼稚園訪問, 交流活動

8月27日 小学校訪問、交流活動

8月28日 東京理科大学まちづくり研究所ワークショップへ参加

8月29日 中学校訪問、交流活動

8月25日 わかば保育園訪問、交流活動・アラ小布施の畑の徐草

8月30・31日 休み（桃源荘へ移動）

9月1日 小布施荘訪問、交流活動

9月2日 小布施中学校訪問、交流活動

9月3日 エンゼルランドセンター訪問, 交流活動・小布施総合公園除草

9月4日 つすみ保育園、デイサービスセンター訪問、交流活動

9月5日 栗ガ丘幼稚園訪問, 交流活動

9月6日 ホストファミリーとの交流会

9月7日 解散

- ・ 宿泊・・・8月24日～30日 町内6家庭でホームステイ 8月31日～9月6日 桃源荘宿泊

(3) 活動指標の推移

- ・ ホームステイ受入家庭数の推移

(単位：軒)

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受入家庭数	8	9	8	6	5	6
受入家庭の実数	8	12	17	20	20	21

※受入家庭の実数は平成15年度からの累計

キャンプ期間中は、ホストファミリーとの交流だけでなく、小中学校や保育園、エンゼ
ルランドセンター、いきいきサロン等を訪問し、多くの町民の皆さんと交流を図ることが
できました。また、キャンプ参加者も町民の皆さんの「もてなし」を感じることができ、
良い経験になりました。

墨田区伝統工芸保存会職人展の開催(行政改革グループ)

予算事業名：交流事業費

当初予算額 405,000 円 最終予算額 473,000 円 決算額 453,170 円

北斎生誕の地であり、小布施と交流の深い東京都墨田区の伝統工芸保存会の職人を迎え、すみだ
伝統工芸「技人」展を開催しました。人・物の往来を密にすることで、教育・産業など多分野での
交流・連携を深めました。

(1) 主な支出

- ・ 会場設営、製作実演等謝礼 23 万円
- ・ 歓迎交流会 11 万円
- ・ 消耗品等 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 開催期日 5月2日（金）～7日（水）
- ・ 開催場所 おぶせミュージアム・中島千波館 木造館
- ・ 主 催 墨田区伝統工芸保存会

【作品展示】

押絵羽子板、鼈甲工芸、鋳金具、江戸表具、江戸木目込人形、市松人形、鋳かんざし、建
築漆工など、20職種70点余の作品の展示。

【体験教室】

江戸木目込人形（木目込フクロウ製作）、江戸木箸（黒檀木箸製作）、押絵羽子板（押絵
ブローチ製作）

【製作実演】

期間中毎日、市松人形の製作実演を実施。

(3) 活動指標の推移

	平成19年度	平成20年度
開催日数	7日	6日
職人数	延42人	延44人
来場者数	2,041人	2,443人

(4) 成果指標

平成19年度に引き続き開催された技人展は2,400人を超える来場者を迎えました。「昨
年訪れて感動した」「また職人さんと話をしたい」などリピーターも多く、職人の皆さん
とさまざまな話をしながら、伝統の技にふれ親しみ、交流が育まれました。

翌週の5月14日には、栗ガ丘小学校6年生が修学旅行で墨田区伝統工芸保存会の体験学習
に訪れるなど、墨田区とのさらなる交流の機運が高まっています。

桜並木の整備(行政改革グループ)				予算事業名：交流事業費
当初予算額	158,000円	最終予算額	90,000円	決算額 87,280円
<p>老木となった小学校桜並木の補植を「小布施花の会」と協働で行いました。「小布施花の会」は、平成元年から9年間行われたヨーロッパへの花のまちづくり研修視察旅行参加者等から構成される団体で、現在は松村駐車場沿道花壇の整備等の花のまちづくり活動を行っています。</p>				
(1) 主な支出				
	・ 小学校桜並木補植用資材		4万円	
基金(貯金)利子の積立て(行政改革グループ)				予算事業名：交流事業費
当初予算額	29,000円	最終予算額	35,000円	決算額 35,000円
<p>教育、文化、産業および社会福祉制度等の国外研修を行う者に対して貸し付けを行うため、国外研修資金貸付基金へ利子の繰り出しを行いました。</p>				
(1) 主な支出				
	・ 国外研修資金貸付基金への利子繰出金		3.5万円	
イベントガイドブックの作成(行政改革グループ)				予算事業名：イベンPR費
当初予算額	1,050,000円	最終予算額	1,050,000円	決算額 837,630円
<p>行楽期のイベントや町営・民間美術館等の企画展の情報等を掲載したガイドブックを作成し、町内の全世帯とホテル・旅館・駅等の観光客の出入りする施設や、報道機関等に配りました。また、初めて冬のガイドブックを作成、配布しました。</p> <p>より早く発行するため、今年度予算で2009春のイベントガイドブックを作成、発行しました。</p>				
(1) 主な支出				
	・ イベントガイドブックの作成		82万円	
(2) 活動指標				
	・ 2008秋のイベントガイドブック	印刷部数 50,000部	(8月作成)	
	・ 2009冬のイベントガイドブック	印刷部数 10,000部	(12月作成)	
	・ 2009春のイベントガイドブック	印刷部数 50,000部	(平成21年2月作成)	
	・ 配布箇所/部数			
	町内世帯3,424/部	町営・民営施設(24カ所)/25,800部	高山温泉郷(11カ所)/1,900部	
	山ノ内旅館・ホテル(10カ所)/2,000部	長野市内等ホテル(10カ所)/2,000部		
	観光情報センター・観光協会等(6カ所)/1,200部	旅行者(14カ所)/70部		
	報道関係(16カ所)/80部			
<p>行楽期のイベント・企画展情報を一覧でご覧いただけるため、効果的に町の魅力をPRでき、町内外の観光客のみならず、視察対応時の町PRにも使用しました。また、紙面のスペースの部分で町報等に掲載できない民間施設の取り組みも積極的に取り上げ、幅広い情報を掲載することができました。</p>				
小布施まちづくり委員会の運営(行政改革グループ)				予算事業名：(仮称)町民会議運営費
当初予算額	1,507,000円	最終予算額	1,507,000円	決算額 430,838円
<p>平成18年度から検討を進めてきた町民会議が、「小布施まちづくり委員会」として発足しました。まちづくり委員会と行政とが互いの立場を尊重した『パートナーシップ協定』を結び、暮らしやすく住んでよかったと思えるまちづくりのため意見を交わし、提言を行う、町民同士の交流・情報共有の場がスタートしました。</p>				
(1) 主な支出				
	・ 講師謝礼		13万円	
	・ 会議時お茶など		8万円	
(2) 活動指標				
	・ 委員数(任期2年)	84人		

- ・ 全体会（設立総会含む） 7回
- ・ 広報委員会 4回
- ・ 視察 1回
- ・ 広報紙発行 1回
- ・ 運営委員会 11回
- ・ 部会 57回
- ・ 提言書提出 1回

	期 日	場 所	出席者数 (委任状含む)	内 容
設立総会 (全体会)	平成20年4月23日(木)	公民館講堂	69人	経過報告、会則等の制定、役員の選出、当面の活動計画
全体会	平成20年5月17日(土)	公民館講堂	59人	活動スケジュールについて 基本ルール及びパートナーシップ協定について など
設立・パート ナーシップ協 定締結記念講 演会	平成20年5月25日(日)	北斎ホール	120人	パートナーシップ協定の締結 記念講演「パートナーシップのまちづくりと地 域経営」 前茅野市長 矢崎和広氏
全体会	平成20年6月17日(火)	公民館講堂	60人	検討テーマと部会編成案、部会編成(安全、環 境、福祉、交流、千曲川ハイウェイミュージア ムの有効活用)
全体会	平成20年8月26日(火)	公民館講堂	59人	各部会の進捗状況の報告、意見交換 など
全体会	平成20年10月30日(木)	公民館講堂	60人	各部会の進捗状況の報告、意見交換、提言案の 採択 など
全体会	平成21年1月23日(金)	公民館講堂	61人	各部会の進捗状況の報告、意見交換 など
全体会	平成21年3月19日(木)	公民館講堂	61人	各部会の進捗状況の報告、意見交換 など
運営委員 会	運営委員 17人	第1学習室外	延135人	運営委員会11回
安全を考 える部会	部会員 8人	第2学習室外	延100人	部会11回、視察1回 「青パトの効果的な活用に関する提言」提出
環境を考 える部会	部会員 15人	第2学習室外	延132人	部会11回 主なテーマ「パレット木枠による堆肥化」
福祉を考 える部会	部会員 14人	第2学習室外	延97人	部会10回 主なテーマ「お年寄りの足の確保」
交流を考 える部会	部会員 21人	第1会議室他	延130人	部会9回 主なテーマ「町内の各種団体情報の取りまと め」
千曲川ハイウェイ ミュージアムの有効 活用を考える部会	部会員 11人	千曲川ハイウェイ ミュージアム外	延127人	部会16回 主なテーマ「千曲川ハイウェイミュージアムの 有効活用」
広報委員 会	広報委員 11人	第1会議室他	延39人	委員会4回 広報紙「まちづくりボイス」創刊号発行

平成20年4月、約1年半の議論を経て「小布施まちづくり委員会」が発足しました。
まちづくり委員会と小布施町は対等な立場の下、「暮らしやすく、住む喜びのある町民主
体の自治に向けて、より多くの声の集約と町民が持つ知恵や力をまちづくりに活かす」た
め、相互の協働の原則、役割と責務、相互の連絡調整などについて、パートナーシップ協定
を結びました。
テーマを定めた5つの部会を編成、実現可能な提言とその実践に向けて、ワークショップや
学習会などを通じて、楽しみながら、学びながらまちづくりを考えました。11月にはまちづ
くり委員会第1号となる「青パトの効果的な活用に関する提言」の提出、翌12月には提言を受
けて青パトに音響設備設置されました。また、広報紙「まちづくりボイス」創刊号の発行
(12月)など、1年目から精力的に活動しました。

食育イベントの開催(行政改革グループ)

予算事業名：食育推進費

当初予算額 541,000 円 最終予算額 541,000 円 決算額 86,864 円

小布施町食育推進計画の基本計画に沿い、郷土の伝統料理や食文化を再認識し、特色ある食文化
を次世代へ継承していくため、信州おぶせ緑のかけ橋まつりに食育ブースを設け町の名産「栗」を
使った料理のPRを行いました。

- (1) 主な支出
- ・ 栗料理試食の材料等経費 8 万円
- (2) 活動指標
- ・ 開催期日 10月25日(土)・26(日)
 - ・ 開催場所 緑のかけ橋まつり会場(大日通り)
 - 【1日目】 栗おこわ・栗の渋皮煮試食、実演(実演は渋皮煮のみ) 耕人舎の会
小布施産米を使ったこねつけ作りの体験、試食 小布施マイスター
 - 【2日目】 栗の渋皮煮試食 町民有志
小布施産米を使ったこねつけ作りの体験、試食 小布施マイスター
- 緑のかけ橋まつりのテーマ「栗」に合わせ、栗料理を試食をまじえて紹介したことにより、まつりに訪れた多くの方に興味を持っていただき、郷土料理の食文化のPRする良い機会となりました。「小布施町食育推進計画」に従い、地元の農産物などをテーマに取り上げ今後も実施していきます。

7 地域づくり事業費 15,582,411 決算事項別明細書 P40～

自治会運営活動の支援(行政改革グループ) 予算事業名：自治会活動費

当初予算額 6,437,000 円 最終予算額 6,437,000 円 決算額 6,283,575 円

自治会や自治会連合会、衛生組合の活動をサポートするとともに、町報や各種通知の配布事務に対する委託料を支払いました。

- (1) 主な支出
- ・ 自治会事務委託料 382 万円
 - ・ 自治会連合会、衛生組合連合会交付金 162 万円
 - ・ 自治会活動保険掛金 60 万円
- (2) 活動指標
- ・ 自治会長会議の開催(4月15日、6月12日、2月9日)
 - ・ 研修視察の実施(自治会連合会事業)平成20年5月15日～17日/自治会長12人、職員2人
北海道 秩父別町及び江別市：都市農村交流及び産官学連携の地域ブランドづくり
 - ・ 議会傍聴(6月14日) 25人
 - ・ 自治会消防施設点検(連合会事業) 20か所(自治会で実施分を除く)

コミュニティ地区活動の活性化(行政改革グループ) 予算事業名：コミュニティ推進事業費

当初予算額 6,210,000 円 最終予算額 9,210,000 円 決算額 8,842,836 円

行政の効率的な運営と自治会事務などの合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支えあいの場となるよう、各コミュニティ地区が行うさまざまな活動を支援しました。

- (1) 主な支出
- ・ 地域づくり活動事業補助金(9事業、4地区) 27 万円
 - ・ コミュニティ地区職員設置交付金(7地区) 420 万円
 - ・ コミュニティ施設整備事業補助金 300 万円
 - ・ コミュニティセンター屋根塗装工事 84 万円
 - ・ 上松川コミュニティ公園用地借地料 37 万円
- (2) 活動指標
- 【地域づくり活動事業】
- ・ 納涼盆踊り大会ほか(北部コミュニティ地区)
 - ・ マレットゴルフ大会ほか(東部コミュニティ地区)
 - ・ マレットゴルフ大会(西部コミュニティ地区)
 - ・ 千曲川ふれあい公園花祭りほか(第5コミュニティ地区)

【コミュニティ地区職員】

- ・ 町報などの配達、推進協議会の事務、地区内団体経費等の徴収、通知等の作成・印刷など

【コミュニティ施設整備事業】

- ・ 伊勢町公会堂建設工事

町民の皆さんの自主的な地域づくり活動、まちづくり活動を支援するため、補助要綱を改正しました。

まちづくり活動の補助(行政改革グループ) 予算事業名：まちづくり活動推進事業費
 当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,000,000 円 決算額 456,000 円

「自分のまちは自らの手でつくる」という意欲をもったグループの皆さんが、独自のテーマで取り組むまちづくり活動の支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ まちづくり活動補助金 46 万円

(2) 活動指標

- ・ 境内アート小布施会場設備等整備事業
 (平成21年4月開催/主催：境内アート小布施実行委員会)

(3) 活動指標の推移

まちづくり活動事業補助金の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業数	2件	2件	1件	2件	1件
補助金額	160万円	65万円	30万円	119万円	46万円

8 消費生活対策費 75,432 決算事項別明細書 P40～

消費者の会の活動支援(生活環境グループ) 予算事業名：消費生活対策費
 当初予算額 68,000 円 最終予算額 68,000 円 決算額 68,000 円

消費生活に対する意識を高めるため、悪徳商法の被害に遭わないための情報提供や相談活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 消費者の会活動交付金 7 万円

(2) 活動指標

- ・ 消費者の会総会 4月14日 公民館
- ・ 視察研修 1月20日 木曾町新開 光商会 生ごみ堆肥化施設視察
- ・ 消費生活展の開催 10月19日
- ・ 消費生活教室参加 7 回
- ・ 消費生活大学参加 0 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 消費生活相談件数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	60件	81件	34件	15件	37件

消費生活展の開催など(生活環境グループ) 予算事業名：消費生活対策費
 当初予算額 231,000 円 最終予算額 231,000 円 決算額 7,432 円

消費者が自らの判断により安全な消費生活を営むため、消費生活展を開催し情報の提供に努めました。また、「消費者の会」の活動紹介を通し、生ごみの資源化に向けた情報の提供に努めました。

- (1) 主な支出
 ・消費生活展事務用品 1 万円
- (2) 活動指標
 ・消費生活展の開催 平成20年10月19日 健康福祉センター
 千年樹の里まつりと併せパネルの展示等を行いました。

9 防災対策費 12,028,187 決算事項別明細書 P40～

地域防災計画の見直しなど(総務グループ) 予算事業名：防災対策費
 当初予算額 7,978,000 円 最終予算額 7,978,000 円 決算額 6,116,187 円

地域防災計画の見直し、ハザードマップの作成

地域防災計画の見直しを行い、ハザードマップを整備しました。

- (1) 主な支出
 ・地域防災計画作成委託 315 万円
 ・ハザードマップ作成委託 123 万円
- (2) 活動指標
 ・町防災会議の開催 (2回)
 ・パブリックコメントの実施 (地域防災計画に対する意見募集)
 ・資料収集 (浸水資料、浸水区域等)
 ・要避難地域の設定、避難場所の調査等

県防災ヘリコプターの運営補助

県消防防災ヘリコプター「アルプス」の運営にかかる経費負担を行いました。

- (1) 主な支出
 ・県消防防災航空隊負担金 24 万円
- (2) 活動指標
 ・消防体制の強化・航空機による広域応援体制整備を目的に平成9年に運行開始
 ・防災ヘリコプター運航協議会会則に定められた運営委員会 (会長＝協議会長で県危機管理局長、委員＝市町村の消防防災担当課長等) が事業計画・予算などを定める
 ・活動内容 (平成20年)
 救急活動 (負傷者等の搬送) 43件 救助活動 62件 火災防ぎょ活動 4件
 災害応急活動 0件 広域航空消防防災応援活動 (応援協定による) 2件
 災害予防活動 (訓練参加等) 18件 自隊訓練 91件

防災行政無線設備の保守

災害発生時に備え、防災行政無線設備の保守点検を行いました。

- (1) 主な支出
 ・防災行政無線設備保守の委託 16 万円
 ・県防災無線負担金 3 万円

(2) 活動指標

- ・災害時における情報連絡体制の確保のための機材の保守

(3) 成果指標

- ・総合防災訓練の避難伝達訓練、火災や水防時の災害出動時に無線機を利用して適切な情報伝達ができました。また、集中豪雨や台風などによる千曲川の増水状況の把握、水防活動の情報の早期取得が図れました。

災害時用食糧等の備蓄

大規模地震の発生など緊急時において被災者の生活を確保するため、食料品及び避難所で使用する寝具の備蓄を進めました。

(1) 主な支出

- ・災害時用食糧（カロリー 1,020食分） 11万円
- ・折りたたみマット、飲料水（500ml、216本） 18万円

(2) 活動指標

- ・購入したカロリー1,020食分を小学校体育館・中学校に、アルミマットを中学校に保管
- ・期限切れとなる乾パンについてはPRを兼ね試食用に総合防災訓練参加者に提供

(3) 成果指標

- ・小学校・中学校 カロリー備蓄数（平成20年度末） 1,020食
- ・小学校・中学校・消防本部詰所・健康福祉センターでの毛布備蓄数（平成20年度末） 169枚
- ・中学校 飲料水備蓄数（平成20年度末） 216本
- ・中学校 アルミマット備蓄数（平成20年度末） 100枚

自主防災組織の充実

地域の防災力を高め、災害時の被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の運営に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・自主防災組織交付金 18万円

(2) 活動指標

- ・災害時の資材備蓄のため各自治会に交付金を支出（均等割 1自治会1,500円 世帯割 1世帯40円）
- ・町総合防災訓練に参加し、公会堂、訓練会場への避難誘導訓練、対策本部との災害情報伝達訓練などを実施
- ・自主防災会ヘルメット、腕章等備品を整備しました。

住宅の「耐震化」の推進(総務グループ)

予算事業名：住宅・建築物耐震改修等事業費

当初予算額 6,644,000円 最終予算額 6,644,000円 決算額 5,912,000円

建築基準法改正（昭和56年5月31日）以前に着工した、倒壊の恐れのある一般住宅（木造）を対象に、簡易耐震診断、精密耐震診断、耐震改修の補助を行いました。

また、町防災計画で第一避難所に指定している地区公会堂で、建築基準法改正前に着工した建築物の耐震診断を実施しました。

(1) 主な支出

- ・耐震診断委託料 351万円
- ・耐震補強工事補助金 240万円

(2) 活動指標

- ・簡易耐震診断 8件実施
- ・精密耐震診断 12件実施
- ・耐震診断（公民館等避難施設） 18件実施
- ・耐震補強工事 4件実施

10	男女共同参画社会づくり費	102,151	決算事項別明細書 P40～
男女共同参画社会づくり(総務グループ)		予算事業名：男女参画社会づくり費	
当初予算額	476,000円	最終予算額	476,000円
		決算額	102,151円

男女が性別にとらわれることなく、互いに人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることが
できる社会の実現を目指し、意識の啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・男女共同参画社会推進委員の報酬（7人） 10万円

(2) 活動指標

- ・男女共同社会推進委員会の開催 7回（2か月に1回の割合）
- ・男女共同参画学習会 講師：長野県教育事務所指導主事（3月14日/参加者20人）
（構成員：各種団体・委員会の正副長、一部企業、町民に参加呼びかけ）

平成20年4月に委嘱したおり、新委員の方が多く、学習会等が中心の活動となりました。

11	定額給付金給付事業費	338,077	決算事項別明細書 P41～
定額給付金の支給(行政改革グループ)		予算事業名：定額給付金給付事業費	
当初予算額	0円	最終予算額	194,237,000円
		決算額	388,077円

景気が後退する中、町民のみなさんの生活支援と地域経済の活性化を目的に定額給付金を支給し
ました。

(1) 主な支出

- ・封筒などの印刷代 14万円
- ・事務用消耗品 14万円
- ・臨時職員賃金 7万円

(2) 活動指標

- ・定額給付金支給対象者の判定 2月1日現在
住民基本台帳または外国人登録原票に記録・登録されてい
る者
- ・総対象者数 3,649件 11,576人（平成21年2月1日現在）
- ・支給額 1人 12,000円（昭和19年2月2日以前に生まれた人、平成2
年2月2日以後に生まれた人は1人 20,000円）
- ・申請書の発送 平成21年3月30日
- ・申請期間 平成21年4月1日～10月1日
- ・支給実績 0円（給付費は全額 平成21年度へ繰り越し）

2	徴税费	74,937,048	
1	税務総務費	38,172,319	決算事項別明細書 P41～
町税の課税と納税(税務グループ)		予算事業名：税務総務費	
当初予算額	1,755,000円	最終予算額	1,755,000円
		決算額	1,665,881円

町民税や固定資産税等の課税を行うため、固定資産の評価情報等を収集したり、評価審査委員会
を開催しました。

(1) 主な支出

- ・固定資産評価審査委員報酬 1万円

- ・ 図書等購入費等 37 万円
- ・ 資産評価システム研究センター等負担金 6 万円
- ・ 臨時職員賃金 122 万円

(2) 活動指標

- ・ 固定資産評価審査委員会
委員数：3名
委員会の開催状況：平成20年10月31日開催（審査申出件数：0件）
- ・ 図書購入費（実務提要追録、税務六法、税情報誌等）
- ・ 資産評価システム研究センター（固定資産評価に関する情報提供）

(3) 成果指標

- ・ 固定資産評価審査委員会の審議案件：過去に審査申出なし

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 39,024,000 円 最終予算額 37,250,000 円 決算額 36,506,438 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 3,651 万円

2 賦課徴収費 36,764,729 決算事項別明細書 P41～

町税の課税と納税(税務グループ)

予算事業名：賦課徴収費

当初予算額 36,550,000 円 最終予算額 40,181,000 円 決算額 36,764,729 円

町民税や固定資産税など町税の課税と徴収を行い、自主財源の確保を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 町税の電算処理や土地の鑑定評価業務などの委託料 1,714 万円
- ・ 前年度以前に納付した町税の還付金 1,404 万円
- ・ 電算システムや地理情報システムなどの使用料 441 万円
- ・ 申告書などの印刷、消耗品等 109 万円
- ・ 年金特別徴収分担金 8 万円

(2) 活動指標

- ・ リームス.NETシステム、申告相談システム、家屋評価システム、固定資産管理システム
- ・ システム使用端末 税務グループ及び確定申告用端末
- ・ 機能等 町民税・固定資産税・軽自動車税・口座振替業務等の管理
- ・ システムの保守 バージョンアップ、法改正等による機能の変更に対応

3 戸籍住民基本台帳費 23,919,730 決算事項別明細書 P42～

1 戸籍住民基本台帳費 23,919,730 戸籍・住民票に関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：戸籍事務費・住民基本台帳事務費

当初予算額 10,233,000 円 最終予算額 10,233,000 円 決算額 10,028,051 円

戸籍関係の証明書の発行や届出の受付を行いました。住民票の発行や転入・転出の届出、外国人登録などを円滑に行い、住民サービスの向上に努めました。

戸籍に関する事務

(1) 主な支出

- ・ 戸籍システム保守委託料 156 万円
- ・ 戸籍ハードウェア等リース料 426 万円
- ・ 戸籍システム使用料 176 万円

(2) 活動指標

① 本籍数と本籍人口（平成21年3月31日現在）

- ・本籍数 5,355 戸籍（前年比 24 戸籍増）
- ・本籍人口 14,163 人（前年比 100 人減）

② 戸籍事務の処理件数

種別	本籍人届出数	非本籍人届出数	他市町村から送付	計	種別	件数
出生	52	29	40	121	新戸籍編成	103
死亡	111	20	18	149	戸籍全部削除	79
婚姻	52	8	137	197		
離婚	12	1	14	27		
転籍	21	0	32	53		
その他	30	2	28	60		
計	278	60	269	607		

③ 戸籍謄抄本及び証明書の交付状況

- ・有料 4,318 件 242万円
 - 戸籍全部事項証明書 1,676 件 (@450)
 - 戸籍個人事項証明書 605 件 (@450)
 - 除籍謄本 1,535 件 (@750)
 - その他証明書
 - 79 件 (@350)
 - 423 件 (@300)
- ・無料 562 件

④ 犯罪人名簿作成件数 6 件

⑤ 人口動態調査（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

種別	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計
件数	81	131	60	13	2	287

⑥ 相続法第58条報告件数 113 件

⑦ 埋火葬許可件数（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

種別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件数		139		2	1	142

住民票に関する事務

(1) 主な支出

- ・住民情報記録ソフトウェア使用料 173 万円

(2) 活動指標

① 住民基本台帳世帯数及び人口（平成21年3月31日現在）

- ・世帯数 3,584 世帯（前年比 27 世帯増）
- ・人口 11,478 人（前年比 138 人減） 男 5,548 人、女 5,930 人

② 住民基本台帳関係届出処理件数

種 別	出生	死亡	転入	転出	転居	世帯主 変更	職権 修正	職権 消除	附票 記載	附票 消除	計
件 数	76	132	295	383	177	216	35	1	431	507	2,253

③ 住民票（広域交付住民票含む）の写し及び証明書の交付状況等

- ・住民基本台帳閲覧 4万円 138 件 (@300円)
- ・交付件数 有 料 136万円 4,543 件 (@300円)
- 無 料 196 件
- ・転出証明数 無 料 282 件

・住基カード発行手数料

- 有 料 0.5万円 9 件 (@500円)
- 無 料 46 件

運転免許証がない高齢者世代の方に身分証明書として最適です。（有効期間は10年間）銀行などの各種機関で身分証明書としても役立ちます。（写真付住基カードのみ）
 公的個人認証サービスを利用するための「電子証明書」の手続をすると、税金に関する申請・届出・申告をはじめ、新車購入時の新規登録手続がインターネットで行えます。（別途、ICカードリーダーが必要になります。）
 このため、20年9月議会で手数料条例の改正を行い、平成23年3月まで交付手数料を無料とすることとしました。

④ 印鑑登録証明書等交付状況

- ・交付件数 有 料 123万円 4,088 件 (@300円)
- 無 料 10 件
- ・登録件数 有 料 10万円 331 件 (@300円)

⑤ 印鑑登録状況

- ・平成19年度中新規登録者（再登録含む） 331 人
- ・印鑑登録者総数（平成20年3月31日現在） 7,478 人

外国人登録に関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：住民基本台帳事務費

当初予算額 79,000 円 最終予算額 79,000 円 決算額 79,000 円

(1) 主な支出

- ・事務経費 7 万円
- ・外国人登録事務協議会負担金 0.3 万円

(2) 活動指標

① 外国人登録状況（平成21年3月31日現在）（単位：人）

国 別	ネパール	中国	米国	タイ	ブラジル	英国	朝鮮	フィリピン	韓国	計
男		1	6	13	1			2		23
女	1	7	2	10	1	1	1	4	3	30
計	1	8	8	23	2	1	1	6	3	53

② 外国人登録事務取扱件数（平成20年1月～平成20年12月）（単位：人）

種 別	新規登録	引替交付	再交付	確認(切替交付)	居住地変更登録	原票送付請求	原票送付	居住地以外の変更登録	閉鎖	家族事項登録	計
件 数	7	1	2	10	7	6	4	58	6	3	104

住基ネットに関する事務(生活環境グループ)

予算事業名：住民基本台帳ネットワーク費

当初予算額 3,215,000 円 最終予算額 3,264,000 円 決算額 3,248,120 円

住民基本台帳カード（住基カード）の発行と住基ネットシステムの保守管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・住基ネットシステム保守委託料 144 万円
- ・住基記録県報告委託料 25 万円
- ・公的個人認証サービス委託料 18 万円
- ・住基ネットシステムハード[®]使用料 99 万円
- ・字ファイル更新委託料 25 万円

(2) 活動指標

- ・住基カード発行件数 55 件（9月まで@500円、以降新規発行は無料）
- ・広域交付住民票発行件数 0 件（@300円）
- ・電子証明書発行件数 30 件（@500円）

(3) 成果指標

- ・住基台帳等発行数の推移

種別	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
住基カード	7	8	16	42	55
広域交付住民票	5	2	1	6	0
電子証明書	1	1	13	37	30

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 11,575,000 円 最終予算額 11,094,000 円 決算額 10,564,559 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 1,056 万円

4	選挙費	2,014,658
1	選挙管理委員会費	816,470
2	選挙啓発費	68,400

決算事項別明細書 P42～

選挙管理委員会の運営と啓発活動(総務グループ)

予算事業名：選挙管理委員会運営費・選挙啓発費

当初予算額 1,070,000 円 最終予算額 10,700,000 円 決算額 884,870 円

選挙管理委員会を開催し4回の定時登録を行いました。また、選挙に対する啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・選挙管理委員報酬 49万円
- ・システム使用料 25万円

(2) 活動指標

- ・長野県選管連合会総会及び明るい選挙推進県大会（上田市） H20.11.27 6人参加
- ・新成人に対し、選挙啓発の実施（成人式で、選挙啓発冊子の配布及び委員長の祝辞）

- ・選挙人名簿登録者数 年4回（定時登録） (単位：人)

	男	女	計
平成20年6月2日 現在	4,538	4,977	9,515
平成20年9月2日 現在	4,530	4,958	9,488
平成20年12月2日 現在	4,513	4,945	9,458
平成21年3月2日 現在	4,505	4,926	9,431

3	町長選挙費	1,129,788	決算事項別明細書 P43～
町長選挙(総務グループ)			予算事業名：町長選挙費
当初予算額	4,603,000 円	最終予算額	4,603,000 円
		決算額	1,129,788 円
任期満了に伴う町長選挙が行われました。立候補者数1名のため無投票となりました。			
(1) 主な支出			
	・システム使用料	26万円	
	・ポスターの掲示板の設置・選挙用品等	52万円	
(2) 活動指標			
	・期日	平成20年12月23日	
	・立候補者数	1名	

5	統計調査費	473,789	決算事項別明細書 P43～			
1	統計調査費	473,789	決算事項別明細書 P43～			
統計調査の実施(行政改革グループ)			予算事業名：統計調査費			
当初予算額	517,000 円	最終予算額	517,000 円			
		決算額	473,789 円			
統計法に基づき、平成20年度は「住宅・土地統計調査」「平成21年経済センサス基礎調査調査区設定」「輸出生産実態調査」、「工業統計調査」、「学校基本調査」を実施しました。						
(1) 主な支出						
	・調査員報酬	35 万円				
	・統計調査消耗品費	12 万円				
	・通信運搬費	1 万円				
(2) 活動指標						
	・学校基本調査					
	調査期日	平成20年5月1日				
	調査対象	小中学校及び幼稚園				
	調査員数	なし(各施設で調査)				
	・住宅・土地統計調査					
	調査期日	平成20年10月1日				
	調査対象	143世帯				
	調査員数	4人				
	・工業統計調査					
	調査期日	平成20年12月31日				
	調査対象	65事業所				
	調査員数	4人				
(3) 活動指標の推移						
	・児童・生徒数と教職員数(学校基本調査より)	(単位：人)				
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
小学校児童数	673	663	681	712	698	689
小学校教職員数	34	37	37	41	40	41
中学校生徒数	373	367	332	313	319	342
中学校教職員数	29	29	29	30	30	30

※ 住宅土地統計調査結果は速報のみ公表(7月28日)

※ 工業統計調査結果(H20)は未公表

6	監査委員費	696,065		
1	監査委員費	696,065	決算事項別明細書	P43~
監査委員報酬など(監査委員事務局)			予算事業名：監査委員費	
	当初予算額	763,000 円	最終予算額	763,000 円
			決算額	696,065 円
<p>「毎月の歳入、歳出事務が正確に行われているか」、「予算の使い方や事業の進め方が、法律に従って正しくかつ効率的に使われているか」などチェックしました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監査委員報酬 (2名) 55万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 例月出納検査 12日 (毎月原則 27日) ・ 定期監査 10日 (5月27日、7月23日、7月30日、7月31日、8月5日、8月6日、8月7日、8月8日、8月11日、8月19日) ・ 決算審査 10日 (5月27日、7月23日、7月30日、7月31日、8月5日、8月6日、8月7日、8月8日、8月11日、8月19日) <p>(3) 成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期監査講評 <p>財政の厳しいおりではありましたが、事務の執行は行政の効率化と健全制を念頭に置き執行され、処理も法令・規則により正確に実施されています。また、現物も帳簿と完全突合され、事務の管理・事業の執行は総じて良好であります。</p>				

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績			
3		民生費	902,867,706				
	1	社会福祉費	644,932,438				
		1	社会福祉総務費	206,169,975	決算事項別明細書 P44～		
社会福祉協議会の運営補助など(福祉グループ)				予算事業名：社会福祉総務費			
当初予算額 14,585,000 円 最終予算額 14,585,000 円				決算額 13,998,266 円			
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く人件費)に対する補助を行いました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の運営補助 1,399 万円 ・福祉診断書料給付金 1 万円 							
(2) 活動指標							
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く)に対して補助を行いました。主な活動内容は、3.1.1「悩みごと相談事業」及び3.1.3「高齢者在宅支援事業」などを参照							
また、福祉診断書料給付金として、身体障害者手帳の交付等の申請に必要な診断書の作成費用に補助を行いました。							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会運営補助金の推移 (単位：万円) 							
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	補助金額	553	1,500	1,296	1,553	1,371	1,399
基金(貯金)利子の積立て(福祉グループ)				予算事業名：社会福祉総務費			
当初予算額 31,000 円 最終予算額 40,000 円				決算額 40,000 円			
社会福祉事業に充てるため、またボランティア事業に充てるための財政の健全な運営を図るため、基金利子の積立てを行いました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉積立基金利子積立金 1.5 万円 ・ボランティア事業積立基金利子積立金 2.2 万円 ・高齢者福祉積立基金利子積立金 0.1 万円 ・福祉医療費貸付資金基金利子 0.2 万円 							
国民健康保険特別会計への繰出金(福祉グループ)				予算事業名：社会福祉総務費			
当初予算額 51,172,000 円 最終予算額 51,407,000 円				決算額 45,293,138 円			
国民健康保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・基盤安定繰出金 3,147 万円 ・出産育児一時金等繰出金 309 万円 ・財政安定化支援事業繰出金 468 万円 ・事務費等繰出金 605 万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> ・年度別推移 (単位：万円) 							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
	基盤安定	3,989	3,792	4,292	3,147		
	出産育児一時金等	200	257	303	309		
	財政安定化支援事業	450	511	448	468		
	事務費等	552	666	644	605		
	計	5,191	5,226	5,687	4,529		

民生児童委員活動と生活保護(福祉グループ)

予算事業名：民生児童委員等活動費

当初予算額 1,220,000 円 最終予算額 1,222,000 円 決算額 1,221,103 円

民生児童委員活動を積極的に展開し、要保護者のケース検討、障害者、老人、母子等の福祉をはじめ住民福祉の向上に努めました。

(1) 主な支出

- ・活動のための交付金・負担金等 119 万円
- ・民生委員推薦会謝礼 3 万円

(2) 活動指標

- ・民生児童委員数： 17名 (委員16名、主任児童委員1名)
- ・定例会の実施 月1回
- ・独居老人等要援護世帯への支援、相談
- ・生活保護平成20年度新規認定者 2世帯 (年度末総数 14世帯21人)

(3) 活動指数の推移

- ・民生児童委員への相談、支援件数

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	259	140	132	192	260

- ・生活保護の認定者数の推移

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
認定者数	3	2	4	2	6
年度末総数	7世帯11人	9世帯13人	11世帯15人	13世帯16人	14世帯21人

乳幼児・障害者等の医療費の補助(福祉グループ)

予算事業名：福祉医療費給付事業費

当初予算額 66,526,000 円 最終予算額 66,526,000 円 決算額 53,330,005 円

一定の条件に当てはまる乳幼児や障害者、高齢者、母子・父子家庭にかかる医療費の負担を軽くするため、福祉医療費の給付を行いました。乳幼児の範囲を小学校卒業まで延長し、8月から身体障害者手帳3級該当者の所得制限を緩和しました。

(1) 主な支出

- ・福祉医療費給付金 4,804 万円
- ・システム保守・改修・使用料 63 万円
- ・福祉医療費事務手数料等 457 万円

(2) 活動指標

平成21年3月31日現在の資格別受給者数及び給付実績

資格名称	受給者数(人)	延件数	給付額(万円)	全体に占める割合		
				受給者	延件数	給付額
乳幼児・児童	1,243	12,826	1,895	70.3%	65.1%	39.4%
重度心身障害者	309	5,160	2,608	17.5%	26.2%	54.3%
身障手帳1級	29	601	392	1.6%	3.1%	8.2%
身障手帳2級	18	340	156	1.0%	1.7%	3.2%
身障手帳3級	18	403	226	1.0%	2.0%	4.7%
療育手帳A1	23	229	57	1.3%	1.2%	1.2%
療育手帳A2	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
療育手帳B1	20	169	73	1.1%	0.9%	1.5%
65歳以上国民年金施行令別表該当	192	3,312	1,673	10.9%	16.8%	34.8%
精神保健福祉手帳1級(通院のみ)	9	106	31	0.5%	0.5%	0.6%

父子家庭	7	10	2	0.4%	0.1%	0.0%
父子の父	3	1	0	0.2%	0.0%	0.0%
父子の子	4	9	2	0.2%	0.0%	0.0%
母子家庭等	199	1,421	239	11.3%	7.2%	5.0%
母子の母	75	606	131	4.2%	3.1%	2.7%
母子の子	119	812	108	6.7%	4.1%	2.2%
父母のいない児童	5	3	0	0.3%	0.0%	0.0%
65歳以上独り暮らし老人	0	3	1	0.0%	0.0%	0.0%
68歳以上低所得老人（70歳未満）	9	283	59	0.5%	1.4%	1.2%
計	1,767	19,703	4,804	100.0%	100.0%	100.0%

※ 65歳以上独り暮らし老人は20年3月31日で経過措置終了
支給額1万円未満は0とした

(3) 活動指標の推移

・対象者数の推移

(単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
乳幼児・児童	650	631	648	647	1,243
重度心身障害者	256	266	279	272	309
父子家庭	5	10	8	11	7
母子家庭	158	175	163	178	199
65歳以上独り暮らし老人	11	9	4	1	0
68歳以上低所得老人	62	52	17	15	9
計	1,142	1,143	1,119	1,124	1,767

毎年度3月31日現在

・給付件数の推移

(単位：万円)

	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	延件数	給付額	延件数	給付額	延件数	給付額
乳幼児	7,565	1,461	8,280	1,603	7,767	1,469
町単分(再掲)						
入院時食費	124	30	135	39	110	23
その他	3,099	523	3,377	584	791	162
重度心身障害者	4,161	2,016	4,682	2,384	4,399	2,505
町単分(再掲)						
入院時食費	269	384	326	471	334	489
その他	-	-	-	-	-	-
父子家庭	15	1	10	12	9	6
町単分(再掲)						
入院時食費	0	0	1	1	0	0
母子家庭	1,134	209	1,312	228	1,252	292
町単分(再掲)						
入院時食費	7	1	6	2	13	7
65歳以上独り暮らし老人	181	50	145	42	97	28
68歳以上低所得老人	820	195	973	218	572	139
合計	13,876	3,932	15,402	4,487	14,096	4,439

	平成19年度		平成20年度	
	延件数	給付額	延件数A	給付額B
乳幼児	8,499	1,493	12,826	1,895
町単分(再掲)				
入院時食費	84	18	80	14
その他	-	-	4,668	716

重度心身障害者		5,100	2,713	5,160	2,608
町単分 (再掲)	入院時食費	359	540	341	490
	その他	-	-	92	45
父子家庭		28	5	10	2
町単分 (再掲)	入院時食費	0	0	0	0
母子家庭		1,556	281	1,421	239
町単分 (再掲)	入院時食費	2	1	2	0
65歳以上独り暮らし老人		39	12	3	1
68歳以上低所得老人		219	50	283	59
合計		15,441	4,554	19,703	4,804

ひとり親家庭等児童福祉手当など(福祉グループ)

予算事業名：ひとり親家庭福祉事業費

当初予算額 1,564,000 円 最終予算額 1,564,000 円 決算額 1,200,000 円

ひとり親家庭等の経済負担を軽くするため、手当や年金を支給しました。また、母子寡婦福祉会への助成を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 母子・父子家庭児童福祉年金 62 万円
- ・ 母子・父子家庭児童福祉手当 52 万円
- ・ 交通・災害遺児等年金 2 万円
- ・ 母子寡婦福祉会への助成等 6 万円

(2) 活動指標

(単位：万円)

項目	支給件数 (件)	支給金額
母子父子家庭児童福祉年金	77	62
母子父子家庭児童福祉手当	39	52
計	116	114

- ・ 母と子の集い事業 5月25日(日)雨天のため健康福祉センター調理室で交流会を実施。参加者40名。

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

年度	母子父子家庭児童福祉年金		母子父子家庭児童福祉手当	
	件数	金額	件数	金額
平成16年度	74	56	56	65
平成17年度	75	59	56	69
平成18年度	72	58	34	49
平成19年度	76	63	37	54
平成20年度	77	62	39	52

総合相談所の開設(福祉グループ)

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 857,000 円 最終予算額 857,000 円 決算額 747,942 円

町民の皆さんから寄せられる専門的な相談に応じるため、総合相談所を開設するとともに、社会福祉協議会に心配ごと、結婚相談業務などを委託し、事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 相談員謝礼 13 万円
- ・ 事業委託費 62 万円

(2) 活動指標

- ・ 弁護士、司法書士、人権擁護委員、行政相談委員、民生児童委員による総合相談所の開設年4回

開設日	H20. 5. 23	H20. 8. 22	H20. 10. 24	H21. 2. 27
受付件数	9	5	6	6

- ・心配ごと相談の実施 月2回、(第1・第3火曜日) 年間相談件数11件
- ・結婚相談の実施 毎週火、水、木にセンターにて開催 専門相談員 2人
- ・行路浮浪人救護 随時

(3) 活動指数の推移

- ・相談件数の推移

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	24	27	36	22	26

相談内容・・・相続、離婚、土地問題等

- ・心配ごと相談件数

年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	9	5	6	9	11

相談内容・・・生計家庭、住宅、精神医療問題等

- ・結婚相談件数

年度	平成20年度
件数	延べ89

登録人数：18人（男性13人、女性5人）

（本人：51件、家族38件）

- ・行路浮浪人救護件数

年度	平成20年度
人数	9

給付金額4,500円（1人500円）

(4) 成果指標

- ・結婚相談事業 お見合い件数：3件 成婚件数：0件

子ども教育相談(教育文化グループ)

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 27,000 円 最終予算額 27,000 円 決算額 26,664 円

明るく健全な子どもの育成を願い、子どもに関わる諸問題の解決に向けた相談活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・相談員への謝礼 2万円

(2) 活動指標

- ・相談員 4人
- ・場所：北斎ホール相談室
- ・毎週水曜日、年間50回開催 相談件数9件

(3) 活動指数の推移

- ・相談件数 (単位：件)

平成18年度	平成19年度	平成20年度
9	6	9

行政相談委員活動の支援(総務グループ)

予算事業名：悩み事相談事業費

当初予算額 25,000 円 最終予算額 25,000 円 決算額 15,000 円

国や独立行政法人等の行政に対する苦情や相談に応じ、その問題解決を図る行政相談委員の活動に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- 行政相談委員活動助成金 1.5 万円

(2) 活動指標

- 行政相談委員活動
相談日：毎月第3金曜日（年12回のうち4回は総合相談と共催）及び随時
相談場所：北斎ホールほか 相談件数：19件

(3) 活動指数の推移

- 行政相談受付件数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受付件数	14	19	20	15	19

福祉灯油購入への助成(福祉グループ)

予算事業名：福祉灯油購入費助成事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 1,290,000 円 決算額 1,145,000 円

灯油価格の高騰により、冬期間の生活に深刻な影響がある低所得者世帯に対し、昨年引き続き灯油購入費の助成を行いました。

(1) 主な支出

- 福祉灯油購入費助成事業補助金 115 万円

(2) 活動指標

- 福祉灯油購入費助成（一世帯あたり5,000円） 229世帯
対象世帯・生活保護世帯
・世帯全員が住民税非課税で次のいずれかに該当する世帯
高齢者世帯 障害者世帯 特定疾患等認定世帯
要介護世帯 ひとり親世帯

(3) 活動指標の推移

- 助成金額等 (単位：万円)

	平成19年度	平成20年度
補助総額	102	115
補助世帯	203	229

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 87,543,000 円 最終予算額 90,885,000 円 決算額 89,152,857 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 8,915 万円

2 国民年金事務費

893,287

決算事項別明細書 P44～

国民年金の加入等の手続き(生活環境グループ)

予算事業名：国民年金事務費

当初予算額 949,000 円 最終予算額 949,000 円 決算額 893,287 円

国民年金は、すべての国民が加入する制度で、年金制度の中でも基本となるものです。国民年金の財源は、国民の皆さんが納めた年金の保険料と国に納められた税金で賄われています。

町では、自営業や農業などの1号被保険者の皆さんの加入の届出・保険料免除申請の窓口となっています。

- (1) 主な支出
 ・ 社会保険事務所との連絡にかかる経費 89 万円

- (2) 活動指標
- ・ 国民年金加入状況
 - ・ 強制加入被保険者 1,759 人
 - ・ 任意加入被保険者 17 人
 - ・ 第3号被保険者 732 人
 - 計 2,508 人
 - ・ 付加保険料納付数 112 人
 - ・ 保険料免除者数
 - ・ 法定免除 64 人
 - ・ 申請免除（全額） 101 人
 - ・ 申請免除（3/4） 18 人
 - ・ 申請免除（半額） 14 人
 - ・ 申請免除（1/4） 6 人
 - ・ 学生納付特例 149 人
 - ・ 若年者猶予 23 人
 - 計 375 人

3	高齢者福祉費	261,135,395	決算事項別明細書 P45～
養護老人ホーム入所費用の補助(福祉グループ)			予算事業名：高齢者福祉事業費
当初予算額	12,975,000 円	最終予算額	12,975,000 円
		決算額	13,168,046 円

家庭内や経済的な事情により養護老人ホームに入所している人の入所費用を補助しました。

- (1) 主な支出
 施設入所措置費 1,317 万円

- (2) 活動指標
 ・ 養護老人ホーム措置費

施設名	入所者数（人） （平成21年3月31日現在）	措置費（万円）
長野広域連合 はにしな寮	2	442
長野広域連合 松寿荘	4	617
社会福祉法人睦会 寿楽園	1	258
計	7	1,317

- (3) 活動指標の推移
 ・ 入所者と措置費の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入所者数（人）	7	7	7	7	7
措置費（万円）	1,762	1,583	1,445	1,235	1,317

長野広域連合養護老人ホームに係る入所者 はにしな寮2人、松寿荘4人措置

介護保険利用者の負担軽減(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 150,000 円 最終予算額 150,000 円 決算額 18,829 円

介護保険を利用している低所得者の方の負担を軽減するため、介護保険サービスの利用料の助成を行いました。

(1) 主な支出

- ・利用者負担軽減制度事業補助金 2 万円

(2) 活動指標

- ・介護サービス等で社会福祉法人を利用している生活困窮者の利用者負担に対し補助を行いました。(社会福祉法人等減免補助金は、介護保険料徴収に係る第二段階までの所得区分に属している方で所得や資産の状況等により、特に生計が困難である方に対し利用料の1/4を減免します。)

(3) 活動指標の推移

- ・件数、金額の推移 (単位：万円)

平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	5	1	1	1	2	1	2

シルバー人材センターの支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 2,998,000 円 最終予算額 2,998,000 円 決算額 2,998,000 円

知識や技術を生かし、地域社会に貢献したい働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供しているシルバー人材センターへ負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・須高広域シルバー人材センター負担金 299.3 万円
- ・長野県シルバー人材センター会費 0.5 万円

(2) 活動指標

高齢者の皆さんに社会貢献の場と就業の機会を提供しているシルバー人材センターの主な活動は次のとおりです。

- ・植木剪定、大工修繕、塗装、障子襖貼りなど
- ・賞状、宛名筆耕、毛筆書、看板書など
- ・施設管理、駐車場管理など
- ・外交、文書配達、集金など
- ・草取り、草刈り、清掃、調理、農作業など
- ・食事介護、家事など

(3) 活動指標の推移

- ・須高シルバー人材センターの会員の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
会員数	680	678	668	646	684
うち小布施町の会員	91	102	88	89	92

後期高齢者医療医療制度に対する負担(健康グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 90,270,000 円 最終予算額 90,825,000 円 決算額 83,768,594 円

長野県後期高齢者医療広域連合の運営に必要な事務費や医療費の一部に充てられる負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・広域連合負担金 8,377 万円

- (2) 活動指標
- ・ 医療費負担金 7,959 万円
 - ・ 事務費負担金 418 万円

老人保健特別会計への繰出金(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 15,208,000 円 最終予算額 12,362,000 円 決算額 8,557,438 円

老人保健制度は後期高齢者医療制度の創設に伴い平成21年3月末に廃止されましたが、それ以前の清算分に係るものについて繰り出しました。

- (1) 主な支出
- ・ 繰出金 856 万円

- (2) 活動指標
- ・ 繰出金の内容
 - 医療給付費等 856 万円

- (3) 活動指標の推移 (単位：万円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
繰出金	9,308	10,766	6,926	856

介護保険特別会計への繰出金(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 110,038,000 円 最終予算額 115,373,000 円 決算額 98,410,000 円

介護保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

- (1) 主な支出
- ・ 繰出金 9,841 万円

- (2) 活動指標
- ・ 繰出金の内容
 - 介護給付費 8,517 万円
 - 地域支援事業 391 万円
 - その他 933 万円

- (3) 活動指標の推移 (単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
繰出金	8,287	8,556	8,911	8,924	9,841

後期高齢者医療特別会計への繰出金(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 18,768,000 円 最終予算額 20,468,000 円 決算額 18,866,270 円

後期高齢者医療事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

- (1) 主な支出
- ・ 繰出金 1,887 万円

- (2) 活動指標
- ・ 繰出金の内容
 - 基盤安定 1,787 万円
 - 事務費等 100 万円

- ・ 後期高齢者医療保険料軽減該当者

	人数	軽減額(円)
7割軽減	548	13,406,449
5割軽減	209	3,683,179
2割軽減	111	776,642

高齢者の在宅生活支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者在宅支援事業費

当初予算額 10,607,000 円

最終予算額 10,607,000 円

決算額 8,907,500 円

家に閉じこもりがちな高齢者が、寝たきりや認知症にならないよう、趣味の活動や仲間づくりの場を提供する「いきいきサロン」や、介護が必要な高齢者の皆さんが、安心して自分の家で生活できるための住宅改修に対する補助を実施しました。

(1) 主な支出

- ・福祉バス運行サービス 376 万円
- ・福祉用具貸与サービス 10 万円
- ・生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン) 358 万円
(社会福祉協議会・NPO法人しなのぐらしに委託)
- ・高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 70 万円
- ・訪問・通所理美容サービス 6 万円
- ・ホームヘルパー養成研修 72 万円

(2) 活動指標

- ・高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 生きがい福祉バス運行サービス事業	64人 459回	入浴サービス、通院、入退院等の送迎(社会福祉協議会へ委託)
2 訪問・通所理美容サービス事業	47人 73回	常時臥床している者等で、訪問による理美容でなければ散髪ができない者(社会福祉協議会へ委託)
3 福祉用具貸与サービス事業	30人 37品目	入院中の外泊、自立の判定、認定の対象外等で日常生活に福祉用具が必要な者(社会福祉協議会へ委託)

- ・生きがい活動支援通所事業 52 人
- ・高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 1 件
- ・ホームヘルパー養成研修 6/3～8/28 (20日間)

(3) 活動指標の推移

在宅での介護を補完する意味での重要な生活支援サービスで特に福祉バス、福祉用具貸与は、在宅での介護に大きな役割を果たしています。

- ・利用者数の推移

項目		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1 生きがい福祉バス運行サービス事業	利用実人員	58人	68人	70人	64人
	延利用回数	618回	469回	452回	459回
2 訪問・通所理美容サービス事業	利用実人員	20人	30人	41人	47人
	延利用回数	58回	57回	77回	73回
3 福祉用具貸与サービス事業	利用実人員	27人	34人	28人	30人
	延利用回数	30品目	40品目	29品目	37品目

項目		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン)	利用実人員	50人	57人	62人	52人
	延利用回数	3,781回	4,322回	3,967回	3,286回
高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金	件数	1件	5件	1件	1件
	金額	70万円	275万円	9万円	70万円
ホームヘルパー養成研修	受講者数	12人	19人	10人	10人

ひとり暮らし高齢者等への支援(福祉グループ)

予算事業名：ひとり暮らし高齢者等支援事業費

当初予算額 2,105,000 円 最終予算額 2,105,000 円 決算額 1,582,475 円

一人暮らしや二人暮らしの高齢者が、安心して在宅で生活できるための支援を実施しました。

(1) 主な支出

- ・寝具類等洗濯乾燥消毒サービス 0.4万円
- ・軽度生活援助サービス 140万円
- ・緊急通報体制等整備事業(自動消火器の購入) 6万円

(2) 活動指標

- ・高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 軽度生活支援サービス事業	6人 7回	自立の判定、独居、身障等の理由で日常生活上支援が必要な者へのヘルパー派遣(社会福祉協議会へ委託)
2 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	1人 1回	独居、高齢者世帯等で常時在宅で臥床している者で、寝具の衛生管理が困難な者(社会福祉協議会へ委託)

- ・緊急通報体制等整備事業 自動消火器(新規) 1件

(3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移

項目		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1 軽度生活支援サービス事業	利用実人員	3人	2人	12人	6人
	延利用回数	159回	64回	39回	7回
2 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	利用実人員	1人	1人	2人	1人
	延利用回数	5回	2回	2回	1回

項目		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
緊急通報体制等整備事業 新規設置数	件数	1件	1件	3件	1件
	金額	5万円	12万円	16万円	6万円

老人クラブの支援(福祉グループ)

予算事業名：高齢者生きがいつくり支援費

当初予算額 1,534,000 円 最終予算額 1,534,000 円 決算額 1,469,840 円

高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会や各支部のクラブ活動を支援するため、補助金を交付しました。また、高齢者の知識・技能を生かすとともに、子・孫世代と交流を図るためにしめ縄づくり教室を開催しました。

(1) 主な支出

- ・老人クラブ連合会補助金 72万円
- ・各支部老人クラブ補助金 72万円
- ・しめ縄づくり教室材料費など 3万円

(2) 活動指標

- ・老人クラブ連合会員 812人
 - 小布施荘への慰問
 - ひとり暮らし、2人暮らし高齢者宅訪問や生活支援活動
 - 花いっぱい運動
 - 神社境内の清掃などの奉仕活動

老人スポーツ大会（囲碁ボール、マレットゴルフ、ゲートボール）への参加
健康づくり事業
学習活動の実施

- ・しめ縄づくり教室
平成20年12月20日 在宅介護支援センターで実施

(3) 活動指標の推移

- ・会員数と補助金の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
会員数（人）	970	911	814	846	812
補助金（万円）	155	149	139	145	144

- ・しめ縄づくり教室参加者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
参加者数（人）	33	31	54	41	49

長寿者訪問(福祉グループ)

予算事業名：高齢者生きがいがづくり支援費

当初予算額 436,000 円 最終予算額 436,000 円 決算額 391,690 円

長寿の節目を迎えた皆さんを祝福し、祝い品をお贈りしました。

(1) 主な支出

- ・記念品（湯飲み茶碗） 38 万円
- ・色紙・たとう紙等 1 万円

(2) 活動指標

- ・対象者 米寿 57人、白寿7人、百賀以上 6人
- ・町長が訪問して記念品を贈呈(9月9日～9月10日)

(3) 活動指標の推移

- ・対象者の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
対象者数（人）	53	62	47	63	70

生活支援ハウスの管理運営(福祉グループ)

予算事業名：生活支援ハウス管理費

当初予算額 8,036,000 円 最終予算額 8,005,000 円 決算額 7,434,388 円

生活支援ハウス利用者に対する各種相談や助言、緊急の対応他、利用者の虚弱化に伴う通所、訪問介護サービス、保健福祉サービスを必要とする場合は、必要に応じて利用手続きの援助を実施しました。

(1) 主な支出

- ・生活支援ハウス居住部門の管理運営委託料 462 万円
- 内訳 人件費(生活援助員、宿直手当) 412 万円
- 光熱水費、電話料、消耗品 49 万円
- その他の経費 1 万円
- ・土地借上料 279 万円
- ・火災保険料 4 万円

(2) 活動指標

- ・指定管理者：J A須高

- ・入居者に対する各種相談や助言
- ・緊急時の対応
- ・デイサービスセンターへの通所や訪問介護サービス、その他の保健福祉サービスを必要とする場合の利用手続きの援助

(3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移 (単位：人)

生活支援ハウス	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
デイサービスセンター 利用者数	4,525	7,738	8,414	9,142	10,193
居住部門 入居者数	5	5	5	4	4
参考 65歳以上の独り暮らし数	145	146	159	157	161

60歳以上の一人暮らしで、独立して生活することに不安のある方に住居を提供することで、安心して生活を送っていただいています。

デイサービスセンターの管理(福祉グループ)

予算事業名：デイサービスセンター管理費

当初予算額 1,666,000 円 最終予算額 1,666,000 円 決算額 1,665,141 円

デイサービスセンター運営のための土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・福祉施設用地借上料 161 万円
- ・火災保険料 6 万円

(2) 活動指標

- ・デイサービス (通所介護)

介護している家族の身体的、精神的な負担の軽減と、利用者の心身機能の維持回復や、趣味生きがいがつくりとして、日帰りでご利用いただく施設で、送迎、入浴、昼食等のサービスが受けられます。

(3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
延利用者数	8,938	8,213	8,225	9,127	9,221

小布施荘の用地の借上げなど(福祉サービス)

予算事業名：広域連合高齢者福祉施設管理費

当初予算額 4,650,000 円 最終予算額 4,650,000 円 決算額 4,567,615 円

長野広域連合が管理運営する養護老人ホームに関する施設の管理運営に係る費用、また特別養護老人ホーム小布施荘に関する土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・施設管理費負担金 46.6 万円
- ・入所判定委員会負担金 0.1 万円
- ・福祉施設用地借上料 411 万円

(2) 活動指標

- ・長野広域連合養護老人ホームに係る負担金
- ・長野広域連合特別養護老人ホームの土地借上料

(3) 活動指標の推移

- ・小布施荘利用者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
小布施荘利用者数（小布施町分）（人）	13	16	13	15	24
ショートステイ利用延べ日数（日）	322	2,698	2,881	2,977	2,909

千年樹の里共同通路と駐車場の整備(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉施設整備事業費

当初予算額 9,406,000 円 最終予算額 9,437,000 円 決算額 9,329,569 円

施設利用者の利便性の向上、安全性の向上を図るため、健康福祉センター、おぶせ荘、新生病院の共同道路の舗装修繕、千年樹の里用駐車場整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 千年樹の里駐車場測量委託 35 万円
- ・ 千年樹の里駐車場整備工事 143 万円
- ・ 千年樹の里共同通路整備工事 743 万円
- ・ 千年樹の里駐車場畑かん負担金 12 万円

(2) 活動指標の推移

- ・ 千年樹の里共同通路整備費用 (単位：万円)

	平成19年度	平成20年度	計
千年樹の里共同通路整備	96	743	839

(3) 成果指標

- ・ 千年樹の里の駐車スペースが44台分確保でき、また、東側道路とつながったことにより施設駐車場の利便性も上がりました。

4 人権・同和政策費 4,922,048

決算事項別明細書 P45～

人権擁護委員の活動支援(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 49,000 円 最終予算額 49,000 円 決算額 30,000 円

人権擁護委員の活動を支援するため、助成金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・ 人権擁護委員活動助成金 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 人権相談 毎月1回第1水曜日実施
- ・ 場所 北斎ホール相談室
- ・ 相談件数 0 件

(3) 活動指標の推移

- ・ 相談件数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	0件	0件	0件

※人権に関する相談はありませんでした。

人権同和生活相談(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 50,000 円

対象となる地域の人たちの、生活上の不安や悩みなどの相談事業を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 生活相談委託料 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 同和地区の人たちの生活相談を随時受付・地区を巡回指導

(3) 活動指標の推移

相談件数の推移

(件)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
7	0	3	2	0

差別のない明るい社会の推進(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 49,000 円 最終予算額 49,000 円 決算額 40,226 円

差別のない明るい社会の実現に向けて活動している協議会へ負担金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 県人権擁護委員協議会負担金 4 万円

(2) 活動指標

- ・ 県人権擁護委員協議会の活動内容
人権擁護委員研修、人権啓発講演会の開催、街頭人権啓発、特設人権相談、機関紙（ヒューマン）発行

研修会や講演会の開催、機関紙（ヒューマン）の発行などの活動により、人権に関する意識を高めています。

部落解放関係団体の支援(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 4,030,000 円 最終予算額 4,030,000 円 決算額 3,974,000 円

差別のない明るい社会の実現のため、地域で活動している部落解放関係団体に補助金を交付しました。

(1) 主な支出

- ・ 部落解放同盟 小布施町協議会 382 万円
- ・ 部落解放同盟 須高地区協議会 15 万円

(2) 活動指標

部落解放同盟 小布施町協議会	人権救済法制定運動・狭山事件再審闘争・人権のまちづくり・部落差別実態把握・雇用対策・部落解放運動・後継者育成
部落解放同盟 須高地区協議会	

(3) 成果指標

- ・ ここ数年、町内での差別事象等の発生の報告はありません。

差別撤廃・人権擁護審議委員会(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 119,000 円 最終予算額 119,000 円 決算額 38,500 円

小布施町におけるあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例に基づき、差別撤廃・人権擁護審議委員会を委嘱し、町人権教育計画について審議しました。

(1) 主な支出

- ・ 委員への報酬 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 審議会の開催 5月14日

- ・今年度の町人権教育計画について審議されました。

集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 382,000 円 最終予算額 382,000 円 決算額 385,322 円

同和対策集会所・作業所の屋根の修繕等を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設修繕費 8 万円
- ・火災保険料等 31 万円

(2) 活動指標

- ・厚生住宅浴槽取替え
- ・雁中集会所フェンス取替え
- ・集会所では周辺住民による人権問題講座等を開催し、作業所については、主に農機具等の保管に使われています。

住宅新築資金等貸付事業特別会計への繰出金(教育文化グループ)

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 424,000 円 最終予算額 424,000 円 決算額 404,000 円

住宅新築資金等貸付事業特別会計へ繰出金を支出しました。

(1) 主な支出

- ・繰出金 40 万円

5 障害者福祉費 154,238,608

決算事項別明細書 P46～

自立支援法による障害福祉サービスの給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 160,108,000 円 最終予算額 160,108,000 円 決算額 135,778,880 円

平成18年より障害種別にかかわらず、生活を支援する福祉サービス利用の仕組みが一つとなりました。おもに在宅や施設入所での生活支援サービスである介護給付と、施設へ通所して作業や一般就労を目指すサービスの訓練等給付があります。

(1) 主な支出 (負担割合 国1/2、県1/4、町1/4)

- ・ホームヘルプなどの介護給付費 3,334 万円
- ・特例介護給付費 63 万円
- ・療養介護医療費 85 万円
- ・サービス利用計画作成費 8 万円
- ・支援費 旧法施設支援費 6,669 万円
- ・特定障害者特別給付費 282 万円
- ・就労移行支援などの訓練等給付費 3,136 万円

(2) 活動指標

- ・事業別の給付費の状況

事業種別		事業名	利用者数 (人)	給付費 (万円)
介護給付費等	在宅	居宅介護等	8	1,930
		短期入所	6	315
	住	グループホーム、ケアホーム	5	473
		施設入所支援	1	24
	通所	生活介護	1	309
		基準該当生活介護	1	63
		療養介護	1	282

介護給付費等	療養介護医療費 旧法施設支援	入所	療養介護医療費	1	85
			旧身体障害者施設支援	7	2,018
			旧知的障害者施設支援	11	2,985
			特定障害者特別給付費	17	282
			旧知的障害者施設支援	10	1,665
訓練等給付	訓練等給付費	通所	自立訓練	1	68
			就労移行支援	7	891
			就労継続支援A	3	312
			就労継続支援B	20	1,865
サービス利用計画作成費			1	8	
計			101	13,575	

(3) 活動指標の推移

- 支援費、自立支援給付費の給付状況 (単位：万円)

支援費		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
施設	入所	22	8,087	25	8,195	22	7,969
	通所	7		10		12	
居宅生活支援		14	362	24	645	32	1,224

平成18年度						
支援費		件数	金額	自立支援給付費	件数	金額
施設 3月～9月	入所	22	4,405	訓練等給付費10月～2月	10	277
	通所	16		旧法施設支援10月～2月	31	2,926
居宅生活支援 3月		20	209	介護給付費4月～2月	29	2,361

給付費	平成19年度		平成20年度	
	件数	金額	件数	金額
自立支援給付費				
訓練等給付費	27	1,843	31	3,136
旧法施設支援	31	7,201	45	6,950
介護給付費	21	2,930	25	3,490

- 総事業費対前年比

年度	事業費	前年比
16	8,840	104.6%
17	9,193	104.0%
18	10,178	110.7%
19	11,974	117.6%
20	13,577	113.4%

- 平成19年10月よりみすみ草が就労継続支援事業B型の事業所指定を受けました。これによりみすみ草は、どなたでも利用できる社会交流促進の場としての地域活動支援センターと、作業を中心とする事業所の2つの機能を持ち、利用者の状態に応じた選択肢が広がりました。
- 総事業費で比較すると、障害福祉サービス費は毎年伸びています。3障害（知的・身体・精神障害）が対象となり利用希望者が増えたこと、提供事業者が増えてきたことが理由として考えられます。今後は自立支援法の福祉サービス以外のインフォーマル・地域サービスの提供を充実させたり、一般就労などを目指す事業の強化を進めていく必要があると考えます。

地域生活支援事業による障害福祉サービスの給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 2,133,000 円

最終予算額 2,133,000 円

決算額 1,879,127 円

外出のための支援を行う「移動支援事業」と、日中に介護する人がいないなどの理由で見守りが必要な障害のある人を支援する「日中一時支援サービス事業」を実施しました。この事業は、障害のある人のニーズや施設、支援機関などの社会資源など地域の実情に合った、必要な事業を町が実施するものです。(平成18年10月より実施)さらに、他市町村の地域活動支援センターを利用した方がいた場合、1日1,000円の利用料を町がセンターへ支払います。

(1) 主な支出

- ・ 移動支援事業 171 万円
- ・ 日中一時支援サービス事業 15 万円
- ・ 地域活動支援センター費(他市町村利用) 1万円

(2) 活動指標

- ・ 実施状況
 - 移動支援事業利用者数(個別支援) 12人
 - 日中一時支援サービス事業利用者数 2人
 - 他市町村の地域活動支援センター利用者1人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付状況の推移

		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		人数	金額	人数	金額	人数	金額
移動支援	個別	2	48	4	142	12	165
	グループ	0	0	1	0.9	2	6
日中一時支援		2	38	1	11	2	15

- ・ 今後は利用者、関係機関との連携や自立支援協議会を通じ、ニーズに合った事業へと充実させていくことに努めます。
- ・ 平成19年度、移動支援事業のグループ支援について、利用者サービス従事者の比率を従来の2対1、3対2に3対1を追加しサービス利用や余暇活動の実施に移動支援事業を利用しやすくなるよう変更しました。

障害福祉サービスの利用(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,477,000 円

最終予算額 1,584,000 円

決算額 1,570,728 円

自立支援法の障害福祉サービスの利用希望者に対し、認定調査を行いました。また介護給付サービスは長野広域連合に設置した審査会の二次判定結果を基に、障害程度区分の認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査会の運営のための負担金 32 万円
- ・ 受給者証作成システムの使用料 100 万円
- ・ 主治医意見書作成 3 万円
- ・ 受給者証作成、発行のための事務費 3 万円
- ・ 審査支払の手数料 19 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定調査件数 13 件 (児童 3件)
- ・ 医師意見書作成依頼件数 6 件
- ・ 長野広域連合審査判定依頼件数 6 件

身体障害者への補装具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 3,523,000 円 最終予算額 3,523,000 円 決算額 2,455,625 円

身体障害者の身体部分の機能を補う用具の購入・修理に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 補装具の購入・修理費 234万円
- ・ 自己負担金への援助 11万円
- ・ 人口肛門使用者援護金 0.3万円

(2) 活動指標

- ・ 補装具の購入・修理費内訳

障害者	交付	9件	141万円	修理	14件	48万円
障害児	交付	2件	45万円	修理	0件	0万円
- ・ 自己負担金への援助

交付	10件	11万円
----	-----	------

(3) 活動指標の推移

- ・ 補装具の給付状況 (単位：万円)

		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
補装具	交付	81	394	81	332	67	304	9	102	11	186
	修理	10	24	9	24	17	43	14	47	14	48
自己負担金への援助		15	20	17	39	20	29	9	6	10	11

日常生活用具の給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 2,596,000 円 最終予算額 2,596,000 円 決算額 2,068,086 円

在宅で過ごす障害者の生活を支援するため、視覚障害者用ポータブルレコーダー、たん吸引器など日常生活用具の購入に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 日常生活用具の購入 207万円

(2) 活動指標

- ・ 日常生活用具の購入 216件
 - 内訳
 - ・ 入浴補助用具 1件
 - ・ 点字ディスプレイ 1件
 - ・ ネブライザー(吸引器) 2件
 - ・ 視覚障害者用ポータブルレコーダー 1件
 - ・ ストーマ装具 211件 (1か月分を1件とカウント)

(3) 活動指標の推移

- ・ 日常生活用具の給付状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	4件	5件	44件	198件	216件
給付金額	37万円	50万円	121万円	176万円	207万円

※ 平成18年10月から排せつ管理支援用具が補装具から日常生活用具の対象品目へと移行したため給付金額が伸びています。

自立支援医療費への補助(旧更生医療)(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,100,000 円 最終予算額 1,100,000 円 決算額 742,255 円

障害の程度を軽くするために行う手術に対し補助を行いました。これまでの障害に係る公費負担医療であった更生医療が平成18年4月より自立支援医療と変わりました。

(1) 主な支出

- ・ 旧更生医療への助成 74 万円
- ・ 審査支払の手数料 0.2 万円

(2) 活動指標

- ・ 自立支援医療給付(旧更生医療) 9 人
(腎臓機能障害 - 人工透析、肢体不自由 - 人工関節置換術 等)

(3) 活動指標の推移

- ・ 医療給付の状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
レセプト枚数	25枚	27枚	37枚	29枚	41枚
金額	91万円	108万円	175万円	60.2万円	74万円

タイムケア・障害児者等自立生活体験事業(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,654,000 円 最終予算額 1,654,000 円 決算額 1,548,375 円

家族が日中、介護を時間単位で依頼したときの利用料を負担しました。(タイムケア事業)グループホーム等での宿泊体験を行い、自立生活に向けて支援を行いました。(自立生活体験事業)

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人等の介護費用への支出 138万円
- ・ 自立生活体験事業 17万円

(2) 活動指標

- ・ タイムケア事業利用登録者実数 22 人
(決められた時間内(300時間)の中で、家族などが一時的に家庭において介護できないとき、施設や近隣等で介護を受けます。)
- ・ 自立生活体験事業利用者数 2 人
(将来地域で自立して暮らしていくため、グループホーム等で宿泊体験を行い、自立生活へ向け支援します。)

(3) 活動指標の推移

- ・ タイムケアの利用状況

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人数	12人	21人	29人	24人	22人
金額	78万円	49万円	122万円	138万円	138万円

通所・通園等の援助(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 60,000 円 最終予算額 60,000 円 決算額 71,709 円

心身障害児を持つ家庭への経済的支援のため、通所・通園にかかる交通費を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 通所・通園等にかかる交通費の援助 7 万円

(2) 活動指標

- ・ 援助件数 2 件

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	6件	4件	4件	3件	2件
金額	14万円	8万円	8万円	7万円	7万円

重度心身障害児福祉年金の給付(福祉グループ) 予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 280,000 円 最終予算額 280,000 円 決算額 221,666 円

重度の心身障害児に対して、障害の程度に応じて福祉年金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 重度心身障害児への福祉年金 22 万円

(2) 活動指標

- ・ 給付人数 17 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付件数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人数	22人	19人	18人	18人	17人
金額	25万円	24万円	22万円	22万円	22万円

児童福祉施設入所の援助など(福祉グループ) 予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,631,000 円 最終予算額 3,508,000 円 決算額 1,979,102 円

平成19年度の実績額が確定したことにより、自立支援給付費国庫負担金返還金などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 児童福祉施設入所の援護 6万円
- ・ 身体障害者保護費等国庫負担金返還金 188万円
- ・ 障害者スポーツ大会参加負担金 3万円
- ・ その他の経費 2万円

(2) 活動指標の推移

- ・ 児童福祉施設への援護件数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	2件	4件	4件	2件	1件
金額	6万円	12万円	13万円	11万円	6万円

相談支援事業・ケアマネジメント事業 予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,430,000 円 最終予算額 1,430,000 円 決算額 1,395,504 円

障害者自立支援法により須坂市、高山村と共同で相談支援事業の充実を目指しています。3市町村共同で須高地域障害者支援センターを設置し、障害のある人の権利や総合的なケアマネジメントの実現を目指しています。町や、小布施町の相談窓口であるみすみ草や関係機関との連携をとり生活上の相談から必要に応じ家庭訪問やケア会議の開催を行い、社会資源を活用した社会生活力を高めるための支援を続けています。

(1) 主な支出

- ・ 相談支援事業の委託 135万円
- ・ ケアプラン作成の費用 5万円

(2) 活動指標

- 平成20年度須高地域障害者支援センターケア会議開催件数（内小布施町）

	全体		小布施町	
知的	129	回	9	回
精神	29	回	8	回
身体	42	回	7	回
その他	11	回	0	回
合計	211	回	24	回

- ケアプラン作成 2名

窓口として須高地域障害者支援センターの認知度も上がり、多様な役割を担う機関となってきました。支援センターがあることにより地域の支援者間の横のつながりができ、支援者個人の視野の拡大や意識の向上にも繋がっています。今後の相談支援事業は利用される方のニーズに基づく支援を軸に、地域課題の共有と解決の中核事業となるように充実を目指します。

障害福祉計画の作成(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 147,000円 最終予算額 147,000円 決算額 26,000円

障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等の確保に関する計画です。平成18年度から20年度までの第1期計画を検証し、平成21年度から23年度までの3年間の計画を策定しました。

(1) 主な支出

- 障害福祉計画策定委員（15人）の報酬 2万円

(2) 活動指標

平成21年3月13日 障害福祉計画等策定懇話会 出席者 8名
自立支援法施行後の制度と小布施町の障害福祉
第2期策定に向けて

平成21年3月31日 策定 ページ数 30ページ

身体障害者への住宅整備への給付(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 900,000円 最終予算額 798,000円 決算額 0円

身体障害者の方の住宅改修に対し補助を行います。今年度は申請がありませんでした。

(1) 主な支出

- 住宅改修への補助 0万円

(2) 活動指標

0件

(3) 活動指標の推移

- 過去の給付実績

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	0件	1件	1件	0件	0件
金額	0万円	70万円	70万円	0万円	0万円

身体障害者の自動車改造への助成(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 100,000円 最終予算額 100,000円 決算額 100,000円

身体障害者の方の社会生活への参加を支援するため、自動車改造に対する補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 身体障害者用自動車改造への補助 10万円

(2) 活動指標

1件

(自動車の改造に要する費用の一部(10万円まで)を補助)

(3) 活動指標の推移

- ・ 過去の助成実績

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	0件	0件	2件	1件	1件
金額	0万円	0万円	20万円	2万円	10万円

手話通訳者などの派遣(福祉グループ)

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 139,000円 最終予算額 139,000円 決算額 45,100円

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しました。

(1) 主な支出

- ・ 手話通訳者の派遣 4万円

(2) 活動指標

- ・ 手話通訳派遣事業 9件
- ・ 要約筆記奉仕員派遣事業 0件

(派遣理由)

病院の診察、授業参観等

(3) 活動指標の推移

- ・ 手話通訳派遣事業

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	6件	7件	7件	11件	9件
金額	2万円	3万円	5万円	6万円	4万円

- ・ 要約筆記奉仕員派遣事業

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	1件	1件	1件	1件	0件
金額	3万円	2万円	0.8万円	0.8万円	0万円

- ・ 利用する方の立場にたったコミュニケーションの方法として講演会や会議等で手話通訳や要約筆記奉仕員などを派遣する機会を増やしていく必要があると考えます。

障害者自立支援対策特別対策事業

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 2,269,000円 最終予算額 2,269,000円 決算額 3,452,563円

平成19、20年度、法施行に伴う激変緩和と新たな事業に直ちには移行できない事業者の経過的な支援等、自立支援法への移行促進を図るため県に造成された基金を活用して特別対策事業を行いました。平成21年度もメニューが追加、改正され、23年度末まで実施されます。

(1) 主な支出

- ・ 拡大読書器の購入 23万円
- ・ 遊具の購入 16万円
- ・ 進行性筋委縮症に対する激変緩和 30万円
- ・ 通所サービス利用促進事業 95万円
- ・ ケアホーム重度障害者支援体制強化 22万円

- ・ 事業運営円滑化事業 159万円

(2) 活動指標

- ・ 拡大読書機 1台
- ・ コーナーマット、検査キット等 (障害児を育てる地域の支援体制整備事業による遊具の購入)
- ・ 通所サービス利用促進事業 対象事業者 6事業者
- ・ ケアホーム重度障害者支援体制強化事業 対象者 1名
- ・ 事業運営円滑化事業 対象事業者 7事業者

自立支援協議会の運営

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 110,000円 最終予算額 110,000円 決算額 109,270円

自立支援協議会は須高3市町村で平成19年8月に設立しました。毎月5つの部会を開催し、須高地域の障害福祉の底上げを図り、課題や社会資源の整備と活用を検討しています。行政、学校、保護者、障害福祉事業者等様々な人が参加し、情報共有やネットワークづくりの場となっています。

(1) 主な支出

- ・ 自立支援協議会運営のための負担金 11万円

(2) 活動指標

- ・ 全体会の開催 (8月25日) 42団体 59名の参加
- ・ こども部会によるシンポジウム (11月3日)
- ・ 須高地域発 地域で暮らしていこうフォーラムin小布施 (2月7日) 235名の参加

障害者希望の旅

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 861,000円 最終予算額 861,000円 決算額 794,618円

障害のある人とご家族を対象にバスで一泊旅行を実施。事業は社会福祉協議会へ委託しました。

(1) 主な支出

- ・ 社協への委託 79万円

(2) 活動指標

- ・ 7月10～11日 新潟編笹川流れ遊覧船、瀬波温泉で宿泊 参加者16人 ボランティア 2人

(3) 活動指標の推移

年度	主な行き先	参加者数	
		対象者	ボランティア
16	浜名湖花博、トヨタ会館	21	2
17	羊馬サファリパーク、伊香保グリーン牧場	19	2
18	飛騨の里、高山祭りミュージアム	14	2
19	富士サファリパーク	10	3
20	新潟県笹川流れ遊覧船、瀬波温泉	16	2

6 健康福祉センター費 12,239,679円 決算事項別明細書 P46～

健康福祉センターの管理運営(福祉グループ)

予算事業名：健康福祉センター管理費

当初予算額 12,967,000円 最終予算額 12,967,000円 決算額 10,799,319円

保健・福祉・医療のネットワークづくりの拠点としての役割に加え、ボランティア団体の会議や障害者、高齢者の介護予防事業などの教室、研修会等さまざまな活動の場として管理運営をしました。

(1) 主な支出

- ・ 燃料費 68万円
- ・ 光熱水費 351万円
- ・ 修繕料 35万円
- ・ 電話等通信運搬費 31万円

・清掃委託料	12万円	・エレベータ保守管理委託料	74万円
・自動ドア保守点検委託料	8万円	・施設安全管理業務委託料	40万円
・電気保安業務委託料	17万円	・冷暖房空調機器保守点検委託料	10万円
・清掃用具借上料	21万円	・施設用地借上料	403万円

(2) 活動指標

- ・主な健康福祉センター利用の状況
町、社協事業による利用・・・1,077回 延約11,439人
ボランティア団体の自主活動による利用・・・623回 延約7,484人

(3) 活動指標の推移

- ・健康福祉センター利用者数の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用人数	14,675	16,498	17,992	24,759	18,923

千年樹の里まつりの開催(福祉グループ)

予算事業名：千年樹の里まつり事業費

当初予算額 517,000円 最終予算額 517,000円 決算額 456,360円

町民の健康の増進や、地域住民と保健・福祉・医療のネットワークの構築を図り、「元気な人づくり」を進めるため、第8回千年樹の里まつりを開催しました。

(1) 主な支出

- ・出演者等謝礼 8万円
- ・イベントチラシ、ポスター等 11万円
- ・会場設営委託料 19万円
- ・スタッフ等昼食及び反省会 4万円

(2) 活動指標

- ・千年樹の里まつり
開催月日：10月18～19日
会場：千年樹の里周辺
参加ボランティア 41団体、約300人
頭と体の健康づくり体験コーナー 延約31人
スタンプラリー 131人参加
フリーマーケット 小中学生 18組45人 一般2組4人が出店
アトラクション(和太鼓演奏・フラメンコ・コカリナ演奏等) 観客延約700人
社協ふれあい広場(模擬店等) 出店数15店
その他消防ふれあい広場、人力車周遊等

第8回を迎え、町民の皆さんの認知度も増えています。新たなボランティア団体の新企画のコーナーもあり、小さな子どもやその親の参加が増え、いっそう賑やかな祭りとなっています。41ものボランティア団体(約300人)の参加を得て、ボランティア活動に対する取り組みも活発になってきています。

ボランティア活動の支援(福祉グループ)

予算事業名：ボランティア活動推進事業費

当初予算額 1,584,000円 最終予算額 1,584,000円 決算額 984,000円

ボランティアセンターとしての機能の充実を図り、地域住民の皆さんのボランティア活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・ボランティア活動育成事業委託料 99万円

(2) 活動指標

- ・ボランティア活動育成事業(社協委託)
ボランティア保険の助成 18団体 254人分

連絡会の開催 6月4日
 ボランティア講座等の開催 [ボランティア基礎講座 延42人、簡単手話講座 延81人]
 ボランティア交流会
 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 11月22日 参加者25人
 みなさんよっといで!!サロン [おもちゃ図書館 参加者延900人]
 [発達教室 参加親子延141組]

(3) 活動指標の推移

- ・ボランティア登録団体数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
登録団体数	15団体	18団体	20団体	24団体	30団体

在宅介護支援センターが実施する事業とともに、転倒予防教室やダンスで脳元気教室のOB会として、自ら介護予防に取り組もうと自主的に活動する団体もできました。また、新たにボランティア登録された団体による定期的な利用も増え、センターが徐々に地域住民の皆さんに有効に利用されています。

7 老人福祉センター費 3,060,031 決算事項別明細書 P46～

老人福祉センター(桃源荘)の管理運営(福祉グループ) 予算事業名：老人福祉センター管理費

当初予算額 4,398,000 円 最終予算額 4,398,000 円 決算額 3,060,031 円

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する施設として、また、高齢者のさまざまな活動の場として管理運営をしました。

(1) 主な支出

・光熱水費	74 万円	・火災保険料	11 万円
・駐車場土地借上料 (385.43㎡)	18 万円	・設備の保守点検の委託	10 万円
・複写機使用料	9 万円	・臨時職員賃金	131 万円
・修繕料	14 万円	・電話等通信運搬費	6 万円
・暖房機器入替え	27 万円	・その他の経費	10 万円

(2) 活動指標

- ・桃源荘利用状況
 老人クラブ支部長会、各種クラブ活動 延利用者数 2,156人
 いきいきサロン（日常動作訓練から趣味の活動）毎週 月・水・金
 延利用者数 2,473人（登録者 39人）

(3) 活動指標の推移

- ・桃源荘利用者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者延人数	4,083人	5,617人	6,115人	5,558人	4,629

※各年度とも、いきいきサロンを含む

8 介護予防支援事業費 2,273,415 決算事項別明細書 P47～

介護予防プラン作成(福祉グループ) 予算事業名：介護予防支援事業費

当初予算額 3,841,000 円 最終予算額 3,841,000 円 決算額 2,273,415 円

在宅介護支援センターが地域包括支援センターとして、要支援1又は2と認定された方の介護予防のケアプラン作成（新予防給付のマネジメント）を行っていますが、その一部を居宅介護支援事業所に委託して実施しました。

(1) 主な支出

・居宅介護支援事業所への委託料	207 万円
・在宅保健師等賃金	19 万円

(2) 活動指標

- ・ 介護予防支援事業 委託箇所数 7箇所
社会福祉協議会、新生病院、JA須高、朝日ホームおんせん
ニチイケア長野、グリーン在介、フランセーズ悠
- ・ 要支援(1または2) 認定者数(H21.3.31現在) 117人
うち介護予防ケアマネジメント数 102人
うち介護予防プラン作成委託件数 48人(件)
社会福祉協議会(14件)、新生病院(17件)、JA須高(4件)
朝日ホームおんせん(6件)、ニチイケア長野(2件)、グリーン在介(1件)
フランセーズ悠(4件)

2	児童福祉費	257,929,268	
1	児童福祉総務費	5,199,409	決算事項別明細書 P47~
保育園の入園手続きなど(福祉グループ)		予算事業名: 児童福祉総務費	
当初予算額 1,002,000円		最終予算額 1,002,000円	決算額 724,765円

保育を必要とする保護者の希望に応じた保育園への受入れを進めるため、必要な保育園の情報提供を行い、保育を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 保育料システムの委託料・使用料 63万円

(2) 活動指標(福祉行政報告例値)

- ・ 入園児童数 240人

0歳児	6人	1・2歳児	60人
3歳児	63人	4歳児以上	111人

※年度末。町外保育園への委託児童含む。町立保育園への町外からの受託児童は含まない。

- ・ 階層(国基準)別入園状況(年度末。委託児童含む。受託児童含まない。)

階層	定義	児童数
1	生活保護法による被保護世帯	0人
2	町民税非課税世帯	19人
3	町民税課税世帯	25人
4	所得税40,000円未満	50人
5	所得税103,000円未満	74人
6	所得税413,000円未満	59人
7	所得税413,000円以上	13人

※第4~6階層(所得税10,000円以上~413,000円未満)世帯が全体の76.3%を占めている。

(3) 成果指標

- ・ 平成20年度入園状況実績(委託児童含む。受託児童含まない。)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
わかば	H20/4	0	9	14	29	38	31	121
	H21/3	0	12	14	29	38	30	123
つすみ	H20/4	2	6	13	31	19	16	87
	H21/3	5	7	16	32	22	18	100
2園計	H20/4	2	15	27	60	57	47	208
	H21/3	5	19	30	61	60	48	223
委託	H20/4	0	5	3	4	1	1	14
	H21/3	1	6	5	2	1	2	17

子ども教室の管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：子ども教室放課後児童クラブ事業費

当初予算額 5,239,000 円 最終予算額 5,239,000 円 決算額 4,474,644 円

就労等により放課後留守になる家庭の児童（小学生低学年）を対象に、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図りました。

(1) 主な支出

・嘱託職員人件費	215万円	・臨時職員の賃金	158万円
・傷害保険料	16万円	・需用費	58万円

(2) 活動指標

- ・子ども教室（放課後児童クラブ） 登録人数 58名
- 受入時間 学校終了時～午後6時（延長時間 午後6時30分）
- 土曜日 午前8時30分～午後3時（延長時間 午後6時30分）
- 学校休業日・長期休業日 午前8時30分～午後6時（延長時間 午後6時30分）

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
登録人数	90人	68人	58人

入所基準を明確化することで、事業趣旨の基本を理解されました。また、登録にあたり保護者との懇談を行い、個々の家庭との連携に努めました。

2 児童措置費 82,908,261 決算事項別明細書 P47～

児童手当の支給(福祉グループ)

予算事業名：児童手当給付事業費

当初予算額 88,407,000 円 最終予算額 88,517,000 円 決算額 82,868,261 円

子育て支援として、小学校修了前までのお子さんを養育する人に児童手当を支給しました。

(1) 主な支出

・児童手当の支払い	8,226 万円
・電算システム委託料	42 万円

(2) 活動指標

区分	手当月額	延児童数	支出額	備考	
児童手当	被用者※2	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
	10,000 円	2,044 人	2,044 万円		
	計	2,044 人	2,044 万円		
非被用者※3	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者	
	10,000 円	714 人	714 万円		
	計	714 人	714 万円		
特例給付※1	5,000 円	0 人	0 万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者で、一定額以上の所得がある者	
	10,000 円	24 人	24 万円		
	計	24 人	24 万円		
小学校修了前特例給付	被用者※4	5,000 円	6,362 人	3,181 万円	3歳から小6修了前の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
	10,000 円	935 人	935 万円		
	計	7,297 人	4,116 万円		
非被用者※5	5,000 円	1,992 人	996 万円	3歳から小6修了前の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者	
	10,000 円	332 人	332 万円		
	計	2,324 人	1,328 万円		

第1子・第2子 5,000円、第3子 10,000円、3歳未満 一律10,000円

・上記区分の負担割合

特例 給付 ※1	事業主 10/10									
被用者 ※2	事業主 7/10	国 1/10	県 1/10	町 1/10	非被用者 ※3	非被用者 ※4	非被用者 ※5	国 1/3	県 1/3	町 1/3

(3) 活動指標の推移

・支給額・支給件数の推移

	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	延児童数(人)	金額(万円)	延児童数(人)	金額(万円)	延児童数(人)	金額(万円)
3歳未満						
被用者	1,954	1,146	2,034	1,893	2,044	2,044
非被用者	803	500	690	643	714	714
特例給付	97	56	55	45	24	24
※3歳以上						
被用者	6,818	3,858	7,369	4,162	7,297	4,116
非被用者	2,362	1,353	2,451	1,395	2,324	1,328

※平成16年4月から、制度改正により対象範囲が小学校就学前から3年生まで拡大

※平成18年4月から、制度改正により対象範囲が小学校3年生から6年生まで拡大

※平成19年4月から、3歳未満は支給額一律10,000円に拡大

子育て応援特別手当の支給(福祉グループ)

予算事業名：子育て応援特別手当支給事業

当初予算額 0円 最終予算額 6,452,000円 決算額 40,000円

幼児教育期の子育て支援のための、平成20年度の国の緊急措置による事業です。平成14年4月2日～平成17年4月1日までの間の生まれであって、第2子以降である児童が対象で、一人36,000円を支給します。

(1) 主な支出

- ・説明用リーフレット作成等 4万円

(2) 活動指標

- ・対象者への申請書の発送
- ・国の補正予算による事業であり、基準日も2月1日と時間がないため、支給実績はなく、予算のほとんどが繰越となりました。

3 保育園費 153,084,709

決算事項別明細書 P48～

保育園の管理運営・保育園の食育(福祉グループ)

予算事業名：保育園管理費

当初予算額 146,664,000円 最終予算額 148,952,000円 決算額 142,732,579円

仕事などにより昼間家庭で保育できない保護者に代わり、0歳(生後8カ月)から5歳までの乳幼児を預かり保育しました。

(1) 主な支出

- ・保育にかかる各種材料費 122万円
- ・光熱水費 353万円
- ・幼稚園や小学校との交流教育 13万円
- ・臨時保育士等の賃金 1,915万円
- ・園児の給食材料費 1,395万円

- ・ 保育環境の整備 154 万円
- ・ 町外への保育の委託 (17人) 1,454 万円
- ・ 保育士人件費 8,326 万円
- ・ 保育園での食育 12 万円

(2) 活動指標

- ・ 主な行事 (園児)

入・卒園式 春・秋の遠足 端午の節句 カレーパーティー(つすみ) プール活動 七夕まつり 運動会 ひんのべ汁大会 演劇教室 やきいも大会 ゆうぎ会 もちつき大会 クリスマス会 おみせやさんごっこ まめまき ひなまつり会 やしょうまひき

- ・ その他

保育参観・懇談会 (年2回) 健康診断 歯科保健講話 土曜参観 保健師園訪問 栄養士園訪問 特老慰問 エンゼル交流 幼・保・小連携交流教育 プール参観 交通安全教室 (年2回) 祖父母参観 避難訓練 (年12回) 英語講師との交流

- ・ 保育園での食育の推進

回	内 容	わかば保育園	つすみ保育園
1	クッキング クッキーづくり	5月30日(金) 5歳児31人	5月29日(木) 5歳児16人
2	紙芝居「うんちの話」	7月24日(木) 3歳児29人	7月28日(月) 3歳児31人
3	ペープサート 「何を食べたら元気になれる!？」	10月17日(金) 4歳児39人	10月20日(月) 4歳児20人
4	クッキング スープづくり	11月12日(水) 2歳児14人	11月13日(木) 2歳児16人

栄養士・保育士が紙芝居・クッキングなどにより、元気な身体づくりに向けた園児教育を実施しました。また、給食の食材の皮むきやひんのべ大会を通し、食物の大切さを学びました。

- ・ 保育園の入所児童数

(単位：人)

月	わかば保育園 定員 120人			つすみ保育園 定員120人			町外保育園			合 計		
	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計
4月	23	99	122	21	66	87	8	6	14	52	171	223
5月	23	99	122	23	67	90	9	6	15	55	172	227
6月	23	98	121	22	67	89	8	7	15	53	172	225
7月	23	98	121	23	67	90	8	7	15	54	172	226
8月	24	98	122	24	68	92	8	7	15	56	173	229
9月	24	99	123	26	69	95	9	5	14	59	173	232
10月	25	99	124	28	69	97	9	5	14	62	173	235
11月	25	99	124	29	71	100	10	5	15	64	175	239
12月	25	99	124	32	71	103	10	6	16	67	176	243
1月	26	99	125	32	71	103	12	6	18	70	176	246
2月	26	99	125	31	71	102	13	6	19	70	176	246
3月	26	99	125	31	71	102	12	5	17	69	175	244
平均	24.4	98.8	123.2	26.8	69.0	95.8	9.7	5.9	15.6	60.9	173.7	234.6

- ・ クラス数及び保育士数

① わかば保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	1	正 1	30:1
4歳	2	正・嘱・臨 (加) 3	30:1
3歳	2	正・嘱 2	20:1
2歳	1	正・嘱・臨 3	6:1
1歳	1	嘱・臨・臨 3	4:1
0歳	0	(1歳と混合)	3:1
計	7	12	
給食員 嘱1・臨2、事務員 臨1 フリー保育士 1			

② つすみ保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	1	嘱 1	30:1
4歳	1	正 1	30:1
3歳	2	正・嘱 2	20:1
2歳	1	正・嘱・臨 3	6:1
1歳	1	正・臨 2	4:1
0歳	1	嘱・臨・臨 3	3:1
計	7	12	
給食員 正1・臨 2 フリー保育士 1			

子どもたちが家庭で経験することが少なくなった伝統的な行事を取り入れたり、家庭や地域の皆さんとの連携を大切にした運営を行いました。また重点目標として「自然に親しみ豊かな情操を養う」ことを掲げ、園外保育を積極的に行いました。

「食育」では、その日の給食に使う食材を展示し、興味・関心を持たせたり、一品お手伝い(枝豆をもぐ・もろこしの皮をむく)や、きゅうり・なす・ピーマンなど野菜づくりの体験などを通して食物に関心を持つ子どもたちに成長しました。また、保護者向けにその日の献立サンプルを展示し、食への関心が高まりました。食事のマナー向上のため、箸の正しい持ち方の指導も行いました。

入園の申し込みは随時受け付けし、年間15人の途中入園がありました。現在保育待機児童はいません。

特別保育事業(長時間・障害児・一時的・休日)(福祉グループ)

予算事業名：特別保育事業費

当初予算額 11,331,000 円

最終予算額 11,331,000 円

決算額 7,121,950 円

働く保護者の子育てを支援するため、早朝・夕刻の長時間保育を行いました。また、保育園に入園していない乳幼児(生後8カ月以上)で、一時的・断続的に家庭で育児が困難となった場合、お預かりして保育を行いました。仕事や冠婚葬祭等で休日に育児が困難となった場合、エンゼルランドセンターにて休日保育を行いました。

(1) 主な支出

- ・園児の給食材料費 12 万円
- ・一時的保育にかかる保険料 5 万円
- ・臨時保育士賃金 696 万円

(2) 活動指標

- ・長時間保育
 <延長保育時間 午前7時30分～午後7時>
 (通常保育は、午前8時30分～午後4時30分)

① わかば保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	12	39	51
日利用	3	9	12

② つすみ保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	15	26	41
日利用	4	12	16

・障害児保育

加配保育士の配置

わかば保育園 1名

4歳児 障害名：診断名は未だついていないが、こだわり有

・一時的保育

利用者数（わかば保育園・つすみ保育園）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳未満	1	2	3	5	5	5	6	5	6	3	2	7	50
3歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延日数	1.0	6.0	15.0	24.0	18.5	30.0	33.0	17.0	28.0	13.0	13.0	39.0	237.5

・ 休日保育

利用者数（於：エンゼルランドセンター）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	2	7	2	1	2	3	4	3	1	3	0	0	28
利用延べ人数	6	14	4	2	4	5	4	4	4	6	0	0	53

(3) 活動指標の推移

・ 長時間保育・一時的保育利用者数の推移（単位：人）

		平成18年度	平成19年度	平成20年度
長時間保育 (年間平均値)	月契約	83	83	93
	日利用	27	31	28
一時保育（年間利用者数）		78	60	50

保育園の環境整備（福祉グループ）

予算事業名：保育園環境整備事業費

当初予算額 2,973,000 円 最終予算額 32,637,000 円 決算額 3,020,180 円

子どもたちが快適な環境で園生活を送れるよう、園舎等の環境整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・ わかば保育園床改修工事 247 万円
- ・ わかば保育園未満児用トイレ改修工事 23 万円
- ・ わかば保育園廊下床塗装工事 17 万円
- ・ 設計管理委託料 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 老朽化した保育室床の張り替・廊下床の塗装（わかば）

病後児保育（福祉グループ）

予算事業名：病後児保育事業費

当初予算額 749,000 円 最終予算額 749,000 円 決算額 210,000 円

保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、子どもの健全な育成を図ることを目的に、子どもが病気の回復期にあるが、まだ集団生活が困難な場合に、病後児保育施設（宅幼老所めぐみ）で一時的に子どもを預かる病後児保育を行いました。（平成20年9月より）

(1) 主な支出

- ・ 病後児保育委託料 21万円

(2) 活動指標

- ・ 平成20年度は実績なし

4	エンゼルランドセンター事業費	16,393,507	決算事項別明細書	P48～
エンゼルランドセンターの管理運営(福祉グループ)			予算事業名：エンゼルランドセンター管理費	
当初予算額	13,769,000円	最終予算額	13,699,000円	決算額
				12,869,387円

就学前の親子がふれあい、交流を行う場として、さまざまな遊びや催しの企画を行いました。また保育園・幼稚園の在園児との交流や、子育て相談(ほのぼのカンファレンス)・親子クッキングを通しての食育などを行い、子育てを支援しました。また、地域において「あそびの広場」を開催し、おもちゃ図書館などのボランティア団体と協力して、地域との交流を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費・燃料費	50万円	・施設の修繕整備	41万円
・各種講座の講師への謝礼	15万円	・保育士人件費	765万円
・保育にかかる各種材料費	40万円	・役務費	25万円
・臨時保育士などの賃金	328万円	・備品購入費	15万円
・その他経費	7万円		

(2) 活動指標

・事業の内容

施設利用時間 毎日 午前9時30分～午後4時30分 (閉館日：12月29日～翌年1月3日)
 プール開放7月～9月上旬 午前10時～午後3時
 利用料…無料 (企画内容により参加費の徴収があります)

あそびの広場 0～2歳児年齢別の企画あそび(各年層月2回) 手作りおもちゃの日(毎月1回)
 おはなしの日(毎月2回) 在園児との交流(年10回) 自然の中で遊ぼう(年2回)

地域で開催する「あそびの広場」 (年5回)

つどい事業 講演会(2回)各種講習会(4回)演劇教室(1回)子育てセミナー(6回)子育てなんでも教室(3回)ママカレッジ(6回)ミニ・コンサート(2回)お父さんと一緒(4回)やきいも大会(1回)折り紙教室(2回)

相談事業 ほのぼのカンファレンス・ミニ折紙教室(隔月開催年間6回)

情報提供事業 センターだより(毎月1回発行)ワンポイントアドバイス(年間17回)

・エンゼルランドセンター事業における食育

① エンゼルあそびの広場

- ・各年齢に合わせた食事のワンポイントアドバイス・親子クッキング・離乳食作り
- ・各年齢に応じた手作りおやつ提供(調理は食生活改善推進協議会に依頼)

② 子育てセミナー

- ・親子でおやつ作り

③ やしろうま作り講習会

2月25日開催 参加者数13組

・エンゼルランドセンター利用者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	923	983	1,076	1,190	1,034	1,159	1,355	1,161	1,128	772	1,062	1,283	13,126
開設日	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359

※ 登録乳幼児数 2歳児49人、1歳児62人、0歳児109人、合計220人

(3) 活動指標の推移

- エンゼルランドセンターの利用状況の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数	8,016	7,764	10,645	11,431	11,568	13,126
開設延日数	298	294	295	295	294	359

- さまざまな企画を行う中で楽しみに来館し、お母さん同士・子ども同士の関わりが深まっています。また、お互いに誘い合ってセンターに集まるようになり、利用者が増えています。利用料が無料になったため、気軽に登録できるようになりました。
- 幼稚園降園後の利用者が増えたため、年間利用者が増加しています。
- ほとんどの施設では、おむつをしている乳幼児はプールに入れられないため、センターのプールの利用は好評で、大勢の利用者がいます。(延べ利用数1,309人・一日平均22.5人)
- 父親が企画に参加できるように土・日曜日の開催を増やしました。(お父さんと一緒・ミニコンサート・演劇鑑賞など)参加者は年々増加傾向にあります。お母さん方が誘い合って、父親と一緒に参加する姿が見られるようになりました。今後も内容を工夫していきたいと思えます。

エンゼルランドセンターの改修(福祉グループ)

予算事業名：エンゼルランドセンター整備事業費

当初予算額 3,276,000 円 最終予算額 8,661,000 円 決算額 3,524,120 円

子どもたちが快適な環境で生活できるようにトイレ改修などの環境整備をしました。

(1) 主な支出

- ・トイレ改修工事 294万円
- ・設計管理委託料 20万円
- ・温風暖房機設置工事 38万円

(2) 活動指標

- ・幼児が安心してトイレトレーニングができるように和式トイレを洋式トイレに改修しました。

5 子育て支援費 343,382 決算事項別明細書 P49～

ファミリーサポートセンターの運営(福祉グループ)

予算事業名：ファミリーサポートセンター事業費

当初予算額 451,000 円 最終予算額 451,000 円 決算額 97,382 円

育児と仕事・社会活動等を両立して、子育てがしやすい環境をつくるために、”子育ての手助けをしてほしい人”と”子育ての手助けをしたい人”が会員として登録し、有償で相互に助けあうファミリーサポートセンター(子育ての相互援助活動)を運営しました。

(1) 主な支出

- ・事業委託料 10万円

(2) 活動指標

- ・18年6月事業開始(小布施町社会福祉協議会委託)
- ・サービス内容 地域住民による子どもの一時預かり、送迎等
- ・対象者 0～概ね12歳までの児童
- ・報酬 500円～700円/h(子どもの年齢、援助実施日時により単価に差あり)
- ・会員数 1) 依頼会員(援助依頼者であって0歳から概ね12歳までの児童を現に養育している者)・・・37人
2) 提供会員(援助提供者であって原則として自宅において援助を提供できる者)・・・14人
3) 両方会員(依頼会員、援助会員ともに該当する人)・・・12人
- ・利用件数 33件

(3) 活動指標の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
依頼会員	9	26	37
提供会員	5	11	14
両方会員	3	11	12
利用件数	8	30	33

会員数は、昨年度の登録会員26人から、11人の増と広まってきていますが、利用件数は、昨年度30件から3件増となっています。今後さらなるPRが必要です。

発達教室、相談事業の運営（福祉グループ）

予算事業名：発達教室事業費

当初予算額 249,000 円 最終予算額 249,000 円 決算額 246,000 円

年齢や障害のあるなしにかかわらず、子どもたちの発達、成長を専門スタッフ（社会福祉士、音楽療法士、理学療法士）が遊びや運動、音楽を通じてサポートする教室と発達相談などを開催しました。

(1) 主な支出

- ・事業委託料 25万円

(2) 活動指標

- ・発達教室 理学、音楽療法士による「ほっぷ・すきっぷ・じゃんぷ」発達教室と及び相談事業 発達、学習、生活支援などの相談を実施
- ・対象者 年齢、障害の有無にかかわらず参加を希望する親子等
- ・利用状況 発達教室 開催日数：12日 参加親子：延べ141組
相談事業 11件
個別支援 参加親子：延べ16組

(3) 活動指標の推移

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
開催日数	8	12	12
参加親子（延べ）	139	105	141
相談件数	—	7	11
個別支援件数	—	—	16

3 災害救助費 6,000

1 災害救助費 6,000

決算事項別明細書 P49～

基金(貯金)利子の積立て(生活環境グループ)

予算事業名：災害援助費

当初予算額 5,000 円 最終予算額 6,000 円 決算額 6,000 円

非常災害に備え、財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・非常災害積立基金利子積立金 0.6 万円

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																		
4			衛生費	221,693,946																			
	1		保健衛生費	89,642,360																			
		1	保健衛生総務費	35,502,300	決算事項別明細書 P49～																		
保健福祉委員会の活動支援(健康グループ)					予算事業名：保健衛生総務費																		
当初予算額			880,000円	最終予算額	880,000円																		
				決算額	880,000円																		
<p>「自分の健康は自分でつくり守る」を活動テーマに、ウォーキング教室やストレッチ教室など健康づくり講習会などを通じて家庭や地域の健康づくりを推進している保健福祉委員会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会への活動補助金 88万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健福祉委員会の活動内容 <ul style="list-style-type: none"> 成人保健関係各種検診希望の取りまとめ、受診票の配布、結核検診の受付業務 総会、役員会、理事連絡員会等開催 4回 須高分会、長野支部総会等への出席 2回 ウォーキング、健康講座等の開催 主な事業内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品加工場見学とウォーキング</td> <td>阿南町</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>リフレッシュ研修会（4回）</td> <td>健康福祉センター</td> <td>延120人</td> </tr> <tr> <td>ゴミ分別リサイクル推進研修</td> <td>飯山市</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>ウォーキング研修会</td> <td>妙高高原町</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>保健福祉委員会須高分会研修会</td> <td>須坂温泉</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域の健康づくりの担い手として、家庭や地域に対して知識や技術の伝達を図るため、町や関係機関等が行う各種研修会・講習会へ参加するとともに、自ら企画する中で知識や技術等の習得に努められました。</p>						事業名	実施場所	参加者数	食品加工場見学とウォーキング	阿南町	27人	リフレッシュ研修会（4回）	健康福祉センター	延120人	ゴミ分別リサイクル推進研修	飯山市	42人	ウォーキング研修会	妙高高原町	31人	保健福祉委員会須高分会研修会	須坂温泉	40人
事業名	実施場所	参加者数																					
食品加工場見学とウォーキング	阿南町	27人																					
リフレッシュ研修会（4回）	健康福祉センター	延120人																					
ゴミ分別リサイクル推進研修	飯山市	42人																					
ウォーキング研修会	妙高高原町	31人																					
保健福祉委員会須高分会研修会	須坂温泉	40人																					
健診・医療体制の整備など(健康グループ)					予算事業名：保健衛生総務費																		
当初予算額			4,030,000円	最終予算額	14,672,000円																		
				決算額	13,674,325円																		
<p>地域住民が安心して日常生活を送れるよう、休日・夜間等緊急時医療体制の整備や精神保健福祉の充実など、医療・保健衛生環境の向上を推進するため、各関係機関が行う事業に参加しました。</p> <p>また、須坂病院における産科医不足や新生病院における内科医不足問題に対応するため、当該医師招聘対策を地域及び当該医療機関とともに推進しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 須高行政事務組合負担金 1,052万円 長野広域連合負担金 11万円 須高包括医療推進協議会負担金 12万円 須高精神保健福祉連絡協議会負担金 3万円 須高食品衛生協会交付金 1万円 長野精神保健福祉協議会負担金 2万円 病院群輪番制病院運営事業負担金 13万円 保健師職能研修会負担金 0.1万円 須坂病院医師招聘対策負担金 21万円 町医師確保対策支援事業補助金 100万円 臨時職員・看護師賃金 146万円 																							

(2) 活動指標

- ・夜間・休日等におけるの緊急医療体制の確保
須高休日緊急診療所事業・・・第1次緊急医療（軽症患者の初期診療）体制を整備
病院群輪番制病院運営事業・・・第2次緊急医療（手術・入院治療を必要）体制を整備
- ・地域医療の向上
包括医療協議会・・・医師、歯科医師、薬剤師による健康管理体制を整備
学校保健事業、健康教育等の充実
須坂病院における産科医招聘活動及び新生病院内科医招聘活動支援
- ・心の健康の推進

(3) 活動指標の推移

- ・須高休日緊急診療所

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
開所日数	73日	73日	71日	72日	72日
受診者数	1,016人	1,021人	4,090人	4,029人	3,653人
内小布施分	88人	90人	237人	297人	193人

※ 休日の診療機関として運営を行っています。平成18年度からは県立須坂病院にも参加をいただき、2次救急及び外科救急への体制も整えています。

- ・病院群輪番制病院運営事業（小布施町利用者数）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
長野赤十字病院	17人 259日	30人 259日	21人 259日	34人 261日	26人 260日
篠ノ井総合病院	3人 87日	1人 87日	6人 87日	1人 87日	1人 87日
松代病院	0人 45日	1人 45日	0人 45日	0人 45日	1人 45日
千曲中央病院				0人 45日	0人 45日
総受診者数	11,345人	10,659人	11,110人	10,693人	9,879人

町民の皆さんが夜間や休日などにおいて、緊急医療が必要となったときに、適切な医療が受けられるよう、広域による緊急医療受診体制を行う広域連合等へ加入しています。

- ・須坂病院医師招聘用DVD・チラシ作成（病院関係者により、出張などあらゆる機会を通じた配布活動に利用しています。）

(4) 成果指標

- ・須坂病院産科医確保については、地域住民による早期確保に向けた要望活動等により平成21年3月に2名の医師が着任され、5月より分娩取扱を再開しています。

保健センターの維持管理(健康グループ)

予算事業名：保健センター管理費

当初予算額 276,000 円 最終予算額 276,000 円 決算額 211,691 円

乳幼児健診をはじめ、各種ガン検診、健康相談事業など、町民の健康管理の拠点として保健センターを運営しました。

(1) 主な支出

- ・火災保険料 2 万円
- ・自動ドア保守点検 6 万円
- ・カーテンクリーニング 6 万円
- ・待合用ベンチ 5 万円

(2) 活動指標（保健センター利用事業）

・母子保健事業

両親学級 3～4カ月児健診 10～11カ月児健診 1歳6カ月児健診
すくすく教室 3歳児健康診査 子育て教室（6・7カ月児） 子育て教室（2歳児）
すこやか相談 乳幼児相談

・成人保健事業

胸部レントゲン（結核予防） 骨健診（骨粗鬆症予防） 胃検診 大腸がん検診
乳房検診（視触診） 子宮がん検診 肺がん検診 定期健康相談

※ 成果については「乳幼児健康診査」「お母さんと子どもの子育て教室・相談事業」「成人の各種健康診査」（4.1.2）に記載。

地域活動支援センター(旧共同作業所)みすみ草の管理運営(健康グループ)

予算事業名：地域活動支援センター管理費

当初予算額 4,353,000 円 最終予算額 4,601,000 円 決算額 4,476,369 円

身体・知的・精神に障害のある方の共同作業所「みすみ草」について、社会福祉法人夢工房福祉会を指定管理者とし、指定管理者が持つ豊かな福祉ノウハウを取り入れた運営を通じ、社会生活への適応性を高めるための作業訓練や生活指導を行いました。

(1) 主な支出

・共同作業所指定管理委託料 425 万円
・施設修繕（シロアリ駆除） 12 万円
・火災保険料 10 万円

(2) 活動指標

・通所者数 19人（平成21年3月末現在）
・所長 1人、補助職員 2人
・事業内容

障害者自立支援法により、共同作業所を地域活動支援センターに変更し、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動、生産活動の機会提供及び社会との交流の促進を図るため機能訓練を行うとともに、施設利用者やその家族の皆さんからの相談等に応じています。

施設指定管理者において地域活動支援センター事業に加え、同施設を利用し自立支援給付事業（就労継続支援B型）を導入し、利用者の社会参加機会の拡大や昼間の居場所作りを積極的に実施しました。

新型インフルエンザ対策事業(健康グループ)

予算事業名：新型インフルエンザ対策事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 3,999,000 円 決算額 1,992,750 円

感染拡大が心配される新型インフルエンザの発生に備え、社会活動維持従事者用防護具等の備蓄を行いました。また、感染拡大と重症化を予防するため、小児を対象に季節性インフルエンザワクチン接種に対し、助成を行いました。

(1) 主な支出

・ワクチン接種費補助 107 万円
・感染防護具等購入 85 万円

(2) 活動指標

ワクチン接種助成件数 409 人
防護具備蓄数 200セット（防護具、マスク、手袋、ゴーグル、シューズカバー）

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
 当初予算額 14,896,000 円 最終予算額 14,908,000 円 決算額 14,267,165 円

- (1) 主な支出
 ・職員人件費 1,427 万円

2 予防費 35,196,060 決算事項別明細書 P50～

母子健康手帳交付(健康グループ) 予算事業名：母子健康手帳交付費
 当初予算額 56,000 円 最終予算額 56,000 円 決算額 21,000 円

お母さんと赤ちゃんの健康を守るため、妊娠から出産に係る健康記録や、乳幼児期の成長、健康診断・各種予防接種受診等の記録として、妊娠届け提出時に母子手帳を交付しました。

- (1) 主な支出
 ・母子手帳 2 万円
- (2) 活動指標
 ・母子手帳交付対象者 95 人

お母さんの健康診査(健康グループ) 予算事業名：妊婦一般健康診査費
 当初予算額 3,549,000 円 最終予算額 3,549,000 円 決算額 3,062,512 円

安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、妊婦さんが妊娠期間中に受診する健康診査に対する公費負担回数を2回から5回に拡大しました。

- (1) 主な支出
 ・妊婦、乳児健康診査委託料 304 万円
 ・妊婦、乳児健康診査事務委託料 2 万円

(2) 活動指標の推移

検診等名	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
妊婦一般健康診査	155	-	173	-	162	-	169	-	407	-

乳児健康診査(健康グループ) 予算事業名：乳児一般健康診査費
 当初予算額 334,000 円 最終予算額 334,000 円 決算額 287,351 円

就学期前の幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。

- (1) 主な支出
 ・乳児健康診査委託料 29 万円

(2) 活動指標の推移

検診等名	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
乳児一般健康診査	51	-	61	-	52	-	43	-	63	-

乳幼児健康診査の実施(健康グループ) 予算事業名：乳幼児健康診査費
 当初予算額 1,330,000 円 最終予算額 1,330,000 円 決算額 1,240,203 円

妊娠中の母子から就学期前の幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。

- (1) 主な支出
 ・医師、歯科医師、看護師等賃金 105 万円

・ 食材等各種材料

12 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場所
健康診査	3・4カ月児健康診査	6	保健センター
	10・11カ月児健康診査	6	保健センター
	1歳6カ月児健康診査	5	保健センター
	3歳児健康診査	4	保健センター
	乳児一般健康診査	随時	病医院

(3) 活動指標の推移

・ 健康診査の指導内容

生活リズム、ムラ食い、口腔衛生、おやつ指導、スキンケア、内科医療についての経過観察や要精検等に関すること。

検診等名	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
3・4カ月児健康診査	102	94.4	80	98.7	83	95.4	85	95.5	74	95.3
10・11カ月児健康診査	111	85.6	82	88.0	79	91.9	98	94.2	74	85.1
1歳6カ月児健康診査	84	96.6	101	88.5	76	90.5	87	91.6	72	87.0
3歳児健康診査	89	88.1	63	92.6	83	82.2	95	85.0	67	81.0

(4) 成果指標

平成20年度健診結果として発育課程に何らかの異常が認められた数として

・1歳6ヶ月児 延8名 ・3歳児 延19名 が見つかり、経過観察或いは医療機関受診など適切な対応を図るよう指導がされました。

両親学級の開始(健康グループ)

予算事業名：両親学級事業費

当初予算額 121,000 円 最終予算額 121,000 円 決算額 37,983 円

妊婦さんとその家族を対象に、妊娠・出産・育児について学習し、また、沐浴体験などを通じた参加者同士の交流機会提供の場として開催しました。

(1) 主な支出

・ 相談事業講師謝礼 3 万円

(2) 活動指標

※ 内容については、次のお母さんとこどもの子育て教室・相談事業に掲載

妊婦さん・赤ちゃん訪問(健康グループ)

予算事業名：妊婦・乳幼児訪問事業費

当初予算額 650,000 円 最終予算額 650,000 円 決算額 450,000 円

母子ともに健やかな出産と発育を図るため、妊娠期及び出産後における家庭訪問を行いました。また、安心して子育てが行える環境づくりとして、育児に関する体験談や町周辺における育児環境等を紹介する「子育てホットブック」を作成し、母子手帳交付対象者又は育児中のお母さんに配布を行いました。

(1) 主な支出

・ 印刷製本費 38 万円
・ 編集委託費 7 万円

(2) 活動指標

・ ホットブック作成 50 部

・ 新生児訪問

75 人

第1子	37人
第2子以降	38人

お母さんと子どもの子育て教室・相談事業(健康グループ)

予算事業名：子育て教室事業費・乳幼児相談事業費

当初予算額 463,000 円 最終予算額 463,000 円 決算額 210,874 円

出産や子育てを支援する各種教室や相談を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 看護師、保健師等賃金 13 万円
- ・ 啓発用資料等 6 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場 所
健康教育	こっこ塾 (6・7ヵ月児)	6	保健センター
	げんきっこ塾 (2歳児)	6	保健センター
	たんぼぼくらぶ (両親学級)	9	保健センター
	ｶｽﾀｯﾄﾞ検査	5	保健センター
	母子健康手帳交付	随時	役場窓口
	父親向け資料等配付	随時	役場窓口
	小児生活習慣病予防教室	2	小中学校
健康相談	すこやか (心理) 相談	7	保健センター
	乳幼児健康相談	12	保健センター
	赤ちゃん訪問	随時	各家庭

(3) 活動指標の推移

- ・ ほとんどの教室・相談事業において受診率が高く、子どもの健康管理や父親の子育ての参加について意識の向上を図ることができました。

教室等名	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)	延受診者数 (人)	受診率 (%)
こっこ塾	67	87.0	74	81.5	88	90.7	85	95.5	73	86.0
げんきっこ塾	80	83.3	72	79.5	82	76.6	66	80.5	53	77.0
たんぼぼくらぶ	53	-	35	-	53	-	79	-	33	-
ｶｽﾀｯﾄﾞ	70	80.5	101	76.0	76	90.5	87	91.6	58	69.0
母子健康手帳交付	79	-	91	-	85	-	82	-	95	-
父親向け資料等配付	79	-	91	-	85	-	82	-	95	-
すこやか 相談	11	-	13	-	6	-	10	-	11	-
乳幼児健康相談	161	-	143	-	151	-	191	-	237	-
赤ちゃん訪問	69	-	52	-	42	-	43	-	75	-
小児生活習慣病予防	340	-	316	-	323	-	321	-	325	-

不妊治療費に対する補助(健康グループ)

予算事業名：不妊治療支援事業費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 17,815 円

不妊治療を受けている夫婦の治療費の一部を助成しました。

(1) 主な支出

- ・不妊治療費補助金 2万円

(2) 活動指標

- ・不妊治療を行っている夫婦に対する助成 2件

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
補助件数	7件	3件	4件	3件	2件
補助額	53万円	16万円	27万円	17万円	1.8万円

(4) 成果指標

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
出産確認	4件	1件	1件	0件	2件

平成20年度は申請のあった2件とも出産に結びつきました。

健康リレー講座の開講(健康グループ)

予算事業名：健康リレー講座事業費

当初予算額 101,000 円 最終予算額 101,000 円 決算額 25,754 円

町民の皆さんの健康増進のため、各分野の専門家を招き健康教室リレー講座を開催しました。

(1) 主な支出

- ・健康リレー講座講師謝金 2万円

(2) 活動指標

教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
健康リレー講座	1回	健康福祉センター	延べ50人	メボリックシフト [®] ルームについての講演、運動実技ほか

健康づくりの啓発・訪問相談事業の開講(健康グループ)

予算事業名：健康づくり啓発・訪問相談事業費

当初予算額 702,000 円 最終予算額 702,000 円 決算額 631,406 円

健康診査の結果に基づき家庭訪問などによる個別相談など、きめ細かな支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・各種健康づくり資料、発送用封筒印刷 57万円

(2) 活動指標

- ・健康教室の実施

教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
MAma カレッジ	6回	エンゼルランドセンター	延べ66人	健診結果についての学習、リラクゼーションと運動、調理実習等
血液サラサラ教室卒業生のつどい	12回	保健センター他	延べ106人	ウォーキング、ダンベル体操、ストレッチ、水中運動、調理実習等

ヘルシー教室OB会	6回	保健センター他	延べ27人	ウォーキング、ダンベル体操、水中運動、調理実習等
地域学習会	各回	各公会堂他	325人	婦人会（山王島・羽場・福原）、おぶせセミナー、健診結果学習会、耕人舎の会、高齢者学級ほか
健康リレー講座	1回	健康福祉センター	延べ50人	メタボリックシンドロームについての講演、運動実技ほか

・健康相談、家庭訪問の実施

定期健康相談	各12回	保健センター	36人	血圧測定、体脂肪測定、療養生活相談、健康づくり相談
乳幼児健康相談			238人	育児相談等
随時健康相談	随時	庁舎他	1,356人	電話相談、その他

(3) 活動指標の推移

・定期健康相談者、乳幼児健康相談数の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
定期健康相談	184	142	10	43	36
乳幼児健康相談	-	-	206	191	237

サンサンサン食教室（健康グループ）

予算事業名：サンサンサン食教室事業費

当初予算額 102,000 円 最終予算額 102,000 円 決算額 0 円

メタボリックシンドロームの恐れのある人に対し、「3食」きちんと食べて体重「3kg」、ウエスト「3cm」減らすことを目標に取り組んでいただくよう、保健指導を行いました。事業については、国民健康保険特別会計における特定保健指導事業により実施しました。

基本健康診査（町民健診）の実施

予算事業名：基本健康診査事業費

当初予算額 4,398,000 円 最終予算額 4,398,000 円 決算額 3,707,226 円

特定健康診査の実施に伴い、特定健診の対象外となった年齢層の皆さん（18歳～39歳）を対象に町民健診を実施し、健康の維持、病気の早期発見に努めました。

(1) 主な支出

・検診委託料	95 万円
・健康管理電算システム改修委託料	103 万円
・健康管理電算委託料	65 万円
・町民健診受診券作成委託	11 万円
・健康管理システム使用料	97 万円

(2) 活動指標

・町民健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成20年6月1日～10月31日	須高医師会（29医療機関）
J Aヘルス	平成20年11月7日、10日	北信総合病院

健康づくりセミナー開催

予算事業名：健康づくりセミナー事業費

当初予算額 349,000 円 最終予算額 349,000 円 決算額 206,849 円

誰もが気軽に行える健康づくりを進めるため、ウォーキングによる健康づくりとして正しい歩き方を学ぶ「パワーウォーク講習会」を開催しました。

(1) 主な支出

・講師謝礼 18 万円

(2) 活動指標

健康づくりセミナー開催日 日 時：平成20年5月30日（土）
場 所：北斎ホール（雨天のため）
参加者：80名

がん検診等事業費(健康グループ)

予算事業名：がん検診等事業費

当初予算額 15,999,000 円 最終予算額 15,999,000 円 決算額 13,159,839 円

町民健診や特定健診（国保事業）実施にあわせ、各種ガン健診を実施し、早期発見に努めました。

(1) 主な支出

・看護師、保健師等賃金	10 万円
・結核検診委託料	85 万円
・肺がん健診委託料	368 万円
・胃検診委託料	219 万円
・子宮がん健診委託料	175 万円
・乳房検診委託料	91 万円
・骨検診委託料	43 万円
・大腸がん検診委託料	95 万円
・マンモグラフィ検査委託料	72 万円
・JAヘルスガンセット検診	111 万円
・肝炎検査委託料	22 万円
・前立腺がん検診委託料	23 万円

(2) 活動指標

・結核予防

	種別	実施日数	説明
胸部レントゲン	間接撮影	4 日間	16会場で実施
	直接撮影	1 日間	保健センター

・健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成20年6月1日～10月31日	須高医師会（29医療機関）
J Aヘルス	平成20年11月7日、10日	北信総合病院

・人間ドック

種 類	対 象	補助金単価 (万円)
半日・1日ドック	一 般	1.5
	節目（一般）	3.0
1泊2日ドック	一 般	2.5
	節目（一般）	4.0

※ 節目は40歳・50歳

・骨健診

委託先／長野県健康づくり事業団 実施日数／2日間（6月実施）

・がん検診

(単位：人)

種 類	項 目	平成20年度	実施日数	委託先等
胃 検 診	受診者数	540	10日間	委託先 長野県健康 づくり事業団 松本検診所 (大腸がん) 会 場 保健センター
	がん発見数	0		
大腸がん検診	受診者数	792	10日間	
	がん発見数	0		
乳房検診	受診者数	337	3日間	
	がん発見数	1		
子宮がん検診 (集 団)	受診者数	235	4日間	
	がん発見数	0		
肺がん検診	受診者数	631	12日間	新生病院
	がん発見数	0		
乳房検診 (マンモグラ フィ)	受診者数	189	6日間	
	がん発見数	0		
子宮がん検診 (施 設)	受診者数	150	2カ月間	須高医師会
	がん発見数	0		
J Aがん セット検診	胃	85	2日間	北信総合病院
	大 腸	116		
	肺	88		
	乳 房	25		
	子 宮	41		

- ・前立腺がん
町民健診、J Aヘルス、高齢者検診にて実施
- ・肝炎検査
町民健診、J Aヘルス、高齢者健診で過去に調べたことのない人で希望者に対し実施

(3) 活動指標の推移

【各検診等受診推移】

- ・結核予防 (単位：人)

種別	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
間接撮影	3,070	1,261	1,105	827	715
直接撮影	355	198	184	140	145

- ・基本健診 (単位：人)

項 目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
特定 健診	希望者数	—	—	—	—	1,330
	受診者数	—	—	—	—	884
	受診率 (%)	—	—	—	—	66.5
	異常あり	—	—	—	—	295
町民 健診	希望者数	2,428	2,541	1,518	1,434	413
	受診者数	1,713	1,757	690	701	113
	受診率 (%)	70.6	69.1	45.5	48.9	27.4
	異常あり	1,395	1,408	135	290	14

高齢者健診	希望者数	—	—	—	—	416
	受診者数	—	—	—	—	318
	受診率 (%)	—	—	—	—	76.4
	異常あり	—	—	—	—	115
J A ヘル ス	希望者数	244	273	142	148	26
	受診者数	159	185	120	123	13
	受診率 (%)	65.2	67.8	84.5	83.1	50.0
	異常あり	142	117	71	33	4
総合健診	希望者数	90	72	53	/	/
	受診者数	52	42	28		
	受診率 (%)	57.8	58.3	52.8		
	異常あり	52	41	-		

※ 異常あり者の数は延べ人数

・人間ドック

(単位：人)

種類	対象	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
半・1日	一般	31	33	30	42	159
	節目(一般)	3	5	2	9	5
1泊2日	一般	10	10	11	12	30
	節目(一般)	0	0	0	0	0

※参考 特定健診受診結果による「特定保健指導対象者」数

総受診者：1,091人 積極的支援：30人 動機付支援：106人 情報提供者：955人

・骨健診

(単位：人)

種別	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受診者数	220	231	203	281	290
要フォロー	58	53	45	13	23

・がん検診

(単位：人)

種類	項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
胃	受診者数	887	622	586	614	540	
	がん発見数	0	0	1	0	0	
大腸	受診者数	1,011	771	780	817	792	
	がん発見数	1	1	1	0	0	
肺	受診者数	564	436	530	507	631	
	がん発見数	0	0	0	2	0	
乳房	視触	受診者数	477	302	339	286	337
		がん発見数	1	1	0	0	1
	マンモ	受診者数	157	168	163	211	189
	がん発見数	0	1	0	0	0	
子宮(集団)	集団	受診者数	388	210	183	195	235
		がん発見数	0	0	0	0	0
	施設	受診者数	223	138	124	139	150
		がん発見数	1	1	0	0	0

セ ッ ト 検 診	胃	98	100	86	93	85
	大腸	103	111	107	119	116
	肺	84	95	91	108	88
	乳房	35	44	29	48	25
	子宮	37	42	124	41	41

・前立腺がん (単位：人)

種別	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受診者数	—	260	268	220	182

・肝炎検査 (単位：人)

種別	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受診者数	46	91	66	314	150

高齢者健康診査(健康グループ)

予算事業名：後期高齢者健診事業費

当初予算額 3,284,000 円 最終予算額 3,284,000 円 決算額 990,405 円

特定健康診査の実施に伴い、後期高齢者医療広域連合が行う75歳以上の人を対象にした健康診査について、町特定健診と同時に実施しました。実施にあたっては、受診者の利用の便を考慮して、地域の公会堂やコミュニティセンターを会場に実施しました。

合わせて人間ドック受診希望者(75歳以上)に対し費用補助を行い、受診しやすい環境づくりを図りました。

(1) 主な支出

- ・健診委託料 77 万円
- ・ドック費用補助 16 万円

(2) 活動指標

・受診者数 (単位：人)

期日	会場	人数	期日	会場	人数	期日	会場	人数
9月18日	山王島公会堂	41	9月30日	東部コミュニティ	60	10月14日	林公会堂	49
9月19日	押羽公会堂	50	10月1日	松村公会堂	56	10月15日	福原コミュニティ	51
9月24日	北岡公会堂	54	10月6日	健康福祉センター	66	10月17日	保健センター	39
9月26日	六川公会堂	34	10月7日	上町公会堂	40	10月24日	健康福祉センター	28
9月29日	矢島公民館	41	10月8日	大島公会堂	42	10月31日	上松川コミュニティ	32
							合計	15会場 683人

・結果報告会参加者数 534 人 (参加率83.0%)

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
受診者数	1,127人	968人	683人

(4) 成果指標

- ・生活機能評価による特定高齢者の把握者数 124人
- ※特定高齢者：介護予防による転倒予防教室、訪問指導等の対象者

子どもと高齢者の予防接種(健康グループ)

予算事業名：予防接種事業費

当初予算額 11,280,000 円 最終予算額 11,280,000 円 決算額 10,646,887 円

子どもや高齢者の疾病や感染症予防のため、予防接種を行いました。

(1) 主な支出

・医師、看護師賃金	51 万円
・ワクチン代等	21 万円
・説明書等印刷代他	8 万円
・予防接種業務委託料	974 万円

(2) 活動指標

種 別	接種の種類	回 数	会 場
ポリオ	集 団	4	保健センター
三種混合	個 別	通年	医療機関委託
二種混合	集 団	2	小 学 校
麻しん風しん混合(乳幼児)	個 別	通年	医療機関委託
日本脳炎(幼児)	個 別	-	医療機関委託
日本脳炎(小学生)	集 団	-	小 学 校
B C G接種	集 団	6	保健センター
インフルエンザ	個 別	通年	医療機関委託

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

種 別		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
ポリオ		196	191	172	214	157
三混		334	373	373	331	346
二混		100	98	123	120	123
麻しん		111	111	164 (混合)	204 (混合)	混：367 麻：2 風：1
風しん		90	165			
日本 脳炎	幼児	308	43	—	—	—
	小学生	125	中止	中止	中止	中止
	中学生	130	113	廃止		
B C G接種 (乳児)		147	82	84	86	76
インフル エンザ	60～ 64歳	0	2	2	-	2
	65歳 以上	1,329	1,464	1,493	1,658	1,788

学生を主とした年代層における麻しんが全国的に流行した中で、町内では特に大きな流行はみられませんでした。

また、高齢者のインフルエンザ予防を進めることにより、町内での大きな流行はみられませんでした。

食生活改善事業(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 38,000 円 最終予算額 38,000 円 決算額 37,800 円

乳幼児から高齢者まで、より良い食生活を送るための支援を行うため、栄養価計算システムを利用し、献立の栄養価計算を元に個別の栄養計算、保育園の給食管理等に役立てています。

(1) 主な支出

- ・システム保守 3 万円

(2) 活動指標

- ・食生活改善事業での実習献立等の栄養価計算 30回
- ・保育園給食の栄養価計算 通年

ソフト導入により、献立の栄養価評価がより詳細に行うことができるようになったため、病態など個人に合わせた対応も可能になりました。また、作業の迅速化が図れたことで、関係者が実践に取り組む時間の確保が図られました。

チャレンジ・クッキング(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 558,000 円 最終予算額 558,000 円 決算額 393,742 円

調理体験や味覚体験を通じて、子どもたちの食に関する感受性（五味・五感）を育むとともに、体と食を結びつけて考えることで、健康な身体づくりのための食の必要性を学ぶ場としてチャレンジ・クッキングを開催しました。

(1) 主な支出

- ・栄養士賃金 26 万円
- ・調理用食材 8 万円
- ・子ども用調理器具 5 万円

(2) 活動指標

- ・実施状況

基礎講座

回	開催日	学習内容・実施献立	参加者数
1	6月21日（土） 9：30～13：00	テーマ：おにぎりを作ろう 献立：おにぎり、豆腐とわかめの味噌汁、スティック野菜	14人
2	7月19日（土） 9：30～13：00	テーマ：鶏の照り焼きを作ろう 献立：鶏の照り焼き、かきたま汁	18人
3	9月13日（土） 9：30～13：00	テーマ：サンマのかぼやきを作ろう 献立：サンマの蒲焼、青菜のゴマ和え、トン汁	17人
4	10月11日（土） 9：30～13：00	テーマ：ハンバーグを作ろう 献立：ハンバーグ、ポテトサラダ 白菜とハムのスープ	21人
5	11月15日（土） 9：30～13：00	テーマ：子供達の希望メニューから 献立：チキンカレー 大根とツナのサラダ	20人

応用講座

回	開催日	学習内容・実施献立	参加者数
1	8月30日（土） 9：30～13：00	テーマ：お弁当を作ろう 献立：ミートボール 厚焼き玉子	7人
2	12月13日（土） 9：30～13：00	テーマ：クリスマスパーティーメニュー 献立：鶏の唐揚げ、バターライス、コンソメスープ、リンゴのケーキ	12人
3	1月17日（土） 9：30～13：00	テーマ：花の巻寿司を作ろう 献立：バラの巻寿司	8人

(3) 活動指標の推移

参加児童数	平成18年度	平成19年度	平成20年度
基礎編	延べ48人(5回)	延べ72人(5回)	延べ90人(回)
応用編	—	—	延べ27人(回)

今年度より5回の基礎編に、3回の応用編を加え、より高度な調理技術の習得も目指す中で実施しました。継続した実施により調理技術の習得が図られ、家庭でも進んで手伝いや調理を行う児童が増えるなど、子どもたちの意識変化が伺えました。

食生活改善推進協議会の活動支援(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 95,000 円 最終予算額 95,000 円 決算額 68,414 円

食による健康づくりを目指し、調理実習や講習会など学習活動を行い、自らの食生活の見直しを行うとともに、学習の成果を地域に広めるための活動を行っている食生活改善推進協議会に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・推進協議会活動補助金 2万円
- ・調理実習材料費 4万円

(2) 活動指標

- ・講習会 (会場はいずれも保健センター)

とき	内 容	参加者
6月3日	学習会 食品の安全性とは	22人
	実 習 春野菜を使って～手作り餃子～	
7月10日	学習会 私の油の適量と天ぷら	15人
	実 習 夏野菜を使って～天ぷら他～	
8月6日	学習会 麺類とごはんの量比べ	9人
	実 習 夏野菜を使って～冷たい麺他～	
11月7日	学習会 牛乳・乳製品の特徴を知ろう	13人
	実 習 牛乳・乳製品を使った料理	
12月2日	実 習 お正月料理	12人
1月23日	実 技 腎臓の働きを知ろう	13人
	実 習 凍り豆腐を使った料理	
2月19日	実 習 やしろうま作り	13人

- ・出前講座

とき	ところ	内 容	参加者
8月8日	栗が丘小学校	おやき・こねつけづくり	須高地区小学校教職員17名
9月29日	健康福祉センター	小布施秋色の味	上田市城南地区住民グループ32名
1月23日	保健センター	学習会「私のごはんの適量は」 実習「お正月料理」	女性団体連絡協議会10名

- ・視察研修

とき	ところ	内 容	参加者
3月25日	軽井沢町	信州ハム軽井沢工房見学	15名

- ・町及び関係団体事業等への参加

期日	事業名	内容	参加者
通年	エンゼルランドセンター事業	エンゼル遊びの広場	延べ24名
9月30日	栗の皮むきボランティア活動		8名
10月19日	千年樹の里まつり	模擬店出展	9名
通年	ゴミ減量化懇話会	新しいゴミ減量化について	延べ3名

自主活動に加え、各種団体やグループ活動などへ積極的に参加いただき、食による健康づくりの理念の普及に努められました。

特定保健指導二次検診の推進(健康グループ) 予算事業名：二次健診事業費
 当初予算額 1,943,000 円 最終予算額 1,943,000 円 決算額 0 円

特定健康診査の受診結果により特定保健指導が必要とされた人を対象に、特定健診では把握しない内臓脂肪量や糖負荷試験を行い、より身体の状態を詳しく把握することにより自ら生活習慣を改善する動機付けを目指し、実施しました。
 支出に当たっては、国保会計における保健指導事業より支出しました。

3 保健師設置費 18,944,000 決算事項別明細書 P50～

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
 当初予算額 24,756,000 円 最終予算額 18,944,000 円 決算額 18,944,000 円

(1) 主な支出

職員人件費 1,894 万円

2 環境保全費 132,051,586

1 環境保全総務費 10,013,493 決算事項別明細書 P50～

生活環境保全(生活環境グループ) 予算事業名：環境総務費
 当初予算額 46,000 円 最終予算額 62,000 円 決算額 19,657 円

環境衛生業務に資する図書購入及び信濃川を守る協議会へ参加しました。

(1) 主な支出

- ・信濃川を守る協議会負担金 0.3 万円
- ・THE GREEN BOOK図書購入費他 1.6 万円

(2) 活動指標

- ・河川一斉パトロール 2回実施 (5月15日、10月30日)

公衆トイレの管理(生活環境グループ) 予算事業名：公衆トイレ管理費・公衆トイレ整備事業
 当初予算額 971,000 円 最終予算額 1,521,000 円 決算額 1,396,546 円

駅を利用する町民の皆さんや、町を訪れた人が気持ちよく使用できるよう、トイレの清掃・管理を行いました。

また、トイレが老朽化してきたため、改築に向けた実施設計を行いました。

(1) 主な支出

- ・公衆トイレ(駅前、皇大神社)清掃委託料 51 万円
- ・公衆トイレ光熱水費、修繕費等 36 万円
- ・駅前トイレ整備事業実施設計委託 53 万円

(2) 活動指標

- ・駅前公衆トイレの清掃 毎日(勤務時間1時間)
- ・皇大神社公衆トイレの清掃 週2回(勤務時間1時間)

私の意見箱等においてトイレの老朽化からくる施設の充実を望む皆さんの要望を受けたため、東京理科大学まちづくり研究所の支援を受け、実施設計を行いました。

- ・駅前公衆トイレ実施設計委託業務入札 入札参加業者数 5社

環境美化委員会活動(生活環境グループ) 予算事業名：環境美化委員会活動費
 当初予算額 384,000 円 最終予算額 384,000 円 決算額 375,448 円

地域での環境美化活動の推進リーダーとしての指導助言及びゴミステーションの管理運営・分別指導にあたっていただきました。

- (1) 主な支出
- ・衛生組合活動交付金 35 万円
 - 内 訳 均 等 割 (@1,900円×28自治会) 5 万円
 - 戸 数 割 (@85円×3,427世帯) 30 万円
 - ・その他の経費 3 万円
- (2) 活動指標
- ・環境美化協議会議 3回開催 (平成20年2月8日、平成20年4月16日、平成20年12月5日)
 - ・収集所の立会い、分別に関する指導、視察研修会等の実施
 - ・資源物の日曜回収における分別指導の実施 年5回実施
- 収集ステーションの維持管理、各自治会の資源分別の徹底が図られました。

環境美化運動の日(生活環境グループ) 予算事業名：「環境美化運動の日」事業費
 当初予算額 552,000 円 最終予算額 518,000 円 決算額 103,172 円

自分たちの住む地域を自らきれいにするため「環境美化運動・よろずぶしんの日」として春と秋の年2回町民総参加により実施しました。

- (1) 主な支出
- ・ゴミ袋の購入、アメシロ防除経費など 9 万円
- (2) 活動指標
- ・環境美化運動の日(5月25日 参加者数1,138人、10月19日 参加者数2,344人)
 - 5月25日 空き缶1,342個、ビン291本、埋立2,857kg、可燃ごみ282kg
 - 10月19日 空き缶2,025個、ビン125本、埋立3,697kg、可燃ごみ877kg

(3) 活動指標の推移

- ・環境美化運動、よろずぶしんの日 ゴミ等の回収状況の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
空き缶(個)	2,818	3,850	3,100	4,090	3,367
ビン(本)	247	118	251	280	416
埋め立て(kg)	1,740	7,620	7,065	6,255	6,554
可燃ごみ(kg)	1,755	2,135	2,860	2,135	1,159
参加者数(人)	3,753	4,537	4,863	4,704	3,482

- ・平成14年度から、年2回(春・秋)の環境美化運動を実施
- ・平成16年度から新たに「よろずぶしんの日」として実施
 - 庭や畑から道路に張り出した植木の枝切り、側溝、カーブミラーの掃除等も合わせて実施をお願いし、多くの町民の皆様が参加していただいています。

不法投棄の防止(生活環境グループ) 予算事業名：不法投棄防止活動費
 当初予算額 601,000 円 最終予算額 659,000 円 決算額 658,795 円

不法投棄防止指導員が区域内を定期的に清掃、パトロールを実施し、不法投棄を未然に防ぐとともに、町報・同報無線によりマナーの向上を呼びかけました。
 悪質な不法投棄は、なかなか撲滅することができず、20年8月には家財道具一式が不法投棄される事件も発生しています。

- (1) 主な支出
- ・不法投棄防止指導員報酬 43 万円
 - ・不法投棄廃棄物処理委託料 18 万円

・その他経費 4万円

(2) 活動指標

- ・粗大ごみの回収 2回実施 (5月26日～6月1日、10月20日～26日)
- ・有害ごみの回収 2回実施 (5月11日生活支援ハウス駐車場、11月16日同左)
- ・毎月第4日曜日に地区内巡回パトロール 12回実施
- ・不法投棄物の回収 不法投棄防止指導員の協力により随時
- ・放置車輛撤去を条例 (H19 10月施行) の規定に基づき実施 1台

(3) 成果指標

・不法投棄の発見・通報件数 (単位：件)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
195	152	97	29	21

・放置車輛の撤去件数 (単位：件)

勧告、警告	自主撤去	町撤去
1	1	-

生活灯の設置(生活環境グループ)

予算事業名：生活灯管理費

当初予算額 1,357,000円 最終予算額 1,357,000円 決算額 1,313,165円

住環境の向上を図るため、自治会等からの要望により通学路、生活道路を優先に生活灯の設置・修繕を行っています。

自治会長さんのご協力をいただき、全町の生活灯設置基数を調査し、設置されている場所の一覧表及び設置箇所地図を作成しました。

(1) 主な支出

- ・生活灯修繕料 67万円
- ・生活灯新設工事費 60万円
- ・町管理生活灯電気料 4万円

(2) 活動指標

・新設10箇所、灯具替等23箇所 合計 33箇所

調査時点における設置数(自治会別)

自治会	総数	ポ ー ル		設置 場 所	電球種類			現在な し/確 認でき ず
		NTT	中電		蛍光灯	水銀灯	未確認	
東町	73	11	0	62	73	0		2
上町	49	30	1	18	14	35		1
中町	44	44	0	0	0	44		
伊勢町	21	13	0	8	19	2		
同商工会	40	40	0	0	0	40		
中央	29	14		15	29	0		1
中扇	31	10	1	20	31	0		
横町	58	45		13	27	31		
福原	52	6		46	52	0		
栗が丘	48	2		46	47	0	1	
大島	73	11	2	60	71	2		
飯田	58	27	20	9	2	57	1	
林	70	21	1	44	4	70		
山王島	52	10	4	36	2	51	1	
北岡								

押羽	79	27	0	47	5	79			
羽場									
六川	81	15	3	56	7	77	4		
中子塚	9	0	0	9		9			
矢島	36	8	4	19	5	36			
清水	13			13		13			
中条	37	14	0	23		36	1		
松村	47	6	0	33	8	47			
雁田	53	19	0	33	1	53			
水上	55	31	0	24		30	25		
松の実	27	2	0	25		27			
千両	15	3	0	12		15			
松川	11	6	0	4	1	11			
クリトピア	13	4	0	9		12	1		
町管理	33	12	0	21		33			
合計	1207	431	741	35	1019		188		4

注：北岡・押羽・羽場はコミュニティ（消防団）管理

(3) 活動指標の推移

・新設、修繕工事総数の推移 (単位：基)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
22	23	20	23	33

犬猫の管理(生活環境グループ)

予算事業名：狂犬病予防対策費

当初予算額 327,000 円 最終予算額 327,000 円 決算額 226,710 円

狂犬病を予防し、犬の飼育マナーの啓発に努め、公衆衛生の向上を図りました。

(1) 主な支出

- ・狂犬病予防注射・原簿管理業務委託料等 16 万円
- ・犬、猫繁殖制限手術補助金 6 万円
 - 不妊 犬 2 頭、猫 6 匹、計 8 頭
 - 去勢 犬 2 頭、猫 5 匹、計 7 頭

(2) 活動指標

- ・集合注射、登録 3回実施 (4月24日、5月17日、6月22日)
- ・注射頭数(集合実施) 729 頭

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
802	763	746	729

(3) 活動指標の推移

・犬・猫の繁殖制限手術実施頭数の推移 (単位：頭)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
16	30	17	14	15

火葬場の管理運営(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：火葬場管理費

当初予算額 6,830,000 円 最終予算額 5,920,000 円 決算額 5,920,000 円

火葬場「松川苑」の管理運営を、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合で行いました。

(1) 主な支出

・須高行政事務組合負担金（運営負担金） 592 万円

(2) 活動指標

- ・施設名 須高行政事務組合「松川苑」（平成18年3月改築工事完了）
- ・火葬数 小布施町分 142 体（うち管轄外7体）（うち死胎2体）

(3) 活動指標の推移

・火葬数の推移 (単位：体)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
103	125	106	120	142

2	公害対策費	68,500	決算事項別明細書	P51～
公害対策・河川の水質検査(生活環境グループ)		予算事業名：公害対策費		
当初予算額	98,000 円	最終予算額	98,000 円	決算額 68,500 円

豊かな自然を守り、公害のない町を目指して、公害の発生源となる施設や設備に対する指導・啓発を強化し、未然防止に努めました。

(1) 主な支出

- ・河川水質検査 6 万円
- ・公害関係法令加徐 1 万円

(2) 活動指標

- ・河川水質検査口 町内水路10カ所、年2回検査（8月、12月）実施
- ・公害等苦情処理

原因者が判明している場合は、直接改善指導、催告を実施し、原因者が特定できない場合は発生源等を現場確認し、状況について町報、同報無線や地区の環境美化委員を通じ隣組回覧などで町民の皆さんへの周知を図るとともに、モラルに対する意識啓発に努めました。

主な内訳：大気汚染（野焼き）7件、生活環境（害鳥獣虫、消毒噴霧等）8件、飼犬のフン害・放し飼い9件、悪臭0件、騒音 6件、その他8件

・河川の水質検査の結果

測定地点	採取年月日	PH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100m l)	全りん (mg/L)
県営住宅前	8月19日	4.1	1.2	9.0	3,300	0.005
	12月10日	3.7	1.3	4.0	49	0.004
砂川 (矢島)	8月19日	4.3	2.4	4.0	13,000	0.007
	12月10日	3.8	4.2	9.0	490	0.012
深沢川 (押羽)	8月19日	4.2	1.4	7.0	11,000	0.014
	12月10日	3.8	1.0	5.0	1,300	0.007
山王島	8月19日	4.1	2.3	8.0	7,900	0.005
	12月10日	3.7	5.6	6.0	1,100	0.076
大島 公会堂	8月19日	4.1	2.3	9.0		
	12月10日	3.7	3.1	5.0		
大元神社	8月19日	4.1	1.9	9.0		
	12月10日	3.7	4.0	8.0		
わかば 保育園	8月19日	4.1	1.1	12.0		
	12月10日	3.8	1.8	5.0		
都住駅 西	8月19日	4.2	2.4	9.0		
	12月10日	3.7	1.9	4.0		
栗林前	8月19日	4.1	3.1	8.0		
	12月10日	3.7	1.5	4.0		

雁田 公会堂	8月19日	5.0	1.4	14.0		
	12月10日	4.3	3.5	7.0		
上記10カ所の平均値		4.0	2.4	7.3	4,767	0.016

(3) 活動指標の推移

検査した10カ所の平均値は、下水道などの普及から10年前よりBOD、SS値とも改善しています。

調査項目	環境基準に定める 標準値	平成9年検査時の 10カ所の平均値	平成20年検査時の 10カ所の平均値
p h 値	6.5～8.5	4.2	4.0
B O D	1mg/ℓ～10mg/ℓ	3.8	2.4
S S	25mg/ℓ～100mg/ℓ	7.3	7.3

p h 値：水素イオン濃度値。酸性 < ph値7.0 < アルカリ性 となります。

B O D：生物化学的酸素要求量。河川などの有機物による汚濁の程度を表します。

S S：浮遊物質量。粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質の量を表します。

3	清掃費	121,969,593	決算事項別明細書 P51～
ごみ減量化の推進（生活環境グループ）		予算事業名：ごみ減量化推進事業費	
当初予算額	1,421,000 円	最終予算額	1,421,000 円
		決算額	866,558 円

町報・同報無線を活用してプラスチック製容器包装や古紙類の分別の徹底お願いしリサイクルに対する意識啓発に努めました。

(1) 主な支出

- ・ごみ減量化推進事業補助金等 19 万円
- ・分別収集カレンダー、警告シール 39 万円
- ・剪定枝処理業務の委託（1回） 19 万円
- ・剪定枝処理専用車借上料 9 万円

(2) 活動指標

- ・電動生ごみ処理機設置補助金 9 台 13 万円
- ・資源回収補助金（中学校） 1 件 3 万円
- ・ごみ分別説明会の開催 総参加人員 212人 4団体（自治会、コミュニティ等4カ所）
自治会・各種団体を単位にサンプルを示し説明会を実施
- ・剪定枝の回収 3回実施（8月30～9月5日、11月8～14日、12月6～12日町営グラウンド
北側駐車場：うち1回のみ業者へ委託）
回収実績18t

(3) 成果指標

- ・ごみ減量化推進事業実施計画（アクションG30）の結果
可燃ごみ排出量：2,259t 13.7%削減（平成16年度対平成20年度比）
資源物 収集量：705t 24.5%増（平成16年度対平成20年度比）

ごみの収集（生活環境グループ）		予算事業名：ごみ分別収集費	
当初予算額	14,844,000 円	最終予算額	14,844,000 円
		決算額	13,596,570 円

廃棄物処理計画に基づき快適な生活環境を守るため、ごみの収集を行いました。収集は、分別区分に従い、可燃ごみ・埋立ごみと金属・びん・ペットボトル・白色発泡トレイ・古紙類などの別に収集しました。

(1) 主な支出

- ・ごみの収集委託 1,061 万円
- ・白色トレイ収集運搬委託料 12 万円
- ・白色トレイ回収車借上料 3 万円
- ・古紙類収集運搬委託料 34 万円（収入として626万円を得ました。）

(2) 活動指標

- ・可燃ごみ 毎週火・金曜日（東地区）、水・土曜日（西地区）
- ・埋立ごみ 隔月最終水曜日（東西地区を1月おきに収集）
- ・かん金属 隔週木曜日（東西地区を1週おきに収集）
- ・プラ製容器包装 毎週月曜日（東西両地区）
- ・白色トレイの回収 12回実施（毎月第3金曜日 各自治会指定場所で集合回収）
- ・古紙類の回収 5回実施（上記のほか、有害の回収とあわせ5回、日曜回収を実施）

(3) 成果指標

- ・ごみ収集量の年度別推移 (単位：t) (単位：%)

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	アクションG30	
						成果値	達成率
可燃	2,616	2,528	2,340	2,180	2,259	△ 13.7	45.4
埋立	51	56	53	42	40	—	—
資源物	566	572	703	781	705	24.5	81.8
合計	3,233	3,156	3,096	3,003	3,004		

平成19年度末における「アクションG30（ごみ減量化推進計画）」の成果は、可燃ごみ16.7%の減、達成率55.6%、資源ごみ37.9%の増、達成率126.4%となりました。

平成20年度は、分別への「慣れ」が生まれたためかごみは増えてしまい、アクションG30の成果率、達成率とも表のとおり悪化しました。生ごみの分別の徹底・生ごみの堆肥化を更にお願するなど、地域での説明会を強化してまいります。

ごみの処理(北信保健衛生施設組合・プラ製容器包装処理)(生活環境グループ)

予算事業名：ごみ分別処理費

当初予算額 96,151,000 円 最終予算額 97,392,000 円 決算額 96,766,465 円

ごみ処理(可燃、埋立、資源物(缶・金属、PET、ガラスビン、白色トレイ))は、小布施町・中野市・山ノ内町・飯綱町・長野市豊野町で構成する北信保健衛生施設組合（東山クリーンセンター、不燃物処理センター）で行い、プラスチック製容器包装については、民間の専門業者へ選別・リサイクル処理を委託しました。

(1) 主な支出

- ・北信保健衛生施設組合負担金 9,261 万円
- ・プラスチック製容器包装処理委託料 401 万円
- ・プラスチック製容器包装再商品化委託料 16 万円

(2) 活動指標

- ・北信保健衛生施設組合
焼却処理稼働日数 344 日（東山クリーンセンター）
圧縮・破砕処理稼働日数 236 日（不燃物処理センター）
- ・プラスチック製容器包装リサイクル処理 87 t

し尿の処理(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：し尿処理費

当初予算額 11,436,000 円 最終予算額 10,873,000 円 決算額 10,730,000 円

し尿処理は、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合（須高衛生センター）で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金（し尿処理費負担金） 838 万円
- ・須高行政事務組合負担金（議会総務費負担金） 235 万円

(2) 活動指標

須高行政事務組合須高衛生センター（小布施町処理分）

稼働日数 366 日 し尿収集量 793 k1
焼却処理日数 100 日 浄化槽汚泥収集量 77 k1 総収集量 871 k1

(3) 活動指標の推移

・し尿処理量の推移

(単位：k1)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1,352	1,097	971	851	793

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																										
5			農林水産業費	260,510,683																																																											
	1		農業費	255,833,869																																																											
		1	農業委員会費	14,394,051	決算事項別明細書 P51～																																																										
農業委員会の運営(産業振興グループ)					予算事業名：農業委員会運営費																																																										
当初予算額 5,541,000円 最終予算額 5,541,000円					決算額 5,436,502円																																																										
農地の適正利用や転用許可の審議等の農地法に基づく活動、農地の遊休荒廃化の防止や作物の適地適作の推進など、農業振興の推進及び町農業施策のあるべき方向について研究を行いました。																																																															
(1) 主な支出																																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員報酬 385万円 ・須高地区農業委員会協議会負担金 11万円 ・臨時職員賃金 40万円 ・農用地GISシステム保守料 15万円 ・農家台帳データ更新業務 45万円 ・農業振興地域データ更新業務 41万円 																																																															
(2) 活動指標																																																															
<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員 15人（公選12人、選任3人） 任期：平成18年5月13日～平成21年5月12日 ・定例総会の開催（毎月1回） ・遊休荒廃農地対策 <ul style="list-style-type: none"> 町内一斉調査の実施 10月 確認面積 約10.8ha 遊休荒廃農地に係る農家意向調査（平成20年12月～21年2月） ・遊休荒廃農地を利用したそば栽培（約20㍍） ・委員研修事業 <ul style="list-style-type: none"> 鹿肉を利用した地域活性化事業視察（下伊那郡大鹿村 平成20年11月7日） 須高地区農業委員会協議会研修会（平成21年2月27日） 「農業振興地域整備計画に基づいた優良農地の確保について」 ・農地法等所管事務件数 																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">案 件 名</th> <th rowspan="2">件 数</th> <th colspan="3">面 積 (㎡)</th> </tr> <tr> <th>田</th> <th>畑</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地法第3条第1項（所有権移転）</td> <td>18</td> <td>11,149</td> <td>14,816</td> <td>25,965</td> </tr> <tr> <td>（賃借権設定）</td> <td>2</td> <td></td> <td>2,792</td> <td>2,792</td> </tr> <tr> <td>（使用貸借権設定）</td> <td></td> <td></td> <td>3,711</td> <td>3,711</td> </tr> <tr> <td>農地法第4条第1項</td> <td>1</td> <td></td> <td>363</td> <td>363</td> </tr> <tr> <td>農地法第5条第1項（所有権移転）</td> <td>3</td> <td></td> <td>2,310</td> <td>2,310</td> </tr> <tr> <td>（賃借権設定）</td> <td>4</td> <td></td> <td>343</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>（使用貸借権設定）</td> <td>2</td> <td></td> <td>813</td> <td>813</td> </tr> <tr> <td>農地法第20条第6項（合意解約）</td> <td>7</td> <td>4,770</td> <td>7,019</td> <td>11,789</td> </tr> <tr> <td>農地法第4条第1項第5号</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>農地法第5条第1項第3号</td> <td>24</td> <td></td> <td>5,872</td> <td>5,872</td> </tr> </tbody> </table>						案 件 名	件 数	面 積 (㎡)			田	畑	計	農地法第3条第1項（所有権移転）	18	11,149	14,816	25,965	（賃借権設定）	2		2,792	2,792	（使用貸借権設定）			3,711	3,711	農地法第4条第1項	1		363	363	農地法第5条第1項（所有権移転）	3		2,310	2,310	（賃借権設定）	4		343	343	（使用貸借権設定）	2		813	813	農地法第20条第6項（合意解約）	7	4,770	7,019	11,789	農地法第4条第1項第5号				0	農地法第5条第1項第3号	24		5,872	5,872
案 件 名	件 数	面 積 (㎡)																																																													
		田	畑	計																																																											
農地法第3条第1項（所有権移転）	18	11,149	14,816	25,965																																																											
（賃借権設定）	2		2,792	2,792																																																											
（使用貸借権設定）			3,711	3,711																																																											
農地法第4条第1項	1		363	363																																																											
農地法第5条第1項（所有権移転）	3		2,310	2,310																																																											
（賃借権設定）	4		343	343																																																											
（使用貸借権設定）	2		813	813																																																											
農地法第20条第6項（合意解約）	7	4,770	7,019	11,789																																																											
農地法第4条第1項第5号				0																																																											
農地法第5条第1項第3号	24		5,872	5,872																																																											
(参考：振興地域整備促進事業)																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>許可年月日</th> <th>農振農用地編入</th> <th>農振農用地除外</th> <th>用途区分の変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年6月17日</td> <td></td> <td></td> <td>1件 1,605㎡</td> </tr> <tr> <td>平成20年6月26日</td> <td></td> <td>1件 500㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成20年12月15日</td> <td>1件 821㎡</td> <td>2件 1,154㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成21年2月17日</td> <td></td> <td></td> <td>1件 166㎡</td> </tr> <tr> <td>平成21年3月24日</td> <td></td> <td></td> <td>1件 196㎡</td> </tr> </tbody> </table>						許可年月日	農振農用地編入	農振農用地除外	用途区分の変更	平成20年6月17日			1件 1,605㎡	平成20年6月26日		1件 500㎡		平成20年12月15日	1件 821㎡	2件 1,154㎡		平成21年2月17日			1件 166㎡	平成21年3月24日			1件 196㎡																																		
許可年月日	農振農用地編入	農振農用地除外	用途区分の変更																																																												
平成20年6月17日			1件 1,605㎡																																																												
平成20年6月26日		1件 500㎡																																																													
平成20年12月15日	1件 821㎡	2件 1,154㎡																																																													
平成21年2月17日			1件 166㎡																																																												
平成21年3月24日			1件 196㎡																																																												

農地調整事務処理事業

- ・農用地利用集積計画（利用権設定） 31件 46,573 m²
- ・農地保有合理化事業 12件 15,298 m²
- ・各種証明書の発行 42件

(3) 活動指標の推移

- ・農地法等所管事務

案 件 名	面 積 (m ²)				
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
農地法第3条第1項（所有権移転）	21,986	14,782	33,178	16,630	25,965
（賃借権設定）	4,150	37,569	6,509	4,026	2,792
（使用貸借権設定）	38,490	1,388	9,806	3,711	
農地法第4条第1項	570		1,204	381	363
農地法第5条第1項（所有権移転）	2,314	5,601	5,527	1,407	2,310
（賃借権設定）	641	2,963	1,323	622	343
（使用貸借権設定）	1,408		1,047	503	813
農地法第20条第6項（合意解約）	27,824	30,245	5,313	6,440	11,789
農地法第4条第1項第5号	908	352	74	2,757	
農地法第5条第1項第3号	5,917	4,114	3,239	5,243	5,872

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 9,041,000円 最終予算額 9,006,000円 決算額 8,957,549円

(1) 主な支出

職員人件費 896万円

2 農業総務費

38,709,023

決算事項別明細書 P51～

農業資金の利子への補助など(産業振興グループ)

予算事業名：農業総務費

当初予算額 2,351,000円 最終予算額 2,351,000円 決算額 1,781,570円

農業者の経営改善や生産性の向上、合理化を目的に借り入れた資金に対し利子補給を行い、農家経営における経済負担の緩和を図りました。

(1) 主な支出

- ・農業経営基盤強化資金などの利子補給金 146万円
- ・農家実行組合活動交付金 20万円

(2) 活動指標

資 金 名	資 金 の 内 容
農業近代化資金	農業の近代化を図るための構築物、農機具資金
農業経営基盤強化資金	認定農業者が農業経営の改善を図るための資金
農業バックアップ資金	小規模農家等制度資金が利用できない方のための農業資金
認定農業者資金	認定農業者が必要とする農機具等の取得資金

(3) 活動指標の推移

	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	対象者	補給額	対象者	補給額	対象者	補給額
農業近代化資金等利子補給	9人	14万円	8人	12万円	3人	10万円
農業経営基盤強化資金利子補給	8人	95万円	7人	78万円	7人	62万円
農業バックアップ資金利子補給	6人	3万円	4人	2万円	2人	1万円
認定農業者資金利子補給	31人	121万円	35人	96万円	35人	73万円

職員人件費			予算事業名：一般職人件費
当初予算額	28,395,000円	最終予算額	36,981,000円
		決算額	36,927,453円

- (1) 主な支出
職員人件費 3,693万円

3	農業振興費	49,263,619	決算事項別明細書	P52～
----------	--------------	-------------------	-----------------	-------------

埋設農薬処理対策など(産業振興グループ)			予算事業名：農業振興費
当初予算額	201,000円	最終予算額	201,000円
		決算額	183,820円

県内に埋設されている農薬の適正処理のための負担を行いました。

- (1) 主な支出
・埋設農薬処理対策事業負担金 11万円

農業・農村サイトの運営(産業振興グループ)			予算事業名：新「小布施ブランド」戦略事業費
当初予算額	210,000円	最終予算額	210,000円
		決算額	142,800円

町内で生産される農作物などを登録し、消費者ニーズに応えられる産地として情報発信するサイトを立ち上げ、商品販売による起業を図りました。

- (1) 主な支出
・おぶせアグリモール運営 14万円
- (2) 活動指標
・農業農村紹介サイト登録農家数 68軒
・販売農家数 11軒

(3) 活動指標の推移

	平成20年度
販売農家数	11軒
販売金額	30万円

「小布施ブランド」戦略事業(新品種作物等の栽培・研究)(産業振興グループ)			予算事業名：新「小布施ブランド」戦略事業費
当初予算額	5,446,000円	最終予算額	6,946,000円
		決算額	6,339,311円

多様化する消費者ニーズに応えるため、新たなブランド化を図りました。地域伝統野菜など“小布施でしか手にはいらない物”を新たに小布施ブランドとして確立するよう、(財)振興公社「小布施屋」と連携し情報発信と販売を行いました。

新品種野菜の栽培と販売を(財)振興公社に委託しました。

- (1) 主な支出
- ・栽培研究委託料 230万円
 - ・政策顧問活動謝礼 51万円
 - ・旅費 138万円
 - ・イベント出展負担金 22万円
 - ・消耗品 176万円
 - ・賃金 16万円
- (2) 活動指標
- ・物産展への参加

軽井沢駅「観光物産フェア」	平成20年7月30日～31日
東京都墨田区「すみだまつり」	平成20年10月4日～5日
株新宿高野「小布施フェア」	平成20年10月11日～13日

東京ビジネスサミット2008	平成20年10月21日～22日
埼玉県戸田市「商工祭」	平成20年10月25日～26日
東京都墨田区「北斎通りイベント」	平成20年11月21日～23日

- ・小布施ブランド野菜テスト栽培

高糖度パプリカ	作付10a	720本	収穫	4,567kg
			販売額	250万円
アナスタシア ブラック	作付3a	358本	} 収穫	1,856kg
レッド及びグリーン	作付6a	727本		
			販売額	53万円
- ※パプリカについては高品質栽培と安定出荷ができました。
- ※アナスタシアについて、グリーン、レッド、ブラックの3色が揃わず安定した販売につなげることが出来ませんでした。(特にブラック)
- ・小布施丸なす

		240本	収穫	4,000kg
			販売額	120万円
- ・りんご酢の製造委託

	200ml	9,460本	300ml	780本
--	-------	--------	-------	------

栗栽培の推進(産業振興グループ)	予算事業名：新「小布施ブランド」戦略事業費
当初予算額 924,000円 最終予算額 924,000円	決算額 647,440円

六百年の歴史を持つ「小布施栗」の栽培面積の拡大と、確かな品質の栗の販売を進めました。

- (1) 主な支出
 - ・苗木購入補助 58万円
 - ・賃金 6万円
- (2) 活動指標
 - ・栗の苗木購入補助 871本

新興果樹の普及推進(産業振興グループ)	予算事業名：新「小布施ブランド」戦略事業費
当初予算額 824,000円 最終予算額 824,000円	決算額 237,600円

他産地との差別化を図り、「小布施にしかない」こだわりの農産物の生産を進めるため、苗木育成の補助などを行います。

- (1) 主な支出
 - ・苗木購入補助 20万円
 - ・賃金 3万円
- (2) 活動指標
 - ・酸果桜桃の苗木育成補助 215本
 - ・町内外の洋菓子店やレストラン等へのサンプル提供、販売 16社

都市農村交流事業(産業振興グループ)	予算事業名：都市農村交流事業費
当初予算額 1,607,000円 最終予算額 1,607,000円	決算額 970,565円

都市消費者との交流を深めるため、東京都墨田区民との交流事業を春と秋に開催しました。

- (1) 主な支出
 - ・農家民泊謝礼 25万円
 - ・農業体験指導謝礼 14万円
 - ・交流会経費 25万円
 - ・事業実施消耗品費 7万円
 - ・農村散策マップ作成謝礼 9万円

(2) 活動指標

・春の巻

5月24日(土)～25日(日) 墨田区民22名参加 受入農家7軒
田植え、小布施丸なす定植、りんご摘果、町内散策

・秋の巻

10月18日(土)～19日(日) 墨田区民34名参加 受入農家10軒
稲刈り、フルーツセンター見学、全体交流会、町内散策

回を重ねるごとに参加者が多くなり、春と秋に2回訪れる人や「おぶせ大好き倶楽部」に加入する人もありました。

今後も継続し、参加者の増加と受入農家の確保を図り、交流によるまちづくりを進めます。

・大阪市立大淀中学校農業体験受入れ 5月17日(土) 96名
田植え体験、餅つき体験

・日本大学フィールド・リサーチ受入れ 7月30日(水)～8月1日(金) 18名
学生が自ら現場に行き、そこでの実態調査を通して食や環境問題を体験するもので、民泊や学生の体験発表などにより交流を深めました。

・全米大学留学生農業体験受入れ 10月24日(金) 50名
りんご収穫体験、餅つき体験

売れる米づくりと地産地消の推進(産業振興グループ)

予算事業名：数量調整円滑化推進事業費

当初予算額 171,000円 最終予算額 171,000円 決算額 162,500円

地産地消として米の消費拡大を図るためイベント等を通じた地元産米のPR活動を行いました。また、主食である米の安定供給を目的に行われる生産調整の、生産者等に対する周知活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・消耗品費 7万円
- ・郵送料 9万円

(2) 活動指標

- ・地産地消推進活動
米の消費拡大に向けた小布施産米の学校給食への提供
- ・地元産米のPR
緑のかけ橋まつりでの試食用おむすびの配布
- ・栗ガ丘小学校5年生田植え、稲刈り教室
- ・小布施町水田農業推進協議会の事務
構成：町、JA、土地改良区、農業改良普及センター、消費者団体等

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
水田面積	216ha	216ha	216ha	216ha	216ha
作付面積	98ha	120ha	121ha	118ha	114ha
生産数量	565t	695t	704t	679t	666t
農業者数	899人	676人	649人	677人	591人

農作物の有害鳥獣駆除(産業振興グループ)

予算事業名：有害鳥獣対策費

当初予算額 915,000 円 最終予算額 988,000 円 決算額 987,102 円

農作物に被害を与える鳥やサル、イノシシなどを駆除しました。

(1) 主な支出

- ・有害鳥獣駆除推進協議会補助金 72 万円
- ・サル、イノシシ駆除報償費 10 万円
- ・イノシシ捕獲用くくりワナ (3個) 16 万円

(2) 活動指標

- ・有害鳥獣駆除
7月18日～10月19日 (40日間) 実施 駆除従事者 (猟友会) 13人
5月12日～3月31日 サル、イノシシの箱ワナ設置
- ・野生獣追い払い犬 (モンキー犬) 3頭巡回
- ・ムクドリ、スズメ、ドバト等 1,308羽駆除
- ・サル 4匹駆除
- ・イノシシ 6頭駆除

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
鳥類	880 羽	880 羽	1,335 羽	1,131 羽	1,308 羽
サル	7 匹	7 匹	8 匹	1 匹	4 匹
イノシシ	2 頭	—	7 頭	1 頭	6 頭

(4) 成果指標

- ・有害鳥獣による農作物の被害額 (単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
被害金額	—	300	292	300	295

有害鳥獣対策緩衝帯の整備(産業振興グループ)

予算事業名：有害鳥獣対策費

当初予算額 97,000 円 最終予算額 105,000 円 決算額 104,387 円

農作物に被害を与えるサルやイノシシの出没を抑えるため、雁田山麓で緩衝帯の整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・資材、燃料代 9 万円
- ・ボランティア保険 1 万円

(2) 活動指標

- ・下枝、草刈等による里山整備 11月8日 (土) 実施
実施箇所：冒険の森から北側約300m
参加者：地元農家、JA部会員、ボランティア、町職員、県職員 約100名

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実施場所	冒険の森北側	浄光寺北側	雁田沖北側	冒険の森北側
実施内容	L=350、W=30	L=250、W=20	L=200、W=20	L=300、W=20

※ L：延長、W：幅

地元の農家から、有害鳥獣の出没が減ったという話があり、継続して実施していきます。

モンキードッグ育成事業(産業振興グループ) 予算事業名：モンキードッグ育成事業費
 当初予算額 1,219,000円 最終予算額 1,219,000円 決算額 30,000円

雁田山麓に出没する猿による農作物被害を防ぐため、地域巡回を行いました。

(1) 主な支出

- ・訓練委託料 3万円

(2) 活動指標

- ・年間を通じてのアフターフォロー 3頭
- ・モンキードッグ候補犬を探したが、飼い主と条件(去勢手術等)が合いませんでした。

(3) 活動指標の推移

(単位：頭)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
育成頭数	2	0	1	0

現在、3頭で巡回を行っており、農作物への被害の抑制効果がありますが、巡回以外の時間帯に出没するようになってきています。

農地の情報管理と活用(産業振興グループ) 予算事業名：遊休荒廃農地対策事業費
 当初予算額 392,000円 最終予算額 392,000円 決算額 223,750円

農業委員の現地調査並びに農家の意向調査により、可能な農地について情報の発信を行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 22万円

(2) 活動指標

- ・農業委員会活動の遊休荒廃農地調査と連携し、農地の情報提供を図りました。

家庭菜園の充実(産業振興グループ) 予算事業名：遊休荒廃農地対策事業費
 当初予算額 256,000円 最終予算額 256,000円 決算額 167,854円

遊休荒廃農地を家庭菜園として貸し出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 15万円

(2) 活動指標

- ・家庭菜園の貸し出し 73区画×100㎡=7,300㎡
 六川沖東27区画、六川沖東19区画、押羽7区画、中条沖21地区

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
区画数	66区画	66区画	66区画	73区画	74区画
利用者数	41人	42人	39人	43人	42人

信州おぶせ緑のかけ橋まつりの開催(産業振興グループ) 予算事業名：緑のかけ橋まつり事業費
 当初予算額 3,777,000円 最終予算額 5,930,000円 決算額 5,929,044円

秋の行楽期・収穫期にあわせ農業収穫祭を開催し、ステージを利用したにぎわいづくりやクラシックカー展示など多彩なイベントを行いました。また、6次産業センターの収穫祭とも連携し、楽しさの演出から農産物の販路拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・ステージ出演者等謝礼 53 万円
- ・広告費等 55 万円
- ・会場設営費 410 万円

(2) 活動指標

- ・期日：10月25日（土）～26日（日）
- ・場所：森の駐車場及び大日通り
- ・物産展出展者：24団体（J A、女性農業者団体、緑のかけ橋おぶせ他）
- ・ステージ利用者：13団体
- ・同時開催：クラシックカー展示、骨董市

※平成20年度で5回目の開催となり、森の駐車場がオープンしたこともあり同駐車場を中心に、収穫祭だけでない多彩なイベントを行う中で、対外的にも知られるようになり、町内外から多くのお客様がお見えになっています。

(3) 活動指標の推移

(単位：団体)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
物産展出展者数	15	12	25	24

フローラルガーデンおぶせの管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：フローラルガーデンおぶせ管理運営費

当初予算額 17,047,000 円 最終予算額 18,675,000 円 決算額 18,674,238 円

フローラルガーデンおぶせを(財)小布施町振興公社に管理委託し、6次産業センターと連携し、施設を訪れる観光客へのサービス向上と、花苗の販売拡大や花に関する情報発信を図りました。

(1) 主な支出

- ・管理委託料 1,679 万円
- ・水中ポンプ入替工事費など 159 万円
- ・火災保険料 26 万円

(2) 活動指標

- ・花壇の維持管理
 - 4月 前年秋植栽のパンジー、ビオラ、葉ボタンの手入れ
 - 5月 夏花壇の植栽、マリーゴールド、ランタナ、コリウス等1年草を宿根草へ移行
 - 10月 パンジー、ビオラ、葉ボタンの植栽
- ・季節に応じたイベントの開催
 - 5月 春の山野草展
 - 6月 第14回サツキ展、第14回夏の洋ラン展
 - 7月 第13回富貴ラン展
 - 10月 秋の山野草展、第15回秋の洋ラン展
 - 1月 第16回新春洋ラン展
 - 2月 雪割草展
 - 3月 第17回おもと・春ラン展、信州のクリスマスローズ展

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入園者数	33,986	30,130	29,553	21,181	25,539

※平成18年度から中学生以下の入園料は無料のため、カウントされていません。

6次産業センターの管理運営(産業振興グループ) 予算事業名：6次産業センター管理運営費

当初予算額 11,595,000円 最終予算額 12,359,000円 決算額 12,358,584円

6次産業センターを(財)小布施町振興公社に管理委託し、施設を訪れる観光客へのサービス向上に努めるとともに、花苗や農産物等の販売拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・施設管理委託料 983万円
- ・土地借上料 173万円

(2) 活動指標

- ・6次産業センター
農産物の販売と地場産物を使った加工品販売
ジャム、ジュース、菓子、アイスクリーム等の製造 小布施産りんご酢の販売

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
販売会員数	80軒	90軒	100軒

ふるさと創造館の管理運営(産業振興グループ) 予算事業名：ふるさと創造館管理運営費

当初予算額 2,307,000円 最終予算額 2,307,000円 決算額 2,100,434円

ふるさと創造館を(財)小布施町振興公社に管理委託し、農産加工室の貸し出しや加工作業の指導などを行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 101万円
- ・火災保険料 8万円
- ・洗浄機修繕など 32万円

(2) 活動指標

- ・ジュース、ジャムづくりの指導 63件

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
指導件数	94件	71件	78件	73件	63件

バイオマスタウンの推進(産業振興グループ) 予算事業名：バイオマスタウン推進事業費

当初予算額 210,000円 最終予算額 210,000円 決算額 4,190円

町内に存在する未利用バイオマスについて研究するため、資料を整備しました。

(1) 主な支出

- ・図書購入費 0.4万円

4 | フラワーセンター費 | 35,209,356 | 決算事項別明細書 P52~

フラワーセンターの管理運営(産業振興グループ) 予算事業名：フラワーセンター管理費

当初予算額 38,076,000円 最終予算額 38,076,000円 決算額 35,209,356円

花産業の振興を図るため、フラワーセンターでプラグ苗の生産を行い、花き農家の育成と販路の拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・嘱託職員報酬 512万円
- ・燃料費 271万円
- ・臨時職員賃金 471万円
- ・光熱水費 126万円
- ・消耗品 556万円
- ・種、養土代 395万円

・修繕費等	93万円	・借地料	154万円
・委託料	67万円	・その他	75万円
・備品購入費	800万円		

(2) 活動指標

- ・花苗生産 116,467本、セル苗生産2,290,044本
- ・マリーゴールド、サルビア、パンジー、ビオラ等花苗のほか、アスパラ等野菜苗の発芽・育苗
- ・地元イベントに合わせフラワーセンター祭を開催(4月12日～13日)
- ・「花苗特売日」による販売促進
4/12.13 5/24.25 6/28.29 10/25.26 11/29.30 3/28.29

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
販売収入額(万円)	2,161	2,265	2,810	2,830
農家数(戸)	9	9	9	8
セル苗本数(本)	1,646,796	2,143,347	2,233,024	2,290,044
ポット苗本数(本)	108,580	89,962	89,179	116,467

※農家数は花苗生産者組合の会員数。

5	農地費	64,136,533	決算事項別明細書 P53～
土地改良事業(産業振興グループ)		予算事業名：農地対策費	
当初予算額 21,769,000円		最終予算額 21,769,000円	
		決算額 21,664,707円	

土地改良区の運営費などの補助、農免道路などを整備した際の借入金に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・日滝原土地改良区負担金 54万円
- ・長野平土地改良区負担金 8万円
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金 18万円
- ・農道等借入補助 26路線・事業 2,086万円

(2) 活動指標

- ・日滝原土地改良施設維持管理適正化事業
団体営、県営で行った日滝原土地改良施設維持管理適正化事業のうち、市町村割合(小布施町24.51%)による助成
- ・長野平地区国営造成施設管理体制整備促進事業
長野平土地改良区の施設強化事業に伴う市町村割合(0.9%)による助成
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金
農地面積割、事業割に伴う負担金

農地対策事業(大島・押羽・矢島)(産業振興グループ)		予算事業名：小布施地区農地排水対策事業費	
当初予算額 35,735,000円		最終予算額 45,011,000円	
		決算額 42,471,826円	

昨年度採択された国の「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」を活用し、大雨や伏流水で湛水し営農に支障をきたしていた大島・押羽・矢島地区の農地に排水管や排水路を整備しました。

(1) 主な支出

- ・農地排水対策事業実施設計委託 328万円
- ・農地排水対策事業施工費 3,881万円

(2) 活動指標

- ・設計委託 長野県土地改良事業団体連合会
- ・排水路等設置工事 ※全体の受益面積 13.5㌥
- ①大島工区 工期 平成21年2月21日～平成21年3月31日
受益面積 2.1㌥、暗渠排水L=522m、排水管L=381.4m
- ②押羽工区 工期 平成20年12月17日～平成21年3月19日
受益面積 10.2㌥、排水路・排水管L=1,190.4m、集水槽39ヶ所
- ③矢島工区 工期 平成21年1月27日～平成21年3月19日
受益面積 1.2㌥、排水路L=209m

6	集落排水施設費	15,000,000	決算事項別明細書 P53～
農業集落排水事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)		予算事業名：農業集落排水施設費	
当初予算額	18,200,000 円	最終予算額	18,200,000 円
決算額	15,000,000 円		

農業集落排水事業特別会計へ、一般会計で負担すべき費用を支出しました。

(1) 主な支出

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 1,500 万円

7	農業共済費	38,659,187	決算事項別明細書 P53～
農業共済の促進(産業振興グループ)		予算事業名：農業共済費	
当初予算額	22,524,000 円	最終予算額	22,524,000 円
決算額	21,466,424 円		

農業経営の安定を図るため果樹共済に加入した農家に対し、共済掛金の一部補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・果樹共済掛金一部負担金 298 万円
- ・家畜基幹診療センター運営負担金 122 万円
- ・事務費負担金 1,727 万円

(2) 活動指標

引受実績	りんご					
	総合短縮	半相特定 暴風雨	半相特定 2セット	樹園地 総合短縮	樹園地特定 暴風雨	樹園地特定 2セット
	128 戸 4,501 ㌥	55 戸 2,607 ㌥	25 戸 865 ㌥	27 戸 2,055 ㌥	3 戸 103 ㌥	9 戸 477 ㌥
ぶどう			なし			
総合短縮	樹園地特定 2セット	総合短縮	樹園地特定 2セット	もも 総合短縮	合計	
33 戸 1,011 ㌥	4 戸 166 ㌥	29 戸 579 ㌥	1 戸 20 ㌥	26 戸 672 ㌥	340 戸 13,056 ㌥	

※ 半相殺：農家単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

※ 樹園地：樹園地単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
りんご	加入戸数	235戸	238戸	244戸	249戸
	加入面積	8,530a	9,039a	9,288a	10,524a
	共済掛金	7,921,941円	8,278,380円	9,233,379円	12,412,724円
	支払金額	73,849,380円	29,136,020円	53,234,242円	0円
ぶどう	加入戸数	25戸	28戸	30戸	35戸
	加入面積	706a	770a	862a	1,133a
	共済掛金	510,378円	549,865円	548,114円	711,938円
	支払金額	2,135,950円	159,040円	0円	79,020円
なし	加入戸数	19戸	22戸	25戸	29戸
	加入面積	345a	407a	465a	574a
	共済掛金	489,957円	501,257円	526,938円	622,788円
	支払金額	3,309,070円	1,940,590円	155,250円	46,300円
もも	加入戸数	12戸	12戸	10戸	24戸
	加入面積	239a	236a	196a	651a
	共済掛金	185,080円	187,768円	137,945円	435,596円
	支払金額	95,670円	12,270円	2,673,520円	0円
合計	加入戸数	291戸	300戸	309戸	337戸
	加入面積	9,820a	10,452a	10,811a	12,882a
	共済掛金	9,107,356円	9,517,278円	10,446,377円	14,183,046円
	支払金額	79,390,070円	31,247,920円	56,063,012円	125,320円
加入率	22.1%	23.5%	23.7%	27.1%	28.8%

職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 17,729,000円 最終予算額 17,739,000円

決算額 17,192,763円

(1) 主な支出

職員人件費 1,719万円

8 畜産業費 462,100

決算事項別明細書 P53～

畜産の振興(産業振興グループ)

予算事業名：畜産業一般経費

当初予算額 751,000円 最終予算額 751,000円

決算額 462,100円

畜産の振興と農業所得の向上を図るため、畜産農家が行う子牛の導入経費に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・家畜導入事業補助金 32万円
- ・須高家畜防疫協会負担金 11万円

(2) 活動指標

- ・導入農家数 3軒
- ・黒毛和種 18頭、ホルスタイン 8頭 計26頭

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
導入農家数	5軒	4軒	5軒	3軒	3軒
黒毛和種	70頭	68頭	84頭	24頭	18頭
ホルスタイン	4頭	11頭	6頭	4頭	8頭
計	74頭	79頭	90頭	28頭	26頭

2	林業費	4,676,814
1	林業総務費	4,676,814

決算事項別明細書 P53～

松くい虫の駆除(産業振興グループ)

予算事業名：林業総務費

当初予算額 6,253,000 円 最終予算額 6,253,000 円

決算額 4,676,814 円

多発する松くい虫被害木の駆除、処理を行いました。

(1) 主な支出

- ・松くい虫被害木駆除委託料 435 万円
- ・間伐、作業路整備補助 25 万円

(2) 活動指標

- ・駆除活動の内容
 - 第1次 5月1日～8月6日
 - 第2次 10月2日～10月29日
 - 第3次 12月8日～12月19日

	第1次駆除		第2次駆除		第3次駆除		合計	
	本	m ³	本	m ³	本	m ³	本	m ³
燻蒸処理	228	126.8	0	0	0	0	228	126.8
破砕処理	10	6.1	6	1.12	4	2.49	20	9.71
合計	238	132.9	6	1.12	4	2.49	248	136.51

◆「燻蒸処理」は松くい虫が潜入している被害木を切断し、ビニールシートで覆い薬剤処理する方法。
(主に被害木の搬出が困難な場所で行います。)

◆「破砕処理」は松を搬出し機械などで松を砕いて松くい虫を処理する方法。

※ 減少傾向にあった被害が平成17年度から再び増加しています。被害の拡大を防ぐため
駆除の徹底に努めています。

- ・間伐 4.12[㍉]
 - ・作業路整備 L=525m
- } 雁田薬師入

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
被害本数	8本	304本	383本	263本	248本
被害量	10.42m ³	169.28m ³	184.02m ³	133.13m ³	136.51m ³

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
6		商工費	54,646,400		
1		商工費	54,646,400		
	1	商工総務費	7,922,263	決算事項別明細書 P53～	
商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)				予算事業名：商工総務費	
		当初予算額	685,000 円	最終予算額	685,000 円
		決算額	650,290 円		
(1) 主な支出					
		・臨時職員賃金	65 万円		
職員人件費				予算事業名：一般職人件費	
		当初予算額	6,875,000 円	最終予算額	7,321,000 円
		決算額	7,271,973 円		
(1) 主な支出					
		・職員人件費	727 万円		
2		商工振興費	14,144,036	決算事項別明細書 P54～	
商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)				予算事業名：商店街等活性化事業費	
		当初予算額	7,849,000 円	最終予算額	7,849,000 円
		決算額	6,600,000 円		
町の商工業の発展のため、商工会が行う事業や伝統行事などに対して補助を行いました。また、雇用の安定及び工場の特定地域への立地誘導を促進するため、奨励金を交付しました。					
(1) 主な支出					
		・商工会一般事業補助金	100 万円		
		・商工会小規模事業補助金	350 万円		
		・くりんこ祭り実行補助金	60 万円		
		・安市行事補助金	150 万円		
(2) 活動指標					
		・小布施町商工会 会員数	303人		
		商工会一般事業補助金	商工会事業に対して助成		
		商工会小規模事業補助金	経営指導員に対して助成		
		くりんこ祭り実行補助金	小布施町くりんこ祭り実行委員会を組織し運営		
			第31回くりんこ祭り 平成20年7月26日 駅前神宮通り		
			31連／約1,500人参加		
		安市行事補助金	安市 平成21年1月14日～15日 皇大神社ほか		
県制度資金融資保証料の補助(産業振興グループ)				予算事業名：商店街等活性化事業費	
		当初予算額	2,500,000 円	最終予算額	3,849,000 円
		決算額	3,848,850 円		
商工業者が、経営の安定のため運用資金を金融機関から借りる場合の保証料を補給しました。					
(1) 主な支出					
		・県制度資金融資保証料補給金	384 万円		
(2) 活動指標					
		・県中小企業融資制度資金のあっせん及び融資保証料補給（県 1/2、町 1/2）			
		制度資金名	件数 (単位：件)	融資総額 (単位：万円)	保証料補給額 (単位：万円)
		経営健全化不況対策	27	26,953	384
		創業支援資金	なし	なし	なし
		計	27	26,953	384

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	59件	31件	20件	18件	27件
融資総額	4億448万円	2億9,895万円	2億3,400万円	2億3,740万円	2億6,953万円
保証料補給額	648万円	465万円	398万円	315万円	384万円

町中小企業者等一般融資保証料の補助(産業振興グループ) 予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 50,000円 最終予算額 50,000円 決算額 50,000円

商工業者の経営の安定と発展のため、商工業者が金融機関から受けた一般融資に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等一般融資保証料補給金 5万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・平成20年度対象件数 1店舗

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	1件	1件	1件	1件	1件
利子補給額	5万円	5万円	5万円	5万円	5万円

商工貯蓄共済融資利子の補給(産業振興グループ)

予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 500,000円 最終予算額 536,000円 決算額 535,783円

商工業者が行う経営の改善に必要な資金の借入れを円滑に受けられるよう、商工会が行う商工貯蓄還元融資に対し、利子補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・商工貯蓄共済融資利子の補給 53万円

(2) 活動指標

- ・商工貯蓄還元融資の利子補給 1000分の24以内
- ・平成20年度対象件数 5事業所

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	14件	7件	8件	7件	5件
利子補給額	47万円	40万円	36万円	39万円	53万円

町中小企業者等緊急支援融資保証料の補助(産業振興グループ) 予算事業名：商店街等活性化事業費

当初予算額 0円 最終予算額 47,000円 決算額 46,258円

原油高や原材料高騰に伴う中小企業緊急支援のため、金融機関から中小企業振興資金の融資を受けた企業に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等緊急支援融資保証料補給金 4万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・平成20年度対象件数 3事業所

町中小企業者等緊急支援利子の補助(産業振興グループ)		予算事業名：商店街等活性化事業費	
当初予算額	0 円	最終予算額	2,060,000 円
		決算額	2,059,905 円
原油高や原材料高騰に伴う中小企業緊急支援のため、金融機関から中小企業振興資金の融資を受けた企業に対し、利子補給金を支給しました。			
(1) 主な支出			
	・町中小企業者等緊急支援融資利子補給金	205 万円	
(2) 活動指標			
	・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる利子の初年度分全額		
	・平成20年度対象件数	10事業所	
空き店舗活用事業に対する補助(産業振興グループ)		予算事業名：空き店舗対策事業費	
当初予算額	1,600,000 円	最終予算額	1,600,000 円
		決算額	1,000,000 円
空き店舗の改修に対する補助を行いました。			
(1) 主な支出			
	・空き店舗活用事業補助	100 万円	
(2) 活動指標			
	・空き店舗の改修に対する補助	補助率 3分の1 限度額100万円	
	・平成20年度対象件数	1事業所	
工場集団化の推進(産業振興グループ)		予算事業名：工場集団化推進事業費	
当初予算額	945,000 円	最終予算額	945,000 円
		決算額	0 円
雁田沖の地質調査に対し補助を予定していましたが、残土埋め立てに伴う調査を独立行政法人鉄道運輸機構の負担で実施したため、町の支出はありませんでした。			
(1) 主な支出 なし			
中心市街地活性化計画の策定に向けた研究(産業振興グループ)		予算事業名：中心市街地活性化計画推進費	
当初予算額	157,000 円	最終予算額	157,000 円
		決算額	3,240 円
地域の特性を生かした商店街づくりを行うための調査、資料収集を行いました。県単補助事業の中心市街地再生支援事業に応募し選定されました。			
(1) 主な支出 0.3 万円			
(2) 活動指標			
	・中心市街地再生支援事業への取組み		
	平成21年3月20日付けで「中心市街地再生支援地区」に選定されました。		
3	観光費	29,704,893	決算事項別明細書 P54～
小布施文化観光協会などの活動支援(産業振興グループ)		予算事業名：観光振興費	
当初予算額	1,150,000 円	最終予算額	1,201,000 円
		決算額	1,200,024 円
町の観光資源保護及び観光事業の振興を図るため、小布施文化観光協会などの各種事業に対し補助を行いました。			
(1) 主な支出			
	・小布施文化観光協会補助金	100 万円	
	・ファイヤーフェスティバル補助金	15 万円	
	・光熱水費	5 万円	

(2) 活動指標

- ・小布施文化観光協会会員数 89会員
- 総会、理事会及び正副会長会 9回
- 主な事業
 - ・北信濃観光連盟「信州キャンペーン」情報提供、広告宣伝
 - ・小布施文化観光協会ホームページ資料収集・編集・メンテナンス
 - ・テレビ、各種観光情報誌等への情報提供、広告宣伝
 - ・パンフレット発送（県内外） 3,941件
 - ・おぶせ大好き倶楽部員への観光イベント情報等提供
 - ・エージェント、マスコミ視察対応
 - ・県農産物等輸出促進事業
 - ・北信濃ひな巡り事業
 - ・日本ポスターコンクールで小布施観光PRポスターが銀賞受賞
 - ・小布施でのひら飯案内の作成
 - ・地域イベント協力事業
- 参加事業
 - ・軽井沢・小布施リレー号(しなの鉄道・長野電鉄フリーパス SKIP 臨時列車)でPR (平成20年3月20日～11月23日)
 - ・JR軽井沢駅自由通路での「観光物産フェア」へ出展 (平成20年7月30日～31日)
- 後援・共催等
 - ・長野オリンピック記念長野マラソン (平成20年4月19日)
 - ・小布施音楽祭 (平成20年7月19日～20日)
 - ・小布施見にマラソン (平成20年7月20日)
 - ・北信濃小布施映画祭 (平成20年11月29日～30日)
- 広域観光の推進
 - ・北信濃河東文化観光圏協議会へ参画
 - ・北信濃観光連盟へ参画
 - ・信州北回廊プロジェクト事業へ参画
 - ・信州フルーツ王国振興会へ参画
- その他
 - ・東京小布施会への参加 (平成20年11月10日) 会員1名

(3) 活動指標の推移

(単位：件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
パンフレット送付数	2,015	2,252	1,513	2,743	3,941

- ・個人、旅行会社、ホテル等へ送付（電話、メールでの問い合わせに対応）

東京小布施会の活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 272,000 円 最終予算額 272,000 円 決算額 246,900 円

郷土愛を基調とし、会員相互の親睦を深め、町を語り情報を交換し、ふるさと小布施の発展に寄与するために活動している、小布施町出身で東京近郊在住者で組織する「東京小布施会」の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・総会記念品 13 万円
- ・旅費 11 万円

(2) 活動指標

- ・東京小布施会会員数 614人
- ・交流会（総会）平成20年11月10日 東京グリーンパレス 出席者数 109人
 - 第1部 ミニ物産展
 - 第2部 講演会
市村町長、(株)新宿高野 蚊爪喜三男部長、早稲田大学 古谷誠章教授
 - 第3部 ふるさと交流懇親会

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
会員数	664	654	636	621	614
総会出席者数	141	118	85	110	109

小布施塾(ボランティアガイド)の活動支援(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民自らがおもてなしの心で町の観光案内を行う「小布施塾」の自主的な活動を支援しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・発足日 平成16年6月21日
- 小布施塾登録者数 塾生数15人、顧問1人、相談役3人
- 観光案内ガイド数 延べ925人 観光案内回数41回
- 研修会の開催 2回 内容：町内の宿泊施設、森の駐車場と周辺案内に関する研修

観光客などの動向調査(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 2,470,000 円 最終予算額 2,468,000 円 決算額 2,467,500 円

観光客が町に与える経済的な影響を把握するため、動向調査を実施しました。

(1) 主な支出

- ・観光客数及び消費動向調査委託料 246 万円

(2) 活動指標

- ・委託先 特定非営利活動法人SCOP
- ・調査地点 北斎館、岩松院、高井鴻山記念館、日本のあかり博物館
小布施ミュージアム、フローラルガーデン
- ・調査日時 春夏秋冬の各季節に平日2日、休日2日 聞き取り調査を実施
- ・調査結果 観光客実数推計 765,047人
観光消費額推計 116億5千万円

観光案内、観光パンフレットの作成など(産業振興グループ)

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 6,446,000 円 最終予算額 6,446,000 円 決算額 4,586,958 円

町内散策に利用できる観光パンフレットやマップの印刷、案内看板の修理等を行いました。

(1) 主な支出

- ・観光パンフレットの印刷 227 万円
- ・英文観光パンフレット 28 万円
- ・観光マップの印刷 34 万円
- ・案内看板修繕等 8 万円
- ・案内看板用地の借上げ 56 万円
- ・修繕料 79 万円
- ・広告料 10 万円

(2) 活動指標

- ・観光パンフレットの印刷 50,000部
- ・観光パンフレットダイジェスト版の印刷 110,000部

- ・観光マップの印刷 100,000枚
- ・案内看板設置、修繕 4箇所
- ・案内看板用地の借上げ 18箇所

(3) 活動指標の推移

・観光パンフレット、観光マップ印刷数 (単位：部)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
パンフレット	50,000	50,000	20,000	60,000	160,000
観光マップ	330,000	350,000	250,000	250,000	100,000

カントリーマップの作成(産業振興グループ)

予算事業名：観光案内事業費

当初予算額 3,150,000 円 最終予算額 3,235,000 円 決算額 3,209,850 円

町中心部から農村部へ人を導く手段として、農村を紹介するカントリーマップを作成しました。

(1) 主な支出

- ・カントリーマップ作成委託料 320 万円

(2) 活動指標

- ・カントリーマップの印刷 12,500部

広域観光の推進(産業振興グループ)

予算事業名：広域観光推進費

当初予算額 617,000 円 最終予算額 617,000 円 決算額 432,668 円

観光振興を点から面へと広げ、地方文化の向上と観光事業の振興と繁栄を図るため、近隣市町村や観光協会で構成する協議会で観光PRなどを行いました。

(1) 主な支出

- ・北信濃河東文化観光圏協議会負担金 1 万円
- ・上信越ふるさと街道協議会負担金 1 万円
- ・信州北回廊プロジェクト負担金 41 万円

(2) 活動指標

- ・北信濃河東文化観光圏協議会
小布施町、長野市、須坂市、高山村、中野市、山ノ内町および各観光協会
【誘客・宣伝事業】
 - ・会員相互の連携、観光客誘致活動
 - ・各美術館、公共施設等に圏内美術館等のパンフの展示
 - ・圏内美術館、博物館等の研修会
- 【観光宣伝資料の配布】
 - ・圏内市町村ガイドマップの配布
- ・上信越ふるさと街道協議会 22構成員（市町村、商工会議所、観光協会）
商工会等の連携による加入路線市町村による広域PRの推進
【観光宣伝事業の推進】
 - ・観光宣伝事業への参加
- 【広域観光の推進と研究】
 - ・視察研修、講演会
- 【会員間の研修と交流】
 - ・パンフレット、ポスター配布
 - ・広域観光意見交換会
- ・信州北回廊プロジェクト
小布施町、長野市、須坂市、飯山市、中野市、千曲市、妙高市、山ノ内町、信濃町
飯綱町、信州新町、坂城町、野沢温泉村、高山村、小川村 15市町村
地域内の隠れた魅力の再発見、掘り起こしを行い、エリア全体の観光競争力を高め、首都圏に向けた継続的なプロモーションを実施する。
【公共交通機関を活用した誘客事業】
 - ・信州北回廊パス販売、ふるさと手形割引

【広告宣伝及び誘客促進事業】

- ・新幹線「あさま」車内へのスütteカー広告掲出
- ・北回廊専用ホームページ開設
- ・個別テーマ型プロモーション事業

シャトルバスの運行(産業振興グループ)

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 5,198,000円 最終予算額 5,198,000円 決算額 4,998,327円

町中心部の渋滞緩和やパークアンドウォーク（車は郊外に駐車し、町の中は歩いて移動する）推進のため、町内を周遊するシャトルバスの運行を行いました。

(1) 主な支出

- ・シャトルバス運行事業負担金 441万円
- ・その他経費 58万円

(2) 活動指標

- ・運行日数 102日（土・日、祝日、行楽期の平日運行）
- ・運行コース ハイウェイミュージアム⇒小布施駅⇒北斎館入口⇒おぶせミュージアム⇒松村駐車場⇒おぶせ中国美術館⇒フローラルガーデン⇒浄光寺⇒岩松院⇒フローラルガーデン⇒松村駐車場⇒おぶせミュージアム⇒北斎館入口⇒小布施駅⇒ハイウェイミュージアム 1日7往復
- ・利用者数 個人7,023人、団体610人

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用者数	10,355人	10,066人	9,437人	8,731人	7,633人
運行日数	180日	186日	189日	174日	102日
便数	187便	197便	205便	186便	108便

アートウォークの開催(産業振興グループ)

予算事業名：アートウォーク事業費

当初予算額 1,423,000円 最終予算額 1,423,000円 決算額 1,279,863円

町内をゆっくり散策し、地域の良さを再発見したり小布施の魅力をもPRするため、ウォーキング事業を行いました。

(1) 主な支出

- ・花巡り健康ウォーク等告知委託 70万円
- ・需用費 53万円
- ・その他 4万円

(2) 活動指標

- ・花巡り健康ウォーク 平成20年5月10日 参加者 129人
コース 5km 小布施総合公園～玄照寺～オープンガーデン
- ・花巡りウォーク 平成20年6月21日 参加者 122人
コース 5km 松村駐車場～里道～せせらぎ緑道～オープンガーデン～フローラルガーデン
- ・農村散策ウォーク 平成20年9月28日 参加者 210人
コース 5km フラワーセンター～りんご畑、栗畑～ワイナリー

ウォーキング参加者の声

- ・小布施町にこんな魅力的なところがあるとは知らなかった。新しい発見をした。
- ・心が癒された。
- ・果物の差し入れがおいしかった。

花のまちづくり事業(オープンガーデンの拡大)(産業振興グループ) 予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 1,951,000 円 最終予算額 2,099,000 円 決算額 2,098,241 円

町内の全域で花を介した交流が広がるよう、趣旨に賛同いただいたお宅などを来訪者に開放するオープンガーデン事業を実施しています。

(1) 主な支出

- ・ブック作成 135 万円
- ・販売手数料、花の会費 6 万円
- ・消耗品等 68 万円

(2) 活動指標

- ・平成20年度登録件数 102軒
- ・オープンガーデンオーナー交流会 平成20年7月5日 参加者35人

(3) 活動指標の推移

(単位：軒)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
個人	48	49	43	69	80
公共	2	2	2	2	2
店舗	14	16	16	19	20
登録軒数	64	67	61	90	102

花仲間ガーデニング大楽校の開催(産業振興グループ)

予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 898,000 円 最終予算額 1,009,000 円 決算額 1,008,567 円

楽しく学びながらガーデニング技術を向上させることを目的に、講習会や実技等を行うガーデニング大楽校を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 51 万円
- ・花苗、肥料代等消耗品 49 万円

(2) 活動指標

- ・講習会 (実習) 開催 4回 (6、8、10、11月) 受講者数 延べ50人
- ・善光寺花回廊「小布施コーナー」参加 (ミニガーデン作り) 参加者数 4人

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
大楽校開催回数 (講座、実習)	8回	8回	9回	4回	4回
参加者数	177 人	192 人	112 人	55 人	50 人

松村駐車場の管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：松村駐車場管理費

当初予算額 4,852,000 円 最終予算額 4,981,000 円 決算額 4,980,189 円

町に訪れる観光客が車を停めて町を散策するための拠点として、また行楽期の交通渋滞を解消するため、松村駐車場、小布施南駐車場の管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・管理人賃金 (2人) 108 万円
- ・駐車場整理委託料 (シルバー人材) 11 万円
- ・駐車場清掃、樹木剪定委託料 5 万円
- ・駐車場用地借上料 336 万円
- ・消耗品、光熱水費 33 万円

(2) 活動指標

自動車の種別	利用台数 (台)	駐車場使用料収入 (万円)	参考 (平成19年度) (台)
大型車(4時間まで1,200円)	115	13	88
普通車(4時間まで300円)	5,299	179	8,005
二輪車(4時間まで100円)	30	1	98
計	5,444	193	8,191

松村駐車場 4,872.6 m² 南駐車場 1,479.0 m²

(3) 活動指標の推移

(単位：台)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
松村駐車場	12,816	13,982	15,420	8,191	5,444
東町駐車場 (参考)	34,985	33,721	30,542	22,286	20,688
北斎館駐車場 (参考)	14,853	14,709	17,183	20,568	17,000
計	62,654	62,412	63,145	51,045	43,132

森の駐車場の管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：森の駐車場管理費

当初予算額 2,899,000 円 最終予算額 2,899,000 円 決算額 2,860,773 円

町に訪れる観光客が車を停めて町を散策するための拠点として、また交流の場として新たに森の駐車場を整備し管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 管理人賃金 (2人) 150 万円
- ・ 警備保障 11 万円
- ・ 通信費 9 万円
- ・ 消耗品、光熱水費 104 万円
- ・ 備品購入費 (金庫) 9 万円

(2) 活動指標

自動車の種別	利用台数 (台)	駐車場使用料収入 (万円)
普通車(4時間まで300円)	6,712	206
二輪車(4時間まで100円)	118	2
計	6,830	208

観光施設の管理(産業振興グループ)

予算事業名：観光施設等管理費

当初予算額 524,000 円 最終予算額 524,000 円 決算額 335,033 円

地域の交流の拠点として、また生産者自らが新鮮な農産物等を販売する中で消費者と交流し、町の産業のPRを行う場としてふるさと交流センターの管理運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 光熱水費 14 万円
- ・ 保険料 11 万円
- ・ 委託料 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 「栗どっこの会」による栗どっこ市の開催 (毎週日曜日)

「栗どっこの会」による栗どっこ市は平成7年から実施し、地元の農産品等を販売しています。朝市として定着し、地域住民、観光客等に親しまれています。

4	労働諸費	2,875,208	決算事項別明細書	P54～
---	------	-----------	----------	------

勤労者協議会の活動支援(産業振興グループ) 予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 500,000 円 決算額 500,000 円

勤労者協議会が活動を行う地域のボランティア活動や、勤労者の福祉向上を目的に行う事業に補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者協議会交付金 50 万円

(2) 活動指標

- ・町勤労協駅前駐輪場の管理（毎月第2日曜日の早朝、清掃）
- ・魚のつかみどり大会（8月3日開催 総合公園）
- ・くりんこ祭りイベント参加（7月26日開催 商工会館前）
- ・勤労者の祭典及び「働く人・もの」絵画展（10月26日開催 文化体育館）
- ・町政懇談会（3月8日開催 魚ふさ）町長と勤労協会員の懇談

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
会員数	110世帯	110世帯	70世帯	75世帯	80世帯
補助額	54万円	54万円	50万円	50万円	50万円

県労働金庫への預託など(産業振興グループ) 予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 2,206,000 円 最終予算額 2,286,000 円 決算額 2,284,855 円

勤労者に対する生活資金の融資をしている長野県労働金庫へ、その原資となる預託を行いました。また、勤労者生活資金融資利子補給金等の補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者生活資金融資預託金 200 万円
- ・勤労者生活資金融資利子補給金 2 万円
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 16 万円

(2) 活動指標

- ・勤労者生活資金融資
労働金庫 貸付限度額 100万円（5年以内）借入者 5人
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 6社 39人

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
預託金額	200万円	200万円	200万円	200万円	200万円
新規借入者	0人	0人	4人	1人	1人

駅前駐輪場の管理(産業振興グループ) 予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 125,000 円 最終予算額 125,000 円 決算額 90,353 円

町民の駅利用にかかる便宜を図るため、駐輪場の管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・駐輪場管理賃金 7 万円
- ・消耗品費 1 万円

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
7		土木費	570,855,093		
	1	土木管理費	40,442,327		
	1	土木総務費	40,442,327		
		未登記物件の処理・赤線の有効活用(地域整備グループ・土地対策担当)		予算事業名：登記事務費	
		当初予算額	262,000円	最終予算額	262,000円
				決算額	85,569円
<p>町の事業により買収した用地等について、登記を行いました。また、法定外公共物の適正な管理を行うため、民地との境界立会い、法定外公共物の売却を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六川地区道路改良分筆測量委託 5万円 ・関連事務費等 3万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登記件数 : 16件 ・法定外公共物の売却 : 2件 <p>事業関連に伴い嘱託登記を行いました。また、法定外公共物と民地との境界立会いを行い、町有財産の適正な把握・管理に努めました。</p>					
		高速交通網の推進(地域整備グループ)		予算事業名：高速道新幹線対策費	
		当初予算額	114,000円	最終予算額	114,000円
				決算額	60,600円
<p>上信越自動車道飯山上越間の早期4車線化、北陸新幹線長野以北の整備促進などを図るため、各期成同盟会で要望活動等を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会負担金 0.5万円 ・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会会費 0.6万円 ・上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会負担金 1.8万円 ・上信越自動車道建設促進期成同盟会負担金 1.7万円 ・信州まつもと空港利用促進協議会負担金 1万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会 5月22日開催 東京都「グランドプリンスホテル赤坂」 下記項目について決議 <ul style="list-style-type: none"> 1 平成21年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること 2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備等を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること ・上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会定期総会 7月4日開催 赤倉観光ホテル 下記項目について決議 <ul style="list-style-type: none"> 1 平成21年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること 2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備等を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること ・北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会 5月20日開催 長野市「サンパルテ山王」 下記項目について決議 <ul style="list-style-type: none"> 1 長野・白山総合車両基地間の建設を促進し、工期の短縮を図るとともに、敦賀までの工事実施計画を一括認可し、フル規格での早期整備を図ること 2 平成21年度予算を大幅確保し、建設促進を図ること 					

- 3 建設費の地域負担に対し適切な財源措置を講じること
- 4 将来の運行ダイヤに支障がないよう大宮～東京間の改善を図ること
- 5 並行在来線の健全な経営の確保が図られるよう適切な財源措置を講じ、スキームの見直しを図ること
- 6 JRから譲渡される鉄道資産の価格設定については、JRの簿価ではなく、収益性に基づいた価格設定がされるようルール化すること

上記決議項目について、関係機関に働きかけ、早期実現を図っていきます。

- ・北陸新幹線、小布施高架橋工事安全祈願
12月16日開催 長野市豊野町浅野地内
- ・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会通常総会
11月27日開催 東京都「星陵会館」
- ・信州まつもと空港利用促進協議会総会
5月26日開催 長野保健所

ETC専用インターチェンジの利用促進(地域整備グループ) 予算事業名： ETC専用インターチェンジ事業費
当初予算額 369,000 円 最終予算額 369,000 円 決算額 49,725 円

平成18年10月にスマートIC（ETC専用IC）が本格導入され、利用は順調に伸びています。引き続き利用促進を図るため、誘導看板の設置・交差点改良など関係機関と調整を図りました。

(1) 主な支出

- ・関連事務費等 5万円

(2) 活動指標

- ・11月18日 小布施スマートIC地区協議会の開催
- ・国道道の標識案内設置のため管理機関と調整
- ・県道交差点工事を県の直轄事業で実施（平成19年度～平成20年度）

(3) 活動指標の推移

利用台数（平成17年4月開所）

	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月
年度内日平均利用台数	916	1,157	1,461	1,717
日最大利用台数	1,114	1,717	2,171	2,988
利用台数累計	236,075	658,300	1,191,487	1,818,134

利用実績は順調に伸びています。

県事業として利用車の利便性を図るため周辺整備を行いました。（交差点工事等）

職員人件費 予算事業名：一般職人件費
当初予算額 40,309,000 円 最終予算額 41,660,000 円 決算額 40,246,433 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 4,025万円

2	道路橋梁費	84,100,754
1	道路橋梁総務費	1,550,372

決算事項別明細書 P55～

国・県道の整備促進(建設水道グループ) 予算事業名：道路橋梁総務費
当初予算額 1,584,000 円 最終予算額 1,984,000 円 決算額 1,550,372 円

国・県道の整備促進のため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- ・国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会負担金 1万円

- ・ (主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金 1万円
- ・ 須高土木振興会負担金 8万円
- ・ 村山橋建設促進期成同盟会負担金 2万円
- ・ 千曲大橋建設促進期成同盟会負担金 1万円
- ・ 土木専門研修受講負担金 1万円
- ・ 県単道路改築事業地元負担金 10万円

(2) 活動指標

- ・ 須高土木振興会 平成20年5月 長野県議会要望
平成20年11月 関東地方整備局要望
平成20年11月 技術職員研修会
- ・ 国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会他3同盟会
年1回の総会、年1回(11月頃)国・県への要望活動
- ・ 国道403号(中野・千曲間)整備促進期成同盟会
中野市～千曲市の4市1町の構成であり、今後も要望を中心に活動
- ・ (主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会
長野市～山ノ内町の2市2町1村で構成され、今後も要望を中心に活動
- ・ 村山橋建設促進期成同盟会
平成20年12月に第2期線開通。平成21年11月に鉄道切換え予定
- ・ 千曲大橋建設促進期成同盟会
架橋促進、県道編入のための陳情・請願。平成20年度は道路建設計画を研究
- ・ 須高土木振興会は今後も同規模で継続

2	道路維持費	64,627,010	決算事項別明細書 P55～
町道の維持管理(建設水道グループ)		予算事業名：道路維持管理費・道路補修事業費	
当初予算額	6,319,000円	最終予算額	8,190,000円
		決算額	8,029,445円

前年度に行った舗装工事、水路改良工事に係る道路台帳の補正を行いました。また、安全で安心して道路が利用できるように草刈り、小修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 道路台帳の補正委託 210万円
- ・ 草刈り等の委託 119万円
- ・ 土地の借上料 2万円
- ・ 街路灯などの電気料 40万円
- ・ 道路補修工事 317万円
- ・ 道路補修用砕石 71万円
- ・ 道路補修用資材 6万円

(2) 活動指標

- ・ 道路台帳補正 L=3,990.1m
- ・ 補修箇所：雁田、大島、飯田、栗が丘地区等
路肩修繕 L=15.9m 歩車道境界ブロック L=3.6m
境界ブロック L=6m 重量規制標識8枚 路肩整正 A=135㎡
歩道修繕 L=9m 甲蓋98枚 グレーチング1枚
- ・ 道路補修用砕石等の箇所
山王島共有地、大島共有地、飯田共有地、北部土木振興会
吉島耕作者組合、大正島耕作組合、台湾島耕作組合

道路法第28条に基づき道路台帳を整備、必要な平面図、調書等を作成し適正な道路管理を行っています。

雪捨場を千曲川右岸小布施橋上流側に確保しました。
 道路補修工事は、町道の特に傷みが激しい箇所を優先的に実施しました。
 道路補修用砕石及び資材の支給は、地域住民によるよろずぶしん事業として実施しました。

除雪及び凍結防止剤の散布(建設水道グループ) 予算事業名：道路除雪費
 当初予算額 4,732,000円 最終予算額 4,832,000円 決算額 4,702,335円

通勤・通学路の除雪と凍結防止剤の散布を民間業者に委託して行いました。また、各コミュニティに小型除雪機を貸し出しました。

(1) 主な支出

- ・ 除雪等機械借上げ 366万円
- ・ 凍結防止剤 34万円
- ・ 小型除雪機保険料 6万円

(2) 活動指標

- ・ 除雪：通勤通学路を中心に77.4km、歩道4.2km、駐車場25箇所を除雪。1回出動。
- ・ 凍結防止剤：生活幹線道路、路面凍結が著しい路線12.3kmに散布。400袋購入。10回出動。
- ・ 小型除雪機配置 28台
 - 第1コミュニティ 2台
 - 第2コミュニティ 4台
 - 第3コミュニティ 3台
 - 第4コミュニティ 2台
 - 第5コミュニティ 2台
 - 第6コミュニティ 3台
 - 第7コミュニティ 4台
 - 第8コミュニティ 3台
 - 第9コミュニティ 5台

除雪路線以外の町道については、地域住民が地域の除雪を行えるよう小型除雪機を各コミュニティに配置(貸出し)しています。(平成17年度11台、平成18年度17台、計28台を配置)また、凍結防止剤が必要な自治会には、要望に応じて凍結防止剤をお配りし、地域の皆さんに自主的な散布をお願いしました。

町道の舗装修繕(建設水道グループ) 予算事業名：道路補修事業費
 当初予算額 30,400,000円 最終予算額 58,429,000円 決算額 51,895,230円

幅員5.5m以上の生活幹線道路で、路面の傷みが激しい路線の舗装修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 工事請負費 5,171万円

(2) 活動指標

- ・ 修繕工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	内容	金額
町道243号線舗装修繕工事	L = 71.9m A = 344㎡	1,103
町道116号線舗装修繕工事	L = 260.4m A = 1,146㎡	4,347
まちづくり交付金事業町道584号線舗装修繕工事	L = 169.0m A = 1,037㎡	3,696
町内一円舗装修繕(その1)工事	A = 537㎡	945
まちづくり交付金事業町道546号線舗装修繕工事	L = 222.3m A = 1,333㎡	6,122
まちづくり交付金事業町道671号線舗装修繕(その2)工事	L = 12.1m	630
町道258号線舗装修繕(その1)工事	L = 126.1m A = 838㎡	3,150
町道258号線舗装修繕(その2)工事	L = 165.1m A = 969㎡	5,134

町内一円舗装修繕(その2)工事	A = 1,783㎡	3,066
信金前栗木歩道布設替工事	A = 67㎡	2,257
町内一円舗装修繕(その3)工事	A = 1,342㎡	2,027
町道116号線舗装修繕(その2)工事	L = 200.0m A = 1,063㎡	2,982
町道175号線舗装修繕工事	L = 287.7m A = 1,318㎡	4,546
町道258号線舗装修繕(その3)工事	L = 280.0m A = 1,469㎡	4,337
町道356号線舗装修繕工事	L = 276.8m A = 1,431㎡	4,284
町道585号線舗装修繕工事	L = 141.2m A = 870㎡	3,087
計		51,713

※ L : 延長、A : 面積です。

(3) 活動指標の推移

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
16	14	L = 1,852.1m A = 14,838㎡	3,118
17	16	L = 1,917.6m A = 13,358㎡	3,721
18	27	L = 2,539.96m A = 19,680.4㎡	7,364
19	10	L = 1,052.75m A = 10,499㎡	3,325
20	16	L = 2,200.5m A = 15,547㎡	3,325

※ L : 延長、A : 面積です。

3	道路新設改良費	1,806,000	決算事項別明細書 P56～
町道の改良工事(建設水道グループ)(繰越分)		予算事業名：道路新設改良事業費	
当初予算額	0円	最終予算額	2,520,000円
		決算額	1,806,000円

北岡交差点(町道163号線)の改良を行いました。

(1) 主な支出

・改良工事 1,806万円

(2) 活動指標

・改良事業の実施状況

(単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
北岡交差点改良工事	土木	L = 23.5m	1,806
計			1,806

※ A : 面積です。

(3) 活動指標の推移

・5年間の実施状況

(単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
16	3	L = 78.3m	890
17	3	L = 475.3m A = 3,853㎡	391
18	1	L = 10.3m A = 12.3㎡	67
19	1	工事は、平成20年度へ繰越	
20	1	L = 23.5m	1,806

※ L : 延長、A : 面積です。

(4) 成果指標

・町道の状況

年度	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)
16	185,960.8	119,080.4	64.0	165,685.6	89.1
17	186,458.8	120,702.6	64.7	166,411.4	89.2
18	186,462.6	122,325.6	65.6	167,005.4	89.6
19	187,969.8	124,728.6	66.4	168,794.1	89.8
20	189,149.5	126,392.0	66.8	171,140.1	90.5

4	橋梁維持費	11,017,153	決算事項別明細書	P56～
---	-------	------------	----------	------

橋梁の維持管理(建設水道グループ) 予算事業名：橋梁維持管理費

当初予算額	178,000 円	最終予算額	178,000 円	決算額	92,953 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

橋梁の機能を維持するため、必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・街路灯の電気料 9 万円

横断暗渠(地下水路)の修繕(建設水道グループ) 予算事業名：橋梁補修事業費

当初予算額	8,000,000 円	最終予算額	20,295,000 円	決算額	10,924,200 円
-------	-------------	-------	--------------	-----	--------------

老朽化した横断暗渠(地下水路)の修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・橋梁暗渠等修繕工事 1,092 万円

(2) 活動指標

- ・橋梁暗渠修繕工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	内 容	金 額
町道337号線横断暗渠修繕工事	横断VS500 L=6.2m	73
町道273・285号線横断暗渠修繕工事	横断VS300・400 L=21.8m	124
町道9・11・258号線横断暗渠修繕工事	横断VS300・400・500 L=48.6m	249
町道543号線横断暗渠修繕工事	横断VS300・特車U240 L=13.0m	43
町道529-イ号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=7.8m	41
町道303号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=10.0m	48
町道13号線暗渠修繕工事	横断VS300・600 L=14.4m	184
町道552号線暗渠修繕工事	横断VS600 L=16.0m	139
町道92号線横断暗渠修繕工事	横断VS500 L=8.0m	50
町道143号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=4.0m	24
町道166号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=4.0m	25
町道561号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=4.0m	23
町道503号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=6.0m	31
町道323号線横断暗渠修繕工事	横断VS300・600 L=5.7m	38
計		1,092

(3) 活動指標の推移

- ・5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
16	9	L=108.7m	739
17	16	L=174.9m グレーチング等	890
18	10	L=91.8m 地覆修繕 グレーチング等	739
19	16	L=113.7m 高欄修繕 グレーチング 甲蓋等	1,153
20	14	L=169.5m	1,092

5	交通安全対策費	5,100,219	決算事項別明細書	P56～
---	---------	-----------	----------	------

交通災害共催の推進(地域整備グループ) 予算事業名：交通安全対策費

当初予算額	403,000 円	最終予算額	403,000 円	決算額	401,566 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

交通事故に遭ってしまった人を救済するため、北信地域町村交通災害共済への加入促進を行い、取りまとめに協力いただいた各自治会に交付金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・交通災害共済推進交付金（28自治会） 27万円
- ・交通災害共済業務電算処理委託 13万円

(2) 活動指標

- ・加入人数 9,322人（加入率80.3%）

(3) 活動指標の推移

- ・加入者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
加入者数	10,120人	9,920人	9,711人	9,445人	9,322人
加入率	85.7%	84.2%	82.8%	80.8%	80.3%

交通安全の啓発と推進(地域整備グループ)

予算事業名：交通安全対策費

当初予算額 448,000円 最終予算額 448,000円 決算額 363,273円

町民みんなの願いである「事故のない明るいまちづくり」を呼びかけ、活発な活動を行っている交通安全協会を支援しました。

(1) 主な支出

- ・町交通安全協会補助金 10万円
- ・諸行事街頭警備委託 10万円

(2) 活動指標

- ・年末年始等、年4回の交通安全運動に合わせた啓発活動
- ・町交通安全協会 会員数：約3,500世帯
活動状況：毎月5のつく日（5日、15日、25日）における全町一斉街頭啓発
年間延出役者数：約1,800人 街頭啓発箇所数：29箇所 年間日数：32日
- ・高齢者または子どもへの交通安全啓発等の交通安全協会活動
- ・町主催行事等での交通安全警戒活動4行事（安市、くりんこ祭り、ロードレース大会、小布施見にマラソン）延べ160人出動

(3) 成果指標

- ・町内交通事故発生件数
- ・町内交通事故発生件数の推移 (単位：件)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
発生件数	51	55	55	59	55
死亡事故件数	0	1	2	0	0

- ・シートベルト着用率（7月調査）の推移 (単位：%)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
総合着用率	85.6	92.9	89.7	97.7	96.7
県下平均	91.0	93.7	95.5	96.1	97.4
順位	109位/117市町村	66位/102市町村	76位/81市町村	23位/81市町村	62位/81市町村

- ・町交通安全協会納入者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
納入者数（世帯）	2,860	3,028	2,987	2,919	2,951

(4) 成果指標

- ・平成20年度小布施町内交通死亡事故ゼロ

道路反射鏡や道路区画線等の設置(地域整備グループ) 予算事業名：交通安全施設設置費

当初予算額 4,720,000円 最終予算額 4,720,000円 決算額 4,214,700円

道路反射鏡などの交通安全施設の設置や修繕など維持管理を行い、安全に通行できる環境を整えました。

- (1) 主な支出
 ・反射鏡等の設置・修繕 421万円

- (2) 活動指標
 ・反射鏡等設置 8箇所
 ・デリネータ等修繕 3箇所

- (3) 活動指標の推移
 ・交通安全施設の設置、修繕の状況 (単位：箇所)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
反射鏡等設置	12	24	13	13	8
デリネータ等の修繕	2	4	2	2	3

自治会からの設置要望箇所、老朽化の著しい箇所を中心に設置し、交差点等の見通しを改善するなど、交通事故防止を図りました。

違法駐車に対する指導(地域整備グループ) 予算事業名：駐車指導事業費

当初予算額 164,000円 最終予算額 164,000円 決算額 120,680円

行楽期に、北斎館周辺に駐車指導員を配置し、違法駐車への指導や駐車場の案内をすることで、より安全に通行できる環境にしました。また、観光案内としての役割も担いました。

- (1) 主な支出
 ・駐車指導員の謝礼 12万円

- (2) 活動指標
 ・駐車指導員数 11名
 ・ゴールデンウィーク 4日実施 延べ12人出動 駐車指導件数：0件
 ・秋の観光シーズン中 9日実施 延べ22人出動 駐車指導件数：0件

- (3) 活動指標の推移
 ・違法駐車指導の状況 (単位：件数)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
駐車指導件数	18	3	1	0	0

駐車場が整備され違法駐車は減ってきており、駐車指導員の活動内容は駐車場の案内、観光案内が主業務となってきています。

3	河川費	69,051,362
1	河川総務費	428,490

決算事項別明細書 P56～

河川の整備促進(建設水道グループ) 予算事業名：河川総務費

当初予算額 612,000円 最終予算額 612,000円 決算額 428,490円

国・県が管理する一級河川の整備を促進するため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

- (1) 主な支出
 ・浅川改修期成同盟会負担金 1万円
 ・千曲川改修期成同盟会負担金 10万円
 ・篠井川改修促進期成同盟会負担金 4万円
 ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会負担金 12万円

(2) 活動指標

- ・ 浅川改修期成同盟会
平成20年6月 総会 長野県へ要望活動
- ・ 千曲川改修期成同盟会
平成20年7月 総会 北陸地方整備局へ要望活動
平成20年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
平成20年10月 長野県意見交換会へ参加
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
平成20年7月 千曲川河川事務所へ要望活動
平成20年7月 北陸地方整備局へ要望活動
平成20年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動
平成20年7月 総会
- ・ 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
平成20年6月 全国治水大会へ参加
平成20年7月 総会
平成20年11月 全国大会に併せ国会議員へ要望活動
- ・ 浅川改修期成同盟会
改修計画が再び動きだしており、未改修箇所を整備促進、内水対策ができるよう要望しています。
- ・ 千曲川改修期成同盟会
千曲川右岸押羽地籍の漏水対策を継続して要望しています。
- ・ 篠井川改修促進期成同盟会
ポンプの増設については、継続して要望しています。
- ・ 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会
深沢川、松川の河川改修を要望しています。

2	河川水路維持費	3,659,634	決算事項別明細書	P56～	
河川の維持管理(建設水道グループ)			予算事業名：河川維持管理費		
当初予算額	638,000 円	最終予算額	606,000 円	決算額	433,693 円

県が管理する一級河川深沢川の愛護活動を行っている団体に対し、助成を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 深沢川維持管理組合交付金 15 万円

(2) 活動指標

- ・ 深沢川維持管理組合
7月13日 藻払い及び草刈り 250人出労

地域住民の皆さんのご協力により良好な河川環境が維持されています。

水路の維持管理(建設水道グループ)			予算事業名：水路維持管理費		
当初予算額	2,523,000 円	最終予算額	2,806,000 円	決算額	2,805,416 円

水路の機能を維持するため必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 清掃業務の委託 143 万円
- ・ 土砂等除去機械の借上げ 13 万円
- ・ 水路の修繕 123 万円

(2) 活動指標

- ・ 東町暗渠、福原暗渠、中町暗渠、赤川、二ノ口水門等の清掃
- ・ 松川水門ピット
- ・ 中条水路、上町水路、中央水路、中扇水路、飯田水路、松の実水路、水上水路、大島水路、中町水路、六川水路等の修繕

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)

予算事業名：水路維持管理費

当初予算額 672,000 円 最終予算額 421,000 円 決算額 420,525 円

よろずぶしん事業で自治会の皆さんに水路の蓋かけにご協力いただきました。

(1) 主な支出

- ・ よろずぶしん事業資材購入 42 万円

(2) 活動指標

- ・ 六川自治会、飯田自治会、松の実自治会によるよろずぶしん資材を提供しました。

3 水路新設改良費 62,883,136

決算事項別明細書 P57～

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)

予算事業名：水路新設改良事業費

当初予算額 53,170,000 円 最終予算額 107,040,000 円 決算額 49,716,136 円

緊急度・優先度に応じて、町内の水路の改良と蓋かけ工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 工事請負費 4,936 万円

(2) 活動指標

- ・ 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
矢島水路	改 良	甲蓋設置工 L = 117.5m	155
山王島水路	改 良	VS300布設 L = 43.8m	146
中条水路	改 良	VS300布設 L = 175.98m	468
松村水路	改 良	VS300布設 L = 120.5m	292
横町水路	改 良	VS400布設 L = 112.2m	305
赤川	改 良	法面ブロック張工 L = 138.5m	1,984
東町水路	改 良	VS300・400布設 L = 76.1m	226
雁田水路	改 良	VS300・400布設 L = 201.0m	455
押羽水路	改 良	VS800・900布設 L = 96.2m	647
福原水路	改 良	嵩上げ L = 138.2m	258
計			4,936

(3) 活動指標の推移

- ・ 5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内容	金額
16	11	L=688.1m	2,070
17	12	L=966.7m	2,326
18	14	L=649.6m	1,458
19	6	L=608.56m	3,304
20	10	L=1,219.98m	4,936

水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)(繰越分) 予算事業名：水路新設改良事業費(明許繰越)
 当初予算額 0円 最終予算額 15,645,000円 決算額 13,167,000円

水路の改良工事を平成19年度から繰越して実施しました。

- (1) 主な支出
 ・工事請負費 1,317万円

- (2) 活動指標
 ・水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
東町水路	改良	VS400布設 L = 104.1m	350
押羽水路	改良	VS600・900布設 L = 108m	602
雁田水路	改良	VS300・400布設 L = 160.2m	365
計			1,317

4 河川公園費 2,080,102 決算事項別明細書 P57～

千曲川河川公園の維持管理(地域整備グループ) 予算事業名：河川公園管理費
 当初予算額 3,003,000円 最終予算額 3,003,000円 決算額 2,080,102円

全長4km、600本余の八重桜「一葉」の桜堤と、広大な菜の花畑の千曲川河川公園を良好な状態で利用していただけるよう維持管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・菜種・肥料代 15万円
 - ・千曲川河川公園内舗装修繕 17万円
 - ・仮設トイレ借上げ(9基) 13万円
 - ・千曲川右岸堤防除草業務委託 112万円
 - ・千曲川河川公園維持管理委託(山王島黄金島の会) 10万円
 - ・千曲川桜堤ライトアップ委託 24万円
 - ・千曲川犀川河川緑地連絡会負担金 3万円

- (2) 活動指標
- ・菜の花畑の地域住民で組織する「山王島黄金島の会」による委託管理
 - ・千曲川河川公園の緑の管理人等による良好な維持管理
 - ・4月下旬から5月上旬にかけて桜堤の一部をライトアップ

菜の花畑は地域住民で組織する「山王島黄金島の会」で管理を行っており、地域の公園という意識が定着してきています。

毎年4月29日に開催される地域住民による「千曲川ふれあい公園まつり」の期間にあわせ夜桜も楽しんでもらうため桜堤のライトアップを実施しました。また、地域住民により管理された菜の花畑には、町民はもちろん町外からも多くの方が訪れています。

桜堤堤防上は、自転車歩行者道となっており、ウォーキングやジョギングなどで年間を通して活用がされています。

4 都市計画費 360,022,071 決算事項別明細書 P57～
1 都市計画総務費 1,133,400

良好な都市景観・都市計画の推進(地域整備グループ) 予算事業名：都市計画総務費
 当初予算額 249,000円 最終予算額 249,000円 決算額 88,400円

市街化調整区域内での一部開発行為の緩和をしていますが、景観に配慮した秩序ある土地利用の推進を図るとともに、市街化区域との均衡を図りながら施策の推進をしました。

- (1) 主な支出

・都市計画協会会費	3万円
・県都市施設協会会費及び事業割負担金	2万円
・関連事務費等	4万円

(2) 活動指標

- ・都市計画協会等では、市町村担当者及び関係機関の職員を対象とした研修会の開催や情報の提供を行い、秩序正しい都市計画の推進を図っています。

市街化を促進する「市街化区域」、良好な景観（農村風景など）を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」の均衡ある土地利用（開発指導）を進めています。

良好な都市景観・都市計画の推進(地域整備グループ)

予算事業名：都市計画基礎調査費

当初予算額	1,045,000円	最終予算額	1,045,000円	決算額	1,045,000円
-------	------------	-------	------------	-----	------------

町が抱える都市問題の解決のため、現状を調査・把握し、今後の将来計画の策定等の基礎資料とするための県委託業務の都市計画基礎調査を実施しました。この調査は、概ね5年毎に実施しています。

(1) 主な支出

・都市計画基礎調査業務委託	105万円
---------------	-------

(2) 活動指標

- ・人口・産業・土地利用など、それぞれの項目により過去からの推移を基に将来推計を実施。人口推計では、政策的施策を考慮しない推計結果（等比級数式）では、平成27年で11,293人、平成32年で11,247人、平成37年では11,202人と減少の一途となっています。

2	駐車場整備費	76,985,214
---	--------	------------

決算事項別明細書 P57～

森の駐車場のオープン(地域整備グループ)

予算事業名：森の駐車場整備事業費

当初予算額	45,000,000円	最終予算額	45,000,000円	決算額	45,000,000円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

単なる駐車場でなく、交流の拠点となり、住民の憩いの場となる駐車場として、「森」のイメージを持つ景観に配慮した駐車場整備を実施しました。土地開発公社が代行買収した土地の買戻し（最終）を実施しました。

(1) 主な支出

・駐車場用地購入	4,500万円
----------	---------

(2) 活動指標

- ・土地開発公社用地買戻し 818.18㎡（土地開発公社代行買収 1,605.74㎡の内）

森の駐車場の整備(繰越分)(地域整備グループ)

予算事業名：森の駐車場整備事業費

当初予算額	0円	最終予算額	31,996,000円	決算額	31,985,214円
-------	----	-------	-------------	-----	-------------

単なる駐車場でなく、交流の拠点となり、住民の憩いの場となる駐車場として、「森」のイメージを持つ景観に配慮した駐車場整備を実施しました。平成19年度からの繰越事業を実施しました。

(1) 主な支出

・設計監理業務委託	48万円
・駐車場整備工事	3,150万円

(2) 活動指標

- ・管理棟、駐車場本体、標識サイン設置等工事

4月26日にオープンし、行楽シーズンの交通渋滞の緩和が図られるとともに、町民と来訪者との一層の交流が期待されます。

3	公共下水道費	260,000,000	決算事項別明細書 P58～
下水道事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)			予算事業名：公共下水道費
当初予算額 275,700,000 円		最終予算額 275,700,000 円	決算額 260,000,000 円
公共下水道事業の運営を行ううえで一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。			
(1) 主な支出			
・公共下水道事業特別会計繰出金 2億6,000 万円			
(2) 活動指標			
・雨水経費分 1億764 万円			
・汚水経費分 1億5,236 万円			
4	公園費	21,903,457	決算事項別明細書 P58～
冒険の森などの維持管理(地域整備グループ)			予算事業名：都市公園管理費
当初予算額 1,089,000 円		最終予算額 1,449,000 円	決算額 1,448,610 円
地域住民の憩いの場として整備された都市公園(街区公園)の冒険の森、逢瀬公園や福原公園などを良好な状態で利用できるよう維持管理を行いました。			
(1) 主な支出			
・光熱水費 20 万円			
・街区公園遊具等修繕 66 万円			
・街区公園草取り・トイレ清掃委託(シルバー人材センター) 7 万円			
・岩松院ふるさとゾーン清掃・除草委託 24 万円			
・公園用地借上料 23 万円			
(2) 活動指標			
・街区公園の維持管理(冒険の森、逢瀬公園、小布施児童公園、福原公園、岩松院公園 等)			
街区公園内の草取り及びトイレ掃除等により、気持ち良く・安心して利用いただけるよう管理に努めました。			
冒険の森遊具の入替(地域整備グループ)			予算事業名：都市公園整備事業費
当初予算額 10,013,000 円		最終予算額 10,013,000 円	決算額 0 円
老朽化した冒険の森遊具の更新について検討を進めていましたが、町内の若者有志よりスキー・スノーボードのジャンプ練習施設設置についての要望があり、検討を進めてきたため、遊具の入替えは行いませんでした。			
(1) 主な支出 なし			
(2) 活動指標			
当初遊具の入替えを進めるべく遊具の選定をしてきましたが、冒険の森の新たな活用の話が持ち上がったことにより、検討を中断しました。			
小布施総合公園の維持管理(地域整備グループ)			予算事業名：総合公園管理費
当初予算額 23,757,000 円		最終予算額 23,397,000 円	決算額 20,454,847 円
町民及び来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園の除草等、維持管理を行いました。			
(1) 主な支出			
・緑の管理人賃金(9人) 799 万円			
・光熱水費 354 万円			
・公園内施設及び管理用機材修繕 173 万円			
・小布施総合公園ポンプ整備点検委託 210 万円			

- ・小布施総合公園流水ポンプ交換工事 他 229 万円
- ・小布施総合公園トイレ清掃委託（シルバー人材センター） 33 万円
- ・ハイウェイオアシス管理委託（東日本高速道路株） 15 万円
- ・土地借上料（デイキャンプ場） 33 万円
- ・都市緑化技術開発機構賛助会員会費 3 万円
- ・関東「道の駅」連絡会会費 5 万円

(2) 活動指標

- ・小布施総合公園の維持管理
- ・公園内施設の業者委託及び修繕・工事

(3) 活動指標の推移

- ・公園施設利用状況

施設区分	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
野外ステージ（有償利用）	件	2	6	6	4	4
マレットゴルフ場	人	3,827	6,166	8,826	4,321	8,960
（内 有償利用者）	人	931	1,132	3,840	1,148	940
パターゴルフ場	人	211	256	84	—	—

5 まちづくり費 15,905,799

1 まちづくり総務費 15,454,468

決算事項別明細書 P58～

雨水貯留タンクの設置に対する助成(地域整備グループ)

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 60,000 円

水資源の保全や水路の氾濫防止を図りながら快適な住環境を創造することを目的に、雨水貯留タンクの設置費用の一部を助成しました。

(1) 主な支出

- ・雨水貯留タンク設置助成金 6 万円

(2) 活動指標

- ・助成件数 3件

助成対象

次のすべてに該当するもの

- ・住宅用地（事業用地）内に設置するもの
- ・貯留量が150リットル以上で、雨どいに接続されているもの
- ・雨水貯留以外の目的に使用しないこと

助成額

雨水貯留タンク購入に要する経費の1/2以内で限度額2万円

ただし、1戸（事業所）につき1回。

(3) 成果指標

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
助成件数	4件	5件	3件	3件	3件
助成金額	5.3万円	10万円	4.1万円	6万円	6万円

ドッグラン整備の研究(地域整備グループ)

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 30,000 円 最終予算額 30,000 円 決算額 0 円

犬の遊び場「ドッグラン」の設置について、町内の愛犬家などと一緒に場所や施設の内容、運営形態など、平成21年度整備に向けて研究を行いました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・ドッグラン施設視察 佐久・飯綱・長野 6月20日
- ・小布施ドッグラン検討懇談会 10月1日

町内愛犬家の方々と、位置・内容・運営形態などを検討し、位置については小布施総合公園旧パターゴルフ場とする案をまとめました。

まちづくり大学・講習会の開催(地域整備グループ)

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 1,917,000 円 最終予算額 1,917,000 円 決算額 1,854,666 円

小布施のまちづくりの第2ステージの実現に向けて、有識者を招いて「小布施まちづくり大学」を開校をし、町民と共に今までのまちづくり、これからのまちづくりについて考えました。また、広告物の適正化、建築確認・開発行為などの事務にあわせ指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼 47 万円
- ・嘱託職員報酬 84 万円
- ・小布施町二項道路調査図面作成業務委託 36 万円

(2) 活動指標

- ・小布施まちづくり大学

第1回 5月31日 「修景事業の実像」
講師：東京理科大学・小布施町まちづくり研究所長 川向 正人 氏
コメンテーター：小布施堂社長 市村 次夫 氏

第2回 6月28日 「修景事業を超えて」
講師：東京理科大学・小布施町まちづくり研究所長 川向 正人 氏
コメンテーター：小布施堂社長 市村 次夫 氏

第3回 8月2日 「まちづくりと建築の設計」
講師：東京理科大学・小布施町まちづくり研究所長 川向 正人 氏
コメンテーター：宮本忠長建築設計事務所長 宮本 忠長 氏

第4回 12月13日 「日本のまちの現状・分析・提案」
講師：建築家・東京藝術大学教授 北川原 温 氏

第5回 1月31日 「まちづくりの手法と制度をめぐって」
講師：神奈川大学教授・工学博士 西 和夫 氏

第6回 2月28日 「都市への挑戦」
講師：伊東豊雄建築設計事務所長 伊東 豊雄 氏

毎回約50人が参加

東京理科大学・小布施町まちづくり研究所の活動支援(地域整備グループ)

予算事業名：官学協働のまちづくり事業費

当初予算額 4,000,000 円 最終予算額 4,000,000 円 決算額 3,367,186 円

第2ステージに向けたまちづくり・景観整備を進めるため、地域の特性を生かした景観の研究に優れた実績を持つ東京理科大学と協働による「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」による研究を昨年度に引き続き実施しました。

(1) 主な支出

- ・東京理科大学・小布施町まちづくり研究所共同研究委託 300 万円
- ・滞在施設光熱水費 他 37 万円

(2) 活動指標

- ・8月27・28日に栗ガ丘小学校児童と「茅葺き体験ワークショップ」を開催
3年生全クラス参加

・11月15日：シンポジウム開催

展示・研究報告・シンポジウム 「小布施まちづくりの第2ステージへ」

「産業・文化とまちづくり ～新たな活動拠点の形成～」

■ 研究報告

「茅葺き屋根」「林・北岡・押羽・羽場の里道ネットワークと拠点形成」「小布施の栗産業・栗文化の拠点づくりとしての蚕室」「はよんば空間再生」「酒造空間の活用」「国道の歩道空間の整備と周辺の路地」「A&P・ミツルの街路＝生活空間の思想」「日本の輝く小さなまちと小布施」

■ ワークショップ「結ぼう！かやぶき屋根」の報告

■ シンポジウム「始動！小布施7大プロジェクト

① 林・北岡・押羽・羽場のネットワーク（里道）と拠点形成

② 小布施の栗産業・栗文化の拠点づくりとしての蚕室

③ 酒造空間の活用と里道プロジェクトとのリンク

④ 伝統的な素材・技術からまちづくりへ

⑤ 楽農から美しい風景へ

⑥ 食文化と浄光寺周辺

⑦ 小布施の工業ゾーンと景観づくり

※ 町民の皆さんがそれぞれ発表し、共にあり方を検討しました。

・その他、学生がそれぞれテーマを持ち、研究を進めました。

まちづくりデザイン委員会活動(地域整備グループ)

予算事業名：景観事業費

当初予算額 883,000 円 最終予算額 883,000 円

決算額 351,019 円

良好な景観づくりを推進するため、まちづくりデザイン委員会を開催しました。

(1) 主な支出

・委員報酬 5 万円
・特別委員謝礼 18 万円
・その他経費 12 万円

(2) 活動指標

・まちづくりデザイン委員会開催 4月30日、11月4日開催

新委員の委嘱を行うとともに、今後の方針等について意見交換を行いました。

優良景観建築物等の認定の審査、助成金の審査などを行いました。

景観に配慮した建築物などへの助成(地域整備グループ)

予算事業名：景観事業費

当初予算額 1,150,000 円 最終予算額 1,150,000 円

決算額 214,100 円

町で進める景観形成に協力（配慮）していると認められる建物の新築や、生け垣の設置に対して、助成金を交付しました。

(1) 主な支出

・まちづくり事業補助金 21 万円

(2) 活動指標

・住宅・店舗等の新築 1 件
・生け垣の設置 2 件
・広告物の撤去・改修 0 件

(3) 活動指標の推移

・助成金実績

助成区分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
住宅、店舗等の 新築・増改築	件	3	2	2	2	1
	万円	30	20	20	20	10
広告物の撤 去・改修	件	0	0	0	0	0
	万円	0	0	0	0	0
生け垣の設置	件	3	1	0	1	2
	万円	18	5	0	1	11
沿道景観	件	0	0	1	—	—
	万円	0	0	20	—	—

優良景観建築物等の認定(地域整備グループ)

予算事業名：景観事業費

当初予算額 186,000 円 最終予算額 186,000 円 決算額 11,235 円

「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」により、総合的に景観に優れている建物等を「景観優良建築物等」として認定を行いました。

(1) 主な支出

・認定証等 1万円

(2) 活動指標

・平成20年度 建築部門：第2回優良な景観建築物等の認定 2件

(3) 活動指標の推移

・平成19年度 建築部門：第1回優良な景観建築物等の認定 3件

・地域の自然、歴史、文化等からみて、当該建築物等の外観が景観上の特徴を有し、かつ、地域の良好な景観の形成に資するものと町長が認めるものを「優良な景観建築物等」として認定(条例第28条)を行い、良好な景観づくりに努めました。

※参考 条例改正以前の表彰実績

平成14年度 建築部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし

広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし

生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 1件

平成15年度 建築部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 1件

広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし

生け垣・緑化部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件

平成16年度 建築部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件

広告物部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし

生け垣・緑化部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし

平成17年度 表彰なし

住まいづくり相談の実施(地域整備グループ)

予算事業名：住まいづくり相談事業費

当初予算額 267,000 円 最終予算額 267,000 円 決算額 219,776 円

景観形成に配慮した住まいづくりを進めるため、住宅の新築・増改築等の相談を受ける「住まいづくり相談所」を引き続き開設しました。また、インターネット等による相談も受け付けています。

(1) 主な支出

・住まいづくり相談員謝礼(2人分) 21万円

(2) 活動指標

- ・住まいづくり相談所開設 毎月第3水曜日 午後2時～4時
 住まいづくり相談員：宮本忠長、久保田三代
 相談内容：住宅の新・増改築に関すること（間取り、下水の接続、段差解消 など）。広告物に関すること（色彩、設置箇所 など）。まちづくり助成金に関すること等

(3) 活動指標の推移

- ・相談件数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	16件	12件	39件	24件	29件

住まいづくり相談は、平成元年度より実施しており、建物の形態や配置など、景観づくりの指針「住まいづくりマニュアル」で定める基準に沿ったものに近づくなど、一定の成果が得られています。また、住まいづくり相談以外でも、開発許可申請や建築確認申請などに際して指導を実施しています。

栗木歩道の管理(地域整備グループ)

予算事業名：栗木歩道維持管理費

当初予算額 592,000 円 最終予算額 592,000 円 決算額 340,348 円

町のシンボルでもある「栗木歩道」を安心・安全に利用できるよう、冬期間に滑り止めマットを敷くとともに、凍結防止剤の散布を定期的に行いました。また、国・県道の歩道修繕について県に働きかけをしました。

(1) 主な支出

- ・栗木歩道修繕等 34 万円

(2) 活動指標

- ・滑り止め用マット設置箇所 栗の小径 他
- ・凍結防止剤の散布
- ・修繕箇所（国道403号周辺、栗の小径 他）

滑り止めマットの設置や凍結防止剤の散布、また、老朽化した栗木歩道の張替修理により、歩行者の安全（転倒防止）が図られています。

沿道花壇の管理・整備(地域整備グループ)

予算事業名：沿道花壇維持管理費

当初予算額 9,885,000 円 最終予算額 9,885,000 円 決算額 9,036,138 円

町民や来訪者、道路利用者に潤いと安らぎの空間を提供するため、主要道路の沿道に花壇を設け、良好な花壇の維持管理を行いました。また、町内のボランティア団体が行う沿道花壇に対し花苗を提供するとともに、街路町組松村線花壇の管理を引き続き「花壇の里親」により実施し、町民と協働による管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・花壇用花苗及び資材等 507 万円
- ・国道403号及び県道村山小布施停車場線沿道花壇維持管理委託 357 万円
- ・せせらぎ緑道沿道花壇の植栽委託 22 万円
- ・フラワーハンギングバスケット製作・容器購入等 17 万円

(2) 活動指標

- ・沿道花壇ボランティア団体（13団体）への花苗の提供
- ・フラワーハンギングバスケットの設置：駅前～町中・4月下旬～5月上旬
- ・県道村山小布施停車場線花壇の業者委託：591㎡
- ・国道403号花壇の業者委託：1,110㎡
- ・街路町組松村線花壇の「花壇の里親」との協働による維持管理：区画花壇45ヵ所（5団体）
- ・せせらぎ緑道沿道花壇の植栽の業者委託及び「花の仲間」による維持管理

(3) 活動指標の推移

※ 沿道花壇業者委託料の推移 (参考)

平成16年度 5,754,000円 (3工区)

平成17年度 4,200,000円 (2工区)

平成18年度 4,030,000円 (2工区)

平成19年度 3,885,000円 (2工区)

平成20年度 3,570,000円 (2工区)

2	安らぎと交流の空間整備事業費	451,331	決算事項別明細書	P59～
---	----------------	---------	----------	------

里道の整備(地域整備グループ) 予算事業名：小径整備事業費

当初予算額 1,392,000円 最終予算額 1,392,000円 決算額 39,660円

町外周部の農村風景や、地域の魅力をゆっくり味わい散策できる小路となるよう愛称を付け整備を図りました。

(1) 主な支出

・ 標識サイン工事 4万円

(2) 活動指標

・ 畑中大通 (雁田・L=100m)

・ 標柱設置 1箇所

(3) 活動指標の推移

平成19年度

・ 馬場先中通 (雁田・L=289m)、まちなか小路 (中条・L=280m)

・ 標柱設置 8箇所

景観に配慮した小路整備が実施され、今後、来訪者の散策ルートとしての利用や、地域住民による農産物の直売など交流の場などが期待されます。

サイクルツアー事業の推進(地域整備グループ) 予算事業名：サイクルツアー推進事業費

当初予算額 920,000円 最終予算額 920,000円 決算額 317,141円

手軽な移動手段である自転車を活用し、サイクリングを楽しみながら、町の魅力を堪能してもらうツーリズム(サイクルツアー)の普及を図るため、イベントの開催や、レンタル自転車の購入を行いました。

(1) 主な支出

・ イベントのチラシ印刷 8万円

・ レンタル用自転車の購入 21万円

(2) 活動指標

・ レンタル自転車の購入 10台

森の駐車場オープンに合わせ、レンタサイクル施設に配置するレンタル自転車10台を購入しました。

・ サイクルイベント 年2回開催

爽やかな初夏の小布施町サイクリング 6月22日開催 参加者15名

秋満喫小布施町サイクリング 9月28日開催 参加者46名

※ 小布施町は、平成16年に国土交通省から「長野県千曲川地区」としてサイクルツアー推進モデル地区に指定されました。

環境に優しく、また、手軽な移動手段として注目されている自転車を活用し、サイクルツアー（自転車を利用した新たなツーリズムの普及）を推進します。また、町内の移動手段としての自転車の普及により、環境浄化への波及効果が期待されます。

みちづくり研究会の設置(地域整備グループ)

予算事業名：道路交通計画策定事業費

当初予算額 150,000 円 最終予算額 150,000 円 決算額 94,530 円

町内の道路や交通計画の現況分析から課題の洗い出しを須坂建設事務所と連携し実施し、今後の方向性について協議を進めてきました。

(1) 主な支出

・ 報告書作成費 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 研究会の開催（6回） 7月3日、8月18日、12月25日、平成21年1月26日、2月20日、3月17日
- ・ 町内3箇所 で交通量調査を実施 10月21日
- ・ 報告書を作成 平成21年3月

町内の道路の現状・課題を洗い出したことにより、今後町内の道路のあり方、路線ごとの機能を明確にし、住む人に優しい道づくりを図ります。

6	住宅費	1,332,780
1	住宅管理費	1,332,780

決算事項別明細書 P59～

町営住宅の維持管理(地域整備グループ)

予算事業名：町営住宅管理費

当初予算額 1,689,000 円 最終予算額 1,689,000 円 決算額 1,332,780 円

修繕など町営住宅の維持に必要な管理を行いました。また平成21年6月からの火災警報機の設置義務化に向けて、各部屋に火災警報機の設置を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 住宅の修繕 12 万円
- ・ 火災保険料 36 万円
- ・ 住宅用火災警報器の設置 80 万円

(2) 活動指標

- ・ 適切な管理を管理組合と協力して実施しました。
- ・ 住宅用火災警報器の設置
 - 水上町営住宅 149 個
 - 厚生住宅 3 個

(3) 成果指標

- ・ 町営住宅管理状況（平成20年度末）
 - 木造14棟 50戸（全戸入居）

・ 町営住宅の家賃収納状況 (単位：万円)

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
住宅使用料(現年度分)	1,774	1,667	0	107	94.0
住宅使用料(過年度分)	228	64	0	164	28.1
計	2,002	1,731	0	271	86.5

・ 町営住宅駐車場使用料収納状況 (単位：万円)

	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率(%)
駐車場使用料(現年度分)	140	130	0	10	92.9
駐車場使用料(過年度分)	23	7	0	16	30.4
計	163	137	0	26	84.0

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
8			消防費	201,765,238	
1			消防費	201,765,238	
	1		常備消防費	161,857,000	決算事項別明細書 P59～
須坂市消防署小布施分署の運営（総務グループ） 予算事業名：消防分署運営費					
当初予算額 155,457,000円 最終予算額 161,857,000円 決算額 161,857,000円					
消防組織法に基づいて市町村に設置される常備消防（消防本部）業務・救急業務を須坂市に委託して運営しました。					
(1) 主な支出					
・消防業務の委託 1億6,186万円					
主な内容					
人件費 1億3,606万円					
運営事業費 623万円					
通信指令台・通信備品 201万円					
災害基金・退職手当負担金等 1,756万円					
(2) 活動指標					
・小布施分署 6人/3交代制（計18人）					
①火災出動					
出動件数		住宅火災件数		損害見積額	
10		2		3億8,800万円	
②救急車出動件数					
	交通	急病	一般負傷	転院ほか	計
件数	31	208	42	81	362
③広報、予防活動					
・家庭の防火診断（中央 88戸）、独居老人家庭の防火診断（全町 201戸）					
・消防ふれあい広場（10/19 第19回 400人来場）					
・保育園、幼稚園巡回指導（11/6 つすみ保育園、11/7 わかば保育園、11/11 栗ガ丘幼稚園）					
・普通救命講習（10回 160人参加）					
・救急講習（17回 513人参加）					
・応急手当普及員講習（1回 2人参加）					
(3) 活動指標の推移					
・火災出動件数					
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
小布施管内	6	14	3	6	10
・救急出動件数					
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
小布施管内	347	364	298	357	362
2			非常備消防費	33,352,531	決算事項別明細書 P59～
消防団・女性防災クラブの運営（総務グループ） 予算事業名：消防団運営・女性消防クラブ運営費					
当初予算額 27,161,000円 最終予算額 27,161,000円 決算額 25,252,723円					
女性防災クラブの運営					
地域での火災予防思想の普及徹底を図り、火災の未然防止と初期消火による人命・財産の保護を目的として活動する女性クラブに対する運営に対し支援を行いました。					
(1) 主な支出					
・運営交付金 50万円					

(2) 活動指標

- ・女性防災クラブ総会 (5/26 事業計画、視察研修打合せ)
- ・町総合防災訓練 (6/1 9訓練会場 65人)
- ・研修視察 (7/16 伊那市美和ダムほか視察 35人参加)
- ・合同防災訓練 (10/26 岩松院 9人参加)
- ・消防出初式参加 (1/18 松村公園駐車場～北斎ホール 55人参加)
- ・にこにこ赤十字健康教室 (2/12 千年樹の里健康福祉センター 12人参加)
- ・普通救命講習会 (2/23、24、25 消防団と合同開催 25人参加)

救急法、初期消火技術、炊出しの実践等防災意識の高揚と技術の習得を図ることができました。

消防団の運営

住民の生命、身体及び財産を守るため、消防車両（タンク車・ポンプ車）やその施設及び人員を活用して、火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動に従事する非常備消防の消防団活動を実施しました。

(1) 主な支出

・消防団員の報酬	749 万円
・団員特殊勤務手当	312 万円
・団員退職報償金掛金	352 万円
・団員福祉共済掛金	57 万円
・公務災害補償等共済掛金	39 万円
・須高消防協会研修会等負担金	504 万円
・分団運営交付金	37 万円
・消火栓維持管理負担金	60 万円
・消防無線保守管理委託料	19 万円
・技術大会、出初式等の経費	224 万円

(2) 活動指標

① 訓練・演習

・月例定期巡回	(毎月第1水曜、年7回実施)	延べ	550人
・礼式、部隊幹部研修会	平成20年5月18日	参加者数	30人
・空中消火研修会	平成20年5月25日	参加者数	30人
・消防技術大会	平成20年6月8日	参加者数	180人
・須高ポンプ 操法・ラッパ 吹奏大会	平成20年6月29日	参加者数	50人
・合同防災訓練	平成20年10月26日	参加者数	60人
・出初式	平成21年1月18日	参加者数	140人
・救急救命講習会	平成21年2月23日、24日、25日	参加者数	34人

② 災害出勤等

7回	延べ	173人
----	----	------

町民の生命・財産を守るため、予防活動の強化を図っています。災害や住宅火災時には、小布施分署と協力し、災害被害を最小限に抑えています。

基金(預金)利子の積立て(総務グループ)

予算事業名：消防団運営費

当初予算額	9,000 円	最終予算額	12,000 円	決算額	12,000 円
-------	---------	-------	----------	-----	----------

消防賞じゅつ金を授与するについて財政の健全な運営を図るため、基金の利子の積み立てを行いました。

(1) 主な支出

・消防賞じゅつ金基金利子積立金	1.2 万円
-----------------	--------

職員人件費			予算事業名：一般職人件費
当初予算額	7,531,000 円	最終予算額	8,242,000 円
		決算額	8,087,808 円
(1) 主な支出			
	職員人件費	809 万円	
3	消防施設費	6,457,577	決算事項別明細書 P60～
消防施設などの維持管理(総務グループ)			予算事業名：消防施設管理費
当初予算額	2,985,000 円	最終予算額	3,323,000 円
		決算額	3,188,077 円
火災や災害時に常時万全の体制で出動等ができるように、消防用指令車、積載車、詰所等の維持管理、修繕等を実施しました。			
(1) 主な支出			
	・ホース格納庫の購入等	76 万円	
	・庁舎火災保険料	13 万円	
	・積載車車検、保険料等	28 万円	
	・火の見やぐら塗装工事	95 万円	
	・都住地区消火栓移設工事	107 万円	
(2) 活動指標			
	・ホース格納庫 3台、給水管等入れ替え		
	・各分団詰所の建物災害共済分担金 9箇所		
	・小型ポンプ付積載車車検 4台 (第1分団第1部・第2部・第3部、第2分団第1部)		
	・火の見やぐら塗装工事 (第1分団第1部、第3分団第1部)		
	・都住地区消火栓移設工事		
防火水槽の新設(総務グループ)			予算事業名：消防施設整備事業費
当初予算額	4,179,000 円	最終予算額	3,841,000 円
		決算額	3,269,500 円
消防・防災力の向上を図るため、北岡地区に40m ³ 級防火水槽 1 基を新設しました。			
(1) 主な支出			
	・防火水槽設計監理委託料	17 万円	
	・防火水槽建設工事費	310 万円	
(2) 活動指標			
	・40m ³ 級防火水槽 1 基設置(北岡地区)		
地域の消防・防災力の向上が図られました。			
4	水防費	98,130	決算事項別明細書 P60～
水防(総務グループ)			予算事業名：水防費
当初予算額	120,000 円	最終予算額	120,000 円
		決算額	98,130 円
水害発生時に、資材の購入を行いました。			
(1) 主な支出			
	・水防資材の購入 (ハンマー・ロープ止め)	10 万円	
(2) 活動指標			
	・水害発生時に活用し、災害を最小限に抑えました。		

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
9			教育費	576,566,705	
	1		教育総務費	114,490,370	
		1	教育委員会費	7,677,302	決算事項別明細書 P60～
教育委員会の運営（教育文化グループ）					予算事業名：教育委員会運営費
当初予算額			1,750,000 円	最終予算額	1,750,000 円
				決算額	1,476,502 円
町の教育方針の決定や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員の報酬（4人） 129 万円 ・ 就学指導委員の報酬など 4 万円 ・ 委員長交際費 2 万円 ・ 各種負担金 9 万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会 定例会12回、臨時会1回（議案17件、協議1件、報告52件） ・ 教育委員会人事 9月30日で松嶋悦子委員が任期満了となり、10月1日付で伊藤ひろみ氏が任命されました。 10月1日開催の臨時会で、教育委員長に小林孝幸氏を選任、任命され、委員長職務代理者に小林昌之氏が任命されました。 ・ 心身障害児就学指導委員会 3回開催（うち1回は就学判定会）、判定件数2件（小学校1件、幼稚園・保育園1件） ・ いじめ・不登校問題に関する対策委員会 1回開催、小中学校のいじめ、不登校の現状及び対策について 					
外国人英語教師・助手の配置（教育文化グループ）					予算事業名：外国人英語教師設置費
当初予算額			6,483,000 円	最終予算額	6,483,000 円
				決算額	6,200,800 円
英語でコミュニケーションが出来る能力を育成するとともに、外国の生活や文化に関心を深めて国際感覚を高めるため、保育園、幼稚園、小学校、中学校に外国人英語教師を配置しました。また、成人を対象に英語教室を開催しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費（2人） 620 万円 					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校での英語指導及び英語教室の講師（年2講座開催） ロバート・イラマ（平成19年8月～平成20年8月） マシュー・レイノルズ（平成20年8月～平成21年8月） ・ 保育園、幼稚園、小学校での英語指導 ジョセフ・ステイプルズ（平成20年8月～平成21年8月） ・ 英語教室の講師 年2講座（1講座12回）開催 					
<p>中学校生徒が英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られ、英語力の向上にもつながっています。</p> <p>園児や小学校児童が、歌遊び等に喜んで取り組んだり、友達同士や英語教師との会話活動をしたりして、コミュニケーション能力を高めようとする姿勢が見られます。</p> <p>公民館の英語教室受講生の皆さんの国際感覚の涵養と英語力の向上が継続的に図られています。</p>					

2	事務局費	106,307,348	決算事項別明細書	P61～	
教育委員会の運営(教育文化グループ)			予算事業名：教育委員会事務局費		
当初予算額	1,243,000円	最終予算額	1,243,000円	決算額	1,200,077円

町の教育方針の決定や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。

(1) 主な支出

- ・ 学校評議員への謝礼(12人) 12万円
- ・ 通信運搬費 68万円
- ・ 各種負担金 8万円

学校評議員会を小学校、中学校で各2回開催し、学校事業の評価をいただきました。

育英金の貸付け(教育文化グループ)			予算事業名：教育委員会事務局費	
この事業は、育英金貸付基金を運用して行っているため、予算額は0円でした。				

教育の機会均等を図るため、高校生・専門学校生・短期大学生・大学生に対して育英金の貸付けを行いました。

(1) 活動指標

- ・ 新規3人貸付け
- ・ 対象者及び貸付内訳

大学生(公立)	2人	月額	25,000円
大学生(私立)	4人	月額	35,000円
専門学校生(私立)	1人	月額	35,000円
高等学校生(私立)	1人	月額	15,000円

(2) 活動指標の推移

- ・ 年間貸付金合計

平成18年度	11人	4,260,000円
平成19年度	9人	3,180,000円
平成20年度	8人	2,850,000円

児童生徒の見守り体制の充実(教育文化グループ)			予算事業名：教育委員会事務局費		
当初予算額	67,000円	最終予算額	67,000円	決算額	58,751円

地域ぐるみで犯罪から子どもたちを守るため、地域住民、自治会、育成会、保護者、学校、警察署、防犯協会などと連携して、不審者が子どもたちに近づきにくい地域づくりを進めました。

(1) 主な支出

- ・ 需用費 2.7万円
- ・ メール配信システム使用料 3.2万円

(2) 活動指標

- ・ 見守り隊(平成18年6月24日発足)登録者 226人
- ・ こどもを守る安心の家登録軒数 83軒
- ・ 防犯パトロールの実施(防犯指導員やPTAなど)
- ・ 同報無線による毎日の下校時間の周知
- ・ 学校での安全教育の充実

(3) 成果指標

- ・ 不審者メールの配信 登録数329人、配信数2件
- ・ 安全マップの作成

基金（貯金）利子の積立て（教育文化グループ） 予算事業名：教育委員会事務局費
 当初予算額 275,000 円 最終予算額 50,335,000 円 決算額 50,335,000 円

- (1) 主な支出
- ・ 教育文化施設基金積立金 5,000 万円
 - ・ 教育文化施設基金利子積立金 3 万円
 - ・ 芸術文化振興基金利子繰出し金 14 万円
 - ・ 育英金貸付基金利子繰出し金 17 万円

特別職人件費 予算事業名：特別職人件費
 当初予算額 12,100,000 円 最終予算額 12,103,000 円 決算額 12,101,716 円

- (1) 主な支出
- ・ 特別職人件費 1,210 万円

一般職人件費 予算事業名：一般職人件費
 当初予算額 54,107,000 円 最終予算額 44,185,000 円 決算額 42,611,804 円

- (1) 主な支出
- ・ 職員人件費 4,261 万円

3 教職員住宅費 505,720 決算事項別明細書 P61～

教職員住宅の維持管理（教育文化グループ） 予算事業名：教職員住宅管理費
 当初予算額 611,000 円 最終予算額 611,000 円 決算額 505,720 円

町が管理している教職員住宅（水上8戸、栗ガ丘2戸、中央1戸）の適切な維持管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・ 水上教員住宅のフロ場給湯器、シャワー修繕等 34 万円
 - ・ 火災保険料 3 万円
 - ・ 樹木伐採の委託など 4 万円
 - ・ 火災報知器の設置 10 万円

- (2) 活動指標
- ・ 入居状況 水上5戸、栗ガ丘1戸、中央1戸

2 小学校費 36,446,860
1 学校管理費 30,779,198 決算事項別明細書 P61～

栗ガ丘小学校の管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：小学校管理費
 当初予算額 31,693,000 円 最終予算額 31,693,000 円 決算額 30,717,314 円

学校教育目標「たくましいからだどゆたかな心を持ち、自ら学び伸びゆく子ども」を基本的なねらいとし、児童に寄せる地域・社会の願いをふまえつつ具体的目標をたて、教育活動を推進しました。

- (1) 主な支出
- ・ 臨時職員や健康診断に係る医師などへの報酬・賃金 382 万円
 - ・ 外部講師などへの謝礼 23 万円
 - ・ 教科用や特別活動用などの消耗品 450 万円
 - ・ 光熱水費 566 万円
 - ・ コンピュータ機器や印刷機器などの使用料 542 万円
 - ・ 警備保障や火災報知器などの保守管理の委託 163 万円
 - ・ 施設の修繕 238 万円
 - ・ 教材備品の購入 120 万円
 - ・ 図書の購入 89 万円
 - ・ 保健検査料や火災保険料等 232 万円

- ・ 各種負担金、交付金 115 万円

(2) 活動指標

- ・ 学校教育目標を具現化し、小布施町の次代を担うにふさわしい人間を育てるために、教育実践の流れを提示し学校運営を推進しました。
- ・ 総合的な学習の時間に、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所との協働ワークショップによる薫草き屋根作り、町内の歴史建造物や里道などを巡るふるさと小布施ウォークラリー、巴錦菊栽培、小布施丸ナス作りなど町の特色を生かした活動を地域の方々にご協力いただき行いました。
- ・ コンクール入賞等（主なものについて）

国語関係	小さな親切運動 作文 銀賞 4年女子
	書写 県展中央入選 4年女子 5年女子
図工関係	中部ブロック動物園写生コンクール 県知事賞 2年男子
	花やみどりのある絵 4年男子 4年女子

職員の学校自己評価を行うとともに、平成20年度末保護者に「教育活動アンケート」を実施しました。アンケート項目8項目中全ての項目において、良い評価をいただきました。19年度、評価のやや低かった『気持ちの良いあいさつができる子どもたちが育っている』については、20年度は評価が向上しました。今後も重点目標に掲げ具現を目指します。

コンピュータ等の活用や国際理解教育については、平成17年11月に構築された校内無線LANと同時期に更新されたコンピュータ教室のパソコン機器が、20年度も引き続き効果的に活用されました。さらに18年度の2学期より赴任している外国人講師により、20年度も引き続き本格的な英語活動がどの学年も展開され、子どもたちは英語を使って積極的にコミュニケーションをはかろうとする力を伸ばしました。

小学校の食育(教育文化グループ)

予算事業名：小学校管理費

当初予算額	212,000 円	最終予算額	212,000 円	決算額	61,884 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

児童の「食」に対する関心を高める中で、豊かな人間性を育むため、農産物の栽培・収穫・料理体験などを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師への謝礼など 6 万円

(2) 活動指標

- ・ 農作業体験(米作り 5学年104人参加、大豆作り 2学年108人参加)
- ・ 料理体験(枝豆、きな粉、味噌、豆腐作り 2学年108人参加)
- ・ 生活習慣病予防教室 (4学年で実施)
- ・ 給食の保護者試食会 (1学年、4学年)

2	教育振興費	5,667,662
---	-------	-----------

決算事項別明細書 P62～

学校生活支援員の配置(教育文化グループ)

予算事業名：小学校生活支援事業費

当初予算額	4,559,000 円	最終予算額	4,559,000 円	決算額	4,009,852 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

学校や家庭で悩みをもつ児童、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。

(1) 主な支出

- ・ 支援員への報酬・賃金 401 万円

(2) 活動指標

- ・ 勤務日数 238日
- ・ 不適応児童を生み出さないために、生活支援員と全職員で小さな変化を見逃さず早期発見及び状況把握に努め、開かれた学級、好ましい友人関係づくり等を進めました。
- ・ 不登校傾向の児童及び保護者に対しての個別支援を行いました。

- ・ 会議室において、不登校傾向児童に対してその状況に合わせて、精神的な安定を図るとともに、学習支援も行いました。
- ・ 必要に応じて、家庭訪問をしたり、電話連絡をとりながら、登校支援を行いました。
- ・ 保護者の精神的な面での支援を行い、家庭環境が安定するように努めました。
- ・ 学級担任との連絡を密にして、教育的な効果が上がるように努めました。
- ・ 新たな不登校傾向児童を生みださないように、全職員が児童の小さな変化にも気を配るようにし、その情報について連絡・相談を行いました。

就学の援助など(教育文化グループ)

予算事業名：小学校就学援助費

当初予算額 1,885,000 円 最終予算額 1,885,000 円 決算額 1,657,810 円

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 就学への援助 145 万円
- ・ 特別支援教育就学への奨励 7 万円
- ・ 交通災害共済会費 14 万円

(2) 活動指標

- ・ 認定された児童の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。
支給対象者数 24人

援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

3	中学校費	45,731,700
1	学校管理費	41,539,636

決算事項別明細書 P62～

小布施中学校の管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：中学校管理費・中学校環境整備事業費

当初予算額 45,608,000 円 最終予算額 46,540,000 円 決算額 41,539,636 円

学校教育目標

夢 ・ 忍耐 ・ 思いやり

豊かな人間性を持ち、かけがえのない人生を強く正しく行きぬく生徒の育成

《 具体目標 》

- 1 自分の夢を持ち、その実現に向かって努力できる生徒
- 2 自分のわがままをおさえ、正しい判断のできる生徒
- 3 人のいたみが分かり、思いやりの心をもてる生徒

(1) 主な支出

- ・ 嘱託職員や健康診断に係る医師への報酬・賃金 494 万円
- ・ 教科・特別活動に関する消耗品費 467 万円
- ・ 光熱水費 699 万円
- ・ 耐震診断料他、校内・体育館施設等に係る保守管理料 718 万円
- ・ コンピュータ機器や印刷機器等保守管理 500 万円
- ・ 各種負担金、補助金 136 万円
- ・ 保健検査料、火災保険料、通信費等 212 万円
- ・ 修繕費 486 万円
- ・ 燃料費 97 万円
- ・ 工事費 131 万円
- ・ 備品購入費 60 万円
- ・ 図書購入費 85 万円

(2) 活動指標

学校教育目標を具体化するために、各教科の学習においては基礎的・基本的な内容を重視することはもちろん、思考力や判断力・表現力の育成に力をいれることを大切にし、全校合唱の充実、学校花壇づくり、清掃活動を三本柱にすえて、学校経営を見返し、教育課程の改善を推進しました。

成果と課題を明確にするため、学校評議員会・PTA活動・地域の方々より評価いただき職員の学校自己評価を併せて今後の改善点を具体化しました。

2	教育振興費	4,192,064	決算事項別明細書 P62～
---	-------	-----------	---------------

学校生活支援員の配置(教育文化グループ) 予算事業名: 中学校生活支援事業費

当初予算額	2,308,000 円	最終予算額	2,308,000 円	決算額	2,256,986 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

学校や家庭で悩みをもつ生徒、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。

(1) 主な支出

- ・支援員への報酬 225 万円

(2) 活動指標

- ・あたたかな人間関係の実現をめざし、学級経営の充実を図りました。
- ・学級担任をサポートするプロジェクトチームを立ち上げ、不登校、教室に入れない生徒へのきめ細やかな対応と支援で指導にあたりました。

(3) 成果指標

- ・不登校生徒及び軽度発達障害等により特別な支援が必要な生徒又、人間関係等で不安をかかえる生徒への支援が可能となり「個に応じた支援」が実現されました。

就学の援助など(教育文化グループ) 予算事業名: 中学校教育振興費・中学校就学援助費

当初予算額	2,430,000 円	最終予算額	2,430,000 円	決算額	1,935,078 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・就学への援助 152 万円
- ・自律教育就学への奨励 12万円
- ・区域外通学の委託 10 万円

(2) 活動指標

- ・認定された生徒の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。
支給対象者数 15人

(3) 成果指標

- ・援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

4	幼稚園費	39,085,239	
---	------	------------	--

1	幼稚園費	39,085,239	決算事項別明細書 P63～
---	------	------------	---------------

栗ガ丘幼稚園の管理運営(学校教育グループ) 予算事業名: 幼稚園管理費

当初予算額	42,134,000 円	最終予算額	41,668,000 円	決算額	39,085,239 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

「心身共に健康でたくましい子どもを育てる」を保育目標に、体験の積み重ねを大切にし、また、地域の人たちとのふれあいを大切にした園運営を行ってきました。

(1) 主な収入の内訳

- ・ 教諭（臨時職員含む）の person 費 3,399 万円
- ・ 光熱水費 159 万円
- ・ 教材費 72 万円
- ・ 駐車場用地の借り上げ 67 万円
- ・ 保守点検等の委託 22 万円
- ・ その他の経費 190 万円

(2) 活動指標

○年齢別学級数及び園児数

年 齢	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
学 級 数	2	2	1	5
園児数(人)	34	41	25	100

- ・ 職員構成 園長1人、教諭5人、事務1人、支援加配2人
- ・ 体験を重視した保育の充実（野菜・花等の栽培・収穫、町内施設等の利用）
- ・ 地域に開かれた幼稚園づくり（小中学生・地域の人たちとの交流）・幼保小連携交流
- ・ 子育て支援の充実（降園後・夏休み中の預かり保育の実施（施行）、親子ふれあい交流、園開放、未就園児の託児、絵本の読み聞かせの推奨、サークル活動の支援、子育て相談等）
- ・ 職員の資質向上（研究保育、各種研修会参加）・特別支援教育の充実（支援加配の配置）

○主な行事（園児）

入・卒園式、春・秋の遠足、親子ふれあい交流日、おにぎりの日、きょうのおはなしなあに、歯科保健指導日、交通安全教室、プール活動、運動会、縦割り保育、国際交流、豆まき、デイサービスセンター・小布施荘・生き生き家族訪問、演劇教室、すいとん汁大会、遊戯会、もちつき、クリスマス、誕生会、ひなまつり、なかよし学級（年長児）、給食センター見学等

○その他

保育・音楽・プール・土曜参観、クラス・個別懇談会、家庭訪問、健康診断、資源物回収栄養士・保健師訪問、環境整備、避難訓練、保護者会主催の納涼お楽しみ会・公演会

(3) 活動指標の推移（園児数及び卒園児数） ※5歳児の園児数＝卒園児数

年齢 (クラス数)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
3 歳児 (人)	39 (2)	39 (2)	24 (1)	43 (2)	34 (2)
4 歳児 (人)	52 (2)	37 (2)	39 (2)	26 (1)	41 (2)
5 歳児 (人)	43 (2)	50 (2)	37 (2)	42 (2)	25 (1)
合 計	134 (6)	126 (6)	100 (5)	111 (5)	100 (5)

様々な体験を通して明るく健やかな園児たちが育ち、25人の年長児が、小布施町立栗ガ丘小学校へ入学しました。

5	社会教育費	272,100,233	
1	社会教育総務費	4,606,446	決算事項別明細書 P63～
社会教育委員活動の推進(教育文化グループ)			
当初予算額		2,368,000 円	最終予算額 2,368,000 円
			決算額 2,212,266 円

社会教育に関することを教育委員会に助言する社会教育委員の意見を聞きました。

(1) 主な支出

- ・ 委員報酬 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 社会教育委員 5人
- ・ 社会教育委員会議 5月30日開催
- ・ 平成19年度主要事業実績報告、平成20年度主要事業について協議

文化協会等の活動の支援(教育文化グループ) 予算事業名：社会教育総務費
 当初予算額 550,000 円 最終予算額 550,000 円 決算額 550,000 円

文化・芸術など次代への継承と活性化を行っている社会教育関係団体の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・社会教育団体補助金等

町連合婦人会 10 万円 町文化協会 45 万円

(2) 活動指標

- ・町連合婦人会の主な活動内容

子ども教室・わんぱく教室協力 千年樹の里まつり協力 老人福祉保健福祉計画・介護保険事業計画懇話会への協力

- ・町文化協会の主な活動内容

清掃奉仕活動(鴻山館・おぶせミュージアムほか) カルチャー教室(囲碁、将棋、一弦琴) 芸能祭参加 巴錦展 講演会 子ども音楽教室発表会

地域の花づくりの推進(教育文化グループ) 予算事業名：花づくり推進事業費
 当初予算額 1,722,000 円 最終予算額 1,722,000 円 決算額 1,619,400 円

花による地域づくりを進めていただくため、花づくり推進委員会を通じて各自治会に花の苗を配布しました。また、花づくり推進委員会の活動に対して補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・花苗の購入 142 万円
- ・花づくり推進委員会交付金 25 万円

(2) 活動指標

- ・花苗の配付 6月7日～8日 27自治会

花による美しい地域づくりと花づくりを通じた豊かな心の育成が図られています。

成人式の開催(教育文化グループ) 予算事業名：成人式事業費
 当初予算額 369,000 円 最終予算額 369,000 円 決算額 224,780 円

新成人としての門出を祝福するため、式典と交流会を開催しました。新成人が実行委員会を組織して交流会の企画運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・式典記念品 16 万円

(2) 活動指標

- ・期日：平成21年1月11日
- ・場所：北斎ホール
- ・対象：129人(出席者104人)

式典では、多くのご来賓の方々からのお祝いや激励の言葉のほか、選挙についての話もあり、出席者の皆さんの成人としての自律を促すことができました。

2	公民館費	15,307,837	決算事項別明細書 P63～
---	------	------------	---------------

公民館の管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：公民館管理費
 当初予算額 12,562,000 円 最終予算額 13,739,000 円 決算額 13,474,994 円

各種団体やサークルの活動や会合などで気持ちよくご利用いただけるよう、公民館施設の維持管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・職員人件費 1,056 万円
 - ・火災保険料 8 万円
 - ・公民館補償制度掛金 11 万円

- (2) 活動指標
- ・学習室・講堂の使用回数 682回 冷暖房使用料収入 62万円

生涯学習町民のつどいの開催(教育文化グループ) 予算事業名：生涯学習町民のつどい事業費
 当初予算額 573,000 円 最終予算額 573,000 円 決算額 571,830 円

日頃の個人・グループの文化活動やボランティア活動などの成果を発表する機会として、生涯学習町民のつどいを開催し、町民の皆さんの参加と交流を図りました。

- (1) 主な支出
- ・菊花展 小屋建方、解体、増設委託料 24 万円

- (2) 活動指標
- ・生涯学習町民のつどい・第48回総合文化祭
 - 10月25日・26日 作品展 場所／公民館・北斎ホール・文化体育館
 - 展示内容等 公民館／写真展・俳句展・陶芸展・短歌展・押し花展 ほか
 - 北斎ホール／盆栽展・絵画展・版画展・手芸展・パッチワーク展 ほか
 - 文化体育館／華道展・勤労展 参加団体等 38
 - 11月2日 芸能祭 場所／北斎ホール 出演団体数 38
 - 10月31日～11月10日 菊花展 場所／皇大神社境内

公民館分館活動の支援(教育文化グループ) 予算事業名：分館活動費
 当初予算額 1,528,000 円 最終予算額 1,528,000 円 決算額 1,261,013 円

自治会ごとに設置された公民館の分館活動を推進するため、活動実績に応じた支援を行いました。

- (1) 主な支出
- ・分館活動助成 50 万円
 - ・分館長報酬 70 万円
- (2) 活動指標
- ・補助対象分館事業 117件 分館報発行 62件

- (3) 活動指標の推移
- ・分館事業数 (単位：件)
- | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|--------|--------|--------|
| 119 | 125 | 117 |

3 北斎ホール費 3,901,989 決算事項別明細書 P64～

北斎ホールの管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：北斎ホール管理費
 当初予算額 4,383,000 円 最終予算額 4,383,000 円 決算額 3,901,989 円

勤労青少年や各種団体の活動・発表の場として気持ちよくご利用いただけるよう、北斎ホールの維持管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・清掃業務(じゅうたん、ガラス等) 17 万円
 - ・施設修繕料 40 万円
 - ・空調設備機器保守点検 32 万円
 - ・ピアノ調律 9 万円

・舞台機構保守点検	16万円	・舞台照明設備保守点検	17万円
・音響設備保守点検	17万円	・ロールバック保守点検	16万円
・自動ドア保守点検	7万円	・地下タンク及び地下配管気密検査	6万円

(2) 活動指標

・北斎ホールの使用回数 358回 冷暖房使用料収入 99万円

4	図書館費	149,255,908	決算事項別明細書 P64～
図書館の運営(教育文化グループ)		予算事業名：図書館管理費	
当初予算額 48,408,000円		最終予算額 48,472,000円	決算額 30,463,223円

すべての人が公平に情報を得られるよう、図書や郷土史料の収集、整理、保存、提供を行いました。また、ボランティアの皆さんの協力により、読書推進活動を進めました。

(1) 主な支出

・書籍、視聴覚資料の購入	561万円
・読書推進活動（講師謝礼、ブックスタートパック、文集印刷費など）	37万円
・職員人件費	1,470万円
・臨時職員の賃金	556万円
・研修会・旅費	34万円

(2) 活動指標

・図書館開館日	216日
・入館者	17,376人
・図書の購入	3,949冊

区分	児童	一般	母親文庫	計
貸出冊数	5,998	19,077	9	25,084

- ・おはなしの会 12回開催
- ・たなばたおはなし会・クリスマスおはなし会・たんぼおはなし会 各1回開催
- ・絵本の勉強会 12回開催
- ・図書館だよりの発行（7月・3月） 年2回
- ・文集「ちくまがわ」の発行、配付（母親文庫会員・関係施設） 80部
- ・図書館協議会 1回開催／委員 9人
- ・職員プロジェクト会議 新しい小布施町立図書館の運営・電算化 作成

(3) 成果指標

・個人貸出冊数の推移 (単位：冊)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
30,994	31,377	34,281	35,698	25,075

・ブックスタート事業

平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
年間出生数の83%	同90%	同90%	同85%	同97%

※ブックスタート事業：地域のすべての赤ちゃんを対象に、絵本を通して親子が心を通わせるようメッセージを伝えながら絵本を渡す運動。

図書館整備事業(教育文化グループ)		予算事業名：図書館整備事業費	
当初予算額 349,984,000円		最終予算額 397,400,000円	決算額 118,792,685円

住民との協働により、学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場としての図書館を目指し、新しい図書館づくりを進めました。

(1) 主な支出

・旧幼稚園解体工事 外	829万円	
・図書館移転改築工事（建築主体）前払い金	9,350万円	（翌年度繰越額 21,835万円）
・図書館移転改築工事（電気設備）	1,628万円	（翌年度繰越額 1,628万円）
・図書館移転改築工事（機械設備）	4,095万円	（翌年度繰越額 4,095万円）
・図書館システム導入委託	1,701万円	（翌年度繰越額 1,701万円）
・図書館建築工事設計業務委託	1,701万円	（繰越明許分）
・図書館建築工事設計監理業務委託料	955万円	（翌年度繰越額 955万円）

(2) 活動指標

- ・第7回図書館建設運営委員会（4月10日）
- ・第8回図書館建設運営委員会（4月19日）
- ・国立情報学研究所 高野明彦教授講演会（5月9日）
- ・第9回電算化部会（5月15日）
- ・第10回電算化部会（5月29日）
- ・第9回図書館建設運営委員会（6月5日）
- ・第10回図書館建設運営委員会（6月23日）
- ・第11回図書館建設運営委員会（10月7日）
- ・第12回図書館建設運営委員会（12月4日）
- ・第13回図書館建設運営委員会（1月9日）
- ・第14回図書館建設運営委員会（2月13日）
- ・第15回図書館建設運営委員会（3月12日）

5	歴史民俗資料館費	1,636,129	決算事項別明細書 P65～
歴史民俗資料館の管理運営(教育文化グループ)		予算事業名：歴史民俗資料館管理費	
当初予算額	1,631,000 円	最終予算額	1,631,000 円
		決算額	1,546,455 円

歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、町民文化の向上と学術の発展に資するため、充実した歴史民俗資料の展示ができるよう、館の運営を行いました。

(1) 主な支出

・光熱水費	7 万円	・植木の手入れ委託	8 万円
・臨時職員賃金	100 万円		

(2) 活動指標

- ・開館日 土・日曜日及び春・秋のイベント期間中
- ・開館時間 午前9時から午後4時
- ・春・秋の企画展（～体験を通して～歴史再発見）
- ・春・秋の特別イベント 林柳波を唄うミニコンサート

(3) 活動指標の推移

- ・年間入館者数 (単位：人)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
大人	834	711	725	656	649
子ども	119	413	698	150	280

歴史民俗資料館春秋の企画展の開催(教育文化グループ)	予算事業名：歴史民俗資料館企画展費		
当初予算額	288,000 円	最終予算額	288,000 円
		決算額	89,674 円

子どもから大人まで楽しめる昔体験学習などの企画展を春秋に開催しました。通常は土・日・祝日のみの開館ですが、企画展期間中は毎日開館しました。

(1) 主な支出

- ・体験学習など講師への謝礼 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 春の企画展（昔体験を通して小布施の歴史を知る）4月18日～6月2日
大人156人、子ども57人
- ・ ミニコンサート 響け！おぶせゆかりのうた 5月25日
- ・ 秋の企画展（昔体験をとおして小布施の歴史を知る）9月19日～10月31日
大人190人、子ども151人
- ・ ミニコンサート 響け！おぶせゆかりのうた 10月26日

(3) 活動指標の推移

- ・ 企画展期間中の入館者数 (単位：人)

区分	期間	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
大人	春	128	203	134	156
	秋	242	168	183	190
子ども	春	167	133	30	57
	秋	162	80	55	151

6 高井鴻山記念館費 12,822,883 決算事項別明細書 P65～

高井鴻山記念館の管理運営（教育文化グループ） 予算事業名：高井鴻山記念館管理費

当初予算額 12,920,000円 最終予算額 12,920,000円 決算額 12,270,840円

鴻山に関連した資料を収集、公開し、学習の場としての充実を図りました。また、小中学生を無料にするなど、学習機会を提供しました。より多くの皆さんにご来館いただくため、4月～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の人件費・賃金等 723万円
- ・ 光熱水費 85万円
- ・ パンフレットの印刷など 111万円
- ・ 施設の修繕等 21万円
- ・ 土地借上料 70万円
- ・ 警備、植木手入れなどの委託 73万円

(2) 活動指標

- ・ 開館日：通年（休館日12/29～12/31） 362日
- ・ 開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

- ・ 年間入館者数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
74,531	69,377	70,961	56,186	58,752

高井鴻山記念館特別展などの開催（教育文化グループ） 予算事業名：高井鴻山記念館企画展費

当初予算額 1,954,000円 最終予算額 1,954,000円 決算額 552,043円

春と秋に特別展を開催するとともに、恒例の鴻山席書大会を開催しました。春の特別展では、「高井鴻山の山水画展」を開催し、秋には「高井家に残されたスケッチ展」を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 企画展チラシ、看板類の印刷 31万円
- ・ 席書大会審査員謝礼 1万円
- ・ 企画展広告料 12万円
- ・ 席書大会入選者賞品 3万円

(2) 活動指標

- ・ 春の特別展 文人画家高井鴻山の多彩な世界 (4/18～6/2) 期間中入館者 10,205人
- ・ 秋の特別展 文人画家高井鴻山の世界 (9/19～12/16) 期間中入館者 19,718人
- ・ 第22回高井鴻山席書大会（総合体育館） 10/25 参加者 198人

(3) 活動指標の推移

- ・特別展の入館者数 (単位：人)

期間	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
春	10,816	12,167	9,656	10,205
秋	15,766	23,952	9,752	19,718

- ・鴻山席書大会の参加者数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
202	188	283	221	198

7 おぶせミュージアム費 49,438,456 決算事項別明細書 P65～

おぶせミュージアム・中島千波館の管理運営(教育文化グループ) 予算事業名：おぶせミュージアム管理費
当初予算額 35,690,000 円 最終予算額 36,266,000 円 決算額 34,049,987 円

芸術文化に親しむ風土をつくるため、地域文化と密接な関わりを持つ貴重な文化財を保存活用し館を運営しました。常設展示では小布施町出身で現代日本画壇のトップランナー・中島画伯の代表作のほか、挿絵表紙画、デッサンなどを、季節ごとに展示内容を替えてご紹介しました。

より多くの皆さんにご利用いただけるよう、4～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。地域の文化芸術をより身近に親んでもらうため、小中学生の入館料を無料にしました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|-------------|----------|---------|--------|
| ・ 職員の人件費・賃金 | 1,127 万円 | ・ 施設の修繕 | 369 万円 |
| ・ 光熱水費 | 375 万円 | ・ 土地借上料 | 885 万円 |
| ・ 警備業務などの委託 | 288 万円 | | |

(2) 活動指標

- ・ 開館日：通年（休館日12/29～12/31及び展示替時）
- ・ 開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

- ・年間入館者数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
58,923	62,453	61,784	50,731	49,838

中島千波館作品の充実(教育文化グループ) 予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 5,000,000 円 最終予算額 5,000,000 円 決算額 5,000,000 円

芸術文化振興基金を活用し、中島千波作品を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 美術品の購入 500 万円

(2) 活動指標

- ・ 中島千波画「動物の謝肉祭」（紙本著色）ほか3点の購入
- ・ 秋の企画展「中島千波展」の中で、作品を展示します。
- ・ 今後も、作家の代表作を購入し、収蔵作品の充実を図ります。

おぶせミュージアム企画展などの開催(教育文化グループ) 予算事業名：おぶせミュージアム企画展費

当初予算額 13,880,000 円 最終予算額 13,880,000 円 決算額 10,388,469 円

地元ゆかりの作家をはじめ、ジャンルを問わず意欲あふれる作家たちを紹介しました。また、町民の皆さんの学習の場として、作家によるギャラリートークやワークショップ、ギャラリーコンサートなど体験的事業を行いました。

- (1) 主な支出
- ・ 企画展チラシ、看板類の印刷 240 万円
 - ・ 作品借用の謝礼など 196 万円
 - ・ 作品輸送ほか委託 473 万円
- (2) 活動指標
- ・ 郷土の作家シリーズ⑬「小菅二三郎展」 (5/16～7/29) 入館者 11,735 人
 - ・ 「木彫 前原冬樹展」 (8/1～10/7) 入館者 13,231 人
 - ・ 「中島千波展～金屏風と墨の世界～」 (10/10～12/9) 入館者 12,447 人
 - ・ おぶせミュージアム収蔵品展 (12/12～2/17) 入館者 2,538 人
 - ・ 「東京藝術大学デザイン科描画系 S h i n P A!!!展」 (2/20～5/12) 入館者 10,918 人

8	千曲川ハイウェイミュージアム費	20,731,551	決算事項別明細書 P66～
千曲川ハイウェイミュージアムの管理運営(教育文化グループ)		予算事業名：ハイウェイミュージアム管理費	
当初予算額	17,507,000 円	最終予算額	17,507,000 円
		決算額	15,527,388 円

親子で楽しめる企画運営を実施しました。また、多くの皆さんにご利用いただけるよう開館時間を4月～9月は午後6時まで延長しています。

- (1) 主な支出
- ・ 職員の人件費・賃金等 660 万円
 - ・ 警備、植木手入れなどの委託 142 万円
 - ・ 光熱水費 513 万円
 - ・ 施設の修繕等 120 万円
- (2) 活動指標
- ・ 開館日：通年（休館日12/29～12/31及び展示替時） 354日
 - ・ 開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

・ 年間入館者数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
39,872	37,415	34,480	17,321	29,651

千曲川ハイウェイミュージアムの企画展の開催(教育文化グループ)		予算事業名：ハイウェイミュージアム企画展費	
当初予算額	7,652,000 円	最終予算額	7,652,000 円
		決算額	5,204,163 円

親子で楽しめるよう体験学習やワークショップを取り入れた企画展を開催しました。

- (1) 主な支出
- ・ チラシ、看板類の印刷 89 万円
 - ・ 企画費、作品借用の謝礼など 299 万円
 - ・ 広告料 22 万円
- (2) 活動指標
- ・ 「ヒトコマ漫画の旅」 (4/11～6/24) 期間中入館者 4,275 人
 - ・ 「世界昆虫展 P a r t 6」 (6/27～9/16) 期間中入館者 10,790 人
 - ・ 「水木しげるとゲゲゲの妖怪たち」 (9/19～12/16) 期間中入館者 11,519 人
 - ・ 「風に吹かれて連載100回記念原画展」 ・ 「アンデスの民俗楽器たちPart2」 (12/19～4/22) 期間中入館者 3,750 人

9	人権・同和教育費	3,100,134	決算事項別明細書 P66～																				
集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ)			予算事業名：人権・同和教育費																				
当初予算額	980,000 円	最終予算額	980,000 円	決算額 810,795 円																			
<p>同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを進めるための中心施設である集会所・作業所の維持管理を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集会所などの修繕 57 万円 ・ 火災保険料 8 万円 ・ 中央・雁中集会所管理委託 17 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雁中同和对策集会所外構修繕等 																							
同和对策集会所運営委員会(教育文化グループ)			予算事業名：人権・同和教育費																				
当初予算額	35,000 円	最終予算額	35,000 円	決算額 17,500 円																			
<p>同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを推めるため、集会所事業・運営事項について審議しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同和对策集会所運営委員報酬 2 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同和对策集会所運営委員会 委員 8人 1 回開催 (6月17日) <p>審議内容 人権促進事業年間計画について 人権問題講座 交流事業 (手芸教室・書道教室・大正琴教室・生け花教室・フラダンス)</p> <p>人権問題講座・交流事業とも継続事業として成果が認められました。</p>																							
人権教育の促進(教育文化グループ)			予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費																				
当初予算額	1,440,000 円	最終予算額	1,400,000 円	決算額 951,727 円																			
<p>あらゆる人権問題について意識を高めるための啓発や、正しい知識を持つための学習会を行い、差別を許さないまちづくりを進めるため学習会等を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講師謝礼 55 万円 ・ 研修会旅費 6 万円 ・ 学校副読本購入 11 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>会 場</th> <th>事業の内容</th> <th>時 間</th> <th>延参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分 館</td> <td>区民人権学習会</td> <td>6</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中央・雁中同和对策集会所及び福原公民館</td> <td>人権問題学習</td> <td>6</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>地域住民交流促進事業</td> <td>240</td> <td>504</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>282</td> <td>934</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権同和教育啓発 あけぼの購入 小学生用 1、3、5年 356冊、中学生用125冊 <p>(3) 活動指標の推移</p>					会 場	事業の内容	時 間	延参加者数	分 館	区民人権学習会	6	90	中央・雁中同和对策集会所及び福原公民館	人権問題学習	6	340	地域住民交流促進事業	240	504	計		282	934
会 場	事業の内容	時 間	延参加者数																				
分 館	区民人権学習会	6	90																				
中央・雁中同和对策集会所及び福原公民館	人権問題学習	6	340																				
	地域住民交流促進事業	240	504																				
計		282	934																				

- ・ 学習会などへの積極的な参加が見られ、地域社会・学校・家庭において人権問題に関する意識が高まってきています。

- ・ 研修会への延参加人数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
760	450	894	994	934

社会意識調査(教育文化グループ) 予算事業名：地域人権啓発活動活性化事業費

当初予算額 176,000 円 最終予算額 176,000 円 決算額 308,580 円

今後の町の人権に関する啓発や教育の推進のために、3,000人対象の意識調査を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の人件費・賃金等 10 万円

部落解放教育推進委員(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 42,000 円 最終予算額 42,000 円 決算額 0 円

部落解放委員は、部落解放教育を進めるため、教育委員会の諮問に応じて審議・調査します。

(1) 主な支出

なし (教育委員会からの諮問なし)

解放子ども会(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 420,000 円 最終予算額 420,000 円 決算額 0 円

正しい知識を持ち差別に負けないリーダーを育成するため、小中学校の児童生徒を対象に人権学習・基礎学習を行います。

(1) 主な支出

なし (休会中)

人権のまちづくり委員会(教育文化グループ) 予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 100,000 円

身近なところから人権を大切にする気配りを進めるため、地域での学習会や研修会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 活動補助金 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 人権のまちづくり委員 (各自治会の代表者) 390人
- ・ 人権のまちづくり委員研修会
 - 期日：9月25日
 - 場所：公民館講堂
 - 参加：82人
- ・ 人権政策・確立要求基本法制定須高地区大会への参加
 - 期日：6月25日
 - 場所：小布施町鳳凰アリーナ
 - 参加：650人 (須高地区全体)

人権フェスティバルの開催(教育文化グループ) 予算事業名：人権教育促進事業費・地域人権啓発活動活性化事業費

当初予算額 480,000 円 最終予算額 480,000 円 決算額 556,191 円

すべての町民が、同和問題をはじめとする人権問題に正しい認識を持ち、一人ひとりが大切にされるまちづくりを実践していくことを誓い合う場として開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 35 万円
- ・ 手話通訳謝礼 2 万円
- ・ パンフレット印刷・会場看板 13 万円
- ・ 啓発用ポスター・作文その他 6 万円

(2) 活動指標

第35回人権フェスティバル 12月7日開催

会 場	事業の内容	時 間	参 加 数
北斎ホール（勤労青少年ホーム）	人権問題講演会	3	150

- ・ 人権に関する作文の発表及び表彰
- ・ 講 演 「心の宅急便」～朗読講演～
講師 ヒロコ・ムトー
- ・ 集会宣言

(3) 活動指標の推移

- ・ 今回で35回目を迎える人権フェスティバルは、町民一人ひとりが差別をなくすことを誓い、決意を新たにす力強い大会となっています。

- ・ 大会の参加者数 (単位：人)

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
380	250	250	260	200

※平成16年度から、人権フェスティバルに名称を変更しました。

人権教育研究集会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：人権教育促進事業費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 55,555 円

人権問題を自分自身の課題として捉え、明るく住みよいまちづくりを推進するため実行委員会を組織し集会を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 6 万円

(2) 活動指標

会 場	事業の内容	時 間	参加者数
北斎ホール	人権講演会	2	100

第8回人権教育研究集会 (平成20年2月22日開催)

- ・ 二胡は僕の杖コンサート 田村望圓

人権の花運動(教育文化グループ)

予算事業名：地域人権啓発活動活性化事業費

当初予算額 460,000 円 最終予算額 460,000 円 決算額 299,786 円

花づくりを通して、協力、感謝ふることの大切さなどを学ぶ機会とするため、花の苗等を小学校へ配布します。

(1) 主な支出

- ・ 花苗等 30 万円

10	文化財保護費	1,065,140	決算事項別明細書 P67～
文化財の保護(教育文化グループ)			予算事業名：文化財保護費
当初予算額	1,445,000円	最終予算額	1,603,000円
		決算額	1,065,140円

有形文化財や史跡等の保護と管理を行うとともに、文化財保護審議委員により新たな文化財指定候補について調査を行いました。また、重要文化財浄光寺薬師堂保存修理交付金を支出しました。

(1) 主な支出

・ 審議会委員報酬、調査協力の謝礼	4万円
・ 文化財標柱修繕	25万円
・ 清掃の委託（千両堤・古堂塚古墳・押羽水制）	12万円
・ 伝統芸能資料作成	37万円

(2) 活動指標

- ・ 文化財保護審議会 1回 （文化財保存の現況、文化財の指定について検討ほか）

(3) 成果指標

- ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 （16年度末現在）
- ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 （17年度末現在）
- ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 （18年度末現在）
- ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 （19年度末現在）
- ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 19、史跡 9、天然記念物 1 （20年度末現在）

11	文化振興費	2,959,028	決算事項別明細書 P67～
町民ギャラリーの維持管理(教育文化グループ)			予算事業名：文化振興事業費
当初予算額	1,093,000円	最終予算額	1,093,000円
		決算額	879,228円

各団体やグループ活動を行っている皆さんの発表の場として、町民ギャラリーの管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 光熱水費	31万円	・ 土地借上料	20万円
・ 施設管理委託	24万円		

(2) 活動指標

- ・ 施設使用 29件 （ギャラリー利用10件、和室利用19件）
（ギャラリー利用の内訳）
- 自由工房（木工芸品展示販売） 7回 焼物クラブ（作品展示販売） 1回
- 餅くらぶ（布小物・パッチワーク展示販売） 1回 その他（個人作品展等） 1回

(3) 活動指標の推移

- ・ 利用件数

平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
34件	29件	29件	29件

美術館・シャトルバスフリーパスの発行(教育文化グループ)			予算事業名：文化振興事業費
当初予算額	115,000円	最終予算額	115,000円
		決算額	79,800円

町内にある町営、民営の美術館10施設とシャトルバスを、年間通して利用できるフリーパスを作成し販売しました。

(1) 主な支出

- ・ フリーパス・ポスター印刷費 8万円

(2) 活動指標

- ・対象施設
 - ・町内の美術館10施設
北斎館、高井鴻山記念館、おぶせミュージアム、千曲川ハイクエミュージアム、フローラルガーデンおぶせ、歴史民俗資料館、日本のあかり博物館 陶磁器コレクション「了庵」、おぶせ中国美術館、現代中国美術館
 - ・町内周遊シャトルバス

(3) 活動指標の推移

- ・フリーバスの発行数

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
127枚	140枚	115枚	132枚	85枚

おぶせ学術・芸術文化サミット実行委員会交付金（教育文化グループ） 予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 2,000,000 円 決算額 2,000,000 円

地域に根ざした美術館、博物館の創造を目指すとともに、地域文化の進展に寄与することを目的に、小布施町が開催した国際北斎会議10周年を期に、地域学「おぶせ学術・芸術・文化サミット」を開催した。

(1) 活動指標

- ・10/24 基調講演・講座・参加者意見交換会（北斎ホール）
- ・10/25 基調講演・講座・研究発表・参加者意見交換会（鳳凰アリーナ）
- ・10/26 事例発表・エクスカージョン（鳳凰アリーナ）

12 生涯学習推進費 925,209 決算事項別明細書 P68～

生涯学習入門講座「まなともカレッジ」(教育文化グループ) 予算事業名：生涯学習入門講座事業費

当初予算額 845,000 円 最終予算額 845,000 円 決算額 769,710 円

「自分を高め、地域に生かす」をテーマに、若者からお年寄りまで幅広い層が受講できる各種講座を開いて、広く学習機会と交流の場を提供しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼 63 万円

(2) 活動指標

- ・学級・講座名、参加人数

学級・講座名	回数	延参加者数(人)
健康美容体操	10	51
ダンス	10	125
パソコン	10	210
パッチワーク	10	70
手品	10	49
手作りアロマ	10	35
コカリナ	10	139
手織り	10	91
童謡歌を歌う	10	160
おぶせセミナー	8	256
雁田山登山	1	70
計	99	1,256

(3) 活動指標の推移

- ・延べ参加者数

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
参加者数(人)	1,678	1,577	1,450	1,627	1,590	1,256
講座数	18	14	13	12	13	11

カルチャー大学講座・高齢者学級(教育文化グループ)

予算事業名：カルチャー大学事業費・高齢者学級事業費

当初予算額 219,000 円 最終予算額 219,000 円 決算額 155,499 円

時代に対応した知識や教養を身につけることを目的としたカルチャー大学と、高齢者が生きがいのある生活を送るため必要な趣味や教養を身につけることを目的とした高齢者学級を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 15 万円

(2) 活動指標

- ・ カルチャー大学 (5回) 8月9日、8月23日、9月13日、10月4日、12月19日
「最明寺入道と関山慧玄と上杉謙信」
講師：前県立歴史館学芸部長 郷道哲章 氏 ほかに4講座 311人参加
- ・ 高齢者学級 (10回)
5月13日、6月3日、6月24日、7月8日、7月22日、8月5日、8月27日、9月30日、10月22日、11月11日
「現在の東京について」
講師：小布施町長 市村良三 ほかに9講座 534人参加

(3) 活動指標の推移

- ・ 延べ参加者数 (単位：人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
カルチャー大学	130	416	93	290	375	311
高齢者学級	630	549	595	501	589	534

13 青少年育成費 6,349,523 決算事項別明細書 P68～

青少年育成自主活動事業への補助(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 300,000 円

各育成会を支援するため、その活動に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 育成会活動交付金の交付 28育成会 30万円

(2) 活動指標

- ・ 予算の範囲内で、育成会の自主的活動に対し交付 1事業 1,500円

(3) 活動指標の推移

- ・ 補助額等の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
育成会数	28育成会	28育成会	28育成会
補助金額	26万円	30万円	30万円

子ども会安全会費の助成(教育文化グループ)

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 165,000 円 最終予算額 165,000 円 決算額 159,130 円

育成会事業に参加する子ども会の安全会費(保険掛金)と長野地方子ども会育成連絡協議会の会費を補助しました。

- (1) 主な支出
 ・子ども会安全会費の補助 11万円
- (2) 活動指標
 ・保険内容 育成会活動の安全思想の普及に努め、活動中に生じた傷害、疾病、後遺障害または死亡に対して見舞金を支給
- (3) 成果指標
 ・見舞金（傷害） 1件（第29回小山田杯）

青少年問題協議会委員の活動(教育文化グループ) 予算事業名：青少年対策費
 当初予算額 77,000 円 最終予算額 77,000 円 決算額 0 円

青少年の問題等が発生した場合に調査・審議を行います。

- (1) 主な支出
 ・なし
- (2) 活動指標
 ・平成20年度は審議案件がなく開催しませんでした。
- (3) 活動指標の推移
 ・平成18～20年度 開催なし

小山田杯少年少女球技大会の開催(教育文化グループ) 予算事業名：青少年育成事業費
 当初予算額 470,000 円 最終予算額 540,000 円 決算額 532,871 円

青少年の心身の健全な育成を図り、地域でのふれあい交流と連帯意識を育成するため、球技大会（種目・キンボール）を開催しました。

- (1) 主な支出
- | | | | |
|---------|------|------------|------|
| ・入賞メダル等 | 4万円 | ・参加賞（蛍光ペン） | 10万円 |
| ・優勝楯（新） | 22万円 | ・需用費 | 17万円 |
- (2) 活動指標
- 小学生の部 26育成会 45チーム参加
 小学生の部 優勝 福原育成会 準優勝 中条育成会 3位 福原育成会
 - 中学生の部 23育成会 29チーム参加
 中学生の部 優勝 伊勢町育成会 準優勝 矢島育成会 3位 飯田育成会
- (3) 活動指標の推移
- 参加チーム数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
参加チーム数	69チーム	67チーム	74チーム
(内訳) 小学校	25育成会 (44チーム)	26育成会 (41チーム)	26育成会 (45チーム)
(内訳) 中学校	23育成会 (25チーム)	23育成会 (26チーム)	23育成会 (29チーム)

子どもみこし大会の開催(教育文化グループ)

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額 20,000 円 最終予算額 20,000 円 決算額 19,035 円

夏のイベント「くりんこ祭り」に合わせて、子どもみこし大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・消耗品、クリーニング代など 2万円

(2) 活動指標

- ・平成20年7月26日(土)開催

(3) 活動指標の推移

- ・参加チーム数の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
参加チーム数	27育成会	28育成会	28育成会

子ども教室の管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：子ども教室推進事業費

当初予算額 8,454,000 円 最終予算額 6,862,000 円 決算額 5,338,487 円

小学生の放課後や週末の保護を行うとともに、スポーツ・文化活動や農業・福祉体験などを通じてたくましい子どもを育むため支援しました。登録区分を、一般登録及び体験活動付きに分け、地域の皆さんとの交流や自主的な活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・嘱託職員人件費 267 万円
- ・講師謝礼 26 万円
- ・旅費 10 万円
- ・臨時職員の賃金 167 万円
- ・通信運搬費 11 万円
- ・需用費ほか 53 万円

(2) 活動指標

- ・子ども教室(一般・体験)登録人数 110名
受入時間 学校終了時～午後6時(冬期間・午後5時)
長期休業日 午前10時～午後3時
- ・親子わんぱく教室 年間 23回開催 延べ623人参加

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度
子ども教室登録人数	41人	98人	110人
親子わんぱく教室回数、人数	22回 558人	23回 647人	23回 623人

子どもたちの自主性が芽生え、こういう事がしたい、こういう活動をしようということを計画し実行する力が徐々に身につけてきました。また、自信をもって好きな事に取り組む姿勢が見られるようになってきました。登録区分を分けたことにより、利用者にもそれぞれの目的や役割を理解した上での利用を図ることができました。

6 保健体育費 23,359,158

1 保健体育総務費 3,289,356

決算事項別明細書 P68～

体育団体への支援(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 1,450,000 円 最終予算額 1,450,000 円 決算額 1,399,758 円

スポーツの普及のために活動している各体育団体へ支援を行いました。

(1) 主な支出

・ 体育団体補助金			
・ 町体育協会	100 万円	・ スポーツ少年団	15 万円
・ 少年硬式野球連盟	10 万円	・ 早起き野球連盟	5 万円
・ 全国スポーツ大会出場補助金	8.3 万円	・ その他	1.7 万円

(2) 活動指標

- ・ 町体育協会の活動内容

町長杯・町民大会競技開催運営（バドミントン・テニス・バレー・ゴルフほか） 分館対抗球技大会運営協力 教室開催（スキー・テニスほか） 各種行事ボランティア（見にマラソン・アートウォーク） 町民運動会運営

- ・ 少年硬式野球連盟の活動内容

各種大会参加 シニア（信越秋季大会・東北信ブロック新人大会・ライオンズ杯・日本選手権予選ほか） リトル（信越マイナー大会・信越秋季大会・須高少年硬式大会 ジョイフル大会ほか）

- ・ スポーツ少年団の活動内容

各単位団競技交流（バドミントン・野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バレー・サッカー・ミニバスケットボール）

- ・ 早起き野球連盟の活動内容

グラウンド整備 大会開催 各種大会参加（北信ダークホース・各市町村杯大会出場）

(3) 成果指標

- ・ スポーツ少年団男子・女子バレーボール 全国大会出場 など

海の家開設(教育文化グループ)

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額	220,000 円	最終予算額	220,000 円	決算額	90,650 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

海のない長野県で、より多くの住民の皆さんに楽しんでいただくため、海の家を開設しました。

(1) 主な支出

- ・ 海の家利用料 9万円

(2) 活動指標

- ・ 休憩 3箇所 延べ 160人利用
- ・ 宿泊 2箇所 延べ 5人利用

体育指導委員活動の推進(教育文化グループ)

予算事業名：体育指導委員活動費

当初予算額	537,000 円	最終予算額	537,000 円	決算額	320,620 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

町民の皆さんにスポーツへの関心や理解を深めていただくため、魅力あるスポーツ行事の企画立案やスポーツ教室での指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 体育指導委員報酬 委員7人 15.5万円
- ・ 体育指導委員ウェア 10.5万円
- ・ 各種大会・協議会負担金 6万円

(2) 活動指標

- ・ 体育指導委員会議 10 回開催
スポーツ教室の企画・立案などを協議
- ・ レクリエーションスポーツ教室の実技指導 4回

スポーツ教室や町民運動会の企画立案から実施まで幅広く活動しており、町のスポーツ振興、町民の体力づくりに寄与しています。

楽しくできる健康づくりの推進(教育文化グループ) 予算事業名：健康づくり事業費

当初予算額 504,000 円 最終予算額 504,000 円 決算額 131,400 円

子どもから大人まで、スポーツ経験のほとんどない人を対象にして、運動に親しむことを目的にレクリエーションスポーツ教室を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 1 万円
- ・スポーツ用品 12.1 万円

(2) 活動指標

- ・レクリエーションスポーツ教室
平成21年3月毎週水曜日開催（計4回） 延べ120人参加

町民運動会の開催(教育文化グループ) 予算事業名：町民運動会事業費

当初予算額 1,137,000 円 最終予算額 1,137,000 円 決算額 1,131,763 円

町民の皆さんの親睦と交流を深めることを目的に、自治会やコミュニティ対抗で行う町民運動会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・参加賞・トロフィー 87万円
- ・大会経費 26 万円

(2) 活動指標

- ・期日：平成20年10月12日（日）
- ・場所：栗ガ丘小学校グラウンド
- ・参加：28自治会
優勝 山王島 準優勝 横町 3位 林

1年に一度の体育の祭典として伝統行事となっています。大会当日だけでなく、直前まで行われる自治会ごとの練習を通じて町民の体力向上や区民どうしの親睦が図られています。

分館対抗球技大会の開催(教育文化グループ) 予算事業名：分館対抗球技大会事業費

当初予算額 40,000 円 最終予算額 47,000 円 決算額 46,400 円

町民の体力向上や親睦を図るため、ソフトミニバレーボールとバドミントンの分館対抗の球技大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・大会消耗品（トロフィー、ラインテープなど） 4.6万円

(2) 活動指標

- ・ソフトミニバレーボール大会 平成20年6月15日 25分館参加 優勝 伊勢町
- ・バドミントン大会 平成21年3月8日 26分館参加
一部優勝 東町 二部優勝 六川

市町村対抗駅伝大会等への出場(教育文化グループ) 予算事業名：各種競技大会経費

当初予算額 245,000 円 最終予算額 245,000 円 決算額 168,765 円

県市町村対抗駅伝競走大会へ出場しました。また、県縦断駅伝競走大会へ須高チームとして出場する須高陸上協会の経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・選手への謝礼 3.4 万円

- ・県縦断駅伝競走大会の負担金 6 万円
- ・市町村対抗駅伝競走大会の負担金 1.3 万円
- ・消耗品、お茶・弁当代等 6.2 万円

(2) 活動指標

- ・県市町村対抗駅伝競走大会 5月6日 総合33位 (参加： 56 チーム)
- ・県市町村対抗小学生駅伝競走大会 5月6日 総合48位 (参加： 57 チーム)
- ・県縦断駅伝競走大会 11月15日～16日 総合12位 (参加： 15 チーム)

2	体育施設費	20,069,802	決算事項別明細書 P68～
体育施設の維持管理(教育文化グループ)			予算事業名：体育施設管理費
当初予算額	14,425,000 円	最終予算額	14,425,000 円
		決算額	13,761,580 円

町民の皆さんのスポーツ活動の場として、気持ちよくご利用いただけるよう施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- | | | | |
|---------|--------|------------|--------|
| ・光熱水費 | 442 万円 | ・施設の清掃委託等 | 90 万円 |
| ・土地借上料 | 483 万円 | ・電気保安業務委託等 | 18 万円 |
| ・体育施設備品 | 40 万円 | ・体育施設の修繕料 | 207 万円 |
| ・消耗品等 | 96 万円 | | |

(2) 活動指標

- ・施設の修繕

・総合体育館	17 万円	・小学校グラウンド	1 万円
・トレーニングセンター	36 万円	・雁田山案内説明板	30 万円
・北部体育館	99 万円	・ほか体育施設	24 万円
- ・体育施設利用者会議 年2回 (8月、2月開催)

会議により利用者の皆さんのマナーの向上が図られています。

サマーランドの管理運営(須高行政事務組合)(教育文化グループ)			予算事業名：体育施設管理費
当初予算額	4,655,000 円	最終予算額	4,060,000 円
		決算額	3,965,000 円

須高行政事務組合が運営する総合プール(サマーランド)の運営に必要な経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金 396.5万円

体育施設の整備(教育文化グループ)			予算事業名：体育施設整備事業費
当初予算額	2,600,000 円	最終予算額	2,600,000 円
		決算額	2,343,222 円

町営グラウンドフェンス金網取替え工事、雁田山ハイキングコース整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設修繕工事 234万円

(2) 活動指標

- ・町営グラウンド金網取替え工事 184万円
- ・雁田山ハイキングコース整備 50万円

7 給食センター費 45,353,145

1 給食センター費 45,353,145

決算事項別明細書 P69～

学校給食センターの管理運営(教育文化グループ)

予算事業名：給食センター管理費

当初予算額 46,571,000 円 最終予算額 46,578,000 円 決算額 45,353,145 円

幼稚園・小中学校の給食約1,200食を、おいしく、安全で、衛生的に提供するよう努めました。また、お米は農家等の皆さんの協力を得て、小布施で収穫されたものだけを使用しました。野菜等についても、可能な限り地元産のものを取り入れ「食育」と「地産地消」を進めました。

(1) 主な支出

・ 光熱水費	562 万円	・ 調理器具の保守点検などの委託	224 万円
・ 施設用地の借上げ	170 万円	・ 職員・調理員の人件費	2,331 万円
・ 施設の修繕料	148 万円	・ 衛生用品、調理用品	335 万円
・ 食油濾過機	45 万円	・ その他の経費	648 万円
・ 冷蔵庫	72 万円		

(2) 活動指標

① 給食数(延べ)及び給食費

区 分	学 級 数	給食日数	給 食 数	月額給食費 (円)		1食当たり(円)
				上4月下5月～	2月	4月・5月～
幼 稚 園	5	205	21,835	4,300	3,594	232・251
				4,800		
小 学 校	25	208	146,110	4,600	4,556	242・262
				5,000		
中 学 校	11	205	77,042	5,400	4,500	280・305
				5,800		
計	41		244,987			

※H20.5.1より給食費改正

② 学校給食センター運営委員会の開催

- ・ 委員構成 町理事者代表 1人、小中学校長及び幼稚園長 3人、学校医代表 1人、学校薬剤師代表 1人、小中学校PTA代表 2人、幼稚園保護者会代表 1人 計9人
- ・ 委員会開催数 年 1 回開催 (平成21年2月24日8人出席)
- ・ 内 容 給食費の額の決定並びに決算の認定や業務計画の決定に関すること等を審議しました。

③ 学校給食会の開催

- ・ 委員構成 幼稚園 1人、小学校 4人、中学校 4人、教育委員会 4人、給食センター 2人
- ・ 委員会開催数 年2回開催(平成20年11月18日15人出席、平成21年3月15日15人出席)
- ・ 内 容 予算、決算及び給食会運営上の反省と給食に対する要望等を協議しました。

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
10			公債費	714,439,478	
	1		公債費	714,439,478	
		1	元金	611,355,685	決算事項別明細書 P69～
			町債(借金)の返済(総務グループ)		予算事業名：償還元金
			当初予算額 611,356,000 円	最終予算額 611,356,000 円	決算額 611,355,685 円
<p>道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(元金)を行いました。また、平成19年度から平成21年度にかけて予定されている、政府系資金の公的資金補償金免除繰上償還を行いました。</p> <p>(1) 主な支出及び(2)活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 償還元金 6億1,136 万円 (うち公的資金補償金免除繰上償還に係るもの 1,882万円) <p>(2) 成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会計町債残高(平成20年度末) 47億8,936万円 (普通会計町債の詳細については、「4.普通会計決算の状況」に記載) 					
		2	利子	103,083,377	決算事項別明細書 P70～
			町債(借金)の返済(総務グループ)		予算事業名：支払利子
			当初予算額 106,241,000 円	最終予算額 106,241,000 円	決算額 103,083,377 円
<p>道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(利子)を行いました。</p> <p>(1) 主な支出及び(2)活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 支払利子 1億308 万円 <p>(2) 成果指標</p> <p>民間銀行等から借り受けた3%以上の地方債については、平成16年度までに繰上償還を終了しています。平成19年度からは平成21年度まで行われる5.5%以上の政府系資金の繰上償還を実施し、将来負担となる公債費の利子2,475万円が軽減されます。</p>					
		3	公債諸費	416	決算事項別明細書 P70～
			町債(借金)の返済(総務グループ)		予算事業名：公債諸費
			当初予算額 100,000 円	最終予算額 100,000 円	決算額 416 円
<p>ふるさと融資償還条件変更にかかる手数料を支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 手数料 0.1 万円 					

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
11			予備費	0	
	1		予備費	0	
		1	予備費	0	決算事項別明細書 P70～
			一般会計の予備費(総務グループ)		予算事業名：予備費
			当初予算額 34,989,000 円	最終予算額 63,503,000 円	決算額 0 円
<p>予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるための経費で、他の予算に充用して支出されるものです。(予備費としての支出はありません)</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> 予備費 0 万円 					

6. 会計別決算概要

II 国民健康保険特別会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度の国民健康保険財政は、歳入で前年比 1,181 万 9 千円増の 11 億 474 万 9 千円、歳出では前年比 5,973 万 8 千円増の 10 億 8,585 万 1 千円となり、差し引きの残額は 1,889 万 8 千円となりました。

2 歳入

(1) 国民健康保険税

国民健康保険税は 3 億 829 万 4 千円で、対前年比 20.2% (7,819 万 4 千円) の減となりました。これは、被保険者数の減や税制改正の影響によるものです。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は 2 億 6,354 万 1 千円で、対前年比 5.1% (1,421 万 6 千円) の減となりました。

(3) 前期高齢者交付金

これは、65 歳から 74 歳までの前期高齢者に係る保険者間の費用負担の財政調整によるもので、平成 20 年度から創設され、2 億 1,056 万 3 千円の交付がありました。

(4) 県支出金

県支出金は 4,945 万 9 千円で、対前年比 6.0% (314 万 7 千円) の減となりました。

(5) 療養給付費交付金

療養給付費交付金は 9,711 万 4 千円で、対前年比 51.0% (1 億 127 万 7 千円) の減となりました。これは、主に退職被保険者の減少等によるものです。

(6) 共同事業交付金

共同事業交付金は 9,683 万 9 千円で、対前年比 12.3% (1,059 万 7 千円) の増となりました。これは、高額な医療費の増加によるものです。

(7) その他

繰入金金は、4,529 万 3 千円で、対前年比 20.4% (1,158 万円) の減となりました。

3 歳出

(1) 総務費

総務費は697万7千円で、対前年比56.9%（922万8千円）の減になりました。これは前年度後期高齢者医療制度に係る国保関連システムの改修費用がなくなったためです。

(2) 保険給付費

保険給付費は7億2,022万1千円で、対前年比9.3%（6,117万9千円）の増になりました。これは、医療機関等への受診率の増や一般被保険者における一人当たり入院費用等の増などによるものです。

(3) 後期高齢者支援金等、前期高齢者納付金等

共に平成20年度から歳出することになったもので、後期高齢者支援金等は、後期高齢者医療制度の医療費に要する費用の財源とするために拠出するもので、1億3,080万5千円を支出、前期高齢者納付金等は、65歳から74歳までの前期高齢者医療の給付費について拠出するもので、17万6千円を支出しました。

(4) 老人保健拠出金

老人保健拠出金は3,163万3千円で、対前年比79.6%（1億2,309万2千円）の減になりました。これは、老人保健から後期高齢者医療制度への移行に伴うものです。

(5) 介護納付金

介護納付金は6,461万3千円で、対前年比4.1%（274万7千円）の減になりました。

(6) 共同事業拠出金

共同事業拠出金は1億1,126万1千円で、対前年比9.2%（940万9千円）の増になりました。

(7) 保健事業費

保険事業費は1,263万7千円で、対前年比99.8%（631万2千円）の増になりました。これは、昨年度から新たに特定健診が始まったことによるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
国民健康保険税	308,294	27.9%	386,488	35.4%	△ 78,194	△ 20.2%
使用料及び手数料	64	0.0%	82	0.0%	△ 18	△ 22.0%
国庫支出金	263,541	23.9%	277,757	25.4%	△ 14,216	△ 5.1%
前期高齢者交付金	210,563	19.1%	0	0.0%	210,563	皆増
県支出金	49,459	4.5%	52,606	4.8%	△ 3,147	△ 6.0%
療養給付費交付金	97,114	8.8%	198,391	18.2%	△ 101,277	△ 51.0%
共同事業交付金	96,839	8.8%	86,242	7.9%	10,597	12.3%
財産収入	795	0.1%	728	0.1%	67	9.2%
繰入金	45,293	4.1%	56,873	5.2%	△ 11,580	△ 20.4%
繰越金	26,446	2.4%	30,001	2.7%	△ 3,555	△ 11.8%
諸収入	6,341	0.6%	3,762	0.3%	2,579	68.6%
合 計	1,104,749	100.0%	1,092,930	100.0%	11,819	1.1%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	6,977	0.6%	16,205	1.6%	△ 9,228	△ 56.9%
保険給付費	720,221	66.3%	659,042	64.2%	61,179	9.3%
後期高齢者支援金等	130,805	12.0%	0	0.0%	130,805	皆増
前期高齢者納付金等	176	0.0%	0	0.0%	176	皆増
老人保健拠出金	31,633	2.9%	154,725	15.1%	△ 123,092	△ 79.6%
介護納付金	64,613	6.0%	67,360	6.6%	△ 2,747	△ 4.1%
共同事業拠出金	111,261	10.2%	101,852	9.9%	9,409	9.2%
保健事業費	12,637	1.2%	6,325	0.6%	6,312	99.8%
基金積立金	795	0.1%	728	0.1%	67	9.2%
公債費	-	-	-	-	-	-
諸支出金	6,733	0.6%	19,876	1.9%	△ 13,143	△ 66.1%
合 計	1,085,851	100.0%	1,026,113	100.0%	59,738	5.8%

歳入歳出差引額

18,898

66,817

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
1			総務費	6,977,066	
	1		総務管理費	3,413,561	
		1	一般管理費	2,786,464	

決算事項別明細書 P84～

資格管理・レセプト点検(健康グループ)

新たに国民健康保険に加入した方に被保険者証を交付し、また他の健康保険に加入された方からは被保険者証を回収します。また、町の国保に加入する前、辞めた後に被保険者証を使っていないか確認しています。

医療機関等から請求された医療費の内容について、レセプト（診療報酬明細書）の点検を行うことにより医療費の適正化を図っています。

被保険者の状況

区 分		前年度末 現 在	本年度末 現 在	年間平均	
世 帯 数 (世帯)		2,152	1,716	1,738	
者被 数 (保 人) 險	総 数 A	4,632	3,404	3,489	
	一般被保険者数	B	3,737	3,142	3,176
		(再掲)前期高齢者 C	1,224	1,129	1,126
	(再掲)上記以外のもの (B-C)	2,513	2,013	2,050	
退職被保険者数 D		895	262	313	

(単位：人)

増被 減保 内 険 訳 者	本年度中増	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	そ の 他	計
		65	447	0	16	22	550
	本年度中減	転 出	社保加入	生保開始	死 亡	そ の 他	計
		83	309	5	21	1,360	1,778

(1) 主な支出

- ・ 保険証作成委託料 19 万円
- ・ 国保資格確認事務委託料 75 万円
- ・ レセプト点検賃金 70 万円

(2) 活動指標

電算事務委託

- ・ 被保険者証の更新 10月1日

レセプト点検 点検レセプト枚数 46,953 枚

	枚 数	金 額 (万円)
再審査依頼レセプト	778	441
査定決定レセプト	735	334
返戻レセプト	43	107

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
点検レセプト枚数	39,861		42,388		45,780		46,444		46,953	
再審査依頼レセプト	224	345	471	308	626	2,130	492	702	778	441
査定決定レセプト	74	12	416	298	483	401	435	606	735	334
返戻レセプト	24	185	31	51	39	147	57	96	43	107

2	連合会負担金	627,097
連合会負担金(健康グループ)		
医療機関への医療費の支払い等を委託している長野県国民健康保険団体連合会に対し負担金を支払いました。		
(1) 主な支出		
・長野県国民健康保険団体連合会負担金 63万円		
(2) 活動指標		
・医療費の審査、取りまとめ、医療費支払いの代行等を委託		

2	徴税費	3,483,005
1	賦課徴収費	3,483,005

保険税の賦課・徴収(税務グループ)

加入者に収めていただく保険税の計算と徴収を行いました。

- (1) 主な支出
- ・課税及び収納業務委託(保守を含む) 2,070万円
 - ・国保業務ソフトウェア使用料 1,298万円

- (2) 活動指標
- ・国民健康保険税の状況(過年度遡及分除く)

税 率	医 療 分	支 援 分	介 護 分
所 得 割	5.80 %	1.60 %	1.70 %
資 産 割	17.00 %	5.00 %	7.50 %
均 等 割	22,100 円	6,400 円	9,500 円
平 等 割	20,300 円	5,700 円	6,000 円
賦 課 限 度 額	470,000 円	120,000 円	90,000 円

算出税額(軽減等前)	医 療 分	支 援 分	介 護 分
所 得 割 額	12,548 万円	3,462 万円	1,909 万円
資 産 割 額	1,985 万円	584 万円	393 万円
均 等 割 額	7,523 万円	2,179 万円	1,251 万円
平 等 割 額	3,481 万円	978 万円	577 万円
計 … (A)	25,537 万円	7,203 万円	4,130 万円

軽減・限度額超過	医療分		支援分		介護分		合計 軽減額
	対象数	軽減額	対象数	軽減額	軽減数	軽減額	
7 均等割(人)	548	848万円	548	246万円	203	135万円	1,229万円
割 平等割(世帯)	352	521万円	352	146万円	174	73万円	740万円
5 均等割(人)	232	256万円	232	74万円	77	37万円	367万円
割 平等割(世帯)	101	116万円	101	32万円	57	17万円	165万円
2 均等割(人)	333	147万円	333	43万円	107	20万円	210万円
割 平等割(世帯)	177	97万円	177	27万円	82	10万円	134万円
合(均等割(人))	1,113	1,251万円	1,113	363万円	387	192万円	1,806万円
計(平等割(世帯))	630	734万円	630	205万円	313	100万円	1,039万円
限度超過額(世帯) … C	32	1,244万円	47	390万円	64	328万円	1,962万円

	医 療 分	支 援 分	介 護 分
算出税額 … (A-B-C)	21,621 万円	6,045 万円	3,470 万円

1世帯当り国保税(円)	126,069	35,247	36,105
1人当り国保税(円)	63,516	17,758	26,346

※ 応益割合 = (均等割額 + 平等割額) ÷ (算出税額(計) - 限度超過額)

45.30 % (医療分) 46.34 % (支援分) 48.08 % (介護分)

・ 収 納 率 (現年課税分)

(単位 : 円)

区 分	調 定 額	収入済額	収 納 率
一 般	279,353,442	272,127,782	97.4%
退 職	32,996,158	32,752,118	99.3%
計	312,349,600	304,879,900	97.6%

(3) 活動指標の推移

・ 1人当たり国保税の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
医 療 分	60,698	64,086	67,231	76,619	63,516
支 援 分	-	-	-	-	17,758
介 護 分	14,203	13,897	13,999	26,355	26,346

・ 収納率 (現年度) の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
一 般	96.8%	98.3%	98.4%	97.5%	97.4%
退 職	98.6%	98.9%	98.8%	99.1%	99.3%
計	97.1%	98.4%	98.4%	97.8%	97.6%

2 滞納処分費 0

(1) 主な支出

なし

3 運営協議会費 80,500

1 運営協議会費 80,500

国民健康保険運営協議会の開催(健康グループ)

国保の運営上重要な事項、例えば一部負担金の負担割合、保険税の賦課方法、保健事業等の事項について協議していただきました。

(1) 主な支出

・ 委員報酬 8万円

(2) 活動指標

国保運営協議会

・ 委員 9人 (構成: 被保険者代表、保険医等代表、公益代表 各3人)

・ 協議会の開催 3回

開催日

内 容 平成20年度事業計画及び予算について

平成21年度国民健康保険当初予算(案)について

国民健康保険特別会計の近年の状況について

2	保険給付費	720,221,387
1	療養諸費	649,319,713
1	一般被保険者療養給付費	566,722,252

決算事項別明細書 P84～

医療機関等へ一般被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ一般被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

- ・療養給付費 5億6,672万円

(2) 活動指標

- ・療養給付費の状況 (単位：万円)

区 分		件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分
合 計		41,961	59,461	77,569	56,622	18,987	1,960
被 一 保 険 者 分 般	内 訳	診 療 費					
		入 院	568	8,950	25,759		
		入 院 外	24,834	41,732	31,288		
		歯 科	3,766	8,751	5,527		
		調 剤	12,788	16,594	13,390		
		食 事 療 養	555	23,797	1,580		
		訪 問 看 護	5	28	26		

- ・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
一 般	入 院	27.7件	15.8日	28,781円	125,653円	453,500円
	入 院 外	1,211.4件	1.7日	7,497円	152,625円	12,599円
	歯 科	183.7件	2.3日	6,316円	26,960円	14,676円
	計	1,422.8件	2.0日	10,528円	305,238円	21,453円

- ア 受診率 = 年間診療件数 ÷ 年間平均被保険者数 … (100人当り受診件数)
- イ 1件当り日数 = 診療日数 ÷ 診療件数 … (1ヶ月における平均日数)
- ウ 1日当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療日数 … (1日当り費用単価)
- エ 1人当り費用額 = 診療費用額 ÷ 年間平均被保険者数 … (年間1人当りの平均費用額)
- オ 1件当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療件数 … (1件当りの費用単価)

(3) 活動指標の推移

- ・1人当り費用額の推移

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入 院	59,642円	65,704円	75,027円	57,346円	125,653円
入 院 外	75,217円	79,826円	80,625円	80,962円	152,625円
歯 科	16,788円	15,680円	16,300円	15,403円	26,960円
計	151,646円	161,210円	171,952円	153,711円	305,238円

2	退職被保険者等療養給付費	71,663,983
---	--------------	------------

医療機関等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ退職被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

- ・療養給付費 7,166万円

(2) 活動指標

・療養給付費の状況

(単位：万円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 分 負 担 額	一 部 負 担 金	他 法 分	
被退 保 險 者 分 職	合 計		5,457	7,577	9,693	6,924	2,697	72	
	内 訳	診 療 費	入 院	69	1,146	2,899			
			入 院 外	3,264	5,228	4,053			
			歯 科	502	1,203	763			
			調 剤	1,622	2,024	1,795			
			食 事 療 養	60	2,659	183			
			訪 問 看 護	0	0	0			

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
退 職 者	入 院	22.0件	16.6日	25,297円	92,620円	420,145円
	入 院 外	1,042.8件	1.6日	7,752円	129,489円	12,417円
	歯 科	160.4件	2.4日	6,342円	24,377円	15,199円
	計	1,225.2件	2.0日	10,182円	246,486円	20,117円

(3) 活動指標の推移

・1人当り費用額の推移

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入 院	97,246円	121,012円	105,269円	105,157円	92,620円
入院外	111,021円	121,982円	121,982円	139,022円	129,489円
歯 科	23,102円	25,433円	25,433円	22,584円	24,377円
計	231,369円	268,427円	268,427円	266,764円	246,486円

3 一般被保険者療養費 7,114,012

加入者等へ一般被保険者の療養費の支払(健康グループ)

国保加入者(一般被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 711 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	15	65,060	46,375	18,685
柔道整復師・補装具・ハリ等	1,059	9,598,895	7,027,153	2,375,193
計	1,074	9,663,955	7,073,528	2,393,878

(3) 活動指標の推移

件数と金額の推移

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	609	693	688	618	1,074
保険者負担額	4,437,876円	5,261,826円	5,319,022円	4,889,487円	7,073,528円

4	退職被保険者等療養費	1,158,213
---	------------	-----------

加入者等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)

国保加入者(退職被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

- (1) 主な支出
 ・療養費 116万円

- (2) 活動指標
 ・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	-	-	-	-
柔道整復師・補装具・ハリ等	152	1,598,780	1,158,213	440,567
計	152	1,598,780	1,158,213	440,567

- (3) 活動指標の推移
 ・件数と金額の推移

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	190	226	254	232	152
保険者負担額	1,355,858円	1,951,294円	2,627,357円	2,650,777円	1,158,213円

5	審査支払手数料	2,661,253
---	---------	-----------

医療内容の審査(健康グループ)

長野県国民健康保険団体連合会で行っている医療内容の審査にかかる手数料を支払いました。

- (1) 主な支出
 ・審査手数料 266万円

- (2) 活動指標
 ・主な審査手数料

医療の内容	件数(件)	単価(円)	金額(円)
療養給付費	47,429	54	2,561,166
療養費	1,117	54	60,318
計	48,546		2,621,484

※平成20年3月診療分から平成21年2月診療分

2	高額療養費	63,174,491
---	-------	------------

1	一般被保険者高額療養費	55,788,412
---	-------------	------------

2	退職被保険者等高額療養費	7,386,079
---	--------------	-----------

加入者へ高額医療費の支払(健康グループ)

医療費が高額となった場合、自己負担限度額を超えた額を加入者にお支払いしました。

- (1) 主な支出
 ・一般被保険者高額療養費 5,579万円
 ・退職被保険者等高額療養費 739万円

- (2) 活動指標
 高額療養費支出状況
 ・一般被保険者高額療養費 919件
 ・退職被保険者高額療養費 132件

3	移送費	0																						
	1 一般被保険者移送費	0																						
	2 退職被保険者等移送費	0																						
(1) 主な支出 なし																								
4	出産育児諸費	4,640,000																						
	1 出産育児一時金	4,640,000																						
国民健康保険加入者の出産費の支払(健康グループ)																								
国保加入者の方の出産にかかった費用を負担しました。																								
(1) 主な支出 ・ 出産育児一時金 464 万円																								
(2) 活動指標 ・ 妊娠4カ月を超える出産に係るもの 1人 35万円(胎児数に応じて支給)×10人 1人 38万円(胎児数に応じて支給)×3人																								
(3) 活動指標の推移 ・ 過去の推移																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>18件</td> <td>10件</td> <td>12件</td> <td>13件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>保険者負担額</td> <td>540万円</td> <td>300万円</td> <td>385万円</td> <td>455万円</td> <td>464万円</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	件数	18件	10件	12件	13件	13件	保険者負担額	540万円	300万円	385万円	455万円	464万円
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																			
件数	18件	10件	12件	13件	13件																			
保険者負担額	540万円	300万円	385万円	455万円	464万円																			
5	葬祭諸費	1,100,000																						
	1 葬祭費	1,100,000																						
国民健康保険加入者の葬祭費の支払(健康グループ)																								
国保加入者の方の葬祭にかかった費用の一部を負担しました。																								
(1) 主な支出 ・ 葬祭費 110 万円																								
(2) 活動指標 ・ 葬祭を行った者 4万円×4件 5万円×19件																								
(3) 活動指標の推移																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>67件</td> <td>87件</td> <td>73件</td> <td>85件</td> <td>23件</td> </tr> <tr> <td>保険者負担額</td> <td>268万円</td> <td>348万円</td> <td>292万円</td> <td>340万円</td> <td>110万円</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	件数	67件	87件	73件	85件	23件	保険者負担額	268万円	348万円	292万円	340万円	110万円
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																			
件数	67件	87件	73件	85件	23件																			
保険者負担額	268万円	348万円	292万円	340万円	110万円																			
6	精神諸費	1,987,183																						
	1 精神給付金	1,987,183																						
精神給付金の支払(健康グループ)																								
精神障害者の方の通院治療費の一部を負担しました。																								
(1) 主な支出 ・ 精神給付金 199 万円																								
(2) 活動指標																								

・自立支援医療（旧精神通院公費）の自己負担相当額を支給 1,232件

(3) 活動指標の推移

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	1,233件	1,125件	1,089件	1,220件	1,232件
保険者負担額	113万円	107万円	157万円	189万円	199万円

3	後期高齢者支援金等	130,805,424			
1	後期高齢者支援金等	130,805,424			
1	後期高齢者支援金	130,784,904			
2	後期高齢者関係事務費拠出金	20,520		決算事項別明細書	P86～
後期高齢者医療保険のための負担金の支払(健康グループ)					
後期高齢者医療保険への支援金（医療費・事務費拠出金）です。					
(1) 主な支出					
・後期高齢者支援金等 1億3,081万円					
4	前期高齢者納付金等	176,130			
1	前期高齢者納付金等	176,130			
1	前期高齢者納付金	157,320			
2	前期高齢者関係事務費拠出金	18,810		決算事項別明細書	P87～
前期高齢者のための負担金の支払(健康グループ)					
前期高齢者納付金負担調整額（医療費・事務費拠出金）です。					
(1) 主な支出					
・前期高齢者納付金等 18万円					
5	老人保健拠出金	31,633,177			
1	老人保健拠出金	31,633,177			
1	老人保健医療費拠出金	31,324,911			
2	老人保健事務費拠出金	308,266		決算事項別明細書	P87～
老人保健のための負担金の支払(健康グループ)					
老人保健への医療費拠出金と事務費拠出金です。					
(1) 主な支出					
・老人保健拠出金 3,163万円					
6	介護納付金	64,612,715			
1	介護納付金	64,612,715			
1	介護納付金	64,612,715		決算事項別明細書	P87～
介護保険のための負担金の支払(健康グループ)					
国保被保険者のうち介護保険の第2号被保険者より徴収した保険税を社会保険診療報酬支払基金へ納付しました。					
(1) 主な支出					
・介護納付金 6,461万円					
(2) 活動指標					
・介護給付費・地域支援事業支援納付金 平成20年度概算 7,068万円					

1,424人（第2号被保険者数） × 49,633円（第2号被保険者1人当り負担額）
 平成18年度精算 △ 607万円

7	共同事業拠出金	111,260,745	
1	共同事業拠出金	111,260,745	
1	高額医療費共同事業拠出金	14,996,240	
2	保険財政共同安定化事業拠出金	96,264,505	
3	その他共同事業拠出金	0	決算事項別明細書 P88～

市町村間の保険事業の掛金の支払(健康グループ)

医学、薬学の進歩、疾病構造の変化等に伴い、高額な医療費が発生する機会が増加したため、国民健康保険団体連合会が事業主体となり、各保険者からの拠出金により高額医療費の発生による保険者の財政運営の安定化を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 高額医療費共同事業拠出金 1,500万円
- ・ 保険財政共同安定化事業拠出金 9,626万円

8	保健事業費	12,637,241	
1	特定健康診査等事業費	11,914,553	
1	特定健康診査等事業費	11,914,553	決算事項別明細書 P88～

特定健康診査の実施(健康グループ)

生活習慣病が増え、その元となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の早期発見を目的に、「特定健診」を行い、生活習慣の改善が必要な場合は「特定保健指導」を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 個別特定健診の委託 356万円
- ・ 集団特定健診の委託 214万円

人間ドック費用の補助(健康グループ)

町国民健康保険加入者の皆さんの人間ドックにかかる費用を補助しました。

(1) 主な支出

- ・ 人間ドック受診補助金 426万円

(2) 活動指標

- ・ 人間ドック補助数

区 分	一 般		節 目 (40、50歳)	
	一日ドック	一泊ドック	一日ドック	一泊ドック
補助単価 (万円)	2	3	3.5	4.5
補助人数 (人)	159	30	5	0

(3) 活動指標の推移

- ・ 人間ドック受診者数 (単位：人)

受診者数 (人)	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	203	190	199	229	194

2	保健事業費	722,688	
1	保健衛生普及費	722,688	決算事項別明細書 P88～

制度周知パンフレットの配付(健康グループ)

10月の保険証更新に伴い、制度周知パンフレットとエイズ啓発パンフレットを配付しました。

	(1) 主な支出 ・パンフレットの購入 21 万円																																			
	(2) 活動指標 ・制度周知パンフレット 「はつらつ国保」 2,300部 ・エイズ啓発パンフレット 「エイズに取り組むための7つのカギ」 1,700部																																			
9	基金積立金	795,000																																		
	1 基金積立金	795,000																																		
	1 基金積立金	795,000			決算事項別明細書 P88～																															
	財政調整基金など基金への積立(健康グループ)																																			
	財政調整基金など、基金への積み立てを行いました。																																			
	(1) 主な支出 ・基金積立金 80 万円																																			
	(2) 活動指標 ・基金の状況 (単位：万円)																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区 分</th> <th rowspan="3">平成19 年度末</th> <th colspan="3">平成20年度</th> <th rowspan="3">平成20 年度末</th> </tr> <tr> <th colspan="3">積立金額</th> <th rowspan="2">取崩額</th> </tr> <tr> <th>積 立</th> <th>利 子</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財政調整基金</td> <td>20,701</td> <td></td> <td>75</td> <td>75</td> <td>20,776</td> </tr> <tr> <td>出産資金貸付基金</td> <td>101</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>高額医療費資金貸付基金</td> <td>1,012</td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	平成19 年度末	平成20年度			平成20 年度末	積立金額			取崩額	積 立	利 子	計	財政調整基金	20,701		75	75	20,776	出産資金貸付基金	101		1	1	102	高額医療費資金貸付基金	1,012		4	4	1,016
区 分	平成19 年度末	平成20年度			平成20 年度末																															
		積立金額						取崩額																												
		積 立	利 子	計																																
財政調整基金	20,701		75	75	20,776																															
出産資金貸付基金	101		1	1	102																															
高額医療費資金貸付基金	1,012		4	4	1,016																															
	(3) 活動指標の推移 ・基金残高の推移 (単位：万円)																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財政調整基金</td> <td>16,160</td> <td>13,281</td> <td>16,595</td> <td>20,701</td> <td>20,776</td> </tr> <tr> <td>出産資金貸付基金</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>101</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>高額医療費資金貸付基金</td> <td>1,006</td> <td>1,007</td> <td>1,008</td> <td>1,012</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	財政調整基金	16,160	13,281	16,595	20,701	20,776	出産資金貸付基金	100	100	100	101	102	高額医療費資金貸付基金	1,006	1,007	1,008	1,012	1,016							
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																															
財政調整基金	16,160	13,281	16,595	20,701	20,776																															
出産資金貸付基金	100	100	100	101	102																															
高額医療費資金貸付基金	1,006	1,007	1,008	1,012	1,016																															
10	公債費	0																																		
	1 公債費	0																																		
	1 利子	0			決算事項別明細書 P89～																															
	(1) 主な支出 なし																																			
11	諸支出金	6,732,562																																		
	1 償還金及び還付加算金	6,732,562																																		
	1 一般被保険者保険税還付金	281,500																																		
	2 退職被保険者等保険税還付金	0			決算事項別明細書 P89～																															
	保険税の還付(税務グループ)																																			
	(1) 主な支出 ・保険税の還付 28 万円																																			
	3 償還金	0																																		
	(1) 主な支出 なし																																			

4	一般被保険者還付加算金	7,800	
(1) 主な支出			
・ 還付加算金 1 万円			
5	退職費保険者等還付加算金	0	
(1) 主な支出			
なし			
6	返納金	6,443,262	
(1) 主な支出			
・ 療養給付費等負担金返還金 644 万円			

6. 会計別決算概要

Ⅲ 老人保健特別会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度の老人保健特別会計は、後期高齢者医療保健の開始の伴い、実質上の保険給付事業は 4・5 月分（診療月 2・3 月分）と、月遅れ請求に対応できる会計規模としました。

歳入では、前年の 13%にあたる 1 億 3,950 万円となり、歳出では前年の 11%にあたる 1 億 1,850 万円となり、差し引きが 2,100 万円となっています。

これは、国庫支出金に超過分が生じたため、その返還金として翌年度繰越を行います。

平成20年度 老人保健特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
支払基金交付金	62,398	44.7%	562,928	52.9%	△ 500,530	△ 88.9%
国庫支出金	59,290	42.5%	349,068	32.8%	△ 289,778	△ 83.0%
県支出金	8,196	5.9%	82,767	7.8%	△ 74,571	△ 90.1%
繰入金	8,557	6.1%	69,259	6.5%	△ 60,702	△ 87.6%
繰越金	12	0.0%	16	0.0%	△ 4	△ 25.0%
諸収入	1,054	0.8%	354	0.0%	700	197.7%
合 計	139,507	100.0%	1,064,392	100.0%	△ 924,885	△ 86.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	546	0.5%	1,942	0.2%	1,396	255.7%
医療諸費	117,961	99.5%	1,062,437	99.8%	944,476	800.7%
合 計	118,507	100.0%	1,064,379	100.0%	945,872	798.2%

歳入歳出差引額 21,000 千円 0

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																
1			総務費	545,596	決算事項別明細書 P94～																																																																
	1		総務費	545,596																																																																	
		1	総務費	545,596																																																																	
レセプト点検・電算共同処理委託																																																																					
<p>診療や投薬等の処方が適切か否かを判断するためのレセプト点検賃金、老人保健受給者異動、高額医療費の算定と支給者名簿作成、保険者等への医療費通知等に係る電算共同処理委託料等を支払いました。</p> <p>・老人保健医療対象者（平成20年3月末現在）（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>70歳以上の者</th> <th>65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国民健康保険</td> <td>市 町 村</td> <td>1,115</td> <td>30</td> <td>1,145</td> </tr> <tr> <td>組 合</td> <td>45</td> <td>3</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康保険</td> <td>政府（日雇特例被保険者保険を除く）</td> <td>195</td> <td>4</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>政府（日雇特例被保険者保険）</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組 合</td> <td>99</td> <td></td> <td>99</td> </tr> <tr> <td colspan="2">船員保険</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">共済組合</td> <td>30</td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,484</td> <td>37</td> <td>1,521</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年計</td> <td>1,516</td> <td>44</td> <td>1,560</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td>△ 32</td> <td>△ 7</td> <td>△ 39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検等 33 万円 ・電算共同処理委託料（電算、国保連合会） 15 万円 ・老健保険者別医療費通知手数料（診療報酬支払基金） 4 万円 ・第三者行為損害賠償求償事務共同事業委託料（国保連合会） 0.7 万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検 <p>(3) 成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプト点検処理件数（単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成15年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43,555</td> <td>41,139</td> <td>39,557</td> <td>38,392</td> <td>3,273</td> </tr> </tbody> </table>							区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計	国民健康保険	市 町 村	1,115	30	1,145	組 合	45	3	48	健康保険	政府（日雇特例被保険者保険を除く）	195	4	199	政府（日雇特例被保険者保険）			0	組 合		99		99	船員保険				0	共済組合		30		30	計		1,484	37	1,521	前年計		1,516	44	1,560	前年比		△ 32	△ 7	△ 39	平成15年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	43,555	41,139	39,557	38,392	3,273
区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計																																																																	
国民健康保険	市 町 村	1,115	30	1,145																																																																	
	組 合	45	3	48																																																																	
健康保険	政府（日雇特例被保険者保険を除く）	195	4	199																																																																	
	政府（日雇特例被保険者保険）			0																																																																	
組 合		99		99																																																																	
船員保険				0																																																																	
共済組合		30		30																																																																	
計		1,484	37	1,521																																																																	
前年計		1,516	44	1,560																																																																	
前年比		△ 32	△ 7	△ 39																																																																	
平成15年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度																																																																	
43,555	41,139	39,557	38,392	3,273																																																																	
2			医療諸費	117,961,994	決算事項別明細書 P94～																																																																
	1		医療諸費	115,111,742																																																																	
		1	医療給付費	101,949,824																																																																	
医療給付費の支払																																																																					
<p>入院、通院、歯科診療、調剤報酬、食事療養費として、医療機関等に支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療給付費 1億195万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の給付の内訳 																																																																					

区 分		件 数 (件)	日 数 (日)	一 部 負担金 (万円)	給付額 (万円)	1件当り 日数(日)	1件当り 費用額 (円)	1人当り 費用額 (円)	
医 科	入院	公費0割	7	79	37	382	11.3	59,857	275
		公費3～5割	119	2,238	361	5,084	18.8	45,756	3,580
	外来	公費0割	97	200	48	221	2.1	2,773	177
		公費3～5割	1,825	3,506	265	2,662	1.9	1,604	1,924
歯 科	入院	公費0割							
		公費3～5割							
	外来	公費0割	7	17	6	14	2.4	2,857	13
		公費3～5割	155	372	26	237	2.4	1,697	173
調 剤	公費0割	63		△ 0.3	63	-	995	41	
	公費3～5割	995		138	1,240	-	1,385	906	
食 事 療 養 費	医 科	公費0割	7	156	4	6	22.3	1,429	7
		公費3～5割	115	5,979	159	242	52.0	3,487	264
	歯 科	公費0割							
		公費3～5割							
施 設 療 養 費	入院	公費0割							
		公費3～5割							
	通 所	公費0割							
		公費3～5割							
看 訪 問	公費0割								
	公費3～5割	5	59		50			33	
合 計		3,273	6,412	1,044	10,201	2.0	3,436	7,393	

(3) 成果指標

・医療給付費の推移

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
10億1,081万円	10億7,409万円	10億3,963万円	10億4,036万円	1億195万円

2 医療支給費 2,128,214

医療支給費の支払

柔道整復、コルセット等補装具代として柔道整復師、補装具制作会社に支払いました。

(1) 主な支出

・医療支給費 213万円

(2) 活動指標

・療養費支給の内訳

(単位：円)

区 分	件 数 (件)	一部負担金	給 付 額	1件当り費用額	1人当り費用額
柔道整復	104	214,862	1,926,094	20,586	1,372
補 装 具	5	17,463	112,426	25,978	83
鍼 灸	8	9,966	89,694	12,458	64
マッサージ					
そ の 他					
計	117	242,291	2,128,214	59,021	1,520

(3) 成果指標

・医療支給費の推移

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
780万円	750万円	777万円	832万円	213万円

3	審査手数料	361,058
---	-------	---------

審査手数料の支払

レセプトの審査、医療機関への診療報酬支払いに要する手数料として、社会保険診療報酬支払基金に支払いました。

- (1) 主な支出
 ・審査手数料 36万円

- (2) 活動指標
 ・審査支払手数料 (単位：円)

区 分	厚生労働大臣が定める基準額	件 数 (件)	審査支払手数料
国 保	111.60	2,683	299,422
国保 (柔整・補装具)	38.00		
社 保	医科・歯科・施設・訪問看護分	390	56,491
	調剤審査分	9	
	調剤審査以外の調剤分	191	
計			355,913

- (3) 成果指標
 ・審査手数料の推移

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
452万円	435万円	421万円	415万円	36万円

4	返還金	10,672,646
---	-----	------------

返還金

医療給付費や審査支払手数料に充当する社会保険診療報酬支払基金からの平成18年度分交付金、レセプト点検の賃金等に充当する平成18年度分国庫支出金について、精算額が確定したため、差額を返還しました。

- (1) 主な支出
 ・支払基金交付金返還金 1,066万円

2	高額医療費	2,850,252
---	-------	-----------

1	高額医療費	2,850,252
---	-------	-----------

高額医療費の支払

医療費の自己負担額を超える金額を、高額医療費として、該当者に支給しました。

- (1) 主な支出
 ・高額療養費 285万円

- (2) 活動指標
 ・高額療養費の件数 (単位：円)

区 分	件 数 (件)	支 給 額	1件当り支給額	1人当り支給額
高額療養費	328	2,850,252	8,690	1,827

- (3) 成果指標
 ・高額療養費の推移

平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
793万円	555万円	762万円	957万円	285万円

6. 会計別決算概要

IV 後期高齢者医療特別会計

1 決算規模及び収支

長野県後期高齢者医療広域連合が行う 75 歳以上の人に係る保険給付事業に対応するため、加入市町村（県内全市町村）における保険料徴収業務に係る特別会計を設置しました。

収入につきましては、長野県後期高齢者医療広域連合により算出された保険料として 6,857 万円と繰入金及び国庫支出金を加えた 8,836 万円となり、支出は広域連合への保険料納付金 8,643 万円に総務費を加えた 8,729 万円となり、差し引き 107 万円となりました。

平成20年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保険料	68,573	77.6%	-	-	68,573	皆増
使用料及び手数料	9	0.0%	-	-	9	皆増
繰入金	18,866	21.4%	-	-	18,866	皆増
諸 収 入	-	0.0%	-	-	-	-
国庫支出金	907	1.0%	-	-	907	皆増
合 計	88,355	100.0%	-	-	88,355	皆増

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	853	1.0%	-	-	853	皆増
後期高齢者医療広域連合納付金	86,432	99.0%	-	-	86,432	皆増
諸支出金	-	0.0%	-	-	-	-
予備費	-	0.0%	-	-	-	-
合 計	87,285	100.0%	-	-	87,285	皆増

歳入歳出差引額 1,070 千円

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績																																																	
1			総務費	853,328	決算事項別明細書 P98～																																																	
	1		総務管理費	721,038																																																		
		1	一般管理費	721,038																																																		
電算事務処理委託																																																						
後期高齢者医療保険料納付事務に係る保険料額決定通知・納税通知書作成業務等を(株)電算に委託実施しました。																																																						
(1) 主な支出																																																						
・電算処理委託料				53万円																																																		
・納税通知書等発送用封筒				7万円																																																		
(2) 活動指標																																																						
・保険料額決定通知・納税通知書発送																																																						
徴収区分別納付者数																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">軽減区分</th> <th colspan="2">特別徴収</th> <th colspan="2">普通徴収</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>調定額 (円)</th> <th>件数</th> <th>調定額 (円)</th> <th>件数</th> <th>調定額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7割</td> <td>484</td> <td>2,330,200</td> <td>86</td> <td>389,200</td> <td>570</td> <td>2,719,400</td> </tr> <tr> <td>5割</td> <td>196</td> <td>988,000</td> <td>4</td> <td>193,600</td> <td>200</td> <td>1,181,600</td> </tr> <tr> <td>2割</td> <td>108</td> <td>3,258,100</td> <td>9</td> <td>1,024,400</td> <td>117</td> <td>4,282,500</td> </tr> <tr> <td>軽減なし</td> <td>625</td> <td>39,249,000</td> <td>131</td> <td>21,382,900</td> <td>756</td> <td>60,631,900</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1413</td> <td>45,825,300</td> <td>230</td> <td>22,990,100</td> <td>1643</td> <td>68,815,400</td> </tr> </tbody> </table>							軽減区分	特別徴収		普通徴収		合計		件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)	7割	484	2,330,200	86	389,200	570	2,719,400	5割	196	988,000	4	193,600	200	1,181,600	2割	108	3,258,100	9	1,024,400	117	4,282,500	軽減なし	625	39,249,000	131	21,382,900	756	60,631,900	合計	1413	45,825,300	230	22,990,100	1643	68,815,400
軽減区分	特別徴収		普通徴収		合計																																																	
	件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)	件数	調定額 (円)																																																
7割	484	2,330,200	86	389,200	570	2,719,400																																																
5割	196	988,000	4	193,600	200	1,181,600																																																
2割	108	3,258,100	9	1,024,400	117	4,282,500																																																
軽減なし	625	39,249,000	131	21,382,900	756	60,631,900																																																
合計	1413	45,825,300	230	22,990,100	1643	68,815,400																																																
2			徴収費	132,290	決算事項別明細書 P98～																																																	
	1		徴収費	132,290																																																		
保険料納付事務																																																						
後期高齢者医療保険料決定により、被保険者の皆さんに保険料を負担いただきました。																																																						
(1) 主な支出																																																						
・特別徴収開始通知送料				11万円																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>区分</th> <th>調定額 (円)</th> <th>収納額 (円)</th> <th>収納率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小布施町</td> <td>特別徴収</td> <td>45,852,300</td> <td>45,852,300</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>普通徴収</td> <td>23,033,800</td> <td>22,747,800</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>68,886,100</td> <td>68,600,100</td> <td>99.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">長野県</td> <td>特別徴収</td> <td>9,608,528,160</td> <td>9,608,528,160</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>普通徴収</td> <td>4,657,708,100</td> <td>4,560,687,384</td> <td>97.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,266,236,260</td> <td>14,169,215,544</td> <td>99.3</td> </tr> </tbody> </table>							区分	区分	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)	小布施町	特別徴収	45,852,300	45,852,300	100.0	普通徴収	23,033,800	22,747,800	98.8	計	68,886,100	68,600,100	99.6	長野県	特別徴収	9,608,528,160	9,608,528,160	100.0	普通徴収	4,657,708,100	4,560,687,384	97.9	計	14,266,236,260	14,169,215,544	99.3																	
区分	区分	調定額 (円)	収納額 (円)	収納率 (%)																																																		
小布施町	特別徴収	45,852,300	45,852,300	100.0																																																		
	普通徴収	23,033,800	22,747,800	98.8																																																		
	計	68,886,100	68,600,100	99.6																																																		
長野県	特別徴収	9,608,528,160	9,608,528,160	100.0																																																		
	普通徴収	4,657,708,100	4,560,687,384	97.9																																																		
	計	14,266,236,260	14,169,215,544	99.3																																																		
2			後期高齢者医療広域連合納付金	86,432,170	決算事項別明細書 P98～																																																	
	1		後期高齢者医療広域連合納付金	86,432,170																																																		
		1	後期高齢者医療広域連合納付金	86,432,170																																																		
医療給付費負担金の支払																																																						
長野県内の後期高齢者の皆さんが医療機関等受診に際しかかった療養給付費等について、小布施町負担分等を長野県後期高齢者医療広域連合に支払いました。																																																						
(1) 主な支出																																																						
・保険料納付金				6,857万円																																																		
・保健基盤安定負担金				1,787万円																																																		

6. 会計別決算概要

V 介護保険特別会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度の決算額は、歳入総額 7 億 9,160 万 5 千円、歳出総額 7 億 6,542 万 1 千円で、形式収支額、実質収支額ともに 2,618 万 6 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 7,326 万 8 千円、10.2%の増、歳出においては 9,010 万 9 千円、13.3%の増、実質収支においては 1,684 万円、39.1%の減となりました。

2 歳入

(1) 保険料

保険料収入は、1 億 4,605 万円で、対前年比 3.1% (4,431 万円) の増になりました。これは、第 1 号被保険者の増加に加えて激変緩和措置対象者の保険料が上がったことによるものです。

(2) 国庫支出金

国庫支出金は 1 億 7,884 万 6 千円で、対前年度比 18.6% (2,800 万 8 千円) の増になりました。これは前年度よりも介護給付費が増加したことによるものです。

(3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、2 億 2,156 万 6 千円で対前年比 15.8% (3,025 万 2 千円) の増になりました。これは前年度よりも介護給付費が増加したことによるものです。

(4) 県支出金

県支出金は 1 億 256 万円で、対前年度比 8.4% (796 万 8 千円) の増になった。これは、前年度よりも介護給付費が増加したことによるものです。

(5) その他

一般会計繰入金は、対前年度比 10.3% (916 万 6 千円) 増の 9,841 万円になりました。

3 歳出

前年度に比べ、保険給付費全体で 9.1% (5,699 万 8 千円) の増になりました。これは、施設系サービス、居宅系サービスの給付費が、ともに前年度より増加したことによるものです。

主な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保 険 料	146,050	18.4%	141,619	19.7%	4,431	3.1%
使用料及び手数料	1,082	0.1%	715	0.1%	367	51.3%
国庫支出金	178,846	22.6%	150,838	21.0%	28,008	18.6%
支払基金交付金	221,566	28.0%	191,314	26.6%	30,252	15.8%
県支出金	102,560	13.0%	94,592	13.2%	7,968	8.4%
財産収入	60	0.0%	73	0.0%	△ 13	△ 17.8%
繰 入 金	98,410	12.4%	89,244	12.4%	9,166	10.3%
繰 越 金	43,026	5.4%	49,933	7.0%	△ 6,907	△ 13.8%
諸 収 入	5	0.0%	8	0.0%	△ 3	△ 37.5%
町 債	-	-	-	-	-	0.0%
合 計	791,605	100.0%	718,336	100.0%	73,269	10.2%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	9,351	1.2%	11,235	1.7%	△ 1,884	△ 16.8%
保険給付費	681,342	89.0%	624,344	92.5%	56,998	9.1%
地域支援事業費	23,786	3.1%	16,386	2.4%	7,400	45.2%
財政安定化基金拠出金	755	0.1%	755	0.1%	-	0.0%
基金積立金	46,850	6.1%	73	0.0%	46,777	64078.1%
諸支出金	329	0.0%	19,510	2.9%	△ 19,181	△ 98.3%
公 債 費	3,007	0.4%	3,007	0.4%	-	0.0%
合 計	765,420	100.0%	675,310	100.0%	90,110	13.3%

歳入歳出差引額 26,185 43,026

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績		
1			総務費	9,351,166	決算事項別明細書 P105～		
	1		総務管理費	1,709,238			
		1	一般管理費	1,709,238			
介護保険運営の総務管理(福祉グループ)							
介護保険を運営するためのシステムの保守や関連団体との情報交換を行いました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 (事務用品の購入) 9 万円 ・ 介護保険システム委託料、改修費 128 万円 ・ 通信料 (WISH接続料等) 7 万円 							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険システムの概要 <ul style="list-style-type: none"> 資格記録管理 (資格取得登録、被保険者証発行など) 保険料納付管理 (納入通知書発行、督促状発行など) 受給者管理 (認定登録など) 給付実績管理 (償還払い申請登録など) 							
2			徴收費	762,835	決算事項別明細書 P105～		
	1		賦課徴收費	762,835			
介護保険料の徴収(福祉グループ)							
第1号被保険者から介護保険制度を運営するための保険料徴収に要する経費を支出しました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 納入通知書郵送料、介護保険料口座振替手数料 10 万円 ・ 特別徴収開始通知書印刷委託料ほか 57 万円 							
(2) 活動指標							
① 平成20年度保険料 (単位: 円)							
	年 額	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
		23,400	23,400	35,100	46,700	58,400	70,100
② 平成20年度調定額							
区 分	特別徴収		普通徴収		合 計		
	人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)			
第1段階	7	16	5	9	12	内併徴者 0	
第2段階	241	523	60	87	301	内併徴者 28	
第3段階	185	623	15	32	200	内併徴者 6	
第4段階	1,223	5,473	168	453	1,391	内併徴者 47	
第5段階	872	4,725	155	485	1,027	内併徴者 48	
第6段階	284	1,929	67	265	351	内併徴者 15	
計	2,812	13,289	470	1,331	3,282	内併徴者144	
③ 収 納 率 (現年度分)							
区 分	調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収 納 率 (%)				
特別徴収保険料	132,895,200	132,895,200	100.0				
普通徴収保険料	13,317,300	13,032,900	97.9				
計	146,212,500	145,928,100	99.8				

(3) 活動指標の推移

・ 収納率の推移

(単位：%)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
普通徴収保険料	98.1	99.7	97.1	97.4	97.9
計	99.7	99.7	99.6	99.8	99.8

3 介護認定審査会費 6,879,093

1 認定調査費 4,495,093

決算事項別明細書 P105～

介護認定調査(福祉グループ)

介護保険サービスを受けるための認定調査や、主治医意見書の作成、長野広域連合への判定依頼を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員賃金(認定調査等3人) 180万円
- ・ 主治医意見書作成手数料 243万円
- ・ 訪問調査委託料 20万円

(2) 活動指標

・ 平成20年度判定件数

	区 分	単価(税込:円)	件 数	金 額(円)
在 宅	新 規	5,250	132	693,000
	継 続	4,200	282	1,180,200
施 設	新 規	4,200	85	357,000
	継 続	3,150	59	542,850

2 認定審査会共同設置負担金 2,384,000

認定審査会共同設置負担金(福祉グループ)

長野広域連合に認定審査会を設置するための負担金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 認定審査会共同設置負担金 239万円

(2) 活動指標

- ・ 369件の介護認定申請に対し、認定審査会(保健、医療、福祉の学識経験者で構成)にて、主治医意見書や訪問調査の結果をもとに介護認定申請者がどのくらいの介護が必要かの審査・認定を行いました。

(3) 活動指標の推移

・ 認定申請者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
第1号被保険者	366	363	393	404	363
第2号被保険者	12	13	7	8	6
計	378	376	400	412	369

4 趣旨普及費 0

1 趣旨普及費 0

制度趣旨普及のための支出(福祉グループ)

(1) 主な支出

なし

2	保険給付費	681,342,122
1	介護サービス等諸費	600,629,601
1	居宅介護サービス給付費	268,639,832

決算事項別明細書 P106～

居宅介護サービス(福祉グループ)

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護サービス給付費 2億6,864 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅介護サービス受給者延人数と給付額 (H20.4～H21.3審査)

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額 (万円)
要介護1	580 人	0 人	580 人	3,674
要介護2	634 人	4 人	638 人	6,166
要介護3	439 人	9 人	448 人	5,543
要介護4	411 人	13 人	424 人	6,604
要介護5	246 人	1 人	247 人	4,880
計	2,310	27	2,337	2億6,864

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総数 (人)	2,385	2,508	2,480	2,285	2,337
給付額 (万円)	2億3,902	2億5,466	2億4,165	2億6,028	2億6,864

- ・ 受給者、給付費ともに増加に転じました。

2	地域密着型介護サービス給付費	59,790,978
---	----------------	------------

地域密着型介護サービス(福祉グループ)

認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護への給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 地域密着型介護サービス給付費 5,980 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間地域密着型サービス受給件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総 数	給付額 (万円)
認知症対応型通所介護	16 件	0 件	16 件	242
認知症対応型共同生活介護	142 件	0 件	142 件	3,202
小規模多機能型居宅介護	164 件	0 件	164 件	2,536
計	322 件	0 件	322 件	5,980

(3) 活動指標の推移

- ・ 地域密着型サービス受給件数と給付額 (平成18年度以前は認知症対応型通所介護、共同生活介護による)

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	23	40	83	217	322
給付額(万円)	521	884	1,499	4,089	5,980

・地域密着型サービスの制度が浸透してきたことと、町内に地域密着型サービス事業所が開設されたことにより、利用者が増加しました。

3 施設介護サービス給付費 242,902,002

施設介護サービス(福祉グループ)

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設介護サービス給付費 2億4,291万円

(2) 活動指標

- ・年間施設介護サービス受給者延人数と給付額

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額(万円)
介護老人福祉施設	544人	35人	579人	1億3,912
介護老人保健施設	355人	7人	362人	8,862
介護療養型医療施設	39人	0人	39人	1,518
計	938人	42人	980人	2億4,291

(3) 活動指標の推移

- ・施設介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総数(人)	1,048	1,073	994	919	980
給付額(万円)	3億716	2億9,937	2億4,275	2億3,088	2億4,291

- ・居宅介護サービス同様、件数、給付費ともに増加に転じました。

4 居宅介護福祉用具購入費 807,269

要介護者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護福祉用具購入費(限度額10万円/年度) 81万円

(2) 活動指標

- ・福祉用具購入費の支給(腰掛便座、入浴補助用具) 54件

(3) 活動指標の推移

- ・福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	31	36	24	25	54
給付額(万円)	73	76	39	52	81

- ・前年度に比べ、1件あたりの給付額は減少したものの、件数が約2倍になりました。

5 居宅介護住宅改修費 2,053,535

要介護者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修費の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護住宅改修費(限度額20万円) 206万円

(2) 活動指標

- ・住宅改修（手すり、段差解消等）の支給

13 件

(3) 活動指標の推移

- ・住宅改修件数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	20	26	17	13	13
給付額(万円)	231	266	171	141	206

- ・1件あたりの改修費が増加傾向にあります。

6	居宅介護サービス計画給付費	26,435,985
---	---------------	------------

居宅介護サービス計画作成費の支給(福祉グループ)

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護サービス計画給付費

2,644 万円

(2) 活動指標

- ・年間居宅サービス計画作成件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
要介護1	584	592
要介護2	628	630
要介護3	426	555
要介護4	420	540
要介護5	249	327
合計	2,307	2,644

(H20.4～H21.3審査)

(3) 活動指標の推移

- ・居宅介護サービス計画作成件数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	2,392	2,479	2,486	2,255	2,307
給付額(万円)	2,052	2,126	2,724	2,599	2,644

- ・他の給付同様に、総数、給付費ともに増加に転じました。

2	介護予防サービス等諸費	44,628,945
---	-------------	------------

1	介護予防サービス給付費	36,757,278
---	-------------	------------

居宅介護予防サービス(福祉グループ)

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防サービス費

3,676 万円

(2) 活動指標

- ・年間居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額 (H20.4～H21.3審査)

	1号被保険者	2号被保険者	総数	給付額(万円)
要支援1	306 人	0 人	306 人	667
要支援2	739 人	11 人	750 人	3,009
計	1045 人	11 人	1056 人	3,676

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総数(人)	359	431	420	837	1,056
給付額(万円)	1,143	1,002	1,413	2,844	3,676

・ 前年度に比べて、総数、給付額ともに増加しています。これは、平成18年度に予防給付が創設され、要介護認定更新の際に介護給付から予防給付へ移行した方が増加したことが一因と考えられます。

2 地域密着型介護予防サービス給付費 1,376,136

地域密着型介護予防サービス(福祉グループ)

(1) 主な支出

- ・ 認知症対応型共同生活介護 138 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間施設介護サービス受給者件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総数	給付額(万円)
認知症対応型通所介護	0 件	0 件	0 件	0
認知症対応型共同生活介護	6 件	0 件	6 件	138
小規模多機能型居宅介護	0 件	0 件	0 件	0
計	6 件	0 件	6 件	138

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護予防サービス受給者件数と給付額の推移

	平成18年	平成19年	平成20年
件数	0	0	6
給付額(万円)	0	0	138

・ 地域密着型介護サービスに比べ、地域密着型介護予防サービス利用者は少ないです。

3 介護予防福祉用具購入費 364,011

要支援者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅予防介護福祉用具購入費(限度額10万円/年度) 37 万円

(2) 活動指標

- ・ 福祉用具購入費の支給(腰掛便座、入浴補助用具) 18 件

(3) 活動指標の推移

- ・ 福祉用具購入件数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	3	5	10	9	18
給付額(万円)	5	6	23	18	37

・ 平成20年度は過去五年間で、件数、給付額が最も多くなっています。

4	介護予防住宅改修費	1,785,520			
要支援者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)					
手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、費用の9割を支給しました。					
(1) 主な支出					
	・ 居宅介護予防住宅改修費 (限度額20万円)	179 万円			
(2) 活動指標					
	・ 住宅改修費 (手すり、段差解消等) の支給	16 件			
(3) 活動指標の推移					
	・ 住宅改修件数と給付額の推移				
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	20	6	4	14	16
給付額(万円)	231	50	37	130	179
・ 前年度と比べ、1件あたりの改修費が増加しました。					
5	介護予防サービス計画給付費	4,346,000			
介護予防サービス計画作成費の支給(福祉グループ)					
介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を全額支給しました。					
(1) 主な支出					
	・ 居宅介護予防サービス計画給付費	435 万円			
(2) 活動指標					
	・ 年間居宅サービス計画作成件数と給付額				
介護度	件数	給付額(万円)			
要支援 1	305	126			
要支援 2	754	309			
計	1,059	435			
(H20.4~H121.3審査)					
(3) 活動指標の推移					
	・ 居宅介護予防サービス計画作成件数と給付額の推移				
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	377	440	422	831	1,059
給付額(万円)	321	376	203	344	435
・ 介護予防受給者の増加とともに、ケアプランの作成件数も増加しました。					
3	その他諸費	1,014,645			
1	審査支払手数料	1,014,646			
国保連合会への審査依頼(福祉グループ)					
介護給付費の審査支払のための手数料を国保連合会へ支払いました。					
(1) 主な支出					
	・ 審査支払手数料	102 万円			
(2) 活動指標					
	・ 審査件数11,937件×単価@85円				

(3) 活動指標の推移

- ・審査支払手数料の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	9,728	10,502	10,548	10,889	11,937
手数料(万円)	83	89	90	93	102

- ・介護認定者と給付費の増加に伴い、審査依頼件数が増加が続いています。

4	高額介護サービス等諸費	9,598,051
1	高額介護サービス費	9,545,908

高額介護サービス費の支給(福祉グループ)

個人または世帯内で1ヶ月のサービスにかかる利用者負担の上限額を超える場合に、超えた分を払い戻しました。

(1) 主な支出

- ・高額介護サービス費

955 万円

(2) 活動指標

- ・所得段階別給付状況

所得段階	件数	給付額(万円)
老齢福祉年金受給者等	55	57
利用者負担第二段階	686	785
利用者負担第三段階	105	48
利用者負担第四段階	140	65
合計	986	955

(3) 活動指標の推移

- ・高額介護サービス費支給件数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	516	688	791	855	986
給付額(万円)	233	430	725	784	955

・給付額、件数ともに増加しています。これは、平成18年度の制度改正前に世帯単位で負担上限額が定められていたものが、個人単位でも負担上限額が定められたことや給付額増加の影響により、支給対象件数が増加したものと考えられます。

2	高額居宅支援サービス費	52,143
---	-------------	--------

高額介護予防サービス費の支給(福祉グループ)

(1) 主な支出

- ・高額介護予防サービス費

6 万円

(2) 活動指標

- ・所得段階別給付状況

所得段階	件数	給付額(万円)
老齢福祉年金受給者等	0	0
利用者負担第二段階	5	6
利用者負担第三段階	0	0
利用者負担第四段階	0	0
合計	5	6

(3) 活動指標の推移

- ・高額介護予防サービス費支給延人数と給付額の推移

	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	0	0	0	3	5
給付額(万円)	0	0	0	0.03	6

・要介護者に比べ、サービス利用料が高額になる場合は少ないことがわかります。

5	特定入所者介護サービス等諸費	25,470,880
1	特定入所者介護サービス給付費	25,470,880

特定入所介護サービス費の支給（福祉グループ）

住民税の課税状況や所得額により、被保険者が介護保険施設に入所（入院）したときや短期入所サービスを利用したときの負担を軽減するため食費・居住費について補足的な給付を行いました。

(1) 主な支出

・特定入所介護サービス費 2,548 万円

(2) 活動指標

・要介護別件数と給付費

	食費	居住費	総数	給付額(万円)
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	13	1	14	11
要介護2	92	14	106	256
要介護3	181	77	258	712
要介護4	214	78	292	719
要介護5	236	84	320	850
計	736	254	990	2,548

(3) 活動指標の推移

・件数と給付費の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
件数	430	939	856	990
給付額(万円)	1,054	2,389	2,225	2,548

・施設サービスの利用者が昨年度に比べ、増加したことにより、食費や居住費への給付が増加したと思われます。

2	特定入所者介護予防サービス給付費	0
---	------------------	---

特定入所介護予防サービス費の支給（福祉グループ）

(1) 主な支出

なし

3	地域支援事業費	23,785,850
1	介護予防事業費	11,654,983
1	介護予防特定高齢者施策事業費	6,695,155
2	介護予防一般高齢者施策事業費	4,959,828

決算事項別明細書 P108～

高齢者の介護予防(福祉グループ)

高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるよう、各種教室の開催を、ボランティアの皆さんにご協力をいただきながら実施しました。

(1) 主な支出

・社会福祉協議会等への事業の委託 121万円 ・生活機能評価委託料 141万円
 ・敬老会「ふれあい寄席」出演者の謝礼 128万円 ・各種教室講師、出演者等の謝礼 36万円
 ・在宅保健師等の賃金 160万円 ・高齢者スポーツ大会の補助 12万円

(2) 活動指標

①特定高齢者把握事業

特定高齢者決定者数・・・163人

	男性	女性	計
基本チェックリスト対象者	1,301	1,455	2,756
基本チェックリスト提出者	1,043	1,191	2,234
特定高齢者候補者	168	323	491
特定高齢者	56	107	163

②介護予防事業

事業名	内容等	回数	延人員 (実人員)	
転倒予防教室	骨コツ貯筋教室：新規 (特定高齢者対象)	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。体力測定、ストレッチ、筋力づくりの運動	10回	69人 (11人)
	転倒予防教室：新規 (一般高齢者対象)	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練、調理実習ほか。	10回	145人 (19人)
認知症予防教室	ダンスで脳元気教室	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	11回	32人 (32人)
	チャレンジのど自慢教室	歌を歌うことで心身ともにリフレッシュし、認知症を予防する。カラオケ	11回	140人 (34人)
	はつらつお笑い演芸会	6/25寸劇、コンサート・9/10ふれあい寄席 10/19千年樹の里まつり(和太鼓、フラメンコ、民俗芸能他) 3/11寸劇、花於里吟八重お楽しみ公演	4回	1,491人
	認知症学習会 (はつらつお達人教室)	脳のいきいき度チェック、認知症予防の講話	5回	79人
	ボケ予防講演会	「ボケは防げる・治せる」 浜松医科大学講師・臨床心理士 高槻絹子氏 6/21 健康福祉センター	1回	162人
	脳のリフレッシュ教室 交流会	各教室(9地区)の交流。歌、踊り等。	1回	163人
	脳のリハビリ教室 (前期)	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	15回	84人 (13人)
	楽しく若返り教室 (脳のリハビリ教室：後期)	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。※継続中	6回	47人 (12人)
	脳のリハビリ教室 (フォロー)	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	23回	288人 (19人)
	脳のリフレッシュ教室 (上松川：新規)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻忠男氏、高槻絹子氏。	9回	167人 (29人)
自主活動	転倒予防教室 (継続)「ひまわり」	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練ほか。	12回	271人 (54人)
	ダンスで脳元気教室 (継続)「フレッシュ」	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	23回	572人 (46人)
	脳のリフレッシュ教室 (山王島：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	6回	154人 (39人)
	脳のリフレッシュ教室 (北部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	150人 (19人)
	脳のリフレッシュ教室 (東部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	146人 (15人)
	脳のリフレッシュ教室 (大島：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	113人 (13人)
	脳のリフレッシュ教室 (都住：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	80人 (15人)

脳のリフレッシュ教室 (飯田：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	11回	219人 (23人)
脳のリフレッシュ教室 (東町・上町：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	149人 (19人)
脳のリフレッシュ教室 (林・中扇：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	12回	152人 (18人)

(3) 活動指標の推移

- ・脳のリフレッシュ教室(新規)の脳機能の改善率

上松川地区 50% (効果判定対象者20人中 10人) ※参加者29名

介護予防に最も重要なのは「認知症予防」であるという理念に立ち、他に先駆けて取り組んだ各種認知症予防教室は、上記の数字的な成果だけでなく、参加者の皆さんが目に見えて元気になられていくのが分かります。また、教室ボランティアも育ちつつあり、自主活動地区を支える大きな力となっています。

2	包括的支援事業費	8,580,485
1	介護予防ケアマネジメント事業費	7,157,025
2	総合相談支援・権利擁護事業費	1,211,366
3	包括的・継続的マネジメント事業費	212,094

在宅介護支援センター(地域包括支援センター)の運営(福祉グループ)

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種保健福祉サービスを総合的に受けられるよう、地域住民の助け合い活動なども含め、関係機関との連絡調整を行い、高齢者とその家族等の福祉の向上を図りました。

(1) 主な支出

- ・保健師給料・手当等人件費 598万円
- ・臨時職員賃金 99万円
- ・現任研修等の旅費 5万円
- ・センター運営協議会委員等への謝礼 5万円
- ・総合福祉事務支援システム等保守料・使用料 99万円
- ・ケア研修講師謝礼 7万円
- ・電話料金等 19万円

(2) 活動指標

- ・在宅介護等に関する総合相談・助言・指導(来所による面接・電話・訪問)

項目	延件数	主な内容
他機関との連絡調整	1,140	
状況把握	477	
福祉サービスに関する相談	311	サービス内容、利用の対象になるか等の相談
事業所からの相談	128	
予防給付に関する相談	563	
介護保険に関する相談	416	介護保険、ケアプラン、在宅サービスの内容についての問合せ
認定調査	133	新規分のみ
認知症(痴呆)に関する相談	188	認知症かどうかの判断、認知症高齢者への対応の方法について
住宅改修に関する相談	76	
介護用品に関する相談	75	介護用品の紹介、使用方法について
施設入所に関する相談	100	施設の紹介、入所申込み、施設の空き具合について
介護予防に関する相談	37	
ケース検討会	133	
介護方法に関する相談	36	在宅での介護方法について(体位交換、排泄介助等)
定期訪問指導	83	健康相談、生活指導等
医療等に関する相談	37	医療費、受診する病院についての問い合わせ
健康相談(状況確認)	19	

高齢者虐待	7	
療養上の精神的支援	3	
特定高齢者把握	57	
お元気訪問	86	
その他(家庭内関係等)	92	経済、法律、家庭内関係等
計	4,197	

・前記件数うち時間外・祝祭日相談受付件数

- ・介護保険関係 18件、福祉サービス関係 25件

その他92件（教室等の問い合わせ、住民・業者から職員あての電話等）

※土日の昼間は社会福祉協議会の日直者が、時間外・祝祭日は携帯電話により在宅介護支援センター職員が対応

・要援護高齢者の情報集約と実態把握

- ・要援護高齢者の家庭訪問 延訪問件数 715件

訪問実人員 303人 要指導者（介護認定自立判定者・要観察者等）216人

寝たきり高齢者26人、認知症高齢者32人、その他 29人

・地域ケア会議の開催

保健・福祉・医療に係るサービスの総合調整を図るため、居宅介護支援事業所、サービス事業所等関係機関が集まり、定期または随時会議を開催しました。

①在宅支援連絡会（定例会） 年12回(月1回)

各関係機関相互の情報交換、連絡調整、課題の検討等を行いました。

②ケース検討会 年133回

個別の困難事例を、関係者により相談、検討しました。

・ケアマネジャー等サービス事業者の指導支援

ケアマネジメント研修

（対象：介護保険サービス事業所に従事する職員、ケアマネジャー等）

- ・平成20年4月16日 介護給付適正化事業研修「ケアマネジメントによる構築について」

講師：介護支援専門員協会理事 中澤 茂氏 21人出席

- ・平成20年5月14日 介護給付適正化事業研修「自分たちが目指す適正化とは？」

講師：介護支援専門員協会 岸田 公子氏 27人出席

- ・平成20年6月26日 グループスーパービジョンによるケアマネジメント研修

講師：介護支援専門員協会会長 岸田 公子氏 18人出席

- ・平成20年8月1日 ケアマネジメントレベルアップ研修

講師：武蔵野大学現代社会学部 佐藤 信人教授 11人出席

- ・平成20年10月3日 ケアマネジメントレベルアップ研修

講師：武蔵野大学現代社会学部 佐藤 信人教授 17人出席

- ・平成20年10月22日 介護給付適正化事業研修（事例検討）

講師：介護支援専門員協会理事 中澤 茂氏 14人出席

- ・平成21年1月22日 介護給付適正化事業研修（事例検討）

講師：介護支援専門員協会会長 岸田 公子氏 19人出席

- ・平成21年2月16日 介護給付適正化事業研修（事例検討）

講師：介護支援専門員協会会長 岸田 公子氏 17人出席

・地域包括（在宅介護）支援センター運営協議会 年1回

5/30 平成19年度事業報告及び平成20年度事業計画について

(3) 活動指標の推移

・相談件数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
相談件数	2,341件	2,656件	3,239件	3,999件	4,197件

24時間体制の総合相談は年々利用者が増えています。中でも、介護保険外の福祉サービスに関する相談件数や関係機関との連絡調整に費やす件数が大きく伸びており、地域ケア体制の要としての大きな役割を果たしています。

3	任意事業費	3,550,382
1	家族介護支援事業費	807,894
2	その他事業費	2,742,488

家族介護の支援(福祉グループ)

介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、家庭介護に携わっている方たちの連絡会や交流事業などを行いました。

(1) 主な支出

- ・社会福祉協議会への事業の委託（家族介護支援） 57万円
- ・社会福祉協議会への事業の委託（食の自立支援） 275万円
- ・在宅保健師等賃金 23万円

(2) 活動指標

- ・要援護高齢者を抱える家族の会 年6回 参加者延52人
- ・在宅介護者のつどい(社会福祉協議会委託) 12月17日 参加者42人
- ・在宅介護者リフレッシュの旅(社会福祉協議会委託) 1月23日 参加者11人
こもろ布引いちご園、あぐりの湯こもろ（小諸市）
- ・介護講座 平成21年1月27日、2月3日、10日、17日、24日（計5日間） 参加者16人
- ・おむつ給付サービス 対象58人
- ・食の自立支援（ふれあい給食） 対象43人 1,598食

(3) 活動指標の推移

- ・事業等への参加者数の推移 (単位：人)

項目	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
要援護高齢者を抱える家族の会	76	42	47	47	52
在宅介護者のつどい	47	48	46	41	42
在宅介護者リフレッシュの旅	14	18	17	14	11
介護講座	9	15	14	8	16
おむつ給付サービス	67	68	52	56	58
食の自立支援（ふれあい給食）	49	50	46	51	43

介護者間の情報交換や悩みを共有する場としての家族の会が徐々に定着しつつあります。リフレッシュのための事業への参加も誘い合って参加するなど、介護者間のコミュニケーションも前より深まっています。

4	財政安定化基金拠出金	755,391
1	財政安定化基金拠出金	755,391
1	財政安定化基金拠出金	755,391

決算事項別明細書 P110～

財政安定化基金拠出金(福祉グループ)

予想を上回る給付費の増大などに備えるため基金へ拠出金(同じ目的のために出し合うお金)を支出しました。

	(1) 主な支出 ・ 財政安定化拠出金 76万円		
5	基金積立金	46,850,197	
1	基金積立金	46,850,197	
1	介護給付費準備基金積立金	40,060,000	決算事項別明細書 P111~
介護給付費準備基金積立金(福祉グループ)			
介護保険サービス利用増による保険料額増を抑えて、介護保険財政の健全な運営を行うため介護給付費準備基金に積み立てを行いました。			
(1) 主な支出 ・ 介護給付費準備基金積立金 4,006万円			
3	介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金	6,790,197	
介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金(福祉グループ)			
報酬改訂による保険料額増へ備え、積み立てを行いました。			
(1) 主な支出 ・ 介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金 680万円			
6	諸支出金	328,131	
1	償還金及び還付加算金	328,131	
1	第1号被保険者保険料還付金	11,700	決算事項別明細書 P111~
介護保険料の還付(福祉グループ)			
所得更正によって、過年度に賦課した保険料額に変更が生じたため、還付金を支払いました。			
(1) 主な支出 ・ 過年度分還付金 2万円			
2	償還金	316,431	
交付金に対する償還(福祉グループ)			
過年度の交付金と補助金の精算を行いました。			
(1) 主な支出 ・ 交付金に対する償還額 32万円			
3	第1号被保険者還付加算金	0	
長期間経過後の介護保険料の還付(福祉グループ)			
(1) 主な支出 なし			
2	繰出金	0	
1	他会計繰出金	0	
繰出金(福祉グループ)			
(1) 主な支出 なし			
7	公債費	3,007,333	
1	公債費	3,007,333	
1	公債費	3,007,333	決算事項別明細書 P112~
公債費の元金(福祉グループ)			
平成14年度に、給付費の支払いのために借り入れた2,385万円の償還金を支払いました。平成15年度から平成20年度までの6年償還です。			

	(1) 主な支出 ・償還金 301万円		
	(2) 活動指標 ・平成14年度23,856,000円借入（6年償還）平成20年まで		
8	予備費	0	
1	予備費	0	
1	予備費	0	決算事項別明細書 P112～
	予備費(福祉グループ)		
	(1) 主な支出 なし		

6. 会計別決算概要

VI 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計は、歳入歳出とも前年比 119 万 6 千円減の 226 万 6 千円となりました。

また、1 件分・1 人（平成 5 年度貸付）の償還がありました。

2 歳入

繰入金は、償還猶予中の貸付が、昨年 1 件償還終了の予定年度をむかえたため、94 万 6 千円の減となりました。

諸収入は、昨年 1 件分の償還があった為、前年度に比べて、24 万円の減となりました。

3 歳出

公債費は、起債の償還終了が 2 件分あった為、前年度に比べて 119 万 6 千円の減となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
財産収入	7	0.3%	8	0.2%	△ 1	△ 12.5%
繰入金	404	17.8%	1,350	39.0%	△ 946	△ 70.1%
繰越金	1	0.0%	10	0.3%	△ 9	△ 90.0%
諸収入	1,854	81.8%	2,094	60.5%	△ 240	△ 11.5%
合 計	2,266	100.0%	3,462	100.0%	△ 1,196	△ 34.5%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
住宅新築資金等貸付事業費	15	0.7%	14	0.4%	1	7.1%
積立金	7	0.3%	8	0.2%	△ 1	△ 12.5%
公債費	2,244	99.0%	3,440	99.4%	△ 1,196	△ 34.8%
合 計	2,266	100.0%	3,462	100.0%	△ 1,196	△ 34.5%

歳入歳出差引額

0

0

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績	
1			住宅新築資金等貸付事業費	14,768	決算事項別明細書 P115～	
	1		総務費	14,768		
		1	貸付事業総務費	14,768		
住宅新築資金等貸付事業(教育文化グループ)						
<p>予算書、決算書の印刷など、住宅新築資金等貸付事業にかかる経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 1万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度予算書の印刷 						
2			積立金	7,000	決算事項別明細書 P115～	
	1		積立金	7,000		
		1	積立金	7,000		
<p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積立金 0.7万円 						
3			公債費	2,244,512	決算事項別明細書 P115～	
	1		公債費	2,244,512		
		1	元金	1,853,049		
住宅新築資金等貸付事業(元金)(教育文化グループ)						
<p>住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金の返済を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元金償還金 185万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金の徴収 162万円 ・平成20年度末貸付返済件数 ・新築資金 4件 うち償還猶予 1件 ・宅地取得資金 4件 うち償還猶予 1件 ・改築資金 1件 うち償還猶予 1件 計 9件 3件 平成20年度末残高 2,442万円 						
2			利子	391,463	決算事項別明細書 P115～	
住宅新築資金等貸付事業(利子)(教育文化グループ)						
<p>住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金に対する利子を支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利子の支払い 39万円 <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金の徴収(利子分) 24万円 						

6. 会計別決算概要

Ⅶ 霊園事業特別会計の状況

1 決算規模及び収支

霊園事業特別会計は、町営霊園の維持管理を行っており、平成 20 年度においては、陽光霊園（玄照寺境内地内）、福聚霊園（伝教寺境内地内）の通路及び生け垣など共有部分の清掃・管理を実施しました。

決算額は、平成 20 年度において返還分の区画の永代使用許可を行ったことから、歳入においては、使用料収入 60 万（2 区画分）、清掃料収入 70 万円で、歳入総額 524 万 3 千円、歳出総額 25 万 3 千円となり、実質収支額は 499 万円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 107 万 9 千円、25.9%の増、歳出においては、3 万円、13.5%の増、実質収支においては、104 万 8 千円、26.6%の増となりました。

2 歳入

(1) 使用料

使用料は 130 万円で、対前年度比 18.3%（29 万 2 千円）の減になりました。これは、霊園の返還に伴う新規使用許可件数が 2 件に止まったことによるものです。

(2) 繰越金

繰越金は 394 万 2 千円で、対前年度比 53.2%（136 万 9 千円）の増になりました。

3 歳出

維持管理に伴う清掃に要する経費のみ 25 万円 3 千円を支出しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 霊園事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
使用料及び手数料	1,301	24.8%	1,592	38.2%	△ 291	△ 18.3%
繰越金	3,942	75.2%	2,573	61.8%	1,369	53.2%
諸収入	-	0.0%	-	0.0%	-	0.0%
合 計	5,243	100.0%	4,165	100.0%	1,078	25.9%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
霊園事業費	253	100.0%	223	100.0%	30	13.5%
合 計	253	100.0%	223	100.0%	30	13.5%

歳入歳出差引額 4,990 3,942

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	
1			霊園事業費	253,237	主要な施策の成果説明及び実績 決算事項別明細書 P118~
	1		総務費	253,237	
		1	総務費	223,237	
霊園の管理運営(生活環境グループ)					
陽光霊園250区画、福聚霊園97区画の管理を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 清掃業務委託料 22 万円					
(2) 活動指標					
・ 清掃業務(草取り、植木の剪定等) 須高広域シルバー人材センターへ委託 陽光霊園/8日/13人 福聚霊園/13日/18人					
(3) 活動指標の推移					
・ 管理区画数					
		区 分	区画総数	販売済区画	残(返納) 区画
		陽光霊園	250	248	2
		福聚霊園	97	97	0
		計	347	345	2

6. 会計別決算概要

Ⅷ 下水道事業特別会計

1 決算規模及び収支

平成 20 年度末の下水道への接続率は 90.1%となり、前年度より 0.7%の伸びとなりました。

決算額は歳入総額 7 億 6,904 万 9 千円、歳出総額 7 億 6,848 万 2 千円で、実質収支額は 56 万 7 千円となりました。

これを前年と比較すると、歳入においては 5,486 万 2 千円、7.7%の増、歳出においては 7,467 万円、10.5%の増となりました。

2 歳入

分担金及び負担金収入は 467 万 4 千円（前年度比 241 万 3 千円の減）になりました。これは、水上地区造成工事分の受益者負担金の減によるものです。

町債収入は 3 億 5,830 万円（前年度比 8,640 万円の増）になりました。これは、公的資金補償金免除繰上償還による借換債の増によるものです。

3 歳出

公債費は 6 億 5,469 万 3 千円（前年度比 1 億 486 万 4 千円の増）になりました。これは、公的資金補償金免除繰上償還の実施による償還額の増によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	4,674	0.6%	7,087	1.0%	△ 2,413	△ 34.0%
使用料及び手数料	143,111	18.6%	147,469	20.6%	△ 4,358	△ 3.0%
国庫支出金	0	0.0%	20,000	2.8%	△ 20,000	皆減
繰入金	260,000	33.8%	262,500	36.7%	△ 2,500	△ 1.0%
繰越金	757	0.1%	1,116	0.2%	△ 359	△ 32.2%
諸収入	2,207	0.3%	4,300	0.6%	△ 2,093	△ 48.7%
町 債	358,300	46.6%	271,900	38.1%	86,400	31.8%
合 計	769,049	100.0%	714,372	100.0%	54,677	7.7%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
下水道費	113,789	14.8%	163,786	23.0%	△ 49,997	△ 30.5%
公債費	654,693	85.2%	549,829	77.0%	104,864	19.1%
合 計	768,482	100.0%	713,615	100.0%	54,867	7.7%

歳入歳出差引額 567

757

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																
1			下水道費	113,789,141	公共下水道事業の運営(建設水道グループ) 人件費・負担金等下水道事業を運営していくための経費です。 (1) 主な支出 ・ 日本下水道協会等負担金 12万円 ・ 職員人件費 727万円 (2) 活動指標 公共下水道事業の概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体計画面積</td> <td>280 ha</td> <td>処理区域内人口</td> <td>9,120 人</td> </tr> <tr> <td>整備面積</td> <td>280 ha</td> <td>水洗化人口</td> <td>8,321 人</td> </tr> <tr> <td>全体計画人口</td> <td>10,700 人</td> <td>管渠延長</td> <td>57.2 km</td> </tr> <tr> <td>処理面積(告示)</td> <td>280 ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 公共下水道への接続状況 (単位：戸) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td></td> <td>4</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>△ 3</td> <td>4</td> <td>△ 2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>2,449</td> <td>2,453</td> <td>2,457</td> <td>2,468</td> <td>2,473</td> <td>2,470</td> <td>2,474</td> <td>2,472</td> <td>2,476</td> <td>2,479</td> <td>2,480</td> <td>2,484</td> <td>2,484</td> </tr> </tbody> </table> (3) 活動指標の推移 接続率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>16年度末</th> <th>17年度末</th> <th>18年度末</th> <th>19年度末</th> <th>20年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85.9%</td> <td>87.0%</td> <td>87.9%</td> <td>89.4%</td> <td>90.1%</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	整備状況	区 分	整備状況	全体計画面積	280 ha	処理区域内人口	9,120 人	整備面積	280 ha	水洗化人口	8,321 人	全体計画人口	10,700 人	管渠延長	57.2 km	処理面積(告示)	280 ha			区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続		4	4	11	5	△ 3	4	△ 2	4	3	1	4	35	累 計	2,449	2,453	2,457	2,468	2,473	2,470	2,474	2,472	2,476	2,479	2,480	2,484	2,484	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末	85.9%	87.0%	87.9%	89.4%	90.1%
区 分	整備状況	区 分	整備状況																																																																																		
全体計画面積	280 ha	処理区域内人口	9,120 人																																																																																		
整備面積	280 ha	水洗化人口	8,321 人																																																																																		
全体計画人口	10,700 人	管渠延長	57.2 km																																																																																		
処理面積(告示)	280 ha																																																																																				
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																								
接 続		4	4	11	5	△ 3	4	△ 2	4	3	1	4	35																																																																								
累 計	2,449	2,453	2,457	2,468	2,473	2,470	2,474	2,472	2,476	2,479	2,480	2,484	2,484																																																																								
16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末																																																																																	
85.9%	87.0%	87.9%	89.4%	90.1%																																																																																	
1			総務管理費	9,678,308																																																																																	
1			一般管理費	9,678,308																																																																																	
決算事項別明細書 P122～																																																																																					
2			維持管理費	23,115,303	公共下水道施設の維持管理(建設水道グループ) 下水道施設の機能を維持するため管渠・マンホールの清掃・修繕、また、マンホールポンプ・雨水排水ポンプ場の修繕・保守点検を行いました。 (1) 主な支出 ・ マンホールポンプとマンホール維持点検の委託 492万円 ・ 雨水排水ポンプ場維持点検の委託 147万円 ・ 汚水管渠と雨水管清掃の委託 451万円 ・ 管の補修工事 842万円 (2) 活動指標 ・ マンホールポンプ管理業務 日常管理、異常時対応(年間24回対応) 使用開始から10年以上経過しており、施設の老朽化による異常も増えてきているが、専門家による迅速な対応ができています。 ・ 雨水排水ポンプ場保守点検業務 年4回 定期的な点検を行うことにより、河川の増水時に正常にポンプが作動しています。 ・ 管渠・マンホール清掃調査業務委託 清掃 L=10,700m (L…延長)																																																																																
1			施設管理費	23,115,303																																																																																	

定期的な清掃調査を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応ができています。

3 下水道建設費 17,415,585

1 公共下水道建設費 17,415,585

検査口設置工事及び建設に係る事務費など(建設水道グループ)

下水道を接続したお宅の検査口設置工事を行いました。また、消費税を納付しました。

(1) 主な支出

- ・ 検査口設置工事 13万円
- ・ 消費税 763万円

(2) 活動指標

- ・ 検査口設置工事 11件
11件の検査口設置工事を行い接続率が90.1%となり、昨年度より0.7%アップしました。

職員人件費

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 870万円

4 流域下水道事業費 63,579,945

1 流域下水道事業費 63,579,945

流域下水道事業負担金(建設水道グループ)

町の公共下水道をつなぎ込んでいる千曲川流域下水道・クリーンピア千曲の維持管理費と建設費の経費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 千曲川流域下水道事業費建設負担金 882万円
- ・ 千曲川流域下水道促進協議会負担金 6万円
- ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 5,470万円

(2) 活動指標

- ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 882,916m³×59円×1.05(消費税)
- ・ 千曲川流域下水道事業建設負担金 平成22年度まで(現在の事業認可期間)

2 公債費 654,693,286

1 公債費 654,693,286

1 元金 515,321,302

2 利子 139,371,984

決算事項別明細書 P123~

下水道施設の借金の返済(建設水道グループ)

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 5億1,532万円(うち公的資金繰上償還分32,020万円)
- ・ 利子の支払い 1億3,937万円

(2) 活動指標

(単位:万円)

償還金額			未償還元金 (平成20年度末現在高)
元金	利子	計	
51,532	13,937	65,469	372,486

(3) 活動指標の推移

・ 起債残高の推移

(単位：万円)

平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末
431,590	414,090	400,656	388,189	372,486

6. 会計別決算概要

IX 農業集落排水事業特別会計

1 予算規模及び収支

平成20年度末の農業集落排水への接続率は、前年度末より0.1%増の93.5%となりました。

決算額は、歳入総額4,760万5千円、歳出総額4,702万2千円で実質収支額は58万3千円となりました。これを前年と比較すると、歳入においては2,229万円、4.5%の減、歳出においては2,021万円、4.1%の減となりました。

2 歳入

分担金及び負担金は214万円（前年度比19万3千円の増）になりました。

町債については、新規事業が無いために今年度の借り入れはありませんでした。

3 歳出

歳出については、新規事業が無く下水道機能を維持するための、維持管理を行いました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	2,143	4.5%	1,950	3.9%	193	9.9%
使用料及び手数料	29,671	62.3%	29,405	59.0%	266	0.9%
繰入金	15,000	31.5%	15,500	31.1%	△ 500	△ 3.2%
繰越金	791	1.7%	124	0.2%	667	537.9%
諸収入	0	0.0%	155	0.3%	△ 155	皆減
町債	0	0.0%	2,700	5.4%	△ 2,700	皆減
合 計	47,605	100.0%	49,834	100.0%	△ 2,229	△ 4.5%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成20年度		平成19年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
集落排水事業費	36,076	76.7%	35,039	71.4%	1,037	3.0%
公債費	10,946	23.3%	14,004	28.6%	△ 3,058	△ 21.8%
合 計	47,022	100.0%	49,043	100.0%	△ 2,021	△ 4.1%

歳入歳出差引額

583

791

款	項	目	款項目名	決算額(円)	主要な施策の成果説明及び実績									
1			集落排水事業費	33,932,838	<p style="text-align: right;">決算事項別明細書 P128～</p>									
	1		総務管理費	12,880,457										
		1	一般管理費	12,880,457										
農業集落排水事業の運営(建設水道グループ)														
農業集落排水事業を運営していくための経費です。														
(1) 主な支出														
・ 職員人件費 1,182万円														
(2) 活動指標														
農業集落排水事業の概要														
区 分		北 部			雁 中									
事 業 名		農業集落排水事業			農業集落排水事業									
地 区 名		北 部			雁 中									
世帯数(計画)		410戸			192戸									
世帯数(現在)		411戸			209戸									
人 口(計画)		1,930人			886人									
人 口(現在)		1,579人			787人									
供用開始日		昭和63年3月1日			昭和63年3月1日									
供用人口		1,579人			787人									
供 用 率		100.0%			100.0%									
処 理 方 式		J A R U S - III			J A R U S - I									
管 種		V U管			V U管									
管 径		150mm～350mm			150mm～200mm									
管 路 延 長		L = 10,600m			L = 5,870m									
中継ポンプ		2箇所			-									
処理施設敷地面積		1,355㎡			995㎡									
計画日平均汚水量		521㎡/日			239㎡/日									
日最大汚水量		442㎡/日			222㎡/日									
放流水質(計画)		BOD20mg/l S S 30mg/l			BOD20mg/l S S 30mg/l									
放流水質(実績)		BOD 7mg/l S S 17mg/l			BOD 5mg/l S S 15mg/l									
放 流 先		準用河川 赤川			通 堰									
公共下水道への接続状況 (単位:戸)														
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
接 続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
累 計	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579	580	580	
(3) 活動指標の推移														
接続率の推移														
平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末										
92.5%	93.3%	93.8%	93.8%	93.4%										
2			維持管理費	21,052,381	<p style="text-align: right;">決算事項別明細書 P128～</p>									
	1		施設管理費	21,052,381										
農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)														
下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。														

(1) 主な支出	
・ 処理施設の修繕	192万円
・ 処理場管理保守点検の委託	935万円
・ 管の清掃委託	95万円
(2) 活動指標	
・ 処理施設の修繕	脱水機改修一式
・ 処理場運転管理	週2～3日
	供用開始から20年を経過し、平成9年度には機能強化事業も行いました。施設のオーバーホールも必要と思われますが、日頃の運転管理及び点検による破損箇所の早期発見修繕等に対応し経費節減を図っています。
・ 管渠清掃業務	L=3,200m (L…延長)
	定期的な清掃を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応が来ています。

2	公債費	13,089,917	
1	公債費	13,089,917	
1	元金	8,079,099	
2	利子	5,010,818	決算事項別明細書 P129～

農業集落排水施設の借金の返済(建設水道グループ)

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

(1) 主な支出	
・ 元金の返済	808万円
・ 利子の支払い	501万円

(2) 活動指標 (単位：万円)

償還金額			未償還元金 (平成19年度末現在高)
元金	利子	計	
808	501	1,309	14,586

(3) 活動指標の推移

・ 起債残高の推移	(単位：万円)			
平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末
14,177	14,299	15,190	15,394	14,586

6. 会計別決算概要

X 水道事業会計

(営業)

平成 21 年 3 月 31 日現在の給水人口は、11,528 人で普及率は 99.97%となりました。

給水戸数は 3,533 戸で、平成 19 年度と比較して給水人口は 139 人減少、給水戸数は 23 戸増加しました。

給水量については、6 月から 8 月に増加したものの、年間を通じて節水意識の高揚もあり現象減少したため 1,271,972 m³となり、平成 19 年度 (1,297,709 m³) と比較して 2.0%の減となりました。

給水収益を有収水量で除した給水単価は、159 円 41 銭で前年度対比 11 銭の増、総費用から受託工事費を差し引いたものを有収水量で除した給水原価は 138 円 95 銭で前年度対比 3 円 40 銭の増となりました。

(建設改良)

平成 20 年度の建設改良工事の総事業費は 6,323,015 円 (消費税込み) で、林地区で配水管布設替 200.5mを行いました。また、中区配水池送水予備ポンプを購入しました。

(経理)

平成 20 年度の収益的収支は、事業収益 209,756,887 円 (消費税抜き) に対し、事業費用 177,711,481 円 (消費税抜き) で、32,045,406 円の利益を生じました。

事業収益の内、給水収益は 202,759,950 円で、前年度対比 2% (206,724,445 円) の減、受託工事収益は 1,021,196 円、その他営業収益等は 5,975,741 円で前年度対比 7% (5,580,250 円) の増でありました。事業費用の内、営業費用は 135,556,043 円で前年度比 7% (126,296,578 円) の増、営業外費用は 42,155,438 円で 15% (円 49,605,626) の減となりました。

資本的収支は、収入 3,659,250 円 (消費税込み) に対し、支出 59,885,846 円 (消費税込み) で、不足する額 56,226,596 円は過年度分損益勘定留保資金 56,106,631 円、当年度分消費税資本的収支調整額 119,965 円で補てんしました。

資本的収入は、水道事業負担金が 3,959,250 円で前年度対比 0.02% (3,958,500 円) の増でありました。資本的支出の内、建設改良費は 6,323,015 円で前年度比 57.0% (14,694,550 円) の減、企業債償還金は 53,562,831 円で前年度比 57.8% (126,844,546 円) の減となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成20年度 水道事業会計決算の状況

1. 収益的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 水道事業収益	208,932	220,019	11,087	うち仮受消費税 10,262
第1項 営業収益	206,497	215,761	9,264	うち仮受消費税 10,180
第2項 営業外収益	2,435	4,258	1,823	うち仮受消費税 82

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 水道事業費用	194,864	186,040	8,824	うち仮払消費税 2,570
第1項 営業費用	146,304	138,122	8,182	うち仮払消費税 2,565
第2項 営業外費用	47,949	47,918	31	うち仮払消費税 5
第3項 予 備 費	611		611	

2. 資本的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 資本的収入	2,362	3,659	1,297	うち仮受消費税 174
第1項 負 担 金	2,362	3,659	1,297	うち仮受消費税 174

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 資本的支出	76,757	59,886	16,871	うち仮払消費税 294
第1項 建設改良費	23,194	6,324	16,870	うち仮払消費税 294
第2項 企業債償還金	53,563	53,562	1	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 56,227千円は、過年度分損益勘定留保資金 56,107千円、当年度分消費税資本的収支調整額 120千円で補てんしました。

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
1		水道事業費用	186,039,578		
1		営業費用	138,121,302		
2		営業外費用	47,918,276		
3		予備費	0		
水道事業費用					
(1) 職員数 総括参事 1人、グループリーダー 1人、主査1人 (0.5人分は農業集落排水事業特会で措置)					
(2) 給水					
		計画給水人口	14,700人	現在給水人口	11,528
(3) 業務					
		配水能力	8,400m ³ /日	有収水量	1,271千m ³ /年
(4) 料金					
		基本料金 (13mm 1ヶ月、消費税含む)	987円		
		10m ³ 当り料金 (基本料金含む1ヶ月、消費税含む)	1,318円		
(5) 施設					
		水源数	5箇所	浄水施設数	2箇所
		消火栓数	411基	導配送水管延長	86,250m
		配水池	3箇所		
水道事業の運営					
人件費、営業経費等水道事業を運営していくための経費です。					
(1) 主な支出					
		・ポンプの動力費	2,038 万円		
		・配水管などの修繕	1,768 万円		
		・電算システム賃借料など	340 万円		
		・検針業務の委託	199 万円		
		・職員人件費	2,232 万円		
		・その他経費	1,420 万円		
(2) 活動指標					
		・深井戸ポンプ動力費	4カ所	送水ポンプ動力費	3カ所
		・水道料金・企業会計システム賃借			
		・検針業務委託者数	個人5人	シルバー人材センター (2人分) へ委託	
水道施設の減価償却					
水道施設の減価償却を行いました。					
(1) 主な支出					
		・有形固定資産減価償却費	5,269 万円		
		・有形固定資産除却費	186 万円		
水道施設の維持管理					
安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適正な維持管理、水質の検査を行い水道水の安全を確認しました。					
(1) 主な支出					
		・水道施設の維持管理	1,132 万円		
		・水道水質検査	128 万円		

(2) 活動指標

- ・ 高圧受電盤保安業務
- ・ 雁田浄水場浄水設備点検
- ・ 雁田浄水場消石灰注入設備点検
- ・ 水道施設保守点検
- ・ 水道施設草刈り委託
- ・ 検満量水器交換業務

(3) 活動指標の推移

- ・ 平成21年3月6日付の水質調査結果

項目	p h 値	塩化物イオン	有機物の量	一般細菌	大腸菌	臭気	味	色度	濁度
基準値	5.8以上8.6以下	200mg/l以下	5mg/l以下	100CFU/以下	検出されないこと	異常でないこと	異常でないこと	5度以下	2度以下
調査結果	6.8	24.1	0.2	0	検出なし	異臭なし	異味なし	0.5度未満	0.1度未満

水道施設の借金の返済[企業債利息] (建設水道グループ)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 利子の支払い 4,202 万円

2	資本的支出	59,885,846
1	建設改良費	6,323,015
2	企業債償還金	53,562,831

林地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)

老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事 309 万円

(2) 活動指標

- ・ 林地区工事 Φ100mm L=200m

耐震化も兼ね耐用年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。

上町地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)

上町地区の老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事等 70 万円

(2) 活動指標

- ・ 上町地区工事 Φ20mm L=18m

耐震化も兼ね耐用年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。

水道施設の借金の返済[元金の返済](建設水道グループ)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 5,356 万円

予備ポンプの購入など(建設水道グループ)

古くなった量水器や新設に伴う量水器を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 量水器の購入 165 万円
- ・ 中区配水地送水予備ポンプ購入 64 万円

(2) 活動指標

- ・ 計量法によるメーターの取替え 627 個

7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成20年度	目標値		
			値	年度	値	値	年度	
ゆったり歩ける歩行者空間の創出	人にやさしい道の整備	町営松村駐車場利用者の町内滞在平均時間(休日、普通車)	1時間48分	H16	/	2時間	H22	
	和める小路の整備							
循環型社会の形成と環境保全の推進	地球環境の保全	公害に関する苦情件数	24件	H16	38件	0件	H22	
	ごみの適正処理の推進	可燃ごみ年間排出量	2,616t	H16	2,259t	1,831t	H22	
	資源物排出量	559t	H16	705t	727t	H22		
整理整頓された美しいまちの形成	環境美化の推進	下水道接続率	87.2%	H16	90.8%	95%	H22	
		狂犬病予防注射未実施犬数	11頭	H16	19頭	0頭	H22	
汚水・雨水排水の推進	公共下水道の整備促進	環境美化運動の日参加者数	4,537人	H16	3,482人	7,000人	H22	
		下水道接続率	87.2%	H16	90.8%	95%	H22	
防災機能の強化と危機管理体制の整備	防災対策の推進と意識の高揚	総合防災訓練参加者数	1,000人	過去平均	955人	2,000人	H22	
防火・救急体制の充実	火災予防対策の充実	火災発生件数(建物、車両、その他)	6件	H16	10件	0件	H22	
防犯活動の推進	防犯体制の強化	犯罪に対する安全さや風紀のよさに対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	46%	H17	/	66%	H22	
交通安全の推進	交通安全対策の強化	町内交通事故発生件数	51件	H16	55件	25件	H22	
		交通死亡事故発生件数	1件	H16	0件	0件	H22	
		シートベルト着用率	85.6%	H16	96.7% (平均97.4%)	県下平均	H22	
消費生活の安定	消費者の自立支援の充実	消費生活相談件数	60件	H16	37件	0件	H22	
家庭における子育て環境の整備	子どもの健やかな成長支援	妊婦検診受診率	前期98.7% 後期94.9%	H16	100%	100%	H22	
		赤ちゃん訪問(第1子)	75%	H16	90%	95%	H22	
		乳幼児健診受診率	91.2%	H16	81.8%	95%	H22	
子育てと仕事の両立のための環境整備	保育サービスの充実	12時間保育実施園数	なし	なし	なし	1園	H20	
		11時間半保育実施園数	なし	なし	2園	H20		
		特定保育実施園数	なし	なし	なし	2園	H20	
		休日保育実施園数	なし	なし	1園(エンゼルランド)	1園(エンゼルランド)	H20	
	子育て支援サービスの充実	エンゼルランドセンター事業への父親参加組数	7組	H17	40組	15組 30組	H18 H19	
	子ども・青少年の育つ環境の整備	ファミリーサポートセンター登録人数	なし	なし	37人 (依頼会員)	50人 100人	H18 H22	
健康づくりの推進	生涯を通じた健康の保持・増進	子育て支援ネットワークの構築	子育てサポーター	なし	なし	20人 (企画ボランティア)	20人	H18
		基本健診受診率(※)	36.6%	H16	42.2%	65%	H24	
保健・医療の充実	予防・衛生の充実	健康相談利用者数	161件	H16	534人	250件	H22	
地域ぐるみの福祉の推進	福祉ボランティアの育成と人材の確保	個別保健指導者数(※)	なし	なし	69.8%	40%	H24	
高齢者福祉の充実	介護予防と自立支援	ボランティア登録団体数	15団体	H16	30団体	50団体	H22	
		脳のリフレッシュ教室(自主活動)実施箇所数	5カ所	H17	9カ所	10カ所	H22	
障害者の自立と社会参加の推進	障害者の自立支援	お茶のみサロン実施箇所	4カ所	H17	2カ所	10カ所	H22	
		一般就労への移行(共同作業所)	0人	H16	0人	5人	H18~22	
社会保険(保障)制度の充実	国民健康保険・老人保健の充実	一人あたり医療費(一般国保)	189,245円	H16	305,238円	200,800円	H22	
多彩な学習と交流の推進	生涯学習活動の推進	公民館事業など教養を高める機会に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	25%	H17	/	50%	H22	
		総合的な学習・情報拠点の整備	ブックスタート	年間出生数の83%	H16	年間出生数の97%	年間出生数の95%	H22
	開架図書数	34,316冊	H16	38,000冊	80,000冊	H22		

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成20年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
持続的な小布施農業の振興	都市農村交流の促進	遊休荒廃農地面積(農業委員会調査面積)	14.3ha	H16	10.8ha	15ha	H22
水と緑に彩られた生活空間の整備	公園管理の充実	公園・広場・子どもの遊び場に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	45%	H17		50%	H22
郷土の自然環境の保全	郷土の自然環境の保全	緑の豊かさや自然環境に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	69%	H17		75%	H22
町政への町民参加の推進	町民参加機会の拡充	町政への町民の関心度(町民アンケートで「関心がある」「やや関心がある」と答えた人の割合)	69.1%	H17		75%	H22
町民との情報の共有化の推進	情報の公開と共有化の推進	ホームページアクセス数	15,000件	H17	15,000件	30,000件	H22
		メール配信サービス読者数(上:生活情報、下:観光情報)	250人 650人	H17	296人 364人	500人 1,300人	H22
		情報公開など広報・広聴に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	32%	H17		50%	H22
国際感覚の育成と異文化交流の推進	国際交流・国際教育の充実	国際交流に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	17%	H17		33%	H22
町民に親しまれる町政と行政改革の推進	役場組織の機能の強化・充実	役場窓口での対応に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	38%	H17		75%	H22
効率的で安定した行政運営の推進	財政基盤の充実	町税徴収率	97.7%	H16	95.5%	98%	H22
	適正な財政運営	財政調整基金残高	4.9億円	H16	7.4億円	2.4億円	H22
		普通会計町債残高	60.8億円	H16	48億円	48.0億円	H22

※国による目標年が設定されたため、目標値と目標年度を変更しています



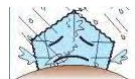
平成20年度

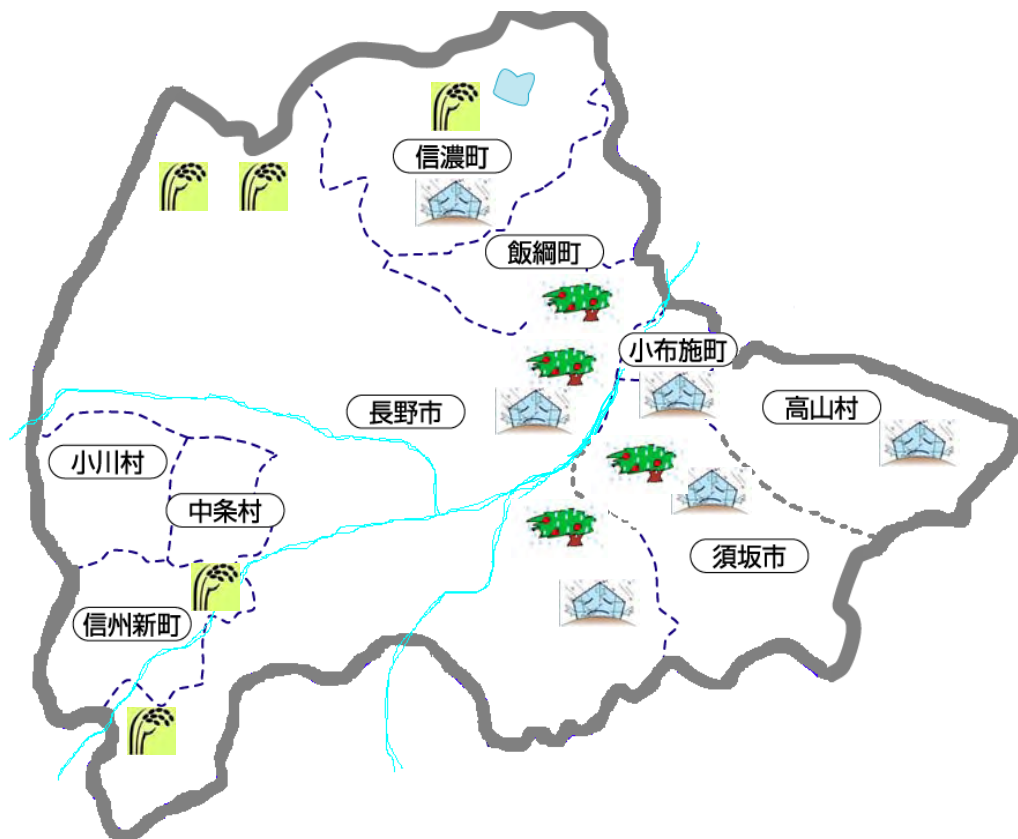
長野地区農業共済事務組合決算の概要

● ● ● ●

平成20年度 主な被害状況

⇒決算書 14ページ

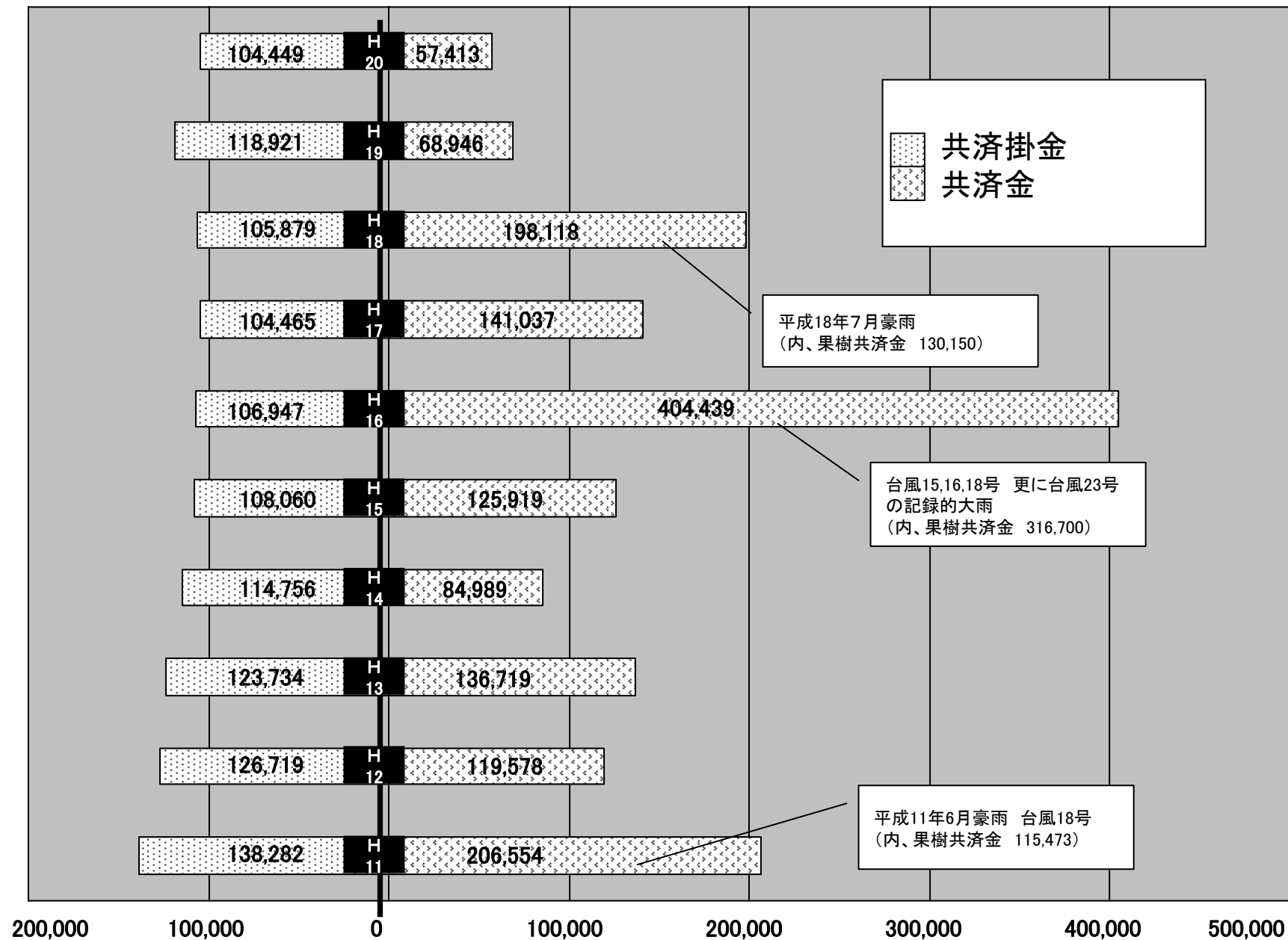
水 稲		いもち病 獣害(イノシシ、シカ、サル など) 長野市<戸隠・鬼無里・芋井・大岡・信更>、信州新町、信濃町
果 樹		獣害 雨害湿潤害 病虫害 長野市<若穂・長沼>、須坂市、小布施町、飯綱町
園芸施設		風害 長野市<長沼・松代 他>、須坂市、小布施町、高山村、信濃町



区分	水 稲		果 樹	
	人数	支払共済金 (千円)	人数	支払共済金 (千円)
長野	43	1,386	3	207
須高	6	95	3	169
更水	16	337	—	—
中北部	13	480	1	359
合計	78	2,298	7	735

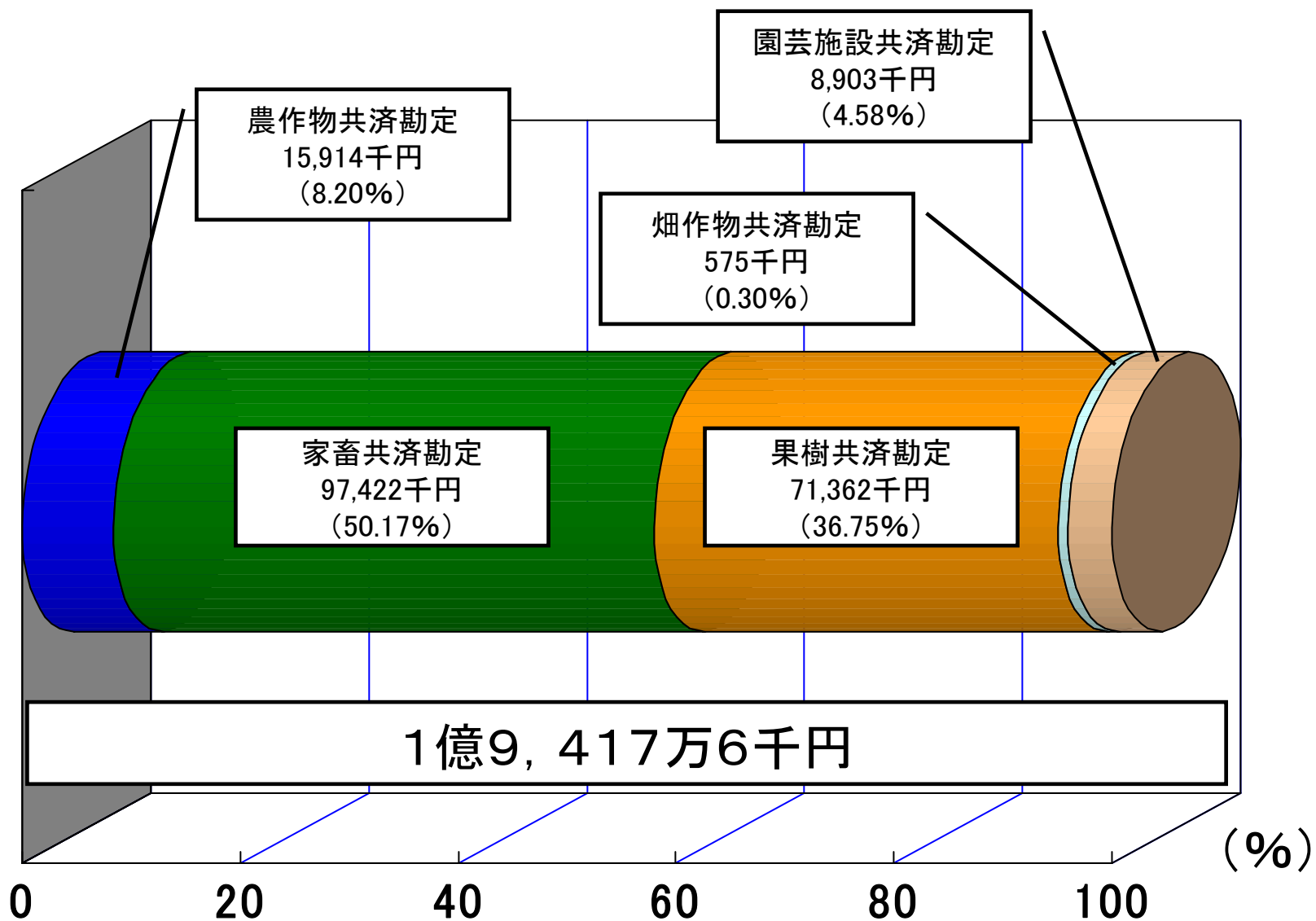
共済掛金と共済金の推移

単位：千円



事業勘定総計(費用ベース)

⇒決算書 3ページ

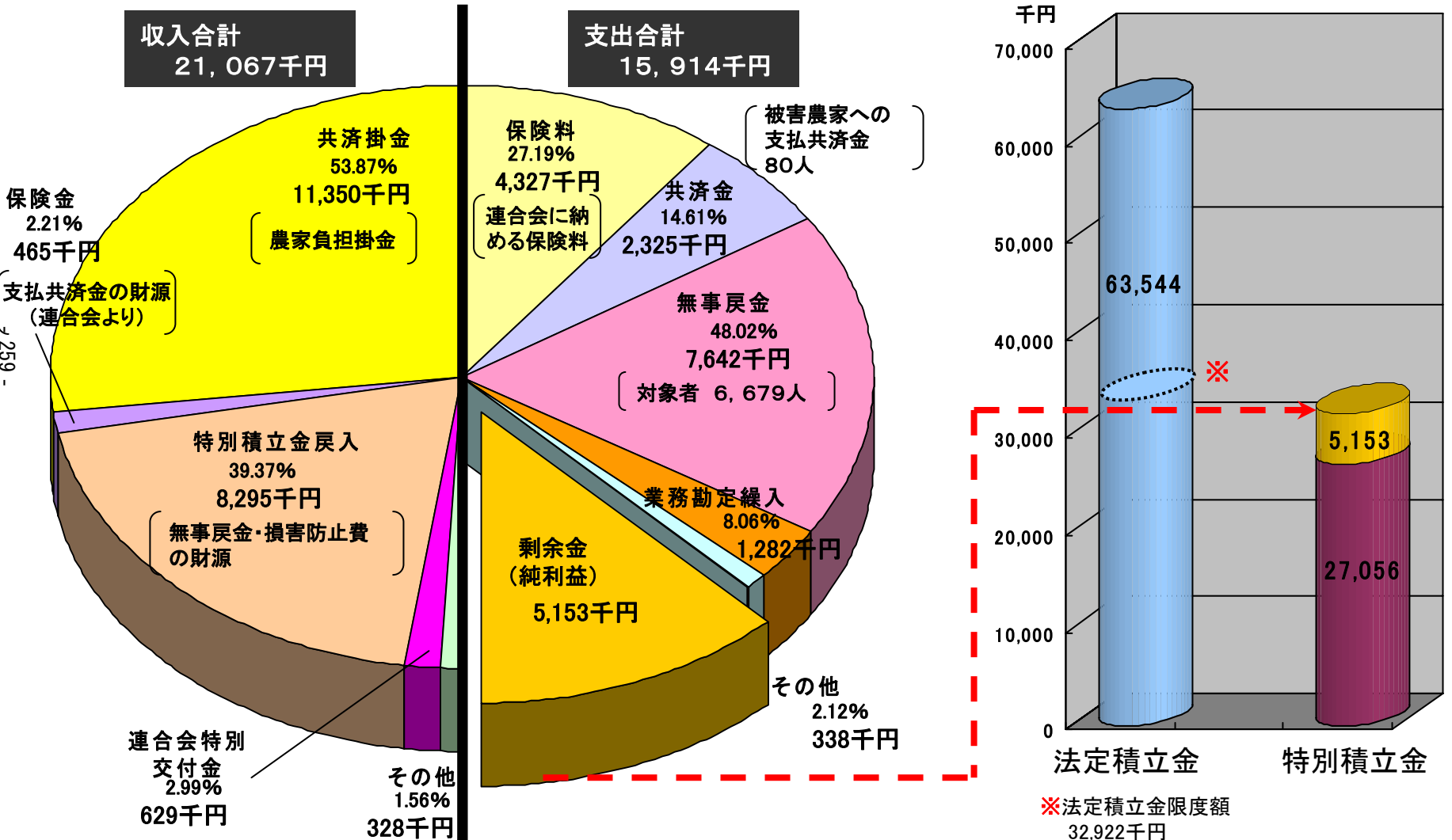


農作物共済勘定(水稻・麦)

⇒決算書 4、5、7、16ページ

引受 水稻 249,201a(8,336人) 麦 5,073a(4人)

被害 水稻 887a (78人) 麦 63a(2人) いもち病・獣害 等

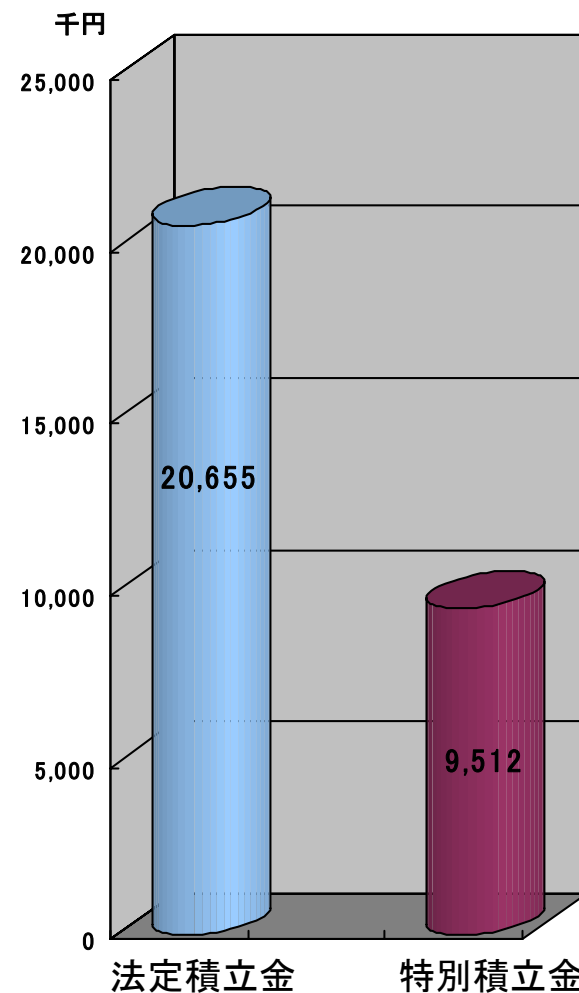
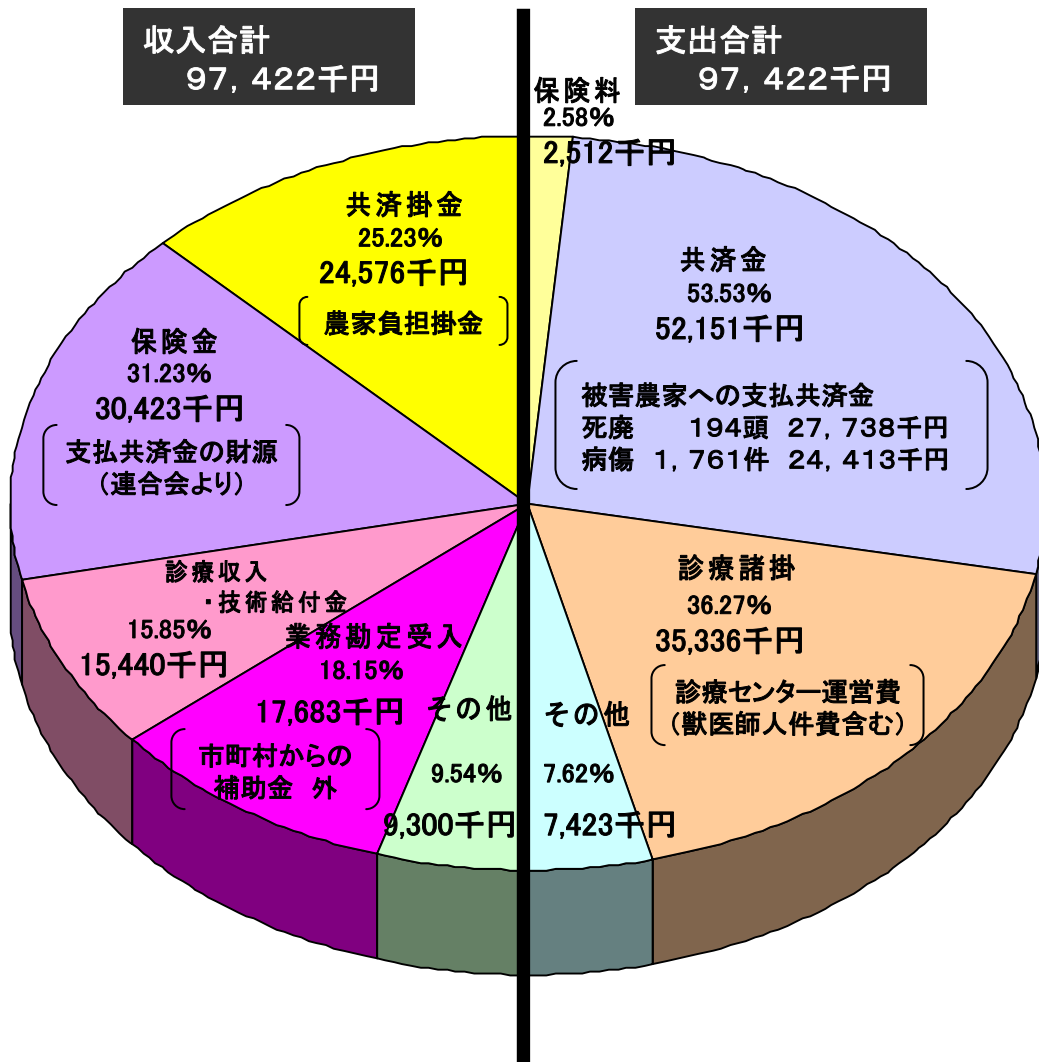


家畜共済勘定(乳牛・肉牛・種豚)

⇒決算書 4、5、17ページ

引受 乳牛1,326頭(40人) 肉牛1,046頭(46人) 種豚73頭(2人)

被害 死亡121頭 廃用73頭 病傷1,761件

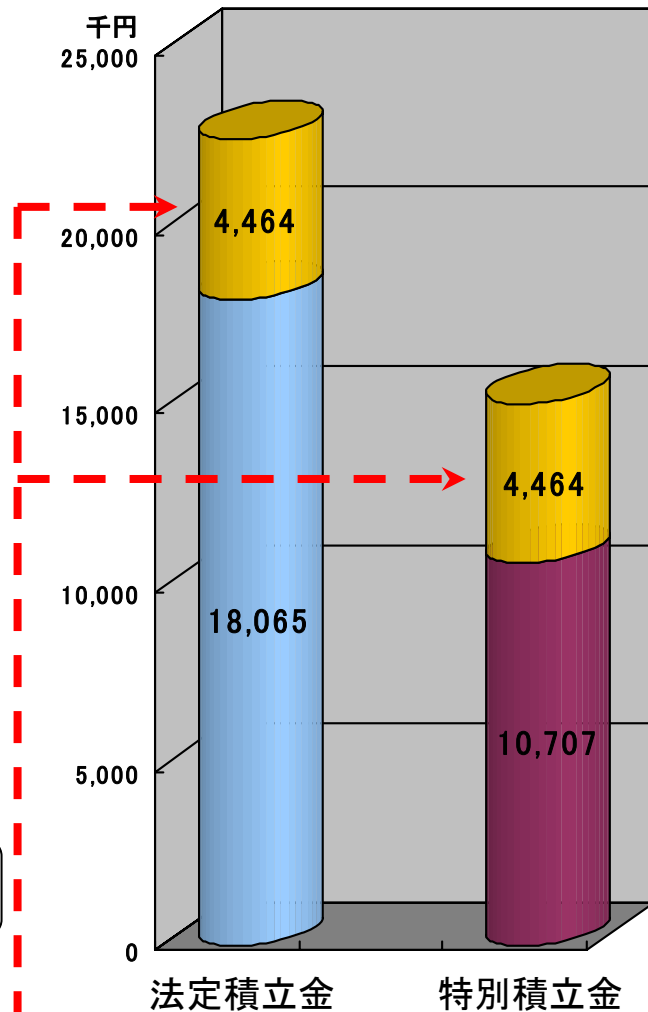
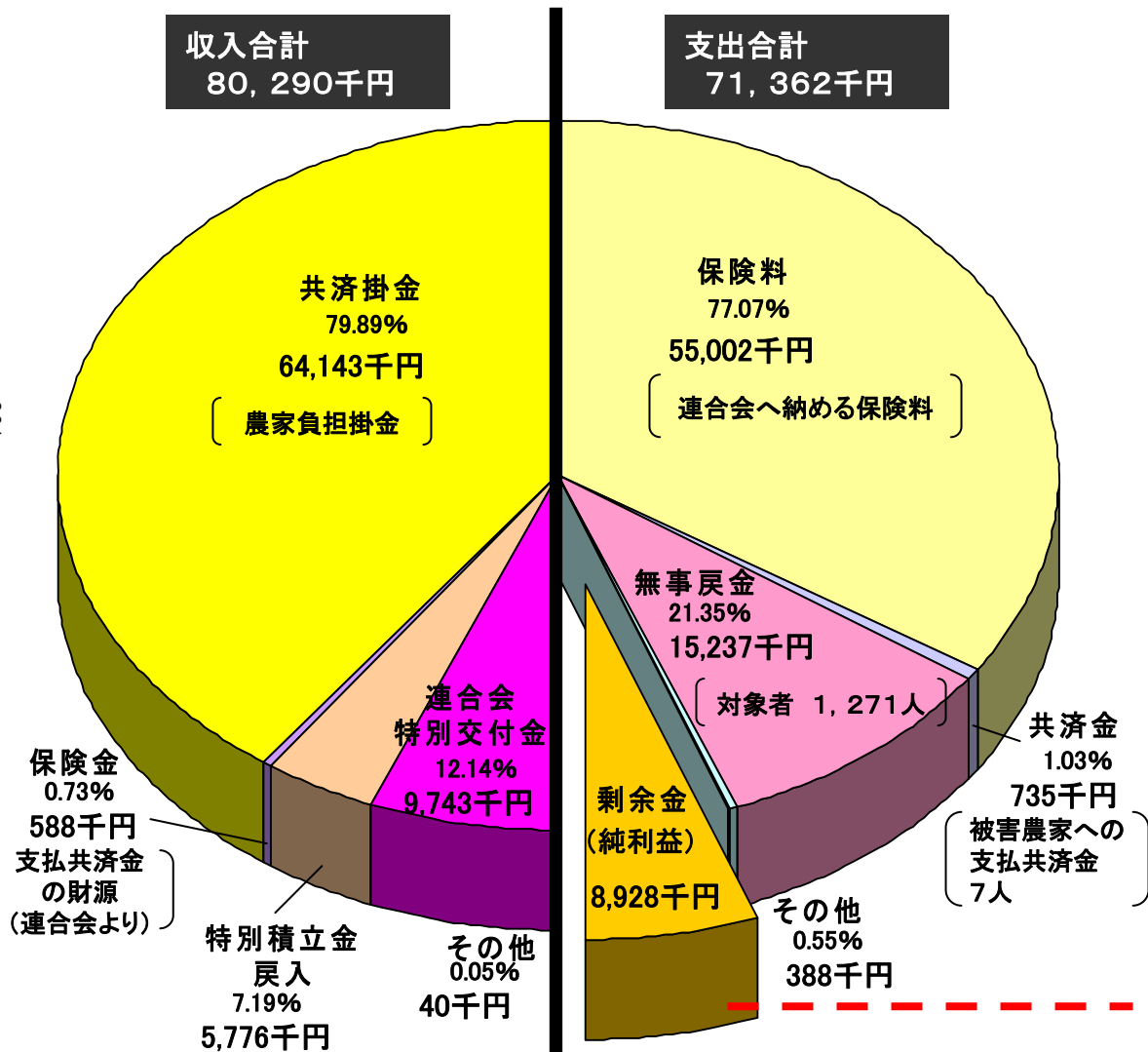


果樹共済勘定(りんご・ぶどう・なし・もも) ⇒決算書 4、5、8、19ページ

引受 70,747a(2,126人)

被害 158a (7人) 獣害、雨害湿潤害 等

-261-



畑作物共済勘定(大豆・蚕繭)

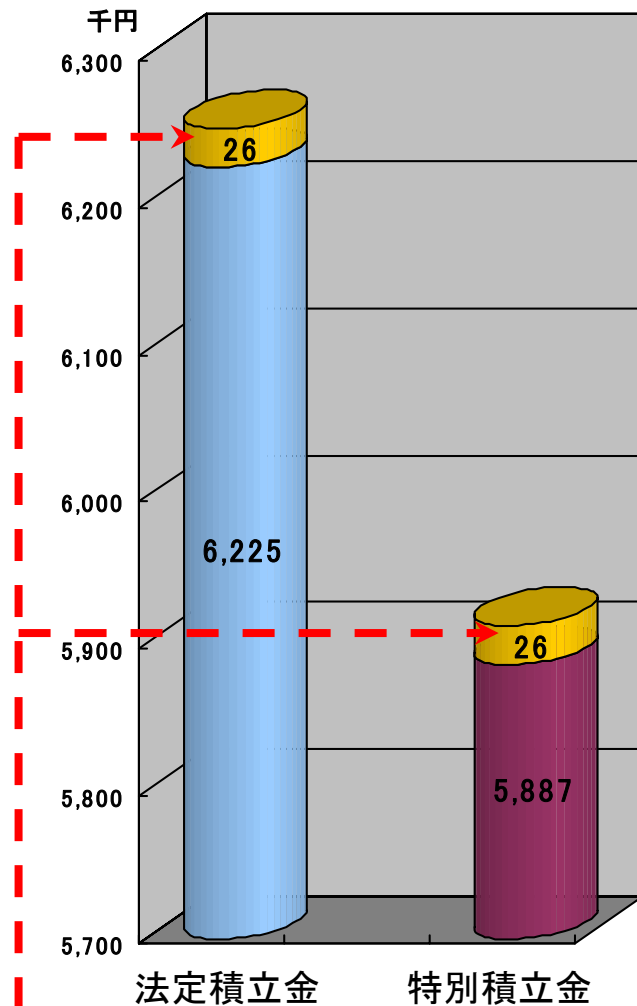
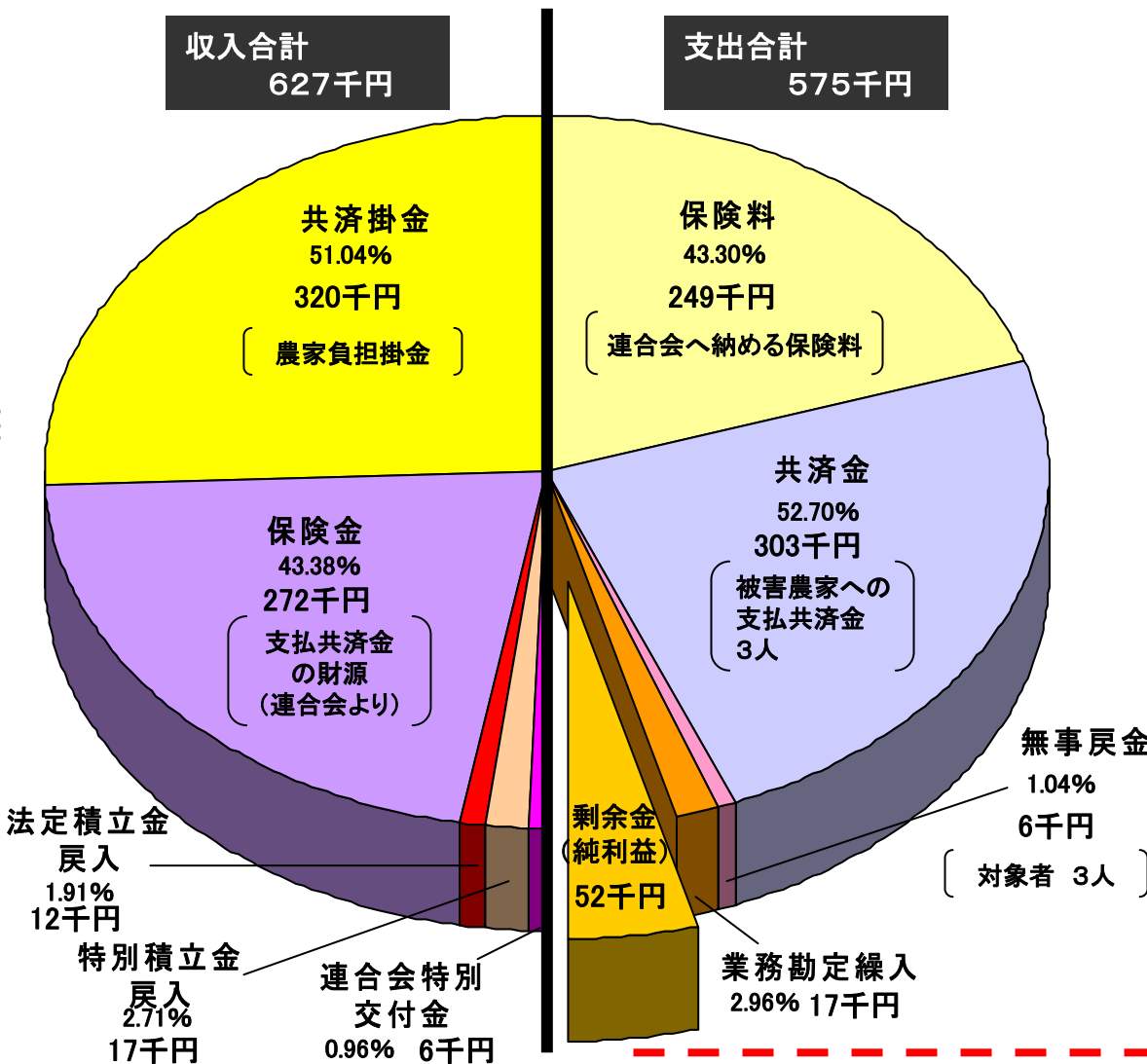
引受 大豆6, 563a(12人)

蚕繭18. 92箱(5人)

被害 大豆(2人) 土壤湿润害

蚕繭(1人) 软化病

⇒決算書 4、5、9、22ページ



園芸施設共済勘定(ガラス室・プラスチックハウス)

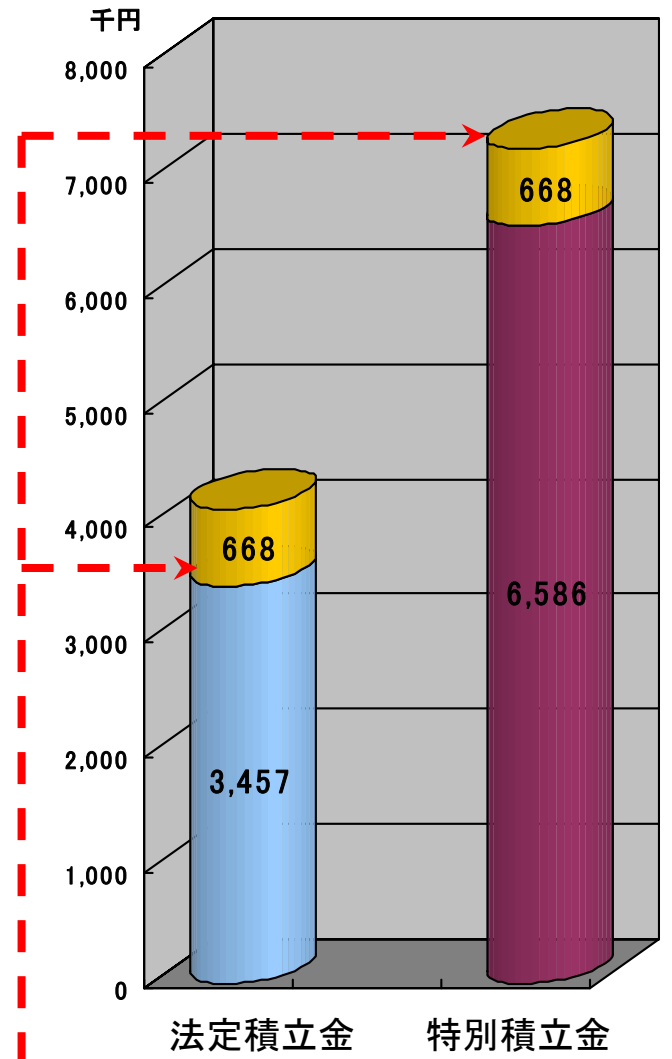
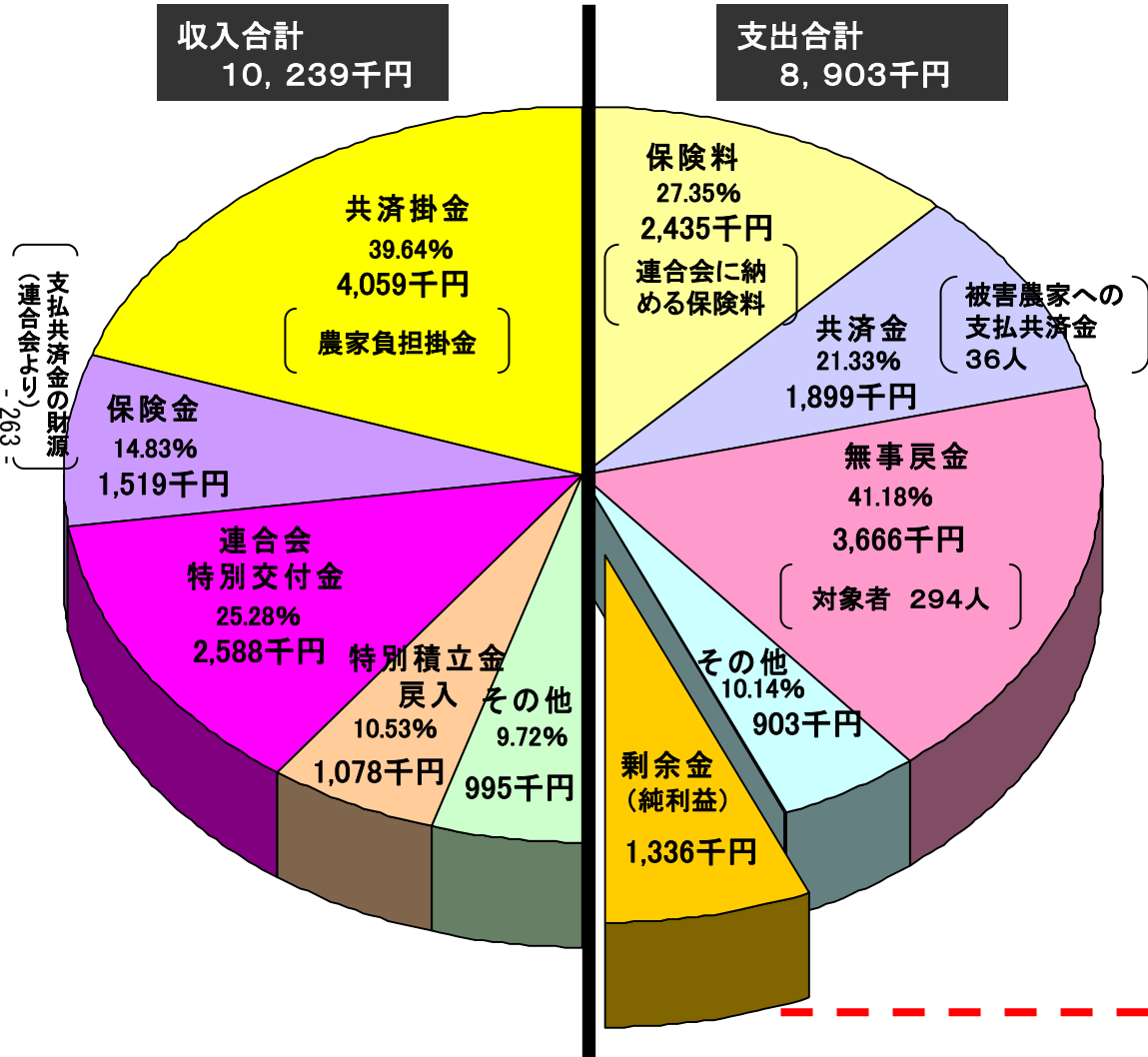
引受 1, 286棟(395人)

被害 43棟(36人) 風害

⇒決算書 4、5、9、23ページ

収入合計
10, 239千円

支出合計
8, 903千円

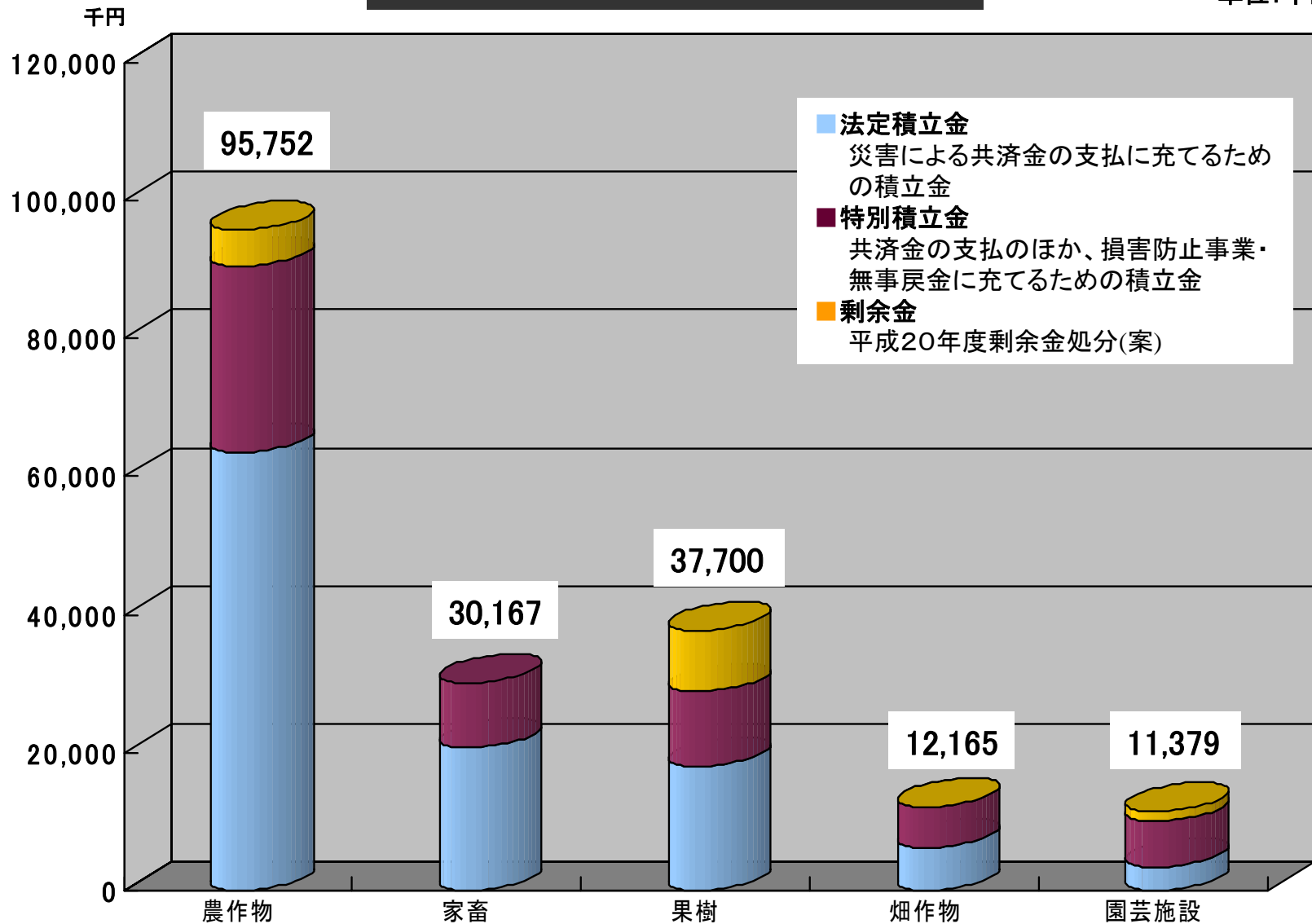


勘定別積立金残高

⇒決算書 7～11ページ

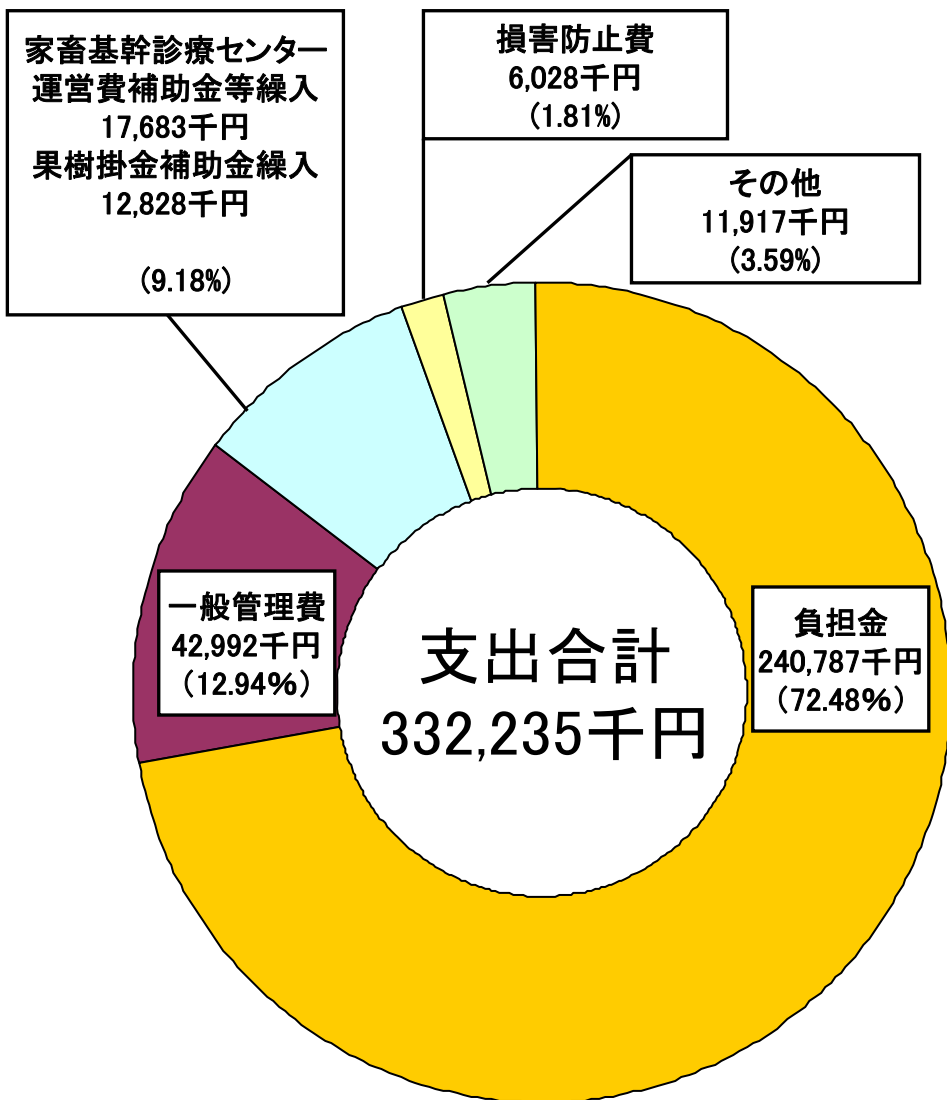
資本合計 1億8,716万3千円

単位:千円



業務勘定

⇒決算書 4、5ページ



収入合計 332,235千円

市町村事務費補助金	227,000千円
受取寄附金	21,000千円
賦課金	15,730千円
家畜基幹診療センター運営費市町村補助金	14,800千円
果樹加入者掛金市町村補助金	12,828千円
業務引当金戻入	15,810千円
その他	25,067千円

損益計算書・貸借対照表

⇒決算書 4、5、10、11ページ

損益計算書

単位:千円

収益項目	金額	費用項目	金額	利益(▲損失)
事業収益	475,290	事業費用	495,145	▲ 19,855
事業外収益	66,589	事業外費用	31,265	35,324
収益合計	541,879	費用合計	526,410	15,469

貸借対照表

単位:千円

借方	金額	貸方	金額
資産	866,732	負債	679,569
流動資産	859,281	流動負債	601,493
固定資産	7,451	固定負債	78,076
		資本(純資産)	187,163
資産合計	866,732	負債資本合計	866,732

北信農業共済組合に引き継ぐ主な資産

⇒決算書 10、11ページ

■有形固定資産

資産の種類	年度末 現在高	説明
建物	2,109	中北部支所(527㎡) 事務所・ガレージ・倉庫
車輜運搬具	159	軽貨物自動車(2台)
機械器具	176	動力噴霧器(2台)・糶摺機 ・通風乾燥機・小型脱穀機
器具備品	319	中北部支所 冷暖房機(2台)

■積立金

単位:千円

共済区分	種類	年度末残高		
		法定積立金	特別積立金	計
農作物	水稲	62,859	25,848	88,707
	麦	685	1,208	1,893
	計	63,544	27,056	90,600
家畜		20,655	9,512	30,167
果樹	りんご	12,767	9,552	22,319
	ぶどう	2,658	704	3,362
	なし	588	215	803
	もも	2,052	236	2,288
	計	18,065	10,707	28,772
畑作物	大豆	329	183	512
	蚕繭	5,896	5,704	11,600
	計	6,225	5,887	12,112
園芸施設		3,457	6,586	10,043
合計		111,946	59,748	171,694

■引当金

項目	年度末 現在高	説明
業務引当金	56,214	業務勘定の期末残高を 引当処理したもの
修繕引当金	3,000	固定資産修繕のため 引当処理したもの
事務機械化 整備準備金	4,500	事務機械及びシステムの 改修のための準備金
損害防止 事業準備金	10,000	損害防止事業の継続的な 実施のための準備金